

院内がん登録 2023 年全国集計

拠点外病院含む

令和7（2025）年2月

国立研究開発法人 国立がん研究センター

がん対策研究所 がん登録センター

国立がん研究センターでは、2007 年の診断例より、毎年がん診療連携拠点病院を含む全国のがん診療施設から院内がん情報の提供を受け、各がん種に関して進行度やその治療方法の分布等の集計を実施してきました。通常、診断年の翌年にデータ収集を行い、収集した年度中に報告書を公表してきました。この度、2023 年診断例について 882 施設からデータ提供をいただきました。

2020 年 1 月に世界保健機関が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (Public Health Emergency of International Concern: PHEIC)」と宣言して以降、現在に至るまで新型コロナウイルス感染症 (Coronavirus disease: COVID-19) の流行はがん診療にも少なからず影響を与えていると思料しています。そこで、2020 年より継続する新型コロナウイルス感染症流行下におけるわが国のがん診療の状況の推移について情報提供するために、昨年を引き続き 2018 年診断例から毎年継続的にデータ提供のあった 738 施設のデータ (約 615 万例) を用いて、経年比較を行いました。

2023 年診断例の登録数は 2018-19 年の平均登録数および 2022 年診断例を上回りました。発見経緯別の集計では、対策型がん検診の推奨部位においてがん検診・健康診断・人間ドックによって発見された件数は 2018-19 年の平均登録数よりも低い件数で 2023 年診断例でも推移しています。検診受診率や精密検査受診率と合わせての評価が必要となりますが、検診を受診しないことの習慣化や、新型コロナウイルス感染症の患者対応による検診機関の一時閉鎖や、検査の人数制限等の受け入れ側の体制変化が 2023 年も続いていた可能性が要因として考えられます。今後、全国がん登録の数値との比較が必要です。がん種、病期別、治療別などの登録数の詳細な解析結果については、報告書本文をご参照ください。本報告が、新型コロナウイルス感染症流行下でのわが国のがん診療の実態を把握する資料として活用され、今後同様の緊急事態下におけるがん対策に活用されることを期待します。

令和 7 年 2 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
中釜 斉

目次

はじめに がん診療連携拠点病院等院内がん登録 2023 年全国集計報告書公表について.....	2
I. 2023 年全国集計 調査方法	4
1. 収集の対象と方法.....	4
(1) 収集の対象.....	4
(2) 収集方法.....	5
(3) 収集項目と定義.....	5
2. 集計の対象と集計方法.....	7
(1) 集計の対象.....	7
(2) 集計項目の定義.....	7
(3) 公表の対象について.....	9
(4) 症例区分 80：その他 の扱いについて.....	9
(5) UICC TNM 病期分類の版について	9
II. 2023 年全国集計 結果概要	14
III. 2023 年全国集計 結果詳細（診断情報）：症例区分 80 を除いた集計.....	17
1. <u>上皮内癌等を含む/含まない</u>	17
2. <u>診断時住所</u>	18
3. <u>年齢</u>	19
4. <u>症例区分</u>	20
5. <u>来院経路</u>	22
6. <u>発見経緯</u>	23
7. <u>部位</u>	24
IV. 2023 年全国集計 結果詳細（腫瘍情報）	27
V. 2023 年全国集計 特別集計	115
付表 1（2023 年 都道府県別 症状緩和的治療の有無 登録数）	

I. 調査方法

I. 2023 年全国集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

令和 6（2024）年 6 月時点で厚生労働省から指定されていたがん診療連携拠点病院等 461 施設、及び小児がん拠点病院 6 施設（成人の拠点病院に指定されていない）に院内がん登録全国集計への協力を依頼した。また、令和 6（2024）年度がん診療拠点病院以外の 416 施設（「拠点外病院[#]」）に対してもデータ提出を依頼した。提出を依頼したデータは、令和 5（2023）年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に登録対象となる腫瘍の種類^{*}に該当するもののうち、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初回の診断が行なわれた腫瘍である。初回の診断とは、自施設における、当該腫瘍に関して初めての、診断及び/又は治療等の診療行為のことを指し、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍について初診し、診断及び/又は治療等の対象となった腫瘍が登録対象となる。

[#]拠点外病院

2022 年全国集計報告書より、がん診療連携拠点病院等と小児がん拠点病院以外の施設の総称として使用する。2021 年全国集計報告書までの都道府県推薦病院及び任意参加施設を合わせた分類となっている。

^{*}登録対象となる腫瘍の種類

がん診療連携拠点病院等での院内がん登録においては、登録の対象を、全国がん登録と同様に、『国際疾病分類-腫瘍学第 3 版（3.2）』（ICD-0-3）における形態コードの性状コードが 2（上皮内癌）もしくは 3（悪性、原発部位）のものとする。ただし、以下の腫瘍においては、例外的に登録対象とする。

a) 中枢神経系腫瘍

頭蓋内に原発した、いわゆる「脳腫瘍」のみならず、髄膜・脳・脊髄および中枢神経系に発生した腫瘍に関しては、原則的に良性であっても登録対象とする。中枢神経系腫瘍での登録の対象となる部分は、ICD-0-3 の局在コードが以下のものである。

C70.0, C70.1, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.0, C72.1, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3

b) 消化管間質腫瘍（Gastrointestinal stromal tumor: GIST）

ICD-0-3.2 において、消化管間質腫瘍について、性状コード「/0」「/1」が廃止され「/3」のみとなったが、2021 年症例でも、2019 年症例までと同様に偶発的に発見し、その後加療しない消化管間質腫瘍は登録対象外とされている。一方で登録においては、ICD-0-3 の形態コードで 8936/1 となる性状不詳および 8936/0 となる良性の消化管間質腫瘍としての登録があったため今回の集計には含めている。

c) 境界悪性の卵巣腫瘍の一部

死因統計に用いられる「疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10 準拠」に従い、ICD-0-3 の形態コードで、卵巣に原発する下記に該当するものは、性状コードが「/1」であっても、登録の対象とする。具体的な卵巣に原発した登録対象の形態コードは下記のとおりとする。

8442/1（境界悪性漿液性のう胞腺腫^{*}）

8313/1（境界悪性明細胞のう胞腫瘍）

8451/1（境界悪性乳頭状のう胞腺腫^{*}）

8442/1（境界悪性漿液性乳頭状のう胞腺腫^{*}）

8442/1（境界悪性漿液性表在性乳頭腫瘍）

8472/1（境界悪性粘液性のう胞腺腫）

8472/1（境界悪性乳頭状粘液性のう胞腺腫）

^{*}ICD-0-3 の表記は「漿液性のう胞腺腫、境界悪性」「乳頭状のう胞腺腫、境界悪性」

更に、ICD-03.1 から ICD-03.2 への移行に伴い、性状コードが「/3」が「/1」に変更となった次の形態用語についてはすべて登録対象である。

8323/1 Clear cell papillary renal cell carcinoma

I. 調査方法

8335/1 Follicular carcinoma, encapsulated, NOS
 8452/1 Solid pseudopapillary tumor of ovary
 8832/1 Dermatofibrosarcoma protuberans, NOS
 8832/1 Dermatofibrosarcoma, NOS
 8833/1 Pigmented dermatofibrosarcoma protuberans
 8833/1 Bednar tumor
 9080/1 Immature teratoma of lung
 9080/1 Immature teratoma of thymus
 9080/1 Immature teratoma of thyroid
 9222/1 Chondrosarcoma, grade 1
 9709/1 Primary cutaneous CD4 positive small/medium T-cell lymphoma
 9718/1 Primary cutaneous CD30 positive T-cell lymphoproliferative disorder
 9718/1 Lymphomatoid papulosis
 9725/1 Hydroa vacciniforme-like lymphoma
 9751/1 Langerhans cell histiocytosis, NOS
 9751/1 Langerhans cell histiocytosis, monostotic
 9751/1 Langerhans cell histiocytosis, polystotic
 9971/1 Polymorphic post-transplant lymphoproliferative disorder

その他 ICD-O-3.2 に伴う変更については、院内がん登録支援サイトを参照。

*各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断後に自施設を初診した患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。従来、1 入院 1 登録などの形であっても、集計などの際に 1 腫瘍 1 登録に変換できることを許容していたが、平成 28 (2016) 年 1 月 1 日以降の新規診断症例の登録からは、1 腫瘍 1 登録となるように登録することとする。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に複数のがん病巣が存在し、それらが臨床的・病理学的に独立した“がん”と判断された場合、多重がんであるとする。多重がんの判断については、2018 年

症例より SEER2018 準拠ルールに基づいて登録する。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数のがん診療連携拠点病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。

本院内がん登録全国集計では、提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。

(2) 収集方法

がん診療連携拠点病院等（小児がん拠点病院を含む）の施設に対しては令和 6 年 6 月に、拠点外病院に対しては 7 月に、調査への協力の依頼書を送付した。データ提出期間は、がん診療連携拠点病院等が令和 6 年 7 月 8 日から 8 月 9 日まで、拠点外病院については 8 月 19 日から 9 月 20 日までとし、データは全てがん登録共通届出システム（VPN 回線）を用いて提出していただいた。

提出項目は、「がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版」において定義された標準登録項目とした。なお、データ収集時に、定義通りの項目・区分で登録がされているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等を確認するための専用の品質管理ツールを配布し、データ提出前に各施設においてデータを確認し、必要であれば修正をした上でデータを提供していただいた。

(3) 収集項目と定義

主な項目の定義と注意について以下に記載する。このほかの項目の定義については、がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版をご覧ください。

i. 症例区分

院内がん登録の目的の一つとして、病院のがん医療の評価のための基礎的資料を提供することがあげられる。そのためには、病院のがん診療実態を他施設と比較する必要がある、どのがん症例を含めるのかを識別しておく必要がある。この症例区分の項目は、当該腫瘍の診断および初回治療の過程において、

I. 調査方法

自施設でどのように関係したかを判断するための重要な項目である。本全国集計のデータ収集対象は、症例区分に関わらず全症例としている。

ii. 治療前ステージ

国際比較のため、UICC (The Union for International Cancer Control) の定める病期分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前に診断されたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用されている癌取り扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。肝臓については、取り扱い規約のステージも合わせて標準項目として登録することとなっている。

なお、前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」で登録される。

iii. 術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に関して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には手術なしで、術前に化学療法や放射線療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が想定されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

iv. 治療の有無

一般にがん治療とは、1) 原発巣・転移巣のがん組織に対して行なわれた治療と、2) がん組織に対するものではなくても、がんによる症状の緩和・軽減のために行なわれた特異的な治療（吻合術などの外科手術）の両者を指す。ある治療が、1) がん組織に対して何らかの影響（がん組織の増大傾向を止めたり、切除したり、消失させたりする行為）、あるいは2) 症状の軽減を及ぼすことを意図して行なわれた場合、たとえそれが、根治的ではない、もしくは期待する治療効果が得られなかったとしても、がん治療として定義される。しかし、院内がん登録に

おけるがん初回治療は、運用上の必要等から、1) の治療、すなわち、当該腫瘍の縮小・切除を意図したがん組織に対する治療のうち、当該腫瘍に関する最初の診断に引き続き行なわれた、腫瘍に対する治療とする。最初の診断に引き続き行なわれた治療の範囲は、治療計画等に記載された治療とし、経過観察が計画された場合あるいは治療前に死亡された場合は経過観察という行為を初回治療としてみなして扱うこととする。なお、この範囲が不明確な場合は、病状が進行・再発したりするまでに施行されたか、あるいはおよそ5ヶ月以内に施行されたものを初回治療とする。

従来の院内がん登録標準登録様式では、がんに伴う症状の改善を意図して行なわれた治療も初回治療に含めることとされてきたが、2016年版からは、がんそのものの縮小・切除を意図した治療のみが初回治療の対象となった。このため、従来、初回治療の対象となっていた症状の緩和等を意図して行なわれた特異的な症状緩和的な治療を含む症状緩和的な治療は、初回治療に準ずる形で計画され、かつ自施設で実施された場合に限って、データの継続性の担保と診断早期からの症状緩和的な治療の実施状況を把握する目的で、別途「790 症状緩和的な治療の有無（自施設）」において登録される。なお、症状緩和的な治療の有無は、従来の「特異的」症状緩和治療の範囲に限定されず、診療行為として緩和ケア加算が算定されている場合や投薬・処置等の医療行為が対象となる。

① 外科的治療

肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術を「外科的治療」とする。侵襲性の高い治療として位置づけられ、いわゆる観血的な手術療法のうち、光学機器による視野を用いた「鏡視下治療」および「内視鏡的治療」を除いたものを指し、肉眼的視野下での一般的な開頭術、開腹術や開胸術などがこれに当たる。

② 鏡視下治療

皮膚切開を加えるなど、自然開口部（口唇、鼻孔、

I. 調査方法

尿道口、肛門、膣口、乳管等）以外から挿入された光学機器を用いて（光学機器の視野下で）行なわれる病巣切除術を「鏡視下治療」とする。また前立腺癌でのTUR-P、胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離（ESD）は内視鏡的治療として登録される。

③ 内視鏡治療

自然開口部（口唇、鼻孔、尿道口、肛門、膣口、乳管等）から挿入された光学機器による視野を用いた病巣の切除等の観血的治療が行なわれた場合を内視鏡的治療とする。膀胱癌のTUR-BT、胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離術ESDなどを含む。

④ 放射線療法

X線やγ線等の電磁放射線、あるいは陽電子線や重イオン線等の粒子放射線による腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療を放射線療法とする。原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。重粒子線・陽子線・中性子線などの荷電粒子線を利用した治療、イブリツモマブチウキセタンのように、分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療I-131内用療法等の内照射療法、密封小線源による治療を含む。

⑤ 化学療法

アルキル化薬をはじめとする狭義の抗がん剤の他、分子標的薬などの薬剤を用いた、腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療をその投与経路は問わず、化学療法とする。イブリツモマブチウキセタンのように、分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療、肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術も併用した抗がん剤投与、ニボルマブなど、免疫療法薬とされる分子標的薬の薬物治療も含む。

⑥ 内分泌療法

特定のホルモン分泌を抑制することで腫瘍の増殖を阻止する目的で、薬剤投与あるいはホルモン分泌器官の切除により、腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療を内分泌療法とする。前立腺癌における除睾術、ステロイド単剤での薬物治療も含む。

⑦ その他の治療

当該腫瘍の縮小・消失を目的に腫瘍に対して行なわれた初回治療のうち、外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法のいずれにも該当しない治療をその他の治療とする。例えば、免疫療法、肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術、レーザー等による腫瘍そのものを焼灼する光線焼灼術や光線力学的治療、ラジオ波などの電子波を用いた腫瘍焼灼術、腫瘍病巣にエタノール等の壊死性薬物を注入するPEITなどの治療がある。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

がん診療連携拠点病院等461施設、小児がん拠点病院6施設（成人のがん診療連携拠点病院に指定されていない）、拠点外病院415施設からデータ提供があった。よって、集計対象施設は、全体で882施設であった。

本集計においては、悪性新生物＜腫瘍＞及び上皮内癌（性状コード3, 2）、また脳腫瘍の局在コードがC70.0, **C70.1**, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, **C72.0**, **C72.1**, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3の良性及び良性又は悪性の別不詳、胃腸間質腫瘍, NOS（組織型8936）の良性又は悪性の別不詳（性状コード0, 1）、およびICD-O-3の形態コードで先の登録対象として述べた境界悪性の卵巣に原発するものを集計対象とした。

(2) 集計項目の定義

● 診断日

項目[400]診断施設が「1:自施設診断」の場合は、項目[370]自施設診断日、「2:他施設診断」の場合は、項目[350]当該腫瘍初診日を診断日（起算日）とする。

● 症例区分

当該腫瘍に対しての自施設の位置づけを総合的に判断する項目。

10：診断のみ→自施設で診断したが、治療の施行は

I. 調査方法

他施設へ紹介・依頼した場合。

20：自施設診断・自施設初回治療開始→自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合（経過観察の決定および実行した場合も含む）。

21：自施設診断・自施設初回治療継続→自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での経過観察の実行は含まない）

30：他施設診断・自施設初回治療開始→他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始した場合（経過観察の決定および実行した場合も含む）

31：他施設診断・自施設初回治療継続→他施設で診断した後、他施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での経過観察の実行は含まない）

40：初回治療終了後→他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合。自施設受診後の治療の有無は問わない。

80：その他→10～40のいずれにも分類できない場合。他施設診断症例で、治療目的に紹介されたが、自施設では治療は行なわず、他施設へ紹介した場合も含まれる。

2023 年診断例について、症例区分 21：自施設診断・自施設初回治療継続例、31：他施設診断・自施設初回治療継続例であっても、その他治療無しで、かつ自施設における外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法が行われているが、いずれの治療においても施行日が診断から 5 ヶ月（155 日）を超えていた場合は、当該治療を実施していなかった、すなわち症例区分 21：自施設診断・自施設初回治療継続例は、10：診断のみへ、症例区分 31：他施設診断・自施設初回治療継続例は、80：その他へ変換して集計した。但し、造血器系腫瘍（院内がん登録部位分類における悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、他の造血器腫瘍）においては、経過観察が病院間で引き継がれることがあり、このような変換からは除外した。尚、診断日より 1 ヶ月以上（31 日）前に実施された治療は当該

腫瘍に対する治療ではないとし、治療なしとした。

● 性別

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾する場合も、登録された性を用いて分類した。

● 年齢

年齢は、生年月日と診断日を用いて、下記の定義で求めた。

生年月日と診断日の日付情報に不明が含まれない場合は、「(診断日(年月日)(日単位)－生年月日(日単位))÷365.25」とし、小数点以下は切り捨てとした。

生年月日と診断日の日情報に不明が含まれる場合は、「診断年月の月>生年月日の月のときは、診断年月の年－生年」「診断年月の月<生年月日の月のときは、診断年月の年－生年－1」とした。

● 部位区分

表 1-2 部位分類コード対応に基づき、作成した。なお、上皮内癌等を含む、すなわち性状コード 2、3 及び頭蓋内腫瘍の性状 0、1 を持つ症例の合計を基本の集計単位としており、特に明記の無い場合は、上皮内がん等を含んでいる。上皮内がん等を含まない（悪性新生物<腫瘍>）と定義されている場合は、性状コード 3 の症例を対象としている。

● 臨床病期

治療前ステージ

本報告書において集計対象とした形態コードは後述のとおりである。

術後病理学的ステージ

「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲」の結果の区分で手術がなしと登録されていた例は集計から除外した。

総合ステージ

I. 調査方法

病期は患者の予後に影響する重要な要因である。

そこで、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているとされる術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療が行われた術後病理学的ステージの適用外及び術後病理学的ステージが不詳であった例、観血的治療を行っていない例では、治療前ステージを用いてがんの治療開始時点での病期を示す指標として総合ステージを算出した。

● 治療方法

手術

外科的治療と鏡視下治療のいずれか、または両方が実施された患者を合算して手術として集計した。

薬物療法

化学療法、内分泌療法のいずれかが実施された患者を合算して薬物療法として集計した。但し、内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

その他の治療

肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、その他の治療のいずれかが実施された患者をその他の治療として集計した。

集計用の治療方法の分類は、下記のとおり。

1. 手術のみ
2. 内視鏡のみ
3. 手術＋内視鏡
4. 放射線のみ
5. 薬物療法のみ
6. 放射線＋薬物
7. 薬物＋その他
8. 手術/内視鏡＋放射線
9. 手術/内視鏡＋薬物
10. 手術/内視鏡＋その他
11. 手術/内視鏡＋放射線＋薬物
12. 他の組み合わせ
13. 経過観察

但し、2016 年診断例より自施設での治療施行日が登録されている外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線治療、化学療法、内分泌療法の自施設治療施行日が 5 ヶ月 (155 日) を超えていた場合は、当該治療を実施しなかったとして集計した。また、診断日より 1 ヶ月 (31 日) より前に行なわれた治療は当該腫瘍に対する治療ではなかったとし、治療実施なしとして集計した。なお、参考として 5 ヶ月を超えて実施された治療を含めての集計結果を合わせて表示した。

(3) 公表の対象について

各集計表において、集計値が 10 以下の場合、個人が特定される可能性が高い反面、患者、家族や国民に対して有用な診療情報を提供するため、第 9 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会資料として提出された「資料 2 少数例のがんの情報提供について」の通り、1 件以上 10 件未満の場合は、1～3 件、4～6 件、7～9 件として公表し、10 件以上は原則実数で公表する。

(4) 症例区分 80：その他の扱いについて

症例区分 80（その他）は、セカンドオピニオンのみの症例については、登録しなくてもよいこととなっているが、2015 年診断例までは任意で登録されていたため施設によっては、登録されている場合が考えられる。そこで、症例区分 80 を含む数を全登録数、症例区分 80 を除いた数を集計登録数と定義し、結果 II では、症例区分 80 を除いた集計を行なった。

(5) UICC TNM 病期分類の版について

2023 年診断症例は第 8 版準拠で登録を促している。

I. 調査方法

表 1-1 病期分類対象コード：各部位に発生した主に上皮性のがんが対象

	局在	組織形態
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8158(8153を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8245, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8158(8153を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8245, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
肝細胞癌	C220	8170-8175, 8020
肝内胆管癌	C221	8140/2, 8148/2, 8160-8163, 8180, 8470, 8480, 8503, 8560, 8032, 8033, 8041, 8430, 8490, 8070
肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8552, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980-8981,
肺小細胞癌		8002, 8041-8045
肺非小細胞癌		8000-8158 (8002, 8013, 8041-8045を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8552, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980-8981 <u>8982, 8983</u>
乳癌	C500-509	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981, <u>8982, 8983</u>
食道癌	C150-152, 158, 159	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, <u>8082, 8430, 8512</u>
		(扁平上皮癌) 8051-8052, 8070-8078, 8081, 8083-8084, 8094, 8560, 8980-8981 <u>8123, 8090, 8091</u>
		(腺癌) 8140, 8141, 8143, 8145, 8147, 8150, 8154, 8160, 8163, 8190, 8200, 8201, 8210, 8211, 8213, 8214, 8215, 8220, 8221, 8244, 8245, 8250, 8251, 8255, 8260, 8261, 8262, 8263, 8270, 8280, 8290, 8300, 8310, 8312, 8320, 8322, 8323, 8330, 8331, 8332, 8333, 8340, 8350, 8370, 8380, 8382, 8383, 8384, 8400, 8401, 8408, 8410, 8413, 8420, 8441, 8450, 8460, 8470, 8480, 8481, 8482, 8490, 8500, 8503, 8504, 8510, 8520, 8525, 8550, 8570, 8571, 8572, 8573, 8574, 8576 <u>8230</u>
膵臓癌	C250-252, 259	8000-8158 (8150-8153, 8155, 8156を除く), 8160-8163, 8170-8231, 8243-8245, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8552, 8560-8576, 8940-8941, 8971, 8980-8981
高分化型神経内分泌腫瘍(膵臓)	C250-252, 259	8150-8153, 8155, 8156, 8246/31
前立腺癌	C619	8000, 8010, 8013, 8020, 8041, 8140-8384, 8400, 8408, 8410, 8413, 8420, 8441, 8450, 8460, 8470, 8480-8482, 8490, 8500, 8503-8504, 8520, 8525, 8530, 8550 (旧ルール登録があるため), 8560, 8570, 8571-8574, 8576, 9070, 9110
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246/32-8247/39, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
子宮体癌	C540-543, 548, 549	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980, 8981
子宮肉腫	C530-531, 538, 539, 540-543, 548, 549	8890-8896(平滑筋肉腫), 8930-8931(子宮内膜間質肉腫), 8933(腺肉腫)
膀胱癌	C670-679	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
甲状腺乳頭・濾胞癌	C739	8140, 8260, 8290, 8330-8344 (8335/1 含), 8350
甲状腺未分化癌	C739	8020, 8021, <u>8980, 8981</u>
甲状腺髄様癌	C739	8345, 8346, 8347
胆嚢癌	C23.9, 24.0 (付加因子7001のみ)	8000-8158, 8160-8163, 8170-8231, 8243, 8244, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
喉頭癌	C32.0, 32.1, 32.2, 10.1	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
腎癌	C64.9	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管癌	C65.9, 66.9	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981

	局在	組織形態
卵巣（卵管、 腹膜含、女）	C56.9	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110
	C57.0, C48.1, C48.2, C48.8	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8620, 8940-8941, 8980, 9000, 9014-9015, 9060, 9071, 9070, 9072, 9080, 9100, 9085

下線部は今回の集計より新たに修正した部分

表 1-2 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・口唇		C00、C02.0-02.3、C02.8-02.9、C03.0-C05.0、 <u>C05.8-C06.9</u>
大唾液腺		C07、C08
上咽頭		C11
中咽頭		C01、C02.4、C05.1-05.2、C09、C10.0、C10.2-10.9、C14
下咽頭		C12-C13
食道		C15
胃		C16
小腸		C17
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肛門/肛門管		C21
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		<u>C10.1</u> 、C32
肺		C33-C34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚（黒色腫を含む）		C44
乳房		C50
膣・外陰		C51、C52
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
精巣		C62、C63.0、C63.1
腎		C64
膀胱		C67
腎盂・尿管		C65、C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998、999	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

表 1-3 都道府県別拠点病院数の推移：指定年別

	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
北海道	21	20	20	22	22	22	22	22	22	22	22
青森	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5
岩手	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
宮城	7	8	7	7	7	7	7	8	8	8	8
秋田	8	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10
山形	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
福島	9	9	9	9	9	9	9	6	6	6	7
茨城	9	10	10	11	11	11	10	10	10	10	10
栃木	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
群馬	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
埼玉	12	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14
千葉	14	13	13	14	15	15	15	15	15	16	15
東京	27	27	28	29	29	29	30	30	30	30	31
神奈川	17	17	18	18	18	18	19	20	22	22	23
新潟	9	8	8	9	9	9	8	9	9	9	9
富山	8	7	7	7	7	7	6	5	5	5	5
石川	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
福井	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
山梨	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4
長野	8	9	11	11	11	11	12	12	12	12	12
岐阜	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	9
静岡	11	10	12	12	12	12	12	12	12	13	13
愛知	15	17	17	17	17	17	19	19	19	19	19
三重	6	5	4	4	4	4	5	5	5	5	5
滋賀	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
京都	9	13	12	12	12	12	13	13	13	13	13
大阪	16	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18
兵庫	14	14	14	14	14	14	16	18	18	18	18
奈良	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6
和歌山	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
鳥取	5	5	5	5	5	5	4	3	3	3	3
島根	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
岡山	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10
広島	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12
山口	7	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8
徳島	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
香川	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
愛媛	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8
高知	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4
福岡	15	15	17	17	17	17	21	24	24	24	24
佐賀	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
長崎	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
熊本	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7
大分	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
宮崎	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
鹿児島	10	11	12	12	12	12	12	12	12	13	13
沖縄	3	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6
（再掲）地域がん診療病院		21	28	34	36	46	45	46	45	41	61
（再掲）特定領域がん診療連携拠点病院		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
（再掲）地域がん診療連携拠点病院（特例型）							26	2	6	6	4
合計	409	422	427	434	437	437	447	451	453	456	461

Ⅱ. 2023 年全国集計 結果概要

1. 全登録数

がん診療連携拠点病院等 461 施設から 847,990 例、小児がん拠点（成人のがん診療連携拠点病院に指定されていない施設）6 施設から 595 例、拠点外病院 415 施設から 301,274 例、合計 882 施設から、1,149,859 例（全登録数）のデータ提供があった。表 2-1、図 2-1 に全登録数の推移を示した。がん診療連携拠点病院等について昨年と比較すると、5 施設増加した。施設別にみた全登録数の中央値は、がん診療連携拠点病院等が 1,628 例、最小 130 例、最大 9,371 例であった。付表 2-1 に、集計対象施設の集計対象数及び対前年増減率を示した（症例区分 80 を除く）。

2. 全登録数に関する注意点について

付表 2-2 に、施設別、症例区分別の全登録数を示した。本全国集計では、「Ⅱ 結果概要」ではこれまでと同様に、症例区分に関わらず全登録患者を対象に集計をし、「Ⅲ 結果詳細（診断情報）」では、「症例区分:80」を除いて集計をしている。2013 年全国集計の報告書から、地域がん診療病院（隣接する地域のがん診療連携拠点病院のグループとして指定され、拠点病院と連携しつつ、専門的ながん医療の提供、相談支援や情報提供などの役割を担う病院）と、特定領域がん診療連携拠点病院（特定のがん種について、都道府県内で最も多くの診療実績を持つ、がん診療連携拠点病院）が集計対象に含まれている。2016 年集計から特に表示がない場合は、国が指定するがん診療連携拠点病院等に加え、各都道府県から推薦された都道府県推薦病院を含めて集計し、さらに 2017 年集計より任意で院内がん登録全国集計に参加した施設を含めて集計している。また、2022 年集計からは、都道府県推薦病院と任意参加病院を併せて拠点外病院として依頼、集計した。症例区分:80 を除いた集計登録数は、がん診療連携拠点病院等で全登録数の 96.9%であり、2022 年診断例とほぼ同程度であった。症例区分 20 と 30 の割合は、がん診療連携拠点病院等で 80.0%と 2022 年診断例とほぼ同様であった。

表 2-1 全登録数

	がん診療連携拠点病院等				小児がん拠点				拠点外病院				全体
	2020	2021	2022	2023	2020	2021	2022	2023	2020	2021	2022	2023	2023
拠点病院数（調査時）	451	453	456	461	6	6	6	6	-	-	-	-	467
集計対象施設数	450	453	456	461	6	6	6	6	407	411	389	415	882
全登録数（集計対象）	764,378	809,527	826,050	847,990	701	627	572	595	275,300	289,710	277,202	301,274	1,149,859
男性	422,670	444,337	454,926	463,917	375	354	310	337	155,218	162,603	155,336	168,185	632,439
女性	341,708	365,190	371,124	384,073	326	273	262	258	120,082	127,107	121,866	133,089	517,420
上皮内癌等を含まない	670,593	708,106	723,778	742,568	487	490	435	432	240,945	252,516	241,983	261,993	1,004,993
1施設当たりの全登録数													
中央値	1,520	1,592	1,585	1,628	109	108	96	112	0	0	670	680	1,013
最小値	120	161	126	130	53	36	40	31	0	0	46	47	31
最大値	8,203	9,228	9,344	9,371	208	144	143	139	0	0	2,728	2,810	9,371
症例区分その他を除く集計登録数	742,253	786,551	801,452	821,957	662	606	555	573	270,574	284,115	272,111	295,655	1,118,185
（全登録数に占める割合）	(97.1)	(97.2)	(97.0)	(96.9)	(94.4)	(96.7)	(97.0)	(96.3)	(98.3)	(98.1)	(98.2)	(98.1)	(97.2)
自施設初回治療開始例のみ	612,554	652,568	661,614	678,642	546	492	464	467	204,473	214,547	204,393	221,762	900,871
（全登録数に占める割合）	(80.1)	(80.6)	(80.1)	(80.0)	(77.9)	(78.5)	(81.1)	(78.5)	(74.3)	(74.1)	(73.7)	(73.6)	(78.3)

※小児がん拠点病院は 20 歳以上を含む

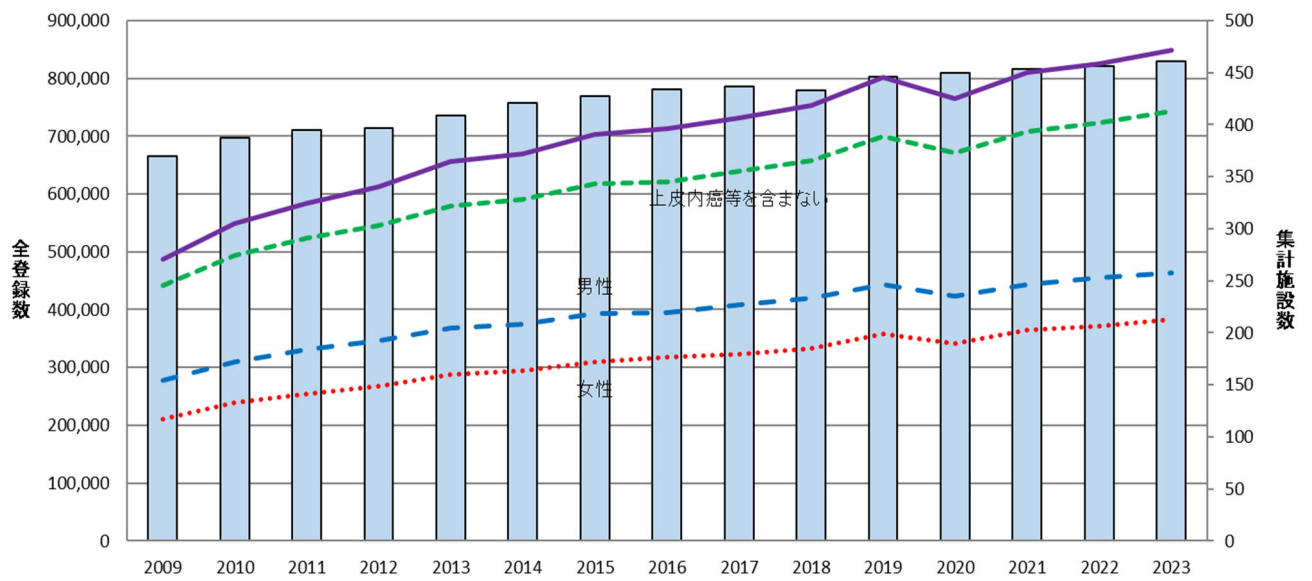


図 2-1 がん診療連携拠点病院等の全登録数の推移
(小児がん拠点病院及び非拠点病院を除く)

3. がん診療連携拠点病院等における 5 部位のがんの全登録数の推移

がん診療連携拠点病院等（小児がん拠点病院、拠点外病院を除く）における 5 部位のがん（胃、大腸、肝臓、肺、前立腺または乳房）について全登録数の推移を図 2-2、2-3 に示した。がん診療連携拠点病院等に指定された施設数は年々増加しているものの、2023 年は男女ともに肝臓はほぼ横ばいであるのに対し、特に男性では大腸、女性では乳房が増加傾向であった。

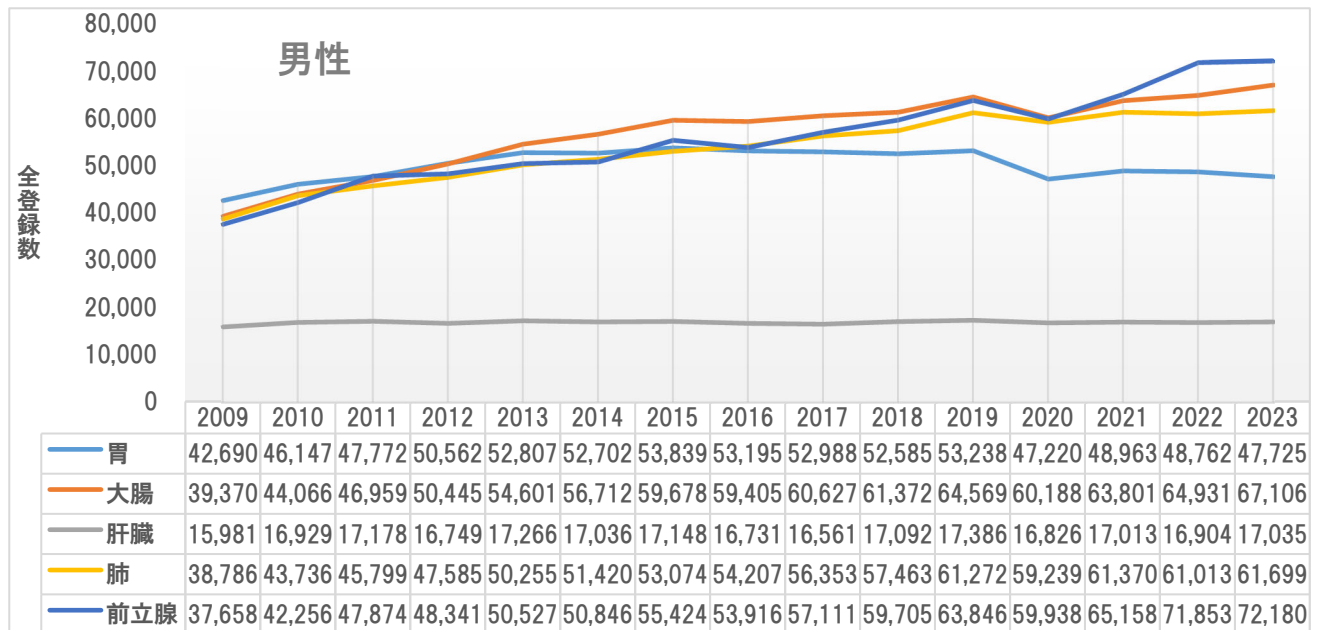


図 2-2 がん診療連携拠点病院等における 5 部位のがんの全登録数の推移

（上皮内がん等を含む、男女別、小児がん拠点病院 6 施設、拠点外病院を除く）

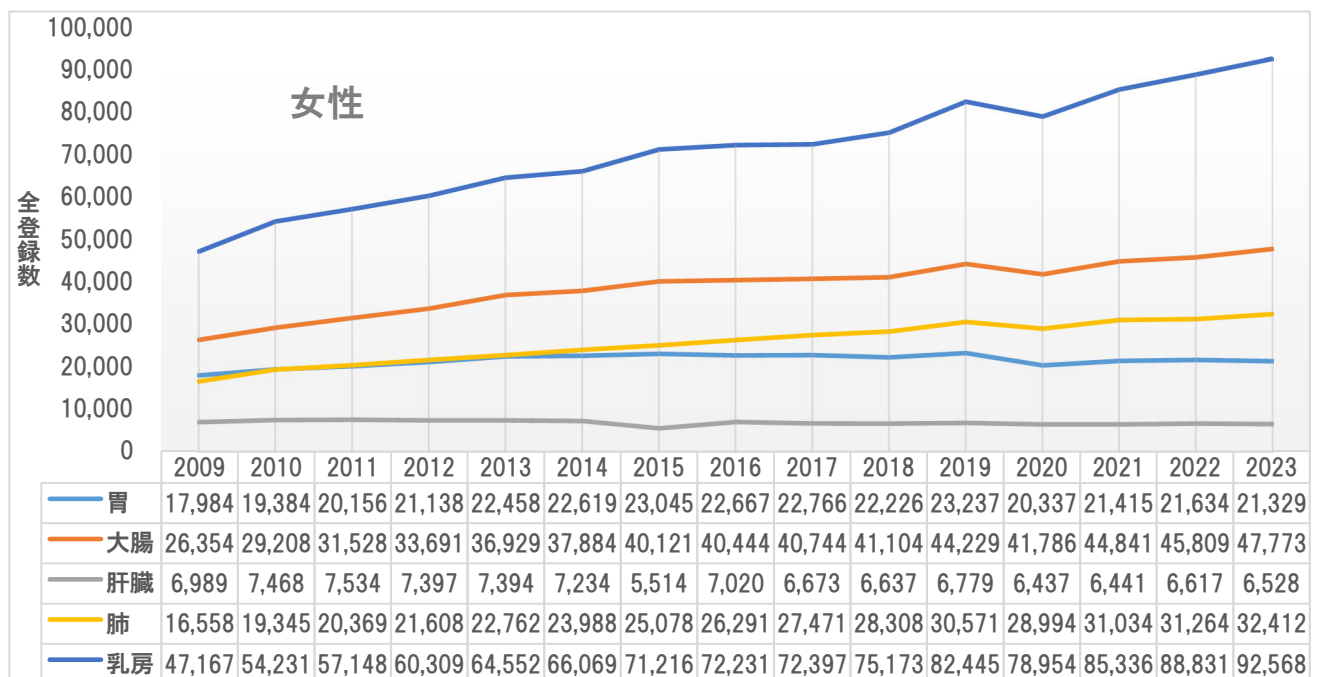


図 2-3 がん診療連携拠点病院等における 5 部位のがんの全登録数の推移

（上皮内がん等を含む、男女別、小児がん拠点病院 6 施設、拠点外病院を除く）

Ⅲ. 2023年全国集計 結果詳細（診断情報）：症例区分80を除いた集計

1. 上皮内がん等を含む/含まない

施設別、都道府県別の悪性新生物＜腫瘍＞、上皮内がん、良性腫瘍又は良悪性の別不詳の割合の分布を表 3-1-1～3 に示した。がん診療連携拠点病院等における悪性新生物＜腫瘍＞の割合、上皮内がんの割合は昨年度とほぼ同様であった。上皮内がんの平均登録割合は、全体、がん診療連携拠点病院等、拠点外病院とも10%程度であった。良性腫瘍又は良悪性の別不詳の登録が1例もない施設がある一方で、32.4%を占めた施設があり、これは拠点外病院であった。がん診療連携拠点病院等のみでみると、平均2.2%であり2022年診断例とほぼ同様であった。収集対象の良性腫瘍及び良悪性の別不詳の腫瘍としては頭蓋内腫瘍及びGIST（消化管 間質腫瘍）、卵巣の境界悪性腫瘍（一部）が含まれる。

表3-1-1 悪性新生物＜腫瘍＞の割合の分布：登録年別

施設別	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2021(全体)	87.6	4.4	87.6	56.3	85.5	89.9	100.0
成人拠点	87.5	2.9	87.5	76.0	85.9	89.2	96.7
県推薦	87.8	5.2	87.8	58.6	84.8	90.7	100.0
任意	88.2	5.4	88.6	67.2	86.2	91.1	100.0
2022(全体)	87.7	4.3	87.7	58.5	85.5	89.8	100.0
成人拠点	87.6	2.8	87.7	77.2	86.1	89.5	96.7
拠点外	87.9	5.2	87.8	58.5	85.0	90.7	100.0
2023(全体)	87.5	4.3	87.4	49.1	85.4	89.7	99.6
成人拠点	87.6	2.7	87.5	76.6	86.0	89.2	98.4
拠点外	87.5	4.9	87.3	67.0	84.6	90.6	99.6
都道府県別							
2021	87.5	1.0	87.6	85.4	86.7	88.1	89.4
2022	87.6	1.0	87.7	85.4	87.0	88.2	90.0
2023	87.5	1.0	87.4	85.2	86.9	88.1	90.2

表3-1-2 上皮内がんの割合の分布：登録年別

施設別	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2021(全体)	10.3	3.9	10.3	0.0	8.3	12.2	41.4
成人拠点	10.3	2.6	10.2	3.3	8.5	11.8	18.0
県推薦	10.6	4.8	10.5	0.0	7.8	13.3	41.4
任意	9.6	4.4	9.3	0.0	7.0	12.0	21.2
2022(全体)	10.2	3.7	10.2	0.0	8.1	12.3	23.7
成人拠点	10.2	2.5	10.1	3.1	8.5	11.9	17.8
拠点外	10.3	4.6	10.5	0.0	7.7	13.1	23.7
2023(全体)	10.4	3.7	10.4	0.0	8.4	12.4	25.6
成人拠点	10.3	2.4	10.2	1.6	8.7	11.8	18.2
拠点外	10.7	4.5	10.8	0.4	7.9	13.3	25.6
都道府県別							
2021	10.3	0.8	10.1	9.0	9.7	10.9	12.4
2022	10.2	0.8	10.1	8.2	9.6	10.7	12.1
2023	10.3	0.8	10.1	8.3	9.8	10.9	12.2

表3-1-3 良性腫瘍又は良悪性の別不詳の割合の分布：登録年別

施設別	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2021(全体)	2.1	2.8	1.6	0.0	0.7	2.7	43.8
成人拠点	2.2	1.5	2.1	0.0	1.2	3.0	10.7
県推薦	1.6	1.9	1.1	0.0	0.3	2.2	16.3
任意	2.2	4.1	1.0	0.0	0.2	2.7	31.4
2022(全体)	2.1	2.9	1.6	0.0	0.7	2.8	40.1
成人拠点	2.1	1.5	1.9	0.0	1.1	0.0	11.6
拠点外	1.7	2.8	1.2	0.0	0.3	2.4	40.1
2023(全体)	2.1	3.1	1.6	0.0	0.7	2.7	50.9
成人拠点	2.2	1.4	1.9	0.0	1.1	2.9	9.0
拠点外	1.8	2.5	1.2	0.0	0.3	2.3	32.4
都道府県別							
2021	2.3	0.4	2.3	1.4	1.9	2.5	3.3
2022	2.2	0.4	2.2	1.5	1.9	2.4	3.2
2023	2.2	0.4	2.2	1.4	1.9	2.5	3.1

2. 診断時住所

交通の利便や、医療機関の専門性を考慮すると、全ての患者が居住地と同一県内の拠点病院を受診するとは限らないため、登録患者の診断時住所と施設所在地との関係をここに示した。表3-2に、患者の診断時の居住地と登録されている拠点病院の所在地が同じであった割合の分布を示した。全体でみると居住する都道府県の病院で登録された患者の平均登録割合は93.6%であった。

2009年以降、居住する県の病院で登録された患者の割合はほとんど変化がない。

表 3-2 居住する県の病院で登録された患者の割合の分布：登録年別

	登録数	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
全体								
2021(全体)	1,071,272	93.7	5.0	95.0	77.1	91.0	97.6	99.5
成人拠点	786,551	93.2	5.5	95.1	75.1	91.2	97.0	99.4
県推薦	245,012	89.2	24.0	97.1	0.0	91.0	98.8	99.8
任意	39,103	36.9	47.4	83.1	0.0	0.0	97.1	99.8
2022(全体)	1,074,118	93.6	4.9	95.1	76.4	91.2	97.1	99.4
成人拠点	801,452	37.9	5.2	95.2	75.5	91.3	96.9	99.3
拠点外	272,111	92.3	15.0	96.4	0.0	92.0	98.2	99.6
2023(全体)	1,118,185	93.6	4.8	94.7	77.1	91.5	97.3	99.3
成人拠点	821,957	93.1	5.2	94.8	75.6	91.4	96.9	99.2
拠点外	295,655	91.8	16.2	96.4	0.0	91.6	98.3	99.6
20歳以上								
2021(全体)	1,066,321	93.8	5.0	95.0	77.2	91.1	97.6	99.5
成人拠点	782,706	93.2	5.5	95.1	75.2	91.4	97.0	99.4
県推薦	244,562	89.2	24.0	97.1	0.0	91.0	98.8	99.8
任意	39,048	52.2	47.4	83.1	0.0	0.0	97.1	99.8
2022(全体)	1,069,504	93.6	4.9	95.1	76.5	91.3	97.1	99.4
成人拠点	797,800	93.2	5.2	95.2	75.6	91.4	96.9	99.3
拠点外	271,692	92.3	15.0	96.4	0.0	92.0	98.2	99.6
2023(全体)	1,113,482	93.7	4.8	94.7	77.2	91.5	97.3	99.3
成人拠点	818,237	93.2	5.2	94.8	75.6	91.5	96.9	99.2
拠点外	295,227	91.8	16.2	96.4	0.0	91.6	98.3	99.6

3. 年齢

登録患者の年齢分布は、都道府県の人口構成分布や施設の所在地の人口構成、また高齢者もしくは若年者に多い特定のがんを多く診療している場合には偏った値になると考えられる。表 3-3-1に登録患者の平均年齢を、施設別、都道府県別、登録年別に示した。年齢の最小値が低いのは小児がん拠点病院を含めたためであり、がん診療連携拠点病院等でみると平均年齢の最小値は、62.3歳であった。図3-3-1、表 3-3-2に施設別にみた20歳未満の登録患者数の分布を示した。20歳未満の登録が1例もなかった施設は、2023年で363施設であった。図3-3-2、表 3-3-3に施設別にみた75歳以上の登録患者の割合の分布を登録年別に示した。75歳以上の患者の登録の占める割合は、拠点外病院が49.6%であった。

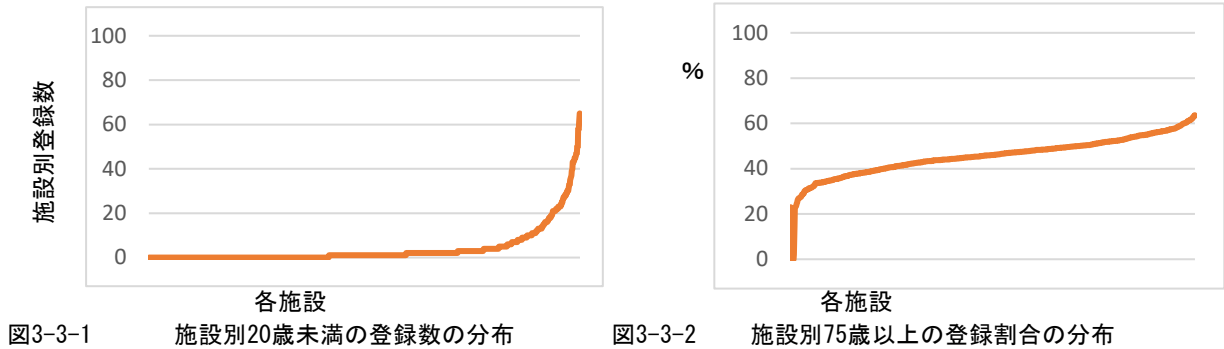


表3-3-1 登録患者の平均年齢：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2021(全体)	70.6	6.5	71.3	5.2	69.4	73.0	80.1
成人拠点	70.2	2.7	70.6	61.9	68.5	72.1	77.1
県推薦	71.9	4.6	72.2	12.5	70.5	73.9	80.1
任意	72.5	2.5	72.4	66.3	70.8	74.3	77.0
2022(全体)	70.9	6.6	71.6	5.5	69.8	73.3	81.4
成人拠点	70.6	2.7	71.0	62.1	69.1	72.3	78.2
拠点外	72.3	4.6	72.6	8.3	70.9	74.3	81.4
2023(全体)	71.1	6.4	71.9	5.1	69.8	73.5	81.0
成人拠点	70.8	2.7	71.2	62.3	69.1	72.6	79.2
拠点外	72.5	4.2	72.8	12.1	71.1	74.6	81.0
都道府県別							
2021	70.2	0.9	70.2	67.0	69.7	70.8	71.6
2022	70.5	0.9	70.6	67.3	70.1	71.0	71.9
2023	70.7	0.9	70.8	67.4	70.4	71.2	72.2

表3-3-2 施設別にみた20歳未満の登録患者数の分布：登録年別

	登録数	中央値	最小値	p25	p75	最大値	登録数0の施設数
2021(全体)	4951	1	0	0	4	139	333
成人拠点	3845	2	0	1	9	121	91
県推薦	450	0	0	0	1	39	193
任意	55	0	0	0	1	9	49
2022(全体)	4614	1	0	0	3	132	320
成人拠点	3652	2	0	1	9	126	101
拠点外	419	0	0	0	1	44	219
2023(全体)	4702	1	0	0	3	123	363
成人拠点	3720	2	0	1	9	120	103
拠点外	427	0	0	0	1	43	260

表3-3-3 施設別にみた75歳以上の登録患者の割合の分布：登録年別

	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2021(全体)	43.0	0.0	38.2	48.0	73.7
成人拠点	40.8	19.4	35.3	44.9	60.2
県推薦	45.5	0.0	41.7	50.4	73.7
任意	46.3	29.4	41.4	53.4	58.9
2022(全体)	44.6	0.0	39.6	49.4	81.4
成人拠点	42.4	21.4	36.9	46.2	62.1
拠点外	47.7	0.0	42.9	52.3	81.4
2023(全体)	46.2	0.0	40.7	51.2	74.0
成人拠点	44.2	22.6	38.3	48.2	69.8
拠点外	49.6	2.1	44.1	54.8	74.0

4. 症例区分

症例区分は、がん診療連携拠点病院が、がんの診断から再発治療までの一連の治療の流れの中で、主にどのような役割を担っているのかを推察するための項目の一つである。平成26年1月からは院内がん登録数（入院、外来は問わない自施設初回治療 例）年間500例以上が、がん診療連携拠点病院等の指定にあたり施設の診療実績を図る指標の一つとなっている。この条件は、従来症例区分20と30の件数に相当する。ここでは従来と比較するために、症例区分20、30の登録割合について提示する。

表3-4-1に症例区分20（自施設診断・自施設初回治療開始）と30（他施設診断・自施設初回治療開始）の登録患者の割合の分布を、施設別、都道府県別、登録年別に示した。図3-4には症例区分20と30の登録割合を施設別に図示した。また表3-4-2に症例区分40（初回治療終了後）の分布を示した。全体でみると施設別に見た症例区分20と30の登録割合の最大値は、100%であった。がん診療連携拠点病院等のみで見ると最小値は32.0%であった。また、症例区分40がなかった施設は、がん診療連携拠点病院等が0施設、拠点外病院が5施設であった。

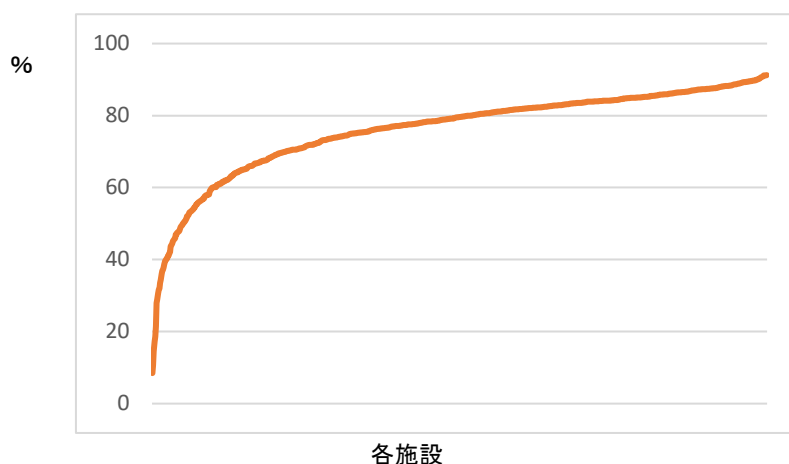


図3-4 施設別にみた症例区分20、30の登録割合

表3-4-1 症例区分20と30の登録患者の割合の分布：都道府県別、施設別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2021(全体)	76.9	12.2	80.5	15.1	72.7	85.0	94.7
成人拠点	81.0	8.3	82.8	40.7	78.1	86.4	94.7
県推薦	73.6	13.3	77.6	15.1	66.4	83.0	93.5
任意	66.4	16.4	71.6	15.6	53.5	77.4	92.9
2022(全体)	76.5	12.8	80.1	2.9	72.6	84.7	96.4
成人拠点	80.7	8.4	82.3	39.4	77.3	85.9	95.3
拠点外	71.5	15.1	75.7	2.9	65.8	81.8	96.4
2023(全体)	76.2	12.6	79.7	8.5	71.7	84.5	100.0
成人拠点	80.5	8.8	82.5	32.0	77.4	85.9	94.2
拠点外	71.4	14.4	75.3	8.5	65.2	81.5	94.5
都道府県別							
2021	81.2	3.0	81.5	72.4	79.4	82.6	85.7
2022	81.0	3.2	81.1	71.9	79.5	83.1	87.1
2023	80.8	3.0	81.0	71.8	78.9	82.6	86.4

院内がん登録全国集計
Ⅲ. 結果詳細（診断情報）

表3-4-2 症例区分40の登録患者の割合の分布：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値	症例区分40が 0の施設数
施設別								
2021(全体)	9.4	9.0	6.8	0.0	4.4	10.8	81.0	12
成人拠点	7.7	5.1	6.6	0.0	4.5	9.4	45.1	1
県推薦	10.7	11.1	6.9	0.0	4.2	13.5	81.0	9
任意	14.0	13.8	8.5	0.0	4.7	21.8	71.0	2
2022(全体)	9.6	9.4	7.1	0.0	4.5	11.1	81.1	7
成人拠点	7.9	5.1	6.8	0.0	4.7	10.1	49.2	1
拠点外	11.6	12.4	7.7	0.0	4.3	13.5	81.1	6
2023(全体)	9.9	9.6	7.0	0.0	4.5	11.3	78.5	6
成人拠点	8.0	5.4	6.6	0.3	4.5	10.0	49.1	0
拠点外	12.0	12.4	7.8	0.0	4.4	15.5	78.5	5
都道府県別								
2021	7.7	1.7	7.6	5.4	6.5	8.8	12.7	
2022	7.9	1.9	7.5	4.7	6.5	9.2	12.2	
2023	7.8	1.7	7.8	4.9	6.6	9.1	12.2	

表3-4-3 症例区分21と31の登録患者の割合の分布：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
症例区分21							
施設別							
2021(全体)	0.3	0.6	0.1	0.0	0.0	0.4	5.8
成人拠点	0.3	0.5	0.1	0.0	0.0	0.4	3.6
県推薦	0.3	0.7	0.1	0.0	0.0	0.4	5.8
任意	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3	2.9
2022(全体)	0.3	0.7	0.1	0.0	0.0	0.3	7.7
成人拠点	0.3	0.6	0.1	0.0	0.1	0.3	5.3
拠点外	0.3	0.7	0.1	0.0	0.0	0.4	7.7
2023(全体)	0.3	0.6	0.1	0.0	0.0	0.3	6.3
成人拠点	0.3	0.6	0.1	0.0	0.0	0.3	5.3
拠点外	0.3	0.7	0.1	0.0	0.0	0.3	6.3
都道府県別							
2021	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.4	1.0
2022	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	1.1
2023	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	1.0
症例区分31							
施設別							
2021(全体)	3.3	3.6	2.5	0.0	1.3	4.2	43.6
成人拠点	3.4	2.4	3.0	0.0	1.9	4.3	20.5
県推薦	2.8	3.5	1.8	0.0	0.9	3.3	40.9
任意	4.1	7.4	1.6	0.0	0.8	4.3	43.6
2022(全体)	3.4	3.6	2.5	0.0	1.3	4.3	42.9
成人拠点	3.5	2.5	2.9	0.0	1.8	4.5	19.3
拠点外	3.1	4.4	1.8	0.0	0.8	3.6	42.9
2023(全体)	3.2	3.5	2.4	0.0	1.3	4.1	51.5
成人拠点	3.4	2.4	2.9	0.0	1.8	4.3	20.2
拠点外	3.0	4.3	1.8	0.0	0.9	3.6	51.5
都道府県別							
2021	3.2	1.0	3.1	2.0	2.6	3.6	7.1
2022	3.4	1.0	3.2	1.8	2.7	3.6	6.6
2023	3.3	1.0	3.1	1.9	2.8	3.6	6.8

5. 来院経路

来院経路は、患者がどのような経路を経て自施設を受診したかを把握し、拠点病院が地域においてどのような機能を担っているのかを、他の医療機関との関係から推察するための項目である。来院経路では、がん検診・健康診断及び人間ドックは、検診機関からの紹介状を持った患者が受診した場合に適用され、次項の発見経緯のがん検診・健康診断・人間ドックの割合と比べて必ず小さな値となる。図3-5-1に、全登録数における来院経路別の割合を示した。

最も多いのは他施設からの紹介、次いで他疾患経過観察中で、この2区分で全体の90%を占める。この傾向は昨年とほぼ同様である。表3-5 に他施設からの紹介の登録患者割合の分布を施設別、都道府県別、登録年別に示した。図3-5-2には他施設からの紹介の登録患者の割合を施設別に図示した。平均値は、都道府県別には70%、施設別には約65%であった。2009年以降、施設別、都道府県別の他施設からの紹介の登録患者の分布には大きな変動は認められていない。

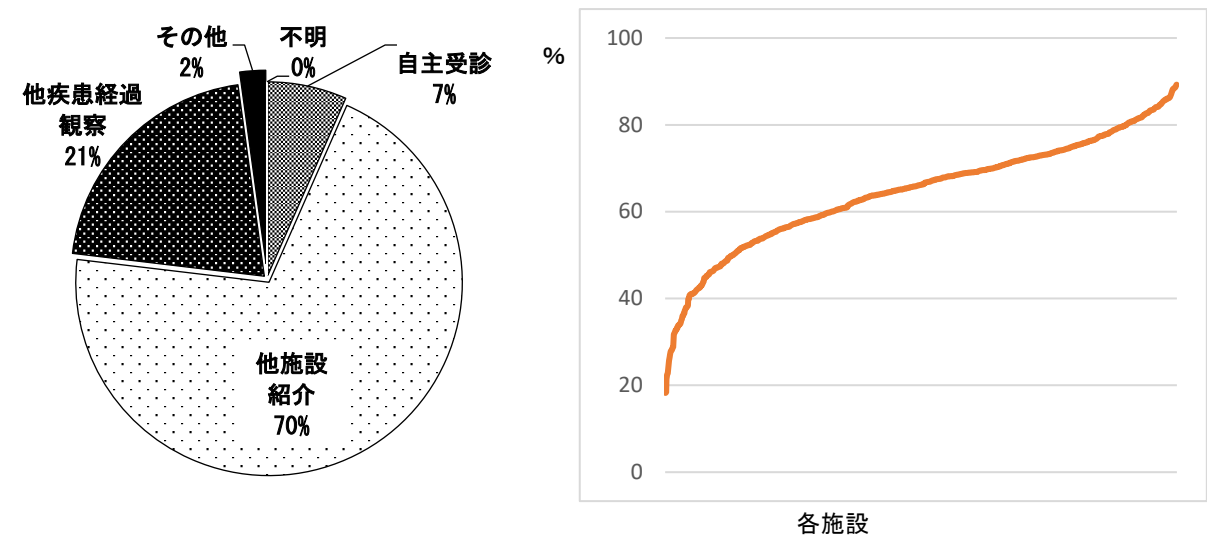


図3-5-1 来院経路別割合（全体）

図3-5-2 施設別にみた来院経路
他施設からの紹介の割合

表3-5 他施設からの紹介の登録患者の割合の分布：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2021(全体)	64.3	13.7	66.2	10.2	57.1	73.3	100.0
成人拠点	68.8	10.9	70.1	17.4	62.6	76.2	92.9
県推薦	59.7	14.0	61.8	10.2	51.5	68.4	97.7
任意	56.1	17.0	57.0	10.3	45.1	67.0	100.0
2022(全体)	64.7	13.8	66.5	12.3	57.0	73.6	99.4
成人拠点	69.1	10.9	70.1	12.3	63.6	75.8	91.9
拠点外	59.2	14.6	60.7	18.0	50.3	68.3	99.4
2023(全体)	64.9	13.3	66.5	18.2	57.2	73.7	99.9
成人拠点	69.6	10.7	70.4	27.0	64.4	76.4	92.4
拠点外	59.4	13.7	60.3	18.2	51.8	68.1	99.9
都道府県別							
2021	69.4	4.8	69.4	58.3	66.1	72.7	84.5
2022	69.8	4.7	70.0	56.9	66.8	73.0	85.5
2023	70.0	4.3	70.2	60.2	66.7	72.5	85.5

6. 発見経緯

発見経緯は、来院経路とは異なり、当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目である。「がん検診・健康診断・人間ドック」をまとめた割合は、症状受診前に発見された患者の指標の一つとなる。表3-6に、発見経緯「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者割合を、施設別、都道府県別、登録年別に示した。図3-6には発見経緯「がん検診・健康診断・人間ドック」の患者割合を施設別に図示した。施設別にみると「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者割合の最大値は、約36%であり、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例を多く見ている施設があった。

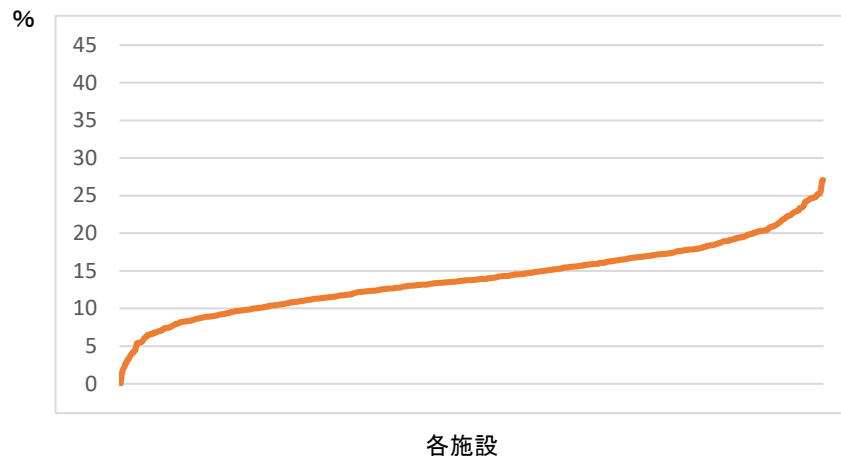


図3-6 施設別にみた発見経緯「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者の割合

表3-6 「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者の割合の分布：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2021(全体)	14.1	5.0	13.7	0.0	10.8	17.3	38.0
成人拠点	14.6	4.4	14.1	3.7	11.5	17.1	38.0
県推薦	13.9	5.5	13.4	0.0	9.8	17.7	35.0
任意	13.5	5.0	12.9	3.0	9.9	16.9	28.7
2022(全体)	14.2	5.1	13.8	0.0	11.0	17.4	39.2
成人拠点	14.6	4.5	14.0	3.7	11.6	17.3	39.2
拠点外	14.0	5.5	13.8	0.0	10.0	17.7	32.6
2023(全体)	14.2	4.9	13.8	0.0	10.9	17.1	36.3
成人拠点	14.5	4.4	14.0	2.7	11.7	16.9	31.5
拠点外	14.0	5.4	13.6	1.6	10.3	17.3	36.3
都道府県別							
2021	14.7	2.5	15.1	9.9	12.4	16.4	21.4
2022	14.9	2.5	15.3	10.0	12.6	16.9	20.6
2023	14.9	2.4	15.2	10.3	12.8	16.4	21.1

7. 部位別

表3-7-1に、登録上位11部位を示した。2009年以降大腸、肺、乳房、前立腺・胃が上位5部位を占めている。膵臓、悪性リンパ腫、膀胱、子宮頸部、食道、肝臓は、約3～4%で推移している。部位別の登録数を評価する際の注意点としては、2018年診断例からはSEER2018準拠で多重がんの登録が行われることになったが、ルールが適応されたばかりであり登録精度を検討する必要がある。なお、本集計では、これまでの集計との比較のため第一がん等に限ってはいない。また、2015年診断例までは膀胱がんのTisと Taは別のがんとして登録されてきたが、2016年診断例からは同一がんとして登録ルールが変更となっている。そして、これまで腎盂・尿管と膀胱のがんは別のがんとして登録されてきたが、2016年より腎盂・尿管・膀胱にあるがんは1つのがんとして登録されるようルールが変更となっている。表3-7-2にがん診療連携拠点病院における5部位のがん（胃、大腸、肝臓、肺、乳房）の登録割合を登録年別に示す。都道府県別に昨年度の登録割合と比較すると、5部位のがんの登録割合は50%程度で推移している。表3-7-3に、都道府県別の5部位のがんの登録割合の分布を登録年別に示した。都道府県別にみるとその登録割合は平均48.5%であった。表3-7-4に施設別にみた5部位のがん登録数の分布を登録年別に示した。

表3-7-1 集計登録数上位11部位

順位	2023年		2022年		2021年		2020年		2019年	
	全体	100%	全体	100%	全体	100%	全体	100%	全体	100%
1 大腸		15.0	1	14.7	1	14.8	1	14.8	1	14.9
2 肺		11.2	2	11.3	2	11.4	2	11.6	2	11.6
3 乳房		11.0	3	10.9	3	10.6	3	10.4	4	10.3
4 前立腺		8.7	5	8.9	5	8.2	5	7.9	5	8.1
5 胃		8.5	4	8.9	4	9.1	4	9.2	3	9.9
6 膵臓		4.1	6	4.0	6	3.9	6	4.0	6	3.8
7 悪性リンパ腫		3.7	7	3.7	8	3.8	8	3.8	7	3.6
8 膀胱		3.7	8	3.7	7	3.7	7	3.8	7	3.6
9 子宮頸部		3.1	9	3.2	9	3.4	9	3.3	9	3.3
10 食道		2.8	10	2.8	11	2.9	10	3.0	10	3.0
11 肝臓		2.7	11	2.9	10	2.9	11	3.0	-	0.0

表3-7-2 都道府県別にみた5部位のがんの登録割合

	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年
全体	48.4	48.5	48.8	48.9	49.6
北海道	50.9	50.3	50.0	50.8	51.1
青森	53.3	52.7	52.9	53.3	54.4
岩手	51.8	50.8	51.7	50.1	51.4
宮城	50.9	48.7	50.0	48.8	52.0
秋田	49.4	49.8	50.5	50.2	50.9
山形	49.0	48.7	48.7	50.3	50.6
福島	50.0	50.0	50.2	51.0	50.8
茨城	49.8	49.7	50.7	50.2	50.1
栃木	48.9	49.0	48.8	49.5	50.0
群馬	47.6	47.7	49.8	49.5	51.1
埼玉	48.5	48.9	49.7	49.5	50.1
千葉	47.8	47.8	48.1	48.4	49.3
東京	47.3	47.2	47.5	47.3	48.5
神奈川	47.0	47.8	48.6	47.9	48.6
新潟	50.4	50.9	49.6	50.7	51.3
富山	48.0	49.9	49.2	49.6	50.8
石川	52.0	53.1	52.1	51.6	51.6
福井	48.5	49.9	51.5	52.4	50.5
山梨	44.7	43.3	44.7	43.4	47.1
長野	45.0	45.5	46.0	46.5	46.7
岐阜	48.9	48.2	48.8	49.3	50.6
静岡	47.1	47.7	47.9	47.8	48.9
愛知	47.0	47.6	47.6	48.8	48.8
三重	48.9	49.0	48.9	48.9	49.5
滋賀	49.3	49.5	48.6	49.2	49.3
京都	48.0	48.7	48.3	49.7	50.5
大阪	49.4	49.6	49.9	50.8	51.0
兵庫	48.3	48.5	48.7	49.3	49.6
奈良	47.8	47.7	49.0	47.7	49.3
和歌山	48.0	48.2	47.5	48.4	49.7
鳥取	48.3	49.4	50.0	49.3	48.6
島根	49.9	49.0	49.4	48.9	50.7
岡山	48.0	48.5	48.1	47.8	48.8
広島	49.8	50.4	50.6	49.6	51.6
山口	48.9	48.8	49.1	49.1	49.3
徳島	50.2	48.9	50.9	49.0	48.5
香川	46.6	47.2	47.4	46.8	48.5
愛媛	49.9	49.6	50.4	51.2	51.0
高知	47.5	48.9	48.7	47.5	48.7

院内がん登録全国集計
Ⅲ. 結果詳細（診断情報）

福岡	48.1	47.5	47.9	48.4	49.0
佐賀	48.9	47.7	49.4	49.8	50.3
長崎	48.4	50.2	48.5	47.9	49.8
熊本	46.9	47.3	46.9	47.4	47.2
大分	46.4	44.0	46.8	47.4	47.5
宮崎	41.8	41.9	41.1	39.8	41.0
鹿児島	48.5	48.4	48.3	47.2	48.5
沖縄	47.7	47.2	48.5	47.3	0.0

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

表3-7-3 5部位のがんの登録割合の分布：都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2019	49.6	2.0	49.7	41.0	48.6	50.8	54.4
2020	48.9	2.2	49.1	39.8	47.9	50.1	53.3
2021	48.9	1.9	48.8	41.1	47.9	50.0	52.9
2022	48.5	2.0	48.7	41.9	47.7	49.7	53.1
2023	48.5	1.9	48.5	41.8	47.6	49.8	53.3

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

表3-7-4 施設別にみた5部位のがんの登録数の分布：登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
胃							
2021(全体)	112	87	94	0	54	149	894
成人拠点	151	97	135	10	93	189	894
都道府県推薦	74	46	66	0	43	98	356
任意	52	32	49	0	29	68	141
2022(全体)	112	89	93	0	52	149	931
成人拠点	150	99	135	9	90	186	931
拠点外	69	46	62	0	40	92	437
2023(全体)	108	83	91	0	51	142	802
成人拠点	145	92	130	2	88	183	802
拠点外	68	44	58	0	37	91	402
大腸							
2021(全体)	182	124	162	0	100	240	1,094
成人拠点	235	135	218	8	143	295	1,094
都道府県推薦	133	78	126	1	77	172	456
任意	98	55	93	9	59	126	262
2022(全体)	186	125	166	0	102	244	1,058
成人拠点	238	136	218	14	149	300	1,058
拠点外	127	76	117	0	73	171	492
2023(全体)	190	127	169	0	106	249	1,063
成人拠点	244	137	230	8	152	305	1,063
拠点外	134	80	125	0	73	177	556
肝							
2021(全体)	35	32	26	0	14	46	208
成人拠点	50	36	39	1	25	65	208
都道府県推薦	20	15	19	0	10	28	103
任意	16	12	14	0	7	21	60
2022(全体)	35	32	26	0	14	46	222
成人拠点	49	36	40	1	25	63	222
拠点外	20	15	16	0	8	25	98
2023(全体)	35	32	26	0	13	45	245
成人拠点	49	36	38	3	25	63	245
拠点外	19	16	17	0	9	25	142
肺							
2021(全体)	141	122	111	0	50	196	1,237
成人拠点	199	133	182	8	106	260	1,237
都道府県推薦	83	67	69	0	34	116	473
任意	60	49	40	2	23	86	206
2022(全体)	142	121	114	0	52	199	1,151
成人拠点	198	130	180	4	111	259	1,151
拠点外	80	67	66	0	30	110	483
2023(全体)	141	121	111	0	51	203	1,126
成人拠点	199	130	182	6	110	262	1,126
拠点外	80	68	65	0	29	109	466
乳							
2021(全体)	131	134	96	0	44	176	1,438
成人拠点	186	156	150	3	84	231	1,438
都道府県推薦	75	65	61	0	27	107	466
任意	57	59	43	2	23	71	399
2022(全体)	137	138	104	0	47	186	1,413
成人拠点	192	159	157	1	87	239	1,413
拠点外	75	67	58	0	26	107	328

院内がん登録全国集計
Ⅲ. 結果詳細（診断情報）

2023(全体)	139	138	106	0	46	186	1,344
成人拠点	198	158	165	2	91	245	1,344
拠点外	77	70	59	0	26	113	420

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

IV. 2023年全国集計 結果詳細(腫瘍情報)

各部位に発生した主に上皮性のがんを対象に治療前ステージ、術後病理学的ステージ、総合ステージ、治療方法等を集計した。2018年診断例より UICC TNM分類（第8版）準拠で登録されている。

集計対象は、以下の条件を満たす登録例である。

1. 症例区分 20 又は 30
(20:自施設診断・自施設初回治療開始、30:他施設診断・自施設初回治療開始)
2. 対象のがんの一覧については、「I. 全国集計調査方法」を参照
3. 術後病理学的ステージ別の集計では、上記1、2に加えて、「項目：外科的、鏡視下、内視鏡的治療の範囲」の結果の区分が手術なしではない例を対象とした。

<総合ステージについて>

病期は、患者の予後に影響を与える重要な要因である。本集計では、治療前のがんの状態をより正確に表す術後病理学的ステージを第一優先として用い、術後病理学的ステージが登録対象外、適応外や不詳の場合に治療前ステージを用いて、治療前のがんの状態を表す指標として総合ステージを算出した。

<治療方法の集計について>

2016 年診断例から標準登録様式の変更に伴い、自施設における外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法の施行日が登録されることとなった。本集計では、院内がん登録情報のデータ収集日が例年7月頃から開始されることを考慮し、対象例の観察期間を一定にするため、診断日（起算日）より5ヶ月（155日）を超えて実施された治療は、当該治療を未実施として集計を行なった。なお、2018年診断例より5ヶ月を超えて実施された治療についても登録することとされている。

がん治療において、初回治療が5 ヶ月以内に完結しない場合もあり、参考として5ヶ月を超えて登録されていた治療を含めた治療方法の集計も示した。

また、2019年診断例より放射線療法の定義が変更となり、腫瘍に対して放射線療法は行われた場合、その目的にかかわらず放射線療法ありとして登録される。

2016年標準登録様式より、他施設における外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法、その他の治療の有無が登録されることとなった。

がん治療においては、治療設備、患者の利便性など病院間で連携して治療がなされる場合もあることから、本集計では、他施設での実施の有無を加味し、当該腫瘍の治療方法の割合を算出した。

1. 胃がん（胃癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	99,812	861	97,304	86,907	83,280	95.8	850	64,457	74.2	844
2022	97,637	840	95,168	84,965	81,331	95.7	832	63,161	74.3	822
2023	97,739	873	95,137	84,605	80,758	95.5	867	62,289	73.6	856

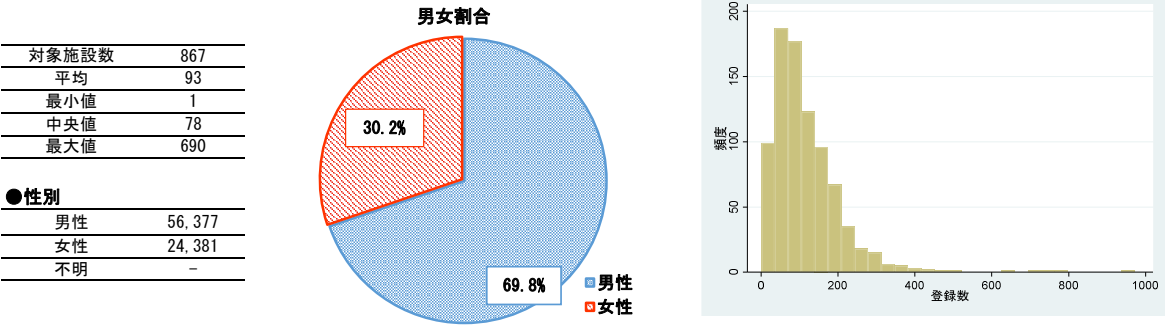
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は78で、最小登録数が1例、最大登録数が690例であった。

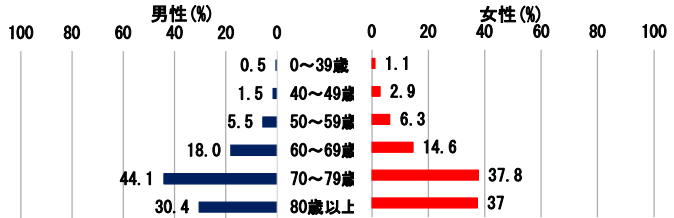


●性別

男性	56,377
女性	24,381
不明	-

●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	74.9	10.2	75.8
拠点	74.4	10.3	75.5
拠点外	76.1	10.1	76.7



●UICC TNM病期分布

表4-1-3より男女別にみると、男性はI期63.4%、IV期17.5%、女性はI期60.8%、IV期18.6%であり、女性の方がIV期の登録が若干多い傾向にあった。また女性では、男性と比較し若干80歳以上の年齢の高い登録数が多い傾向にあった。

表4-1-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	60.5	0.0	0.0	8.4	2.3	6.1	9.3	0.0	0.0	0.0	16.4	1.4	15.1	5.3	0.0	83,280
2022	60.9	0.0	0.0	8.3	2.2	6.1	9.0	0.0	0.0	0.0	16.2	1.4	14.8	5.5	0.0	81,331
2023	59.9	0.0	0.0	8.6	2.2	6.4	9.0	0.0	0.0	0.0	16.4	1.4	15.0	6.1	-	80,758

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	適用外等/術前治療後	不明	該当無	合計
2021	75.1	70.2	4.9	9.1	4.8	4.3	9.4	4.6	3.1	1.7	3.6	2.4	0.4	0.0	64,457
2022	75.8	71.0	4.7	8.7	4.7	4.0	9.2	4.6	3.0	1.6	3.5	2.5	0.4	-	63,161
2023	76.1	71.4	4.7	8.8	4.7	4.1	9.2	4.5	3.1	1.6	3.2	2.4	0.4	-	62,289

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

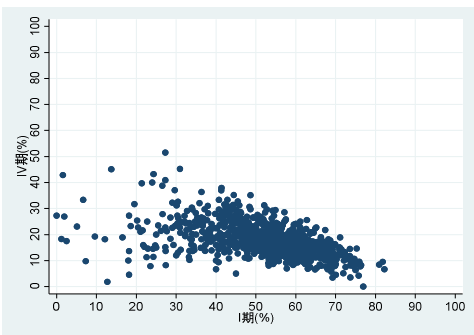
	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	62.2	54.4	3.8	8.5	4.2	4.3	9.5	3.6	2.4	1.3	18.0	1.0	14.2	1.9	0.0	83,280
2022	62.9	55.2	3.7	8.2	4.1	4.1	9.4	3.6	2.3	1.3	17.7	1.0	14.1	1.8	0.0	81,331
2023	62.6	55.1	3.6	8.2	4.0	4.2	9.4	3.5	2.4	1.2	17.8	1.0	14.3	2.0	0.0	80,758
男性	63.4	55.8	3.6	8.1	4.0	4.1	9.2	3.5	2.3	1.1	17.5	0.9	14.1	1.8	0.0	56,377
女性	60.8	53.5	3.5	8.4	3.9	4.5	9.7	3.5	2.5	1.4	18.6	1.2	14.7	2.4	0.0	24,381

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の797施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I期	57.5	7.4	48.6	17.7	66.3	92.9
II期	8.4	0.0	5.9	5.6	11.5	34.5
III期	8.7	0.0	6.1	5.9	12.0	29.2
IV期	17.0	2.1	12.8	8.9	21.7	61.9

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



1. 胃がん（胃癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-1-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	50,585 100.0	44,484 100.0	2,908 100.0	6,641 100.0	3,239 100.0	3,402 100.0	7,563 100.0	2,809 100.0	1,924 100.0	980 100.0	14,378 100.0	826 100.0	11,549 100.0	1,591 100.0
手術のみ	22.1	19.4	87.7	46.4	58.0	35.3	31.8	44.9	40.8	35.9	5.2	—	0.0	0.6
内視鏡のみ	66.5	75.2	1.4	0.2	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	3.9
手術＋内視鏡	3.6	3.8	5.2	1.0	1.5	0.5	0.2	0.4	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.1	0.0	0.0	0.6	0.4	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	2.4	3.8	2.7	2.6
薬物療法のみ	0.4	0.0	0.0	3.0	2.3	3.6	7.3	—	0.0	0.0	49.3	45.0	58.2	7.9
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	—	—	—	0.1	0.0	0.0	0.0	1.9	1.5	2.3	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.2	—	0.2	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.0	0.1	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.6	0.3	4.8	36.6	30.8	42.2	51.2	54.1	58.5	63.2	10.8	13.2	1.9	1.2
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.1	—	—	—	0.0	—	0.1	—	—	—	0.2	—	0.1	—
治療なし	6.5	1.2	0.9	11.8	6.5	16.8	8.2	—	—	—	29.9	35.2	34.6	82.8
（内訳）外科的治療	4.2	—	—	27.4	—	—	35.8	—	—	—	8.7	—	—	1.3
鏡視下治療	22.0	—	—	56.7	—	—	47.6	—	—	—	7.4	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	50,585 100.0	44,484 100.0	2,908 100.0	6,641 100.0	3,239 100.0	3,402 100.0	7,563 100.0	2,809 100.0	1,924 100.0	980 100.0	14,378 100.0	826 100.0	11,549 100.0	1,591 100.0
手術のみ	22.3	19.6	88.3	46.0	57.9	34.7	31.1	44.2	39.8	34.5	5.1	—	0.0	0.6
内視鏡のみ	67.0	75.8	1.0	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	3.9
手術＋内視鏡	4.0	4.2	5.6	1.0	1.6	0.5	0.2	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.1	0.0	0.0	0.6	0.4	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	2.4	3.8	2.7	2.6
薬物療法のみ	0.3	0.0	0.0	2.6	2.1	3.1	6.1	—	0.0	0.0	48.1	41.6	56.9	7.7
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	0.2	—	—	0.2	0.0	0.0	0.0	2.0	1.7	2.4	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	0.2	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.1	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.7	0.3	5.1	37.9	31.8	43.7	53.3	55.2	59.8	64.6	12.1	16.3	3.2	1.6
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.1	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.1	—	0.0	—	—	—	0.2	—	—	—	0.2	—	0.1	—
治療なし	5.4	0.0	—	11.4	6.1	16.5	8.0	0.0	0.0	0.0	29.7	35.1	34.5	82.5
（内訳）外科的治療	4.3	—	—	27.6	—	—	36.5	—	—	—	9.3	—	—	1.4
鏡視下治療	22.6	—	—	57.4	—	—	48.4	—	—	—	8.1	—	—	0.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	50,585 100.0	44,484 100.0	2,908 100.0	6,641 100.0	3,239 100.0	3,402 100.0	7,563 100.0	2,809 100.0	1,924 100.0	980 100.0	14,378 100.0	826 100.0	11,549 100.0	1,591 100.0
手術のみ	22.3	19.6	88.2	45.7	57.6	34.3	30.6	43.5	39.1	33.8	5.0	—	0.0	0.7
内視鏡のみ	66.8	75.7	1.0	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	3.9
手術＋内視鏡	4.1	4.3	5.6	1.0	1.5	0.5	0.2	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.1	0.0	0.0	0.6	0.4	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	2.4	3.8	2.7	2.6
薬物療法のみ	0.3	0.0	0.0	2.6	2.1	3.1	6.0	—	0.0	0.0	47.9	41.2	56.7	7.7
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	0.2	—	—	0.2	0.0	0.0	0.0	2.1	1.8	2.5	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	—	0.3	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.1	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.7	0.3	5.1	38.1	32.0	43.9	53.9	55.8	60.4	65.3	12.2	16.7	3.2	1.6
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.1	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.1	—	—	0.2	—	—	0.2	—	—	—	0.2	—	0.2	—
治療なし	5.4	0.0	—	11.4	6.1	16.5	7.9	0.0	0.0	0.0	29.6	35.1	34.4	82.4
（内訳）外科的治療	4.4	—	—	27.7	—	—	36.5	—	—	—	9.3	—	—	1.5
鏡視下治療	22.7	—	—	57.4	—	—	48.4	—	—	—	8.1	—	—	0.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhor-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-1-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
（2021年-2023年）

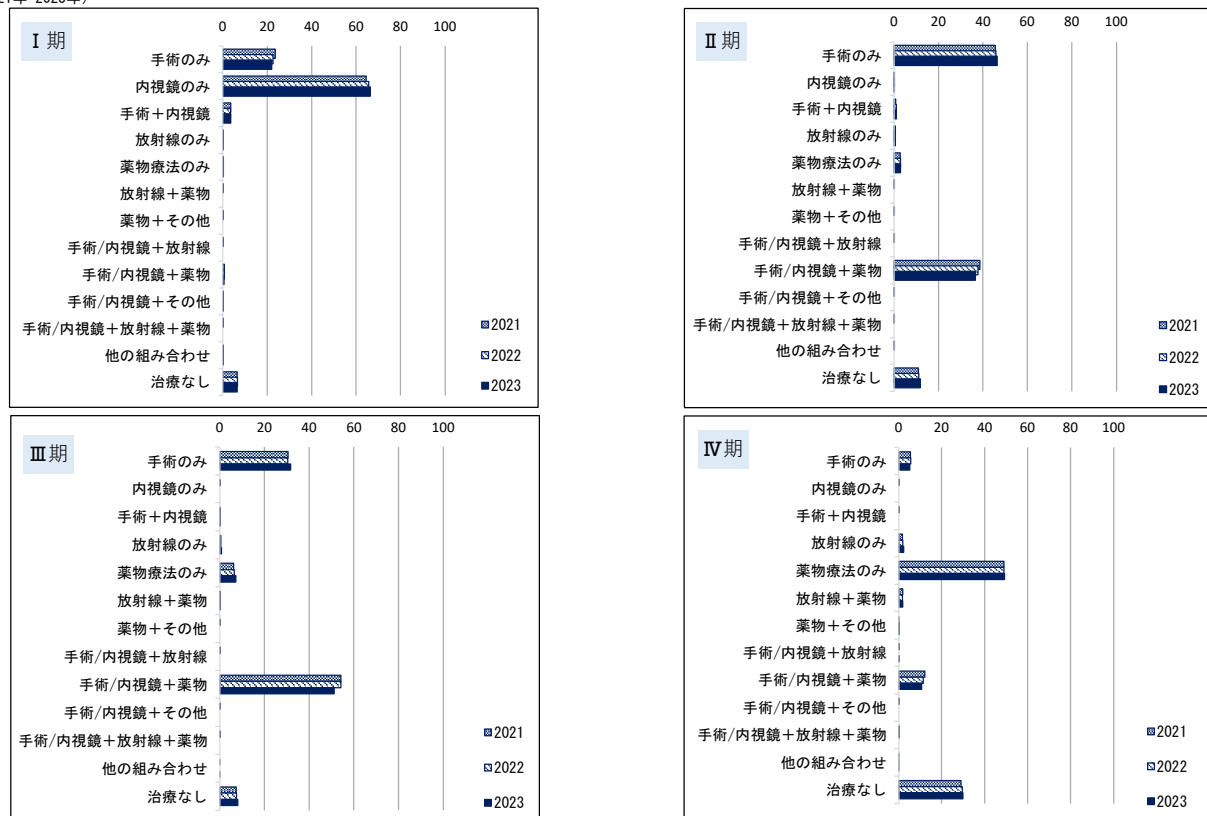
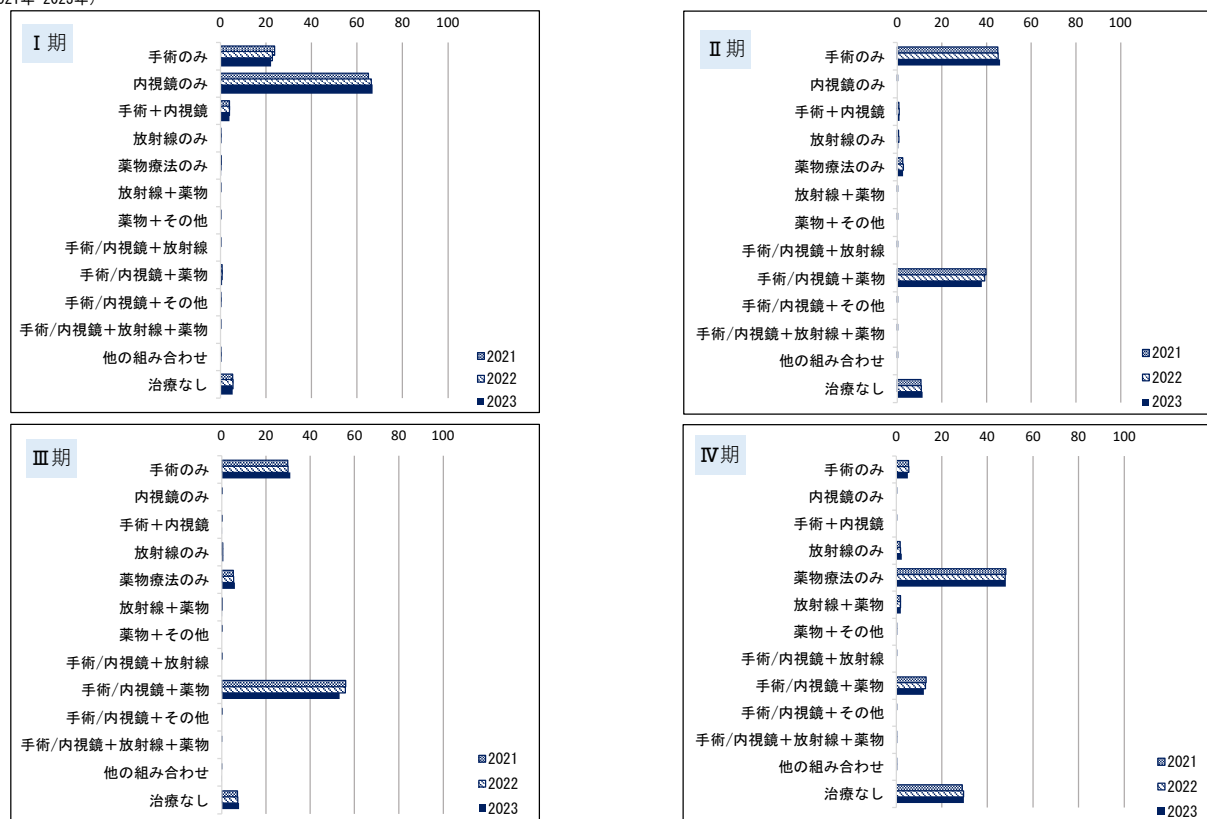


図4-1-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療）
（2021年-2023年）



2. 大腸がん（大腸癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	161,363	866	158,645	140,335	136,249	97.1	855	118,893	84.7	849
2022	160,861	844	157,900	139,235	134,374	96.5	834	116,669	83.8	831
2023	170,993	877	167,835	147,314	142,027	96.4	871	122,879	83.4	867

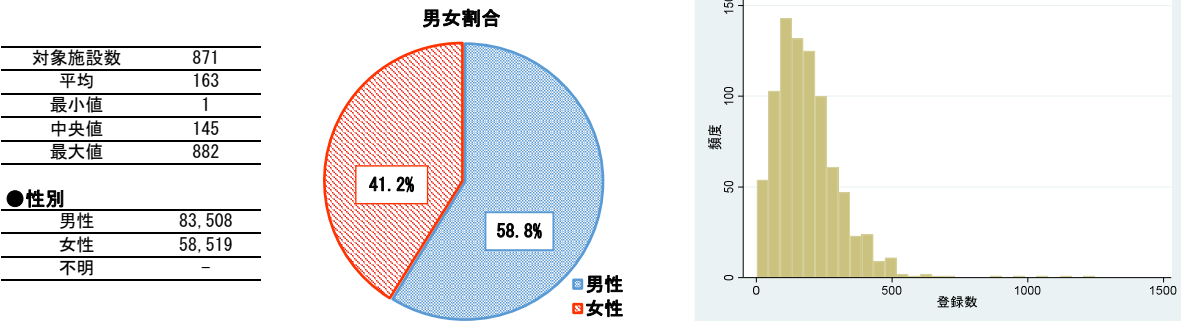
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は145例で、最小登録数が1例、最大登録数が882例であった。

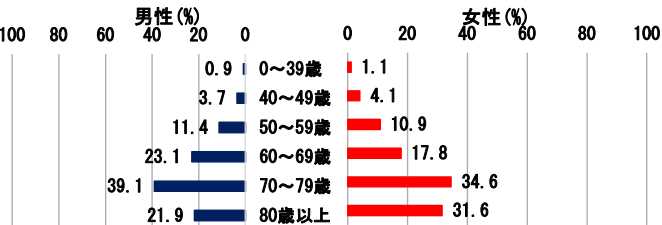


●性別

対象施設数	871
平均	163
最小値	1
中央値	145
最大値	882

●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	72.0	11.7	73.6
拠点	71.5	11.7	73.3
拠点外	72.9	11.6	74.3



●UICC TNM病期分布

治療前ステージ別の登録数では不明が19%程度と多いが、大腸では手術を受けて病期等が確定される場合が少なくないため、ほかの部位よりも治療前ステージ別と総合ステージ別の登録数の割合に変動がある。

表4-2①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	潜伏期	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIV期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIV期	IVA	IVB	IVC	不明	該当無	合計
2021		13.1	18.8	15.0	12.0	2.2	0.8	20.1	1.8	13.7	4.5	14.2	7.6	3.5	3.0	18.8	0.0	136,249
2022		13.2	18.8	15.2	12.2	2.2	0.9	20.0	1.7	13.7	4.5	14.0	7.5	3.4	2.9	18.7	-	134,374
2023		13.0	18.5	15.3	12.3	2.2	0.9	20.0	1.6	13.7	4.6	14.2	7.4	3.5	3.1	19.0	0.0	142,027

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIV期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIV期	IVA	IVB	IVC	適用外等	不明	その他	合計
2021	30.4	20.7	19.8	16.3	2.5	1.1	18.6	2.3	12.8	3.4	7.2	4.2	1.1	1.9	3.0	0.3	0.0	118,893
2022	30.7	20.5	20.1	16.6	2.4	1.1	18.3	2.3	12.6	3.5	7.0	4.1	1.0	1.8	3.1	0.3	-	116,669
2023	30.8	20.5	20.1	16.5	2.4	1.1	18.3	2.4	12.5	3.4	6.9	4.0	1.0	1.8	3.2	0.3	0.0	122,879

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

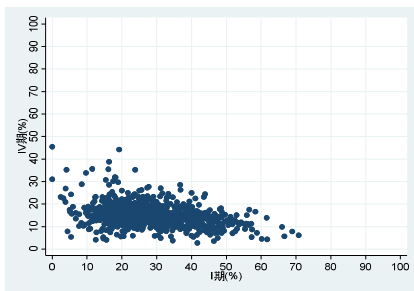
	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIV期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIV期	IVA	IVB	IVC	不明	その他	合計
2021	26.6	19.3	18.9	15.2	2.4	1.3	19.0	2.2	12.6	4.1	14.9	7.5	3.5	3.8	1.3	0.0	136,249
2022	26.8	19.1	19.1	15.4	2.4	1.3	18.9	2.2	12.4	4.3	14.8	7.5	3.4	3.8	1.3	0.0	134,374
2023	26.7	19.0	19.1	15.4	2.3	1.4	18.9	2.2	12.4	4.3	14.9	7.4	3.5	3.9	1.3	0.0	142,027
男性	29.1	19.4	18.1	14.9	2.1	1.2	17.7	2.0	11.6	4.1	14.5	7.5	3.4	3.4	1.2	0.0	83,508
女性	23.3	18.5	20.5	16.1	2.7	1.6	20.6	2.5	13.5	4.5	15.5	7.2	3.5	4.6	1.5	0.0	58,519

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の844施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	8.8	0.0	3.6	14.1	17.7	63.9
I期	17.5	2.0	14.3	7.5	21.8	58.1
II期	15.2	0.0	11.4	7.9	19.3	42.5
IIIA期	20.0	0.0	15.5	9.1	24.6	50.0
IIIV期	14.2	2.6	11.7	5.2	16.9	46.4

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



2. 大腸がん（大腸癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-2①-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IV期	IIVA期	IIVB期	IIVC期	不明
全体	37,952 100.0	27,020 100.0	27,133 100.0	21,865 100.0	3,313 100.0	1,940 100.0	26,848 100.0	3,178 100.0	17,551 100.0	6,046 100.0	21,164 100.0	10,489 100.0	4,912 100.0	5,537 100.0	1,910 100.0
手術のみ	7.2	53.0	72.2	76.5	60.6	43.1	35.3	30.9	38.9	27.4	15.0	19.0	7.8	14.1	3.5
内視鏡のみ	91.5	26.4	0.1	0.1	0.0	—	0.1	0.9	—	—	0.1	0.1	—	—	8.1
手術＋内視鏡	0.4	12.1	0.4	0.5	—	—	0.8	4.5	0.3	—	0.1	—	—	—	—
放射線のみ	—	0.2	0.4	0.3	0.3	1.2	0.4	—	0.4	0.8	1.0	0.8	2.2	0.5	2.5
薬物療法のみ	—	0.6	1.2	0.5	1.1	8.5	3.3	0.9	1.7	9.3	31.6	27.4	43.5	28.8	5.5
放射線＋薬物	0.0	0.4	1.2	1.1	0.8	3.1	2.8	1.0	2.5	4.5	1.9	2.1	2.5	0.8	0.8
薬物＋その他	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—	—	0.2	0.2	0.4	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.1	0.2	0.1	—	0.6	0.3	—	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.3	18.4	15.9	28.7	28.9	49.4	54.8	49.5	46.6	26.5	30.3	18.5	27.0	2.0
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.1	0.1	—	—	0.1	—	—	—	—	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.2	0.9	0.8	1.0	2.0	2.4	1.1	2.2	3.7	0.8	1.2	0.6	0.2	—
他の組み合わせ	—	—	0.1	0.1	—	—	0.1	—	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2	—
治療なし	0.6	5.6	5.0	4.0	6.9	12.1	4.9	5.3	4.0	6.7	22.2	18.1	24.0	28.0	76.2
（内訳）外科的治療	0.0	0.0	0.0	—	—	—	15.2	—	—	—	14.0	—	—	—	100.0
鏡視下治療	100.0	100.0	100.0	—	—	—	73.0	—	—	—	28.8	—	—	—	100.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IV期	IIVA期	IIVB期	IIVC期	不明
全体	37,952 100.0	27,020 100.0	27,133 100.0	21,865 100.0	3,313 100.0	1,940 100.0	26,848 100.0	3,178 100.0	17,551 100.0	6,046 100.0	21,164 100.0	10,489 100.0	4,912 100.0	5,537 100.0	1,910 100.0
手術のみ	7.3	53.4	72.2	76.6	60.5	42.8	34.9	30.5	38.6	26.9	14.5	18.1	7.5	13.9	3.5
内視鏡のみ	91.8	25.9	0.1	0.1	0.0	—	0.1	0.5	—	—	0.1	0.1	—	—	8.1
手術＋内視鏡	0.4	12.7	0.4	0.5	—	—	0.7	3.9	0.3	—	0.0	—	—	—	—
放射線のみ	—	0.2	0.3	0.3	0.3	1.2	0.4	—	0.3	0.7	1.0	0.7	2.2	0.5	2.6
薬物療法のみ	—	0.5	0.8	0.4	0.5	6.1	2.0	0.5	1.0	5.9	29.7	24.7	42.1	27.9	5.2
放射線＋薬物	0.0	0.3	0.8	0.7	0.5	2.3	1.7	0.7	1.4	2.7	1.6	1.5	2.5	0.8	0.7
薬物＋その他	0.0	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.2	0.2	0.3	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.1	0.1	0.1	—	0.5	0.3	—	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.4	18.9	16.2	29.4	31.5	51.4	57.0	50.8	50.3	28.9	33.9	19.8	28.1	2.5
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.1	0.1	—	—	0.1	—	—	—	—	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.3	1.4	1.3	1.3	3.0	3.7	1.5	3.4	5.9	1.3	2.0	1.0	0.3	0.5
他の組み合わせ	—	—	0.1	0.1	—	—	0.1	—	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2	—
治療なし	0.2	5.1	4.7	3.8	6.8	12.1	4.6	4.8	3.7	6.5	22.1	18.0	23.9	28.0	76.0
（内訳）外科的治療	0.0	0.0	18.1	—	—	—	0.0	—	—	—	15.1	—	—	—	3.7
鏡視下治療	100.0	100.0	75.1	—	—	—	100.0	—	—	—	30.0	—	—	—	2.9

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IV期	IIVA期	IIVB期	IIVC期	不明
全体	37,952 100.0	27,020 100.0	27,133 100.0	21,865 100.0	3,313 100.0	1,940 100.0	26,848 100.0	3,178 100.0	17,551 100.0	6,046 100.0	21,164 100.0	10,489 100.0	4,912 100.0	5,537 100.0	1,910 100.0
手術のみ	7.3	53.4	72.0	76.4	60.1	42.6	34.4	29.9	38.0	26.4	14.1	17.6	7.2	13.5	3.6
内視鏡のみ	91.7	25.6	0.1	0.1	0.0	—	0.1	0.5	—	—	0.1	0.1	—	—	8.0
手術＋内視鏡	0.4	12.9	0.4	0.5	0.3	—	0.6	3.8	0.2	—	0.0	—	—	—	—
放射線のみ	—	0.2	0.3	0.3	—	1.2	0.4	—	0.3	0.7	1.0	0.7	2.2	0.5	2.3
薬物療法のみ	—	0.5	0.8	0.3	0.5	6.1	2.0	0.5	0.9	5.7	29.6	24.6	41.9	27.9	5.3
放射線＋薬物	0.0	0.3	0.8	0.7	0.5	2.3	1.7	0.7	1.5	2.8	1.6	1.6	2.6	0.9	0.8
薬物＋その他	0.0	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.2	0.2	0.4	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.1	0.2	0.1	—	0.5	0.3	—	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.4	19.1	16.4	29.7	31.7	51.8	57.8	51.2	51.0	29.2	34.2	20.2	28.4	2.4
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	0.1	0.1	—	—	0.1	—	0.1	—	—	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.3	1.5	1.3	1.5	3.2	3.9	1.6	3.5	6.0	1.4	2.1	1.0	0.3	0.7
他の組み合わせ	0.0	—	0.1	0.1	—	—	0.2	—	0.1	0.2	0.4	0.5	0.3	0.3	—
治療なし	0.2	5.1	4.7	3.7	6.8	12.1	4.6	4.8	3.7	6.5	22.1	17.9	23.8	27.9	75.8
（内訳）外科的治療	1.3	6.1	18.1	—	—	—	15.7	—	—	—	15.2	—	—	—	3.9
鏡視下治療	6.5	61.9	75.1	—	—	—	75.4	—	—	—	30.0	—	—	—	3.2

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.gan.joho.jp/hbcrtables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-2①-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2021年-2023年)

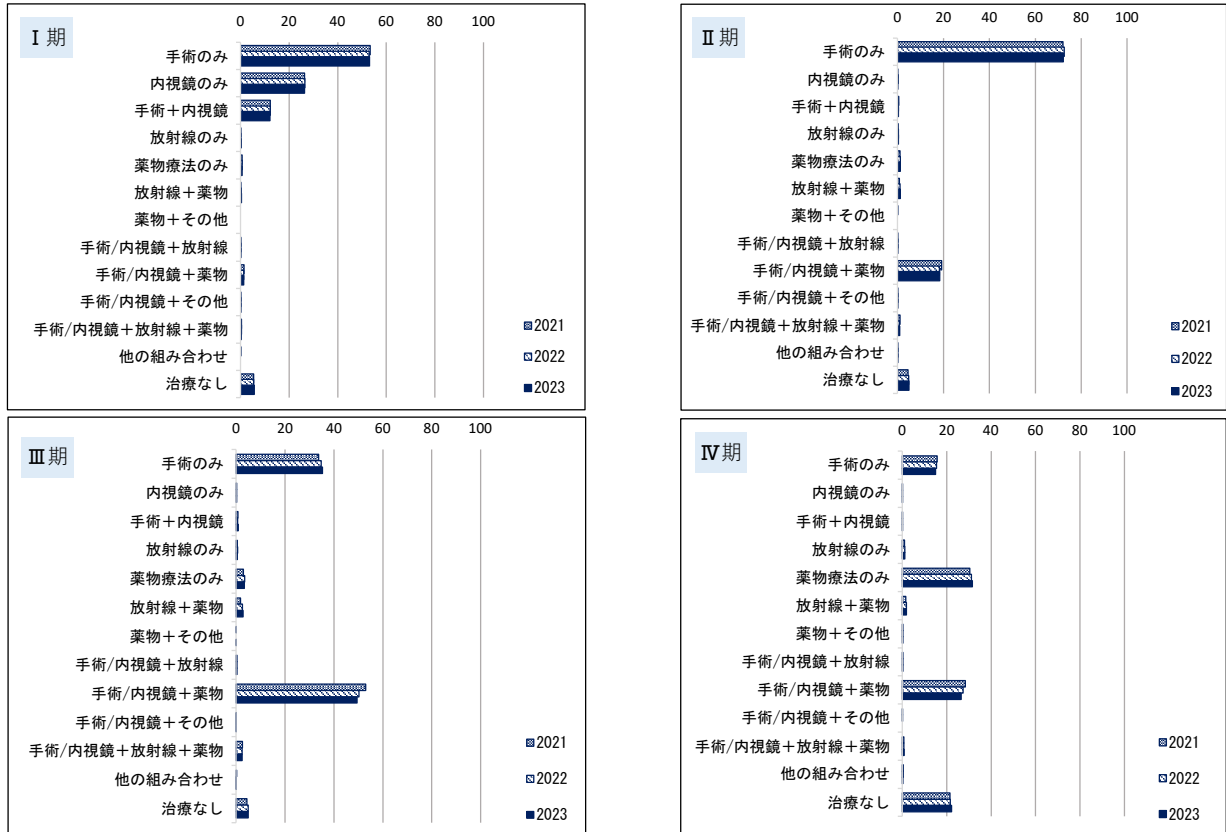
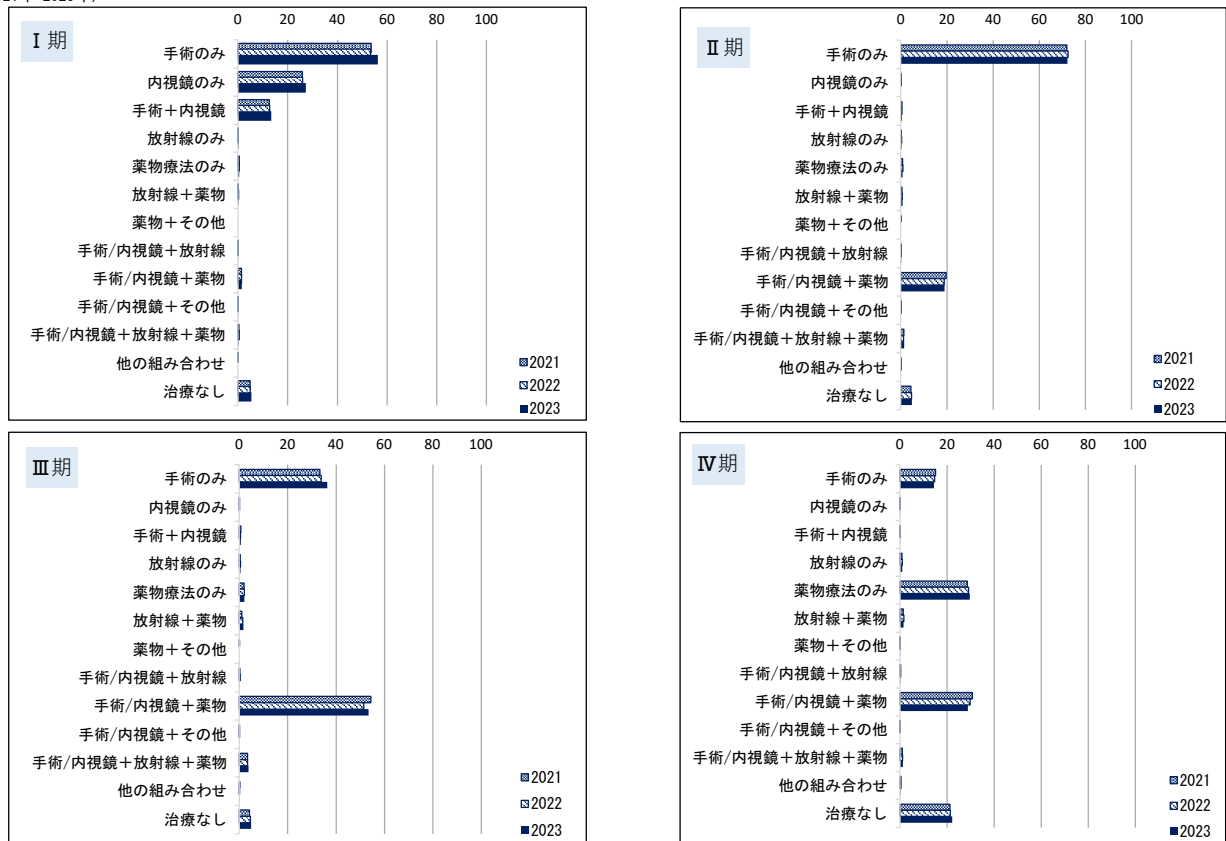


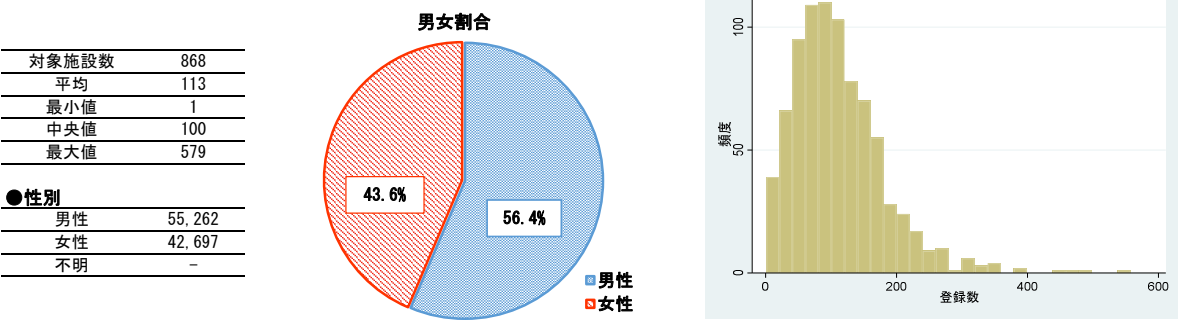
図4-2①-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2021年-2023年)



結腸がん（結腸癌）

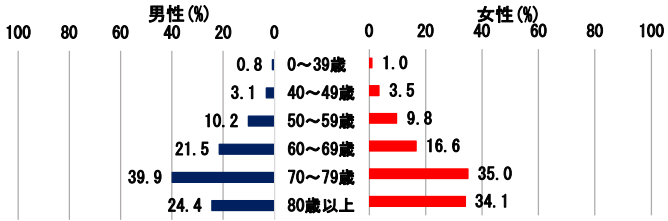
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数を見ると、1施設当たりの登録数の中央値は100例で、最小登録数が1例、最大登録数が579例であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	72.9	11.5	74.4
拠点	72.5	11.5	74.2
拠点外	73.6	11.5	75.0



●UICC TNM病期分布

治療前ステージ別の登録数では不明が21%と多いが、手術を受けて病期等が確定される場合が少なくないため、ほかの部位よりも治療前ステージ別と総合ステージ別の登録数の割合に変動がある。

表4-2②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明	該当無	合計
2021	14.0	18.3	14.5	11.4	2.4	0.7	18.7	1.6	12.8	4.2	13.7	7.0	3.0	3.5	20.8	0.0	93,841
2022	14.1	18.4	14.8	11.6	2.4	0.8	18.7	1.5	13.0	4.1	13.4	6.9	2.9	3.4	20.6	-	92,570
2023	13.9	18.0	14.8	11.6	2.3	0.8	18.7	1.5	12.9	4.3	13.6	6.8	3.0	3.6	21.0	-	97,959

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	適用外等	不明	その他	合計
2021	32.6	19.9	20.8	16.8	2.8	1.2	17.8	1.9	12.5	3.4	7.6	4.2	1.1	2.3	1.0	0.3	0.0	82,942
2022	32.7	20.0	21.2	17.2	2.8	1.2	17.5	1.8	12.2	3.5	7.3	4.0	1.0	2.2	1.1	0.3	-	81,623
2023	32.9	19.7	21.1	17.2	2.7	1.2	17.6	2.0	12.3	3.4	7.2	4.0	1.0	2.2	1.2	0.3	-	86,126

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明	その他	合計
2021	29.0	18.7	19.5	15.5	2.6	1.4	17.0	1.8	11.6	3.6	14.5	6.9	3.0	4.5	1.3	0.0	93,841
2022	28.9	18.8	19.8	15.8	2.6	1.4	16.9	1.8	11.4	3.7	14.3	6.8	2.9	4.4	1.3	0.0	92,570
2023	29.0	18.5	19.7	15.7	2.6	1.4	16.9	1.8	11.4	3.6	14.4	6.8	3.0	4.5	1.4	0.0	97,959
男性	32.8	18.9	18.4	14.9	2.3	1.2	15.2	1.7	10.2	3.3	13.5	6.6	2.8	3.9	1.2	0.0	55,262
女性	24.2	17.9	21.4	16.8	3.0	1.6	19.2	2.1	13.0	4.1	15.6	7.0	3.1	5.3	1.6	0.0	42,697

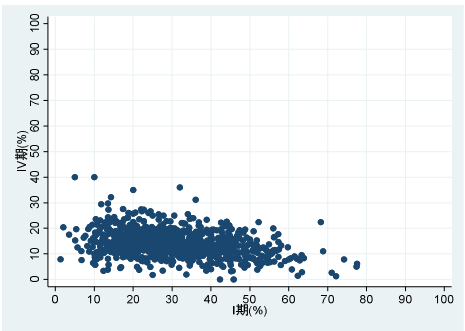
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

(対象例20例以上の828施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	9.0	0.0	3.1	15.2	18.3	68.2
I期	17.3	0.0	13.3	8.4	21.7	50.0
II期	14.5	0.0	10.5	8.4	18.9	44.3
III期	19.2	0.0	14.3	9.2	23.5	50.0
IV期	13.5	2.2	10.9	5.9	16.8	34.4

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



結腸がん（結腸癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-2②-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIIA	IIIIIB	IIIIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	28,424 100.0	18,103 100.0	19,323 100.0	15,426 100.0	2,544 100.0	1,346 100.0	16,597 100.0	1,809 100.0	11,176 100.0	3,570 100.0	14,147 100.0	6,652 100.0	2,905 100.0	4,437 100.0	1,365 100.0
手術のみ	7.6	50.9	75.4	79.6	64.0	48.9	40.1	31.3	43.7	33.6	16.5	21.2	8.8	14.6	3.9
内視鏡のみ	91.1	28.6	0.1	0.1	0.0	—	0.2	1.0	—	—	0.1	—	0.0	—	9.1
手術＋内視鏡	0.4	12.7	0.4	0.5	—	0.0	0.8	5.0	0.3	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.6	0.3	1.9	0.3	—
薬物療法のみ	—	0.5	0.8	0.3	0.6	7.6	2.1	—	0.7	7.3	28.6	24.7	39.2	27.5	4.7
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	0.6	—	1.7	0.7	—
薬物＋その他	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.1	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—	0.2	0.2	0.4	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.2	18.3	15.4	28.4	32.5	51.2	55.4	50.8	51.0	28.4	32.2	21.1	28.0	1.5
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	0.1	—	—	—	0.1	—	—	—	—	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.3	0.2	0.5	—	0.0
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	0.0	0.1	—	—	—	0.3	0.4	—	—	—
治療なし	0.6	5.9	4.7	3.9	6.5	10.4	5.3	6.5	4.3	6.9	24.1	20.3	26.1	28.3	79.8
（内訳）外科的治療	1.4	6.6	20.7	—	—	—	19.1	—	—	—	16.8	—	—	—	3.6
鏡視下治療	6.7	58.2	73.6	—	—	—	73.2	—	—	—	28.8	—	—	—	2.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIIA	IIIIIB	IIIIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	28,424 100.0	18,103 100.0	19,323 100.0	15,426 100.0	2,544 100.0	1,346 100.0	16,597 100.0	1,809 100.0	11,176 100.0	3,570 100.0	14,147 100.0	6,652 100.0	2,905 100.0	4,437 100.0	1,365 100.0
手術のみ	7.7	51.3	75.5	79.8	63.8	48.4	39.7	31.1	43.3	33.1	16.1	20.4	8.7	14.5	3.8
内視鏡のみ	91.4	28.1	0.1	0.1	0.0	—	0.1	0.7	—	—	0.1	—	0.0	—	9.0
手術＋内視鏡	0.4	13.4	0.5	0.5	—	0.0	0.7	4.5	0.3	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	0.3	1.9	0.3	—
薬物療法のみ	—	0.5	0.6	0.2	—	5.8	1.4	—	0.5	4.9	27.2	22.6	38.3	26.6	4.5
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.6	—	1.7	0.7	—
薬物＋その他	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.1	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—	0.2	0.2	0.4	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.3	18.7	15.5	29.0	34.8	52.6	56.9	51.6	54.1	30.3	35.2	22.1	28.9	2.0
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	0.1	—	—	—	0.1	—	—	—	—	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	—	—	—	—	0.1	0.0	—	—	0.3	0.3	0.6	—	—
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	0.0	0.1	—	—	—	0.3	0.4	—	—	—
治療なし	0.2	5.3	4.5	3.6	6.3	10.3	5.1	6.0	4.1	6.8	24.1	20.2	26.0	28.3	79.5
（内訳）外科的治療	1.5	6.8	20.8	—	—	—	19.4	—	—	—	17.8	—	—	—	3.7
鏡視下治療	6.8	59.2	73.9	—	—	—	73.8	—	—	—	29.3	—	—	—	2.2

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIIA	IIIIIB	IIIIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	28,424 100.0	18,103 100.0	19,323 100.0	15,426 100.0	2,544 100.0	1,346 100.0	16,597 100.0	1,809 100.0	11,176 100.0	3,570 100.0	14,147 100.0	6,652 100.0	2,905 100.0	4,437 100.0	1,365 100.0
手術のみ	7.7	51.3	75.3	79.6	63.4	48.2	39.2	30.6	42.8	32.5	15.7	19.9	8.3	14.1	4.0
内視鏡のみ	91.4	27.9	0.1	0.1	0.0	—	0.1	0.6	—	—	0.1	—	0.0	—	8.9
手術＋内視鏡	0.4	13.5	0.5	0.5	—	0.0	0.7	4.4	0.3	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	0.3	1.9	0.3	—
薬物療法のみ	—	0.5	0.6	0.2	—	5.8	1.4	—	0.5	4.8	27.1	22.5	38.1	26.6	4.5
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.7	—	1.8	0.8	—
薬物＋その他	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.1	0.2	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	0.2	0.2	0.4	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.3	18.8	15.7	29.4	34.8	53.2	57.7	52.1	54.8	30.7	35.5	22.6	29.2	2.0
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	0.1	0.1	—	—	0.1	—	—	—	—	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	0.1	—	—	—	0.1	0.0	—	—	0.4	0.3	0.7	0.2	—
他の組み合わせ	—	—	0.1	0.1	—	0.0	0.1	—	—	—	0.4	0.5	—	0.2	—
治療なし	0.2	5.3	4.4	3.6	6.3	10.3	5.1	6.0	4.1	6.8	24.0	20.2	25.8	28.1	79.3
（内訳）外科的治療	1.5	6.8	20.9	—	—	—	19.4	—	—	—	17.9	—	—	—	3.8
鏡視下治療	6.8	59.3	73.9	—	—	—	73.8	—	—	—	29.3	—	—	—	2.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhor-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

図4-2②-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

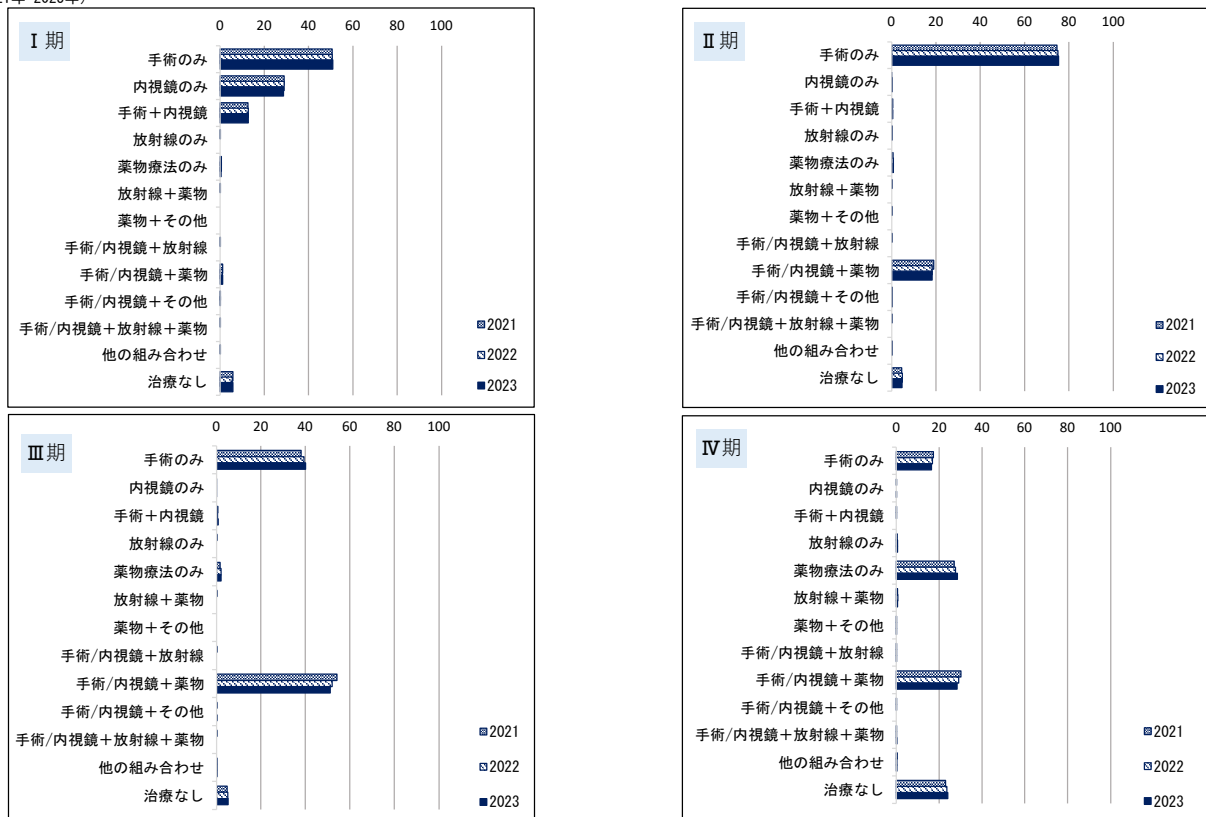
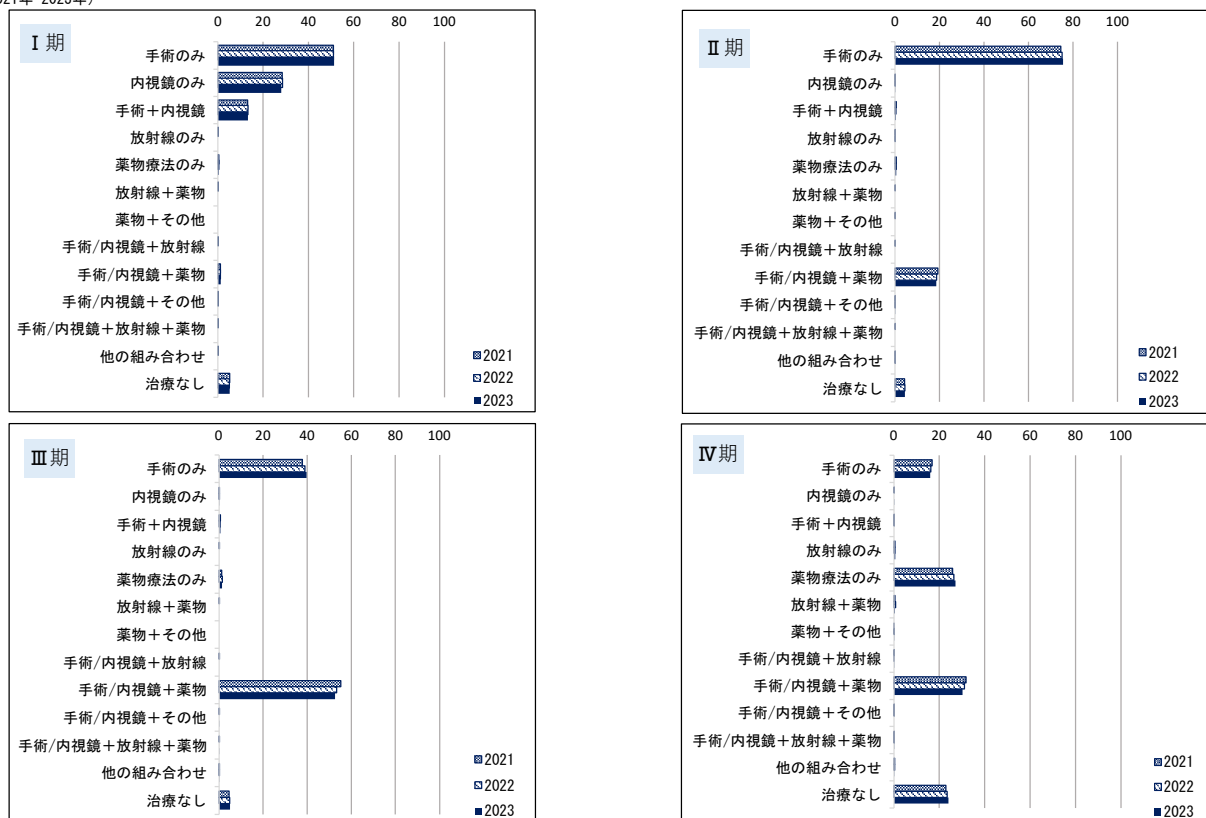


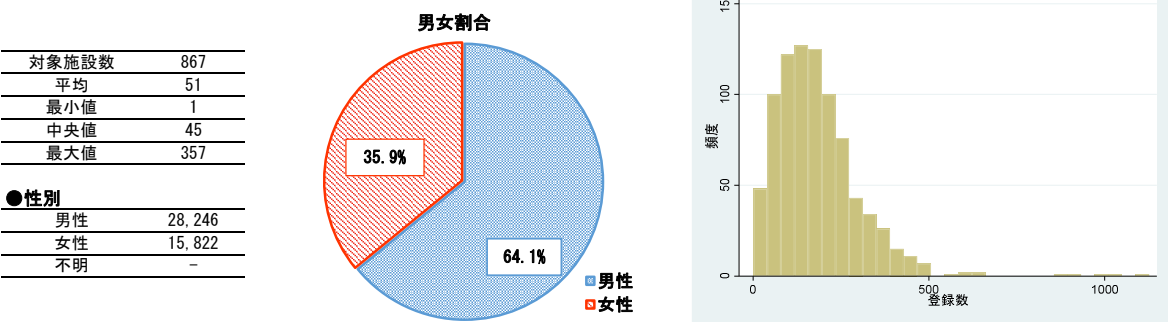
図4-2②-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



直腸がん（直腸癌）

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数を見ると、1施設当たりの登録数の中央値は45例で、最小登録数が1例、最大登録数が357例であった。

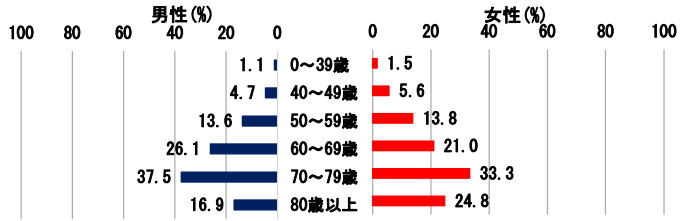


●性別

男性	28,246
女性	15,822
不明	-

●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	69.9	11.8	71.7
拠点	69.5	11.9	71.3
拠点外	71.1	11.7	72.5



●UICC TNM病期分布

治療前ステージ別の登録数では不明が約15%程度と多いが、手術を受けて病期等が確定される場合が少なくないため、ほかの部位よりも治療前ステージ別と総合ステージ別の登録数の割合に変動がある。

表4-2③-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIA期	IIB期	IIC期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2021	11.1	20.0	16.1	13.3	1.7	1.1	23.1	2.2	15.7	5.2	15.3	8.8	4.5	1.8	14.3	0.0	42,408
2022	11.1	19.6	16.3	13.4	1.7	1.1	22.9	2.0	15.4	5.4	15.4	8.9	4.5	1.9	14.7	0.0	41,804
2023	11.1	19.8	16.5	13.6	1.8	1.1	22.7	1.9	15.6	5.2	15.4	8.7	4.6	1.9	14.5	-	44,068

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIA期	IIB期	IIC期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	適用外等	不明	その他	合計
2021	25.2	22.6	17.6	15.1	1.8	0.7	20.3	3.1	13.6	3.5	6.4	4.3	1.1	1.0	7.6	0.3	0.0	35,951
2022	26.2	21.7	17.6	15.2	1.7	0.7	20.2	3.4	13.4	3.5	6.3	4.2	1.1	1.0	7.7	0.3	-	35,046
2023	25.8	22.3	17.5	15.1	1.6	0.8	20.1	3.3	13.1	3.6	6.1	4.0	1.0	1.0	7.9	0.3	-	36,753

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

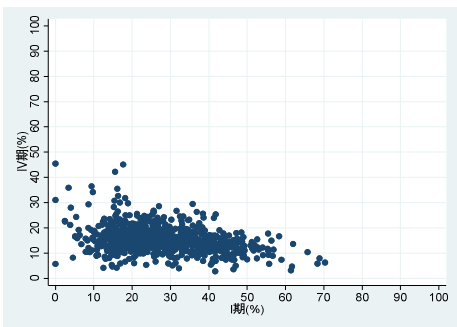
	0期	I期	II期	IIA期	IIB期	IIC期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	その他	合計
2021	21.5	20.5	17.6	14.5	1.8	1.3	23.2	3.0	14.7	5.4	15.9	8.9	4.5	2.4	1.3	0.0	42,408
2022	22.0	19.7	17.5	14.5	1.8	1.3	23.5	3.2	14.6	5.7	15.9	8.9	4.4	2.4	1.3	0.0	41,804
2023	21.6	20.2	17.7	14.6	1.7	1.3	23.3	3.1	14.5	5.6	15.9	8.7	4.6	2.5	1.2	0.0	44,068
男性	21.9	20.2	17.6	14.8	1.6	1.1	22.7	2.7	14.3	5.6	16.4	9.2	4.6	2.3	1.2	0.0	28,246
女性	21.0	20.3	17.9	14.2	1.9	1.7	24.3	3.8	14.8	5.7	15.1	7.8	4.4	2.8	1.3	0.0	15,822

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の705施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	8.9	0.0	3.6	12.1	15.7	52.3
I期	19.0	0.0	14.3	10.1	24.4	48.1
II期	15.7	0.0	11.4	9.6	21.0	44.2
III期	22.2	0.0	16.4	11.4	27.8	54.5
IV期	15.0	0.0	11.3	7.5	18.8	38.9

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



直腸がん（直腸癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-2③-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIIA	IIIIIB	IIIIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	9,528 100.0	8,917 100.0	7,810 100.0	6,439 100.0	769 100.0	594 100.0	10,251 100.0	1,369 100.0	6,375 100.0	2,476 100.0	7,017 100.0	3,837 100.0	2,007 100.0	1,100 100.0	545 100.0
手術のみ	6.2	57.3	64.1	69.0	49.4	30.1	27.6	30.3	30.6	18.5	12.0	15.1	6.3	11.9	2.6
内視鏡のみ	92.7	21.8	—	—	0.0	0.0	0.1	0.7	—	0.0	—	—	—	0.0	5.7
手術＋内視鏡	0.3	11.0	0.3	0.4	—	—	0.7	3.9	0.2	—	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	—	0.5	1.1	0.9	—	3.5	1.1	—	1.0	1.7	1.9	1.6	2.6	1.2	8.1
薬物療法のみ	—	0.8	2.0	1.1	2.9	10.6	5.4	1.6	3.5	12.0	37.6	32.2	49.7	34.3	7.7
放射線＋薬物	0.0	1.1	4.2	3.7	3.4	9.9	7.2	2.4	6.8	10.9	4.4	5.5	3.7	1.6	2.6
薬物＋その他	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—	0.3	—	0.7	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.2	0.5	0.4	—	1.7	0.7	—	0.8	0.9	0.4	0.4	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.5	18.8	17.3	29.5	20.7	46.5	54.1	47.4	40.2	22.7	27.1	14.6	23.0	3.1
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.6	3.0	2.6	4.2	6.4	6.2	2.5	6.0	8.8	1.9	3.0	0.7	—	—
他の組み合わせ	—	—	0.2	—	—	—	0.2	—	0.2	—	0.3	0.3	—	—	—
治療なし	0.5	5.1	5.7	4.4	8.3	16.0	4.2	3.7	3.4	6.4	18.4	14.3	21.1	27.1	67.3
（内訳）外科的治療	0.8	4.5	10.9	—	—	—	8.9	—	—	—	8.3	—	—	—	3.5
鏡視下治療	5.8	65.7	75.9	—	—	—	72.8	—	—	—	28.8	—	—	—	3.9

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIIA	IIIIIB	IIIIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	9,528 100.0	8,917 100.0	7,810 100.0	6,439 100.0	769 100.0	594 100.0	10,251 100.0	1,369 100.0	6,375 100.0	2,476 100.0	7,017 100.0	3,837 100.0	2,007 100.0	1,100 100.0	545 100.0
手術のみ	6.2	57.6	64.1	69.0	49.4	30.1	27.1	29.7	30.2	18.0	11.2	14.0	5.8	11.4	2.6
内視鏡のみ	93.0	21.4	—	—	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0	5.7
手術＋内視鏡	0.3	11.4	0.3	0.4	—	—	0.5	3.1	0.2	—	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	—	0.5	1.1	0.8	—	3.5	1.0	—	0.9	1.6	1.9	1.6	2.7	1.1	8.1
薬物療法のみ	—	0.7	1.2	0.7	1.6	6.7	3.1	0.7	1.9	7.3	34.8	28.4	47.7	33.2	6.8
放射線＋薬物	0.0	0.9	2.7	2.3	2.2	7.6	4.3	1.6	4.0	6.5	3.5	4.0	3.6	1.5	2.2
薬物＋その他	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.3	—	0.7	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.3	0.5	0.4	—	—	0.6	—	0.7	0.8	0.4	0.5	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.7	19.6	17.9	30.7	24.2	49.3	57.2	49.5	44.9	26.1	31.7	16.6	24.5	3.7
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.8	4.7	4.2	5.6	9.4	9.6	3.4	9.3	14.1	3.2	5.0	1.4	—	—
他の組み合わせ	—	—	0.2	—	—	—	0.2	—	0.2	—	0.3	0.3	—	—	—
治療なし	0.2	4.7	5.4	4.1	8.2	16.0	4.0	3.2	3.1	6.1	18.2	14.1	20.9	27.0	67.3
（内訳）外科的治療	0.8	4.6	11.2	—	—	—	9.6	—	—	—	9.6	—	—	—	3.7
鏡視下治療	5.8	66.7	78.1	—	—	—	77.8	—	—	—	31.4	—	—	—	4.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIII期	IIIIA	IIIIIB	IIIIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	9,528 100.0	8,917 100.0	7,810 100.0	6,439 100.0	769 100.0	594 100.0	10,251 100.0	1,369 100.0	6,375 100.0	2,476 100.0	7,017 100.0	3,837 100.0	2,007 100.0	1,100 100.0	545 100.0
手術のみ	6.2	57.6	63.9	68.8	48.9	29.8	26.6	29.0	29.7	17.6	10.8	13.7	5.7	10.7	2.6
内視鏡のみ	92.9	21.0	—	—	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0	5.7
手術＋内視鏡	0.4	11.7	0.3	0.4	—	—	0.5	2.9	0.2	—	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	—	0.5	1.0	0.8	—	3.5	1.0	—	0.8	1.5	1.8	1.5	2.6	1.2	7.2
薬物療法のみ	—	0.6	1.2	0.6	1.4	6.7	2.9	—	1.7	7.0	34.6	28.3	47.3	33.2	7.2
放射線＋薬物	0.0	0.9	2.7	2.3	2.3	7.4	4.3	1.5	4.0	6.5	3.6	4.1	3.8	1.5	2.8
薬物＋その他	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.4	—	0.7	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.3	0.5	0.4	—	—	0.7	—	0.7	0.8	0.4	0.5	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.7	19.8	18.0	30.8	24.6	49.7	58.0	49.8	45.4	26.4	32.0	16.7	25.1	3.5
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.9	4.9	4.3	6.2	9.6	10.0	3.7	9.6	14.3	3.3	5.1	1.5	—	2.2
他の組み合わせ	—	—	0.2	—	—	—	0.3	—	0.3	—	0.4	0.4	—	—	—
治療なし	0.2	4.7	5.4	4.0	8.2	16.0	4.0	3.2	3.1	6.1	18.1	14.1	20.8	26.8	67.0
（内訳）外科的治療	0.8	4.6	11.2	—	—	—	9.7	—	—	—	9.7	—	—	—	4.0
鏡視下治療	5.9	67.1	78.2	—	—	—	78.0	—	—	—	31.5	—	—	—	5.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-2③-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

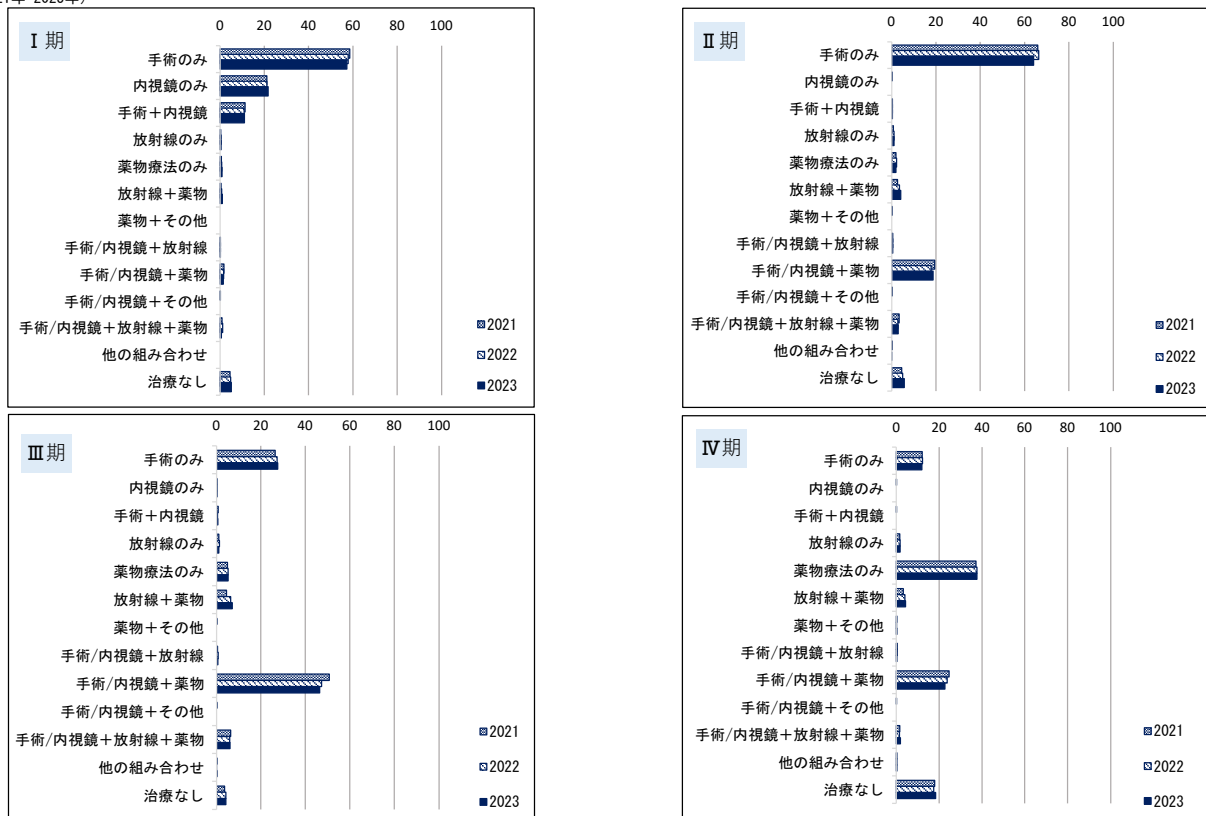
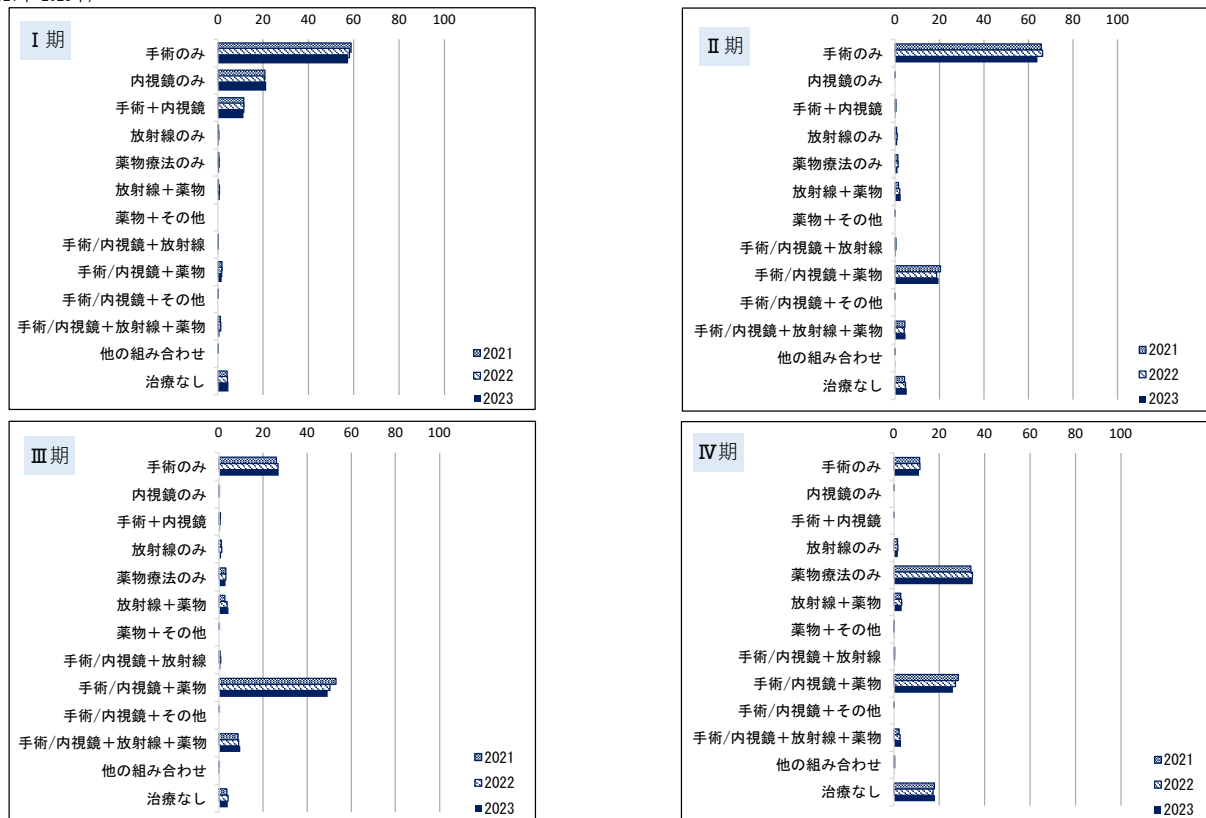


図4-2③-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



3. 肝細胞がん（肝細胞癌）・肝内胆管がん（肝内胆管癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	31,741	863	30,647	23,816	肝細胞癌	19,296	81.0	831	6,089	25.6
					肝内胆管癌	4,119	17.3	738	1,466	6.2
2022	31,351	844	30,037	23,044	肝細胞癌	18,518	80.4	805	5,822	25.3
					肝内胆管癌	4,128	17.9	730	1,414	6.1
2023	31,853	876	30,533	23,085	肝細胞癌	18,415	79.8	825	5,910	25.6
					肝内胆管癌	4,233	18.3	748	1,387	6.0

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

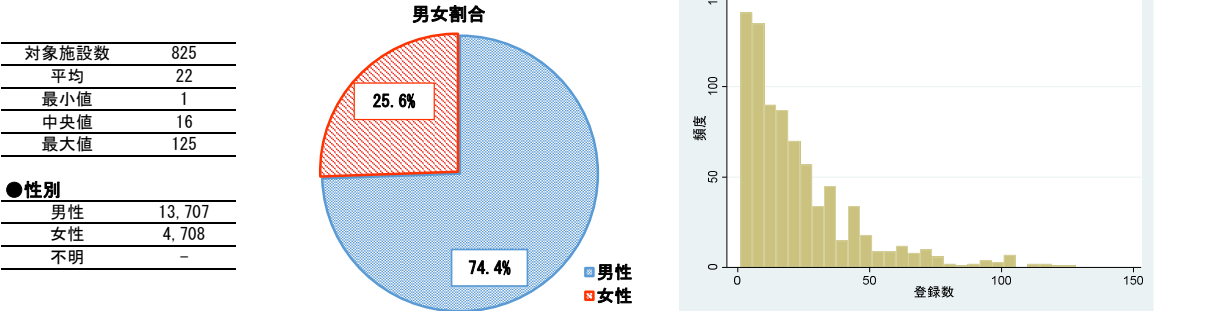
*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

肝細胞がん（肝細胞癌）

●施設登録数

施設登録数と分布を以下に示す。施設登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は16例で、最小登録数が1例、最大登録数が125例で2022年診断例とほぼ同様であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	75.0	10.1	75.7
拠点	74.5	10.1	75.3
拠点外	76.6	10.0	77.4

●年齢別男女割合の棒グラフ

年齢	男性 (%)	女性 (%)
0~39歳	0.3	0.6
40~49歳	1.5	1.4
50~59歳	6.6	4.3
60~69歳	21.1	12.3
70~79歳	41.1	36.4
80歳以上	29.3	44.9

●UICC TNM病期分布

I期の割合が最も多く約50%程度を占める傾向は変わっていない。UICC TNM分類 第8版への改訂に従い、2020年からはIA・IB期の集計を行っている。

表4-3①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2021	49.9	—	—	22.1	15.2	7.7	7.5	9.4	2.1	7.3	3.4	0.0	19,296
2022	50.1	19.1	31.0	21.3	15.5	7.6	7.9	9.4	2.4	7.0	3.6	—	18,518
2023	50.4	18.9	31.5	20.8	15.7	7.8	7.9	9.5	2.3	7.2	3.6	—	18,415

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-2 取扱い規約分類ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2021	20.2	39.6	22.0	14.8	7.8	6.9	3.3	0.1	19,296
2022	19.5	40.1	22.0	14.6	7.9	6.6	3.7	0.1	18,518
2023	19.4	40.2	21.8	14.7	7.9	6.8	3.7	0.1	18,415

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-3 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	その他	合計
2021	56.2	—	—	28.5	8.5	5.7	2.7	1.2	0.3	0.9	5.3	—	0.3	6,089
2022	56.0	19.0	37.0	28.7	8.2	5.7	2.5	1.0	0.2	0.8	5.4	—	0.7	5,822
2023	59.6	20.1	39.5	27.2	7.2	5.2	2.0	0.7	—	0.6	5.0	—	0.3	5,910

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-4 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

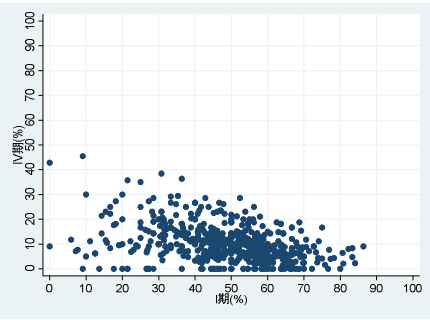
	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2021	47.5	—	—	24.9	15.6	8.0	7.5	9.4	2.1	7.3	2.5	0.0	19,296
2022	49.5	19.5	27.9	26.0	16.2	7.9	7.9	9.8	2.3	7.1	2.6	—	18,518
2023	48.1	19.5	28.7	23.7	15.8	7.9	7.9	9.5	2.2	7.3	2.8	0.0	18,415
男性	47.0	18.0	29.1	24.3	16.4	8.4	8.1	9.7	2.3	7.4	2.6	0.0	13,707
女性	51.4	24.0	27.5	22.2	13.8	6.5	7.3	9.0	2.1	6.8	3.7	0.0	4,708

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-5 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の574施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I 期	50.0	5.3	40.0	18.2	58.2	85.4
II 期	20.0	0.0	14.3	12.3	26.6	60.0
III 期	15.4	0.0	10.0	11.6	21.6	52.9
IV 期	9.1	0.0	5.0	9.3	14.3	45.5

(参考) 施設毎の I 期と IV 期の割合の分布図



3. 肝細胞がん（肝細胞癌）・肝内胆管がん（肝内胆管癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-3①-6(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	8,866 100.0	3,590 100.0	5,276 100.0	4,372 100.0	2,903 100.0	1,453 100.0	1,450 100.0	1,750 100.0	409 100.0	1,341 100.0	524 100.0
手術のみ	38.9	32.5	43.3	34.7	12.8	18.9	6.8	1.4	—	1.4	—
内視鏡のみ	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	4.8	3.0	6.0	2.2	2.2	1.4	3.0	5.1	—	6.5	—
薬物療法のみ	2.5	1.1	3.4	9.1	27.4	26.2	28.6	33.4	43.5	30.4	10.1
放射線＋薬物	—	—	—	—	1.3	—	2.5	5.2	—	6.3	0.0
薬物＋その他	20.6	18.8	21.8	28.8	19.8	26.6	13.1	7.4	10.5	6.4	12.8
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.4	—	0.6	0.5	1.7	1.4	2.1	1.0	—	1.0	0.0
手術/内視鏡＋その他	0.5	—	0.8	1.7	1.4	1.6	1.2	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	23.6	37.7	13.9	12.3	7.6	5.4	9.8	3.3	3.7	3.2	12.4
治療なし	8.6	6.4	10.1	10.4	25.7	18.4	32.9	43.0	37.7	44.6	62.0
（内訳）外科的治療	14.9	—	—	18.7	12.8	—	—	2.2	—	—	—
鏡視下治療	25.6	—	—	19.3	4.4	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-6(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	8,866 100.0	3,590 100.0	5,276 100.0	4,372 100.0	2,903 100.0	1,453 100.0	1,450 100.0	1,750 100.0	409 100.0	1,341 100.0	524 100.0
手術のみ	39.2	32.8	43.6	34.8	12.8	18.8	6.8	1.3	—	1.3	—
内視鏡のみ	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	4.9	3.1	6.1	2.2	2.2	1.4	3.0	5.2	—	6.6	—
薬物療法のみ	2.5	1.1	3.4	8.9	26.8	25.5	28.1	33.0	43.3	29.8	9.7
放射線＋薬物	—	—	—	—	1.3	—	2.5	5.4	—	6.6	0.0
薬物＋その他	20.8	19.2	21.8	29.2	19.7	26.3	13.1	7.4	10.8	6.4	13.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.5	—	0.7	0.9	2.4	2.3	2.5	1.4	—	1.3	—
手術/内視鏡＋その他	0.5	—	0.7	1.6	1.3	1.4	1.2	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	23.4	37.3	13.9	12.0	7.8	5.8	9.8	3.3	3.4	3.2	12.2
治療なし	8.1	5.9	9.7	10.1	25.6	18.2	32.9	42.9	37.4	44.5	62.0
（内訳）外科的治療	15.1	—	—	19.1	13.5	—	—	2.4	—	—	—
鏡視下治療	25.9	—	—	19.5	4.5	—	—	0.6	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-6(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	8,866 100.0	3,590 100.0	5,276 100.0	4,372 100.0	2,903 100.0	1,453 100.0	1,450 100.0	1,750 100.0	409 100.0	1,341 100.0	524 100.0
手術のみ	39.2	32.8	43.6	34.7	12.7	18.7	6.7	1.3	—	1.3	—
内視鏡のみ	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	4.9	3.1	6.1	2.3	2.3	1.4	3.1	5.4	—	6.9	—
薬物療法のみ	2.4	1.1	3.4	8.8	26.7	25.3	28.1	32.6	43.0	29.5	9.7
放射線＋薬物	—	—	—	—	1.4	—	2.6	5.5	—	6.6	0.0
薬物＋その他	20.6	19.2	21.6	29.1	19.5	25.9	13.0	7.6	10.8	6.6	13.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.5	—	0.7	1.0	2.4	2.3	2.5	1.4	—	1.4	—
手術/内視鏡＋その他	0.6	0.4	0.8	1.7	1.3	1.4	1.2	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	23.6	37.4	14.2	12.2	8.1	6.3	9.9	3.3	3.7	3.2	12.2
治療なし	8.1	5.9	9.6	10.0	25.5	18.2	32.8	42.6	37.4	44.2	62.0
（内訳）外科的治療	15.1	—	—	19.1	13.6	—	—	2.5	—	—	—
鏡視下治療	25.9	—	—	19.6	4.5	—	—	0.6	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-3①-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

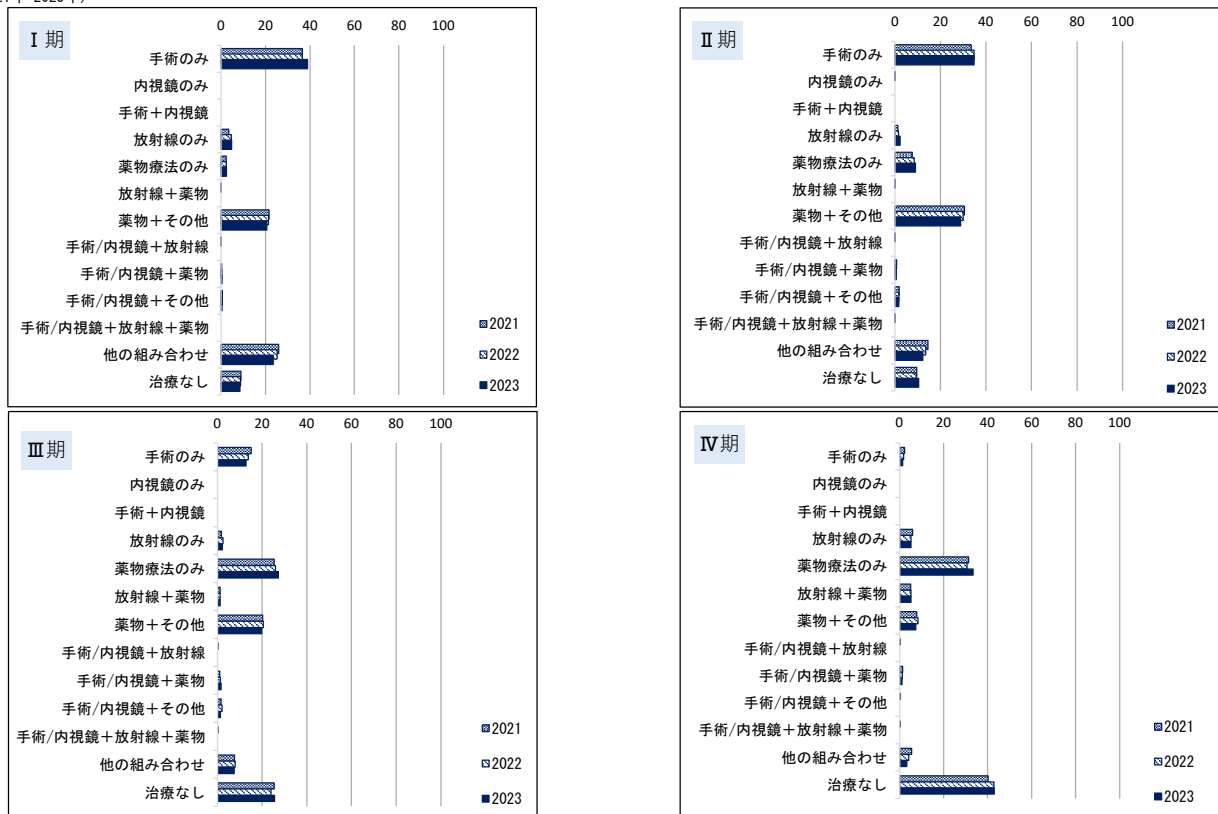
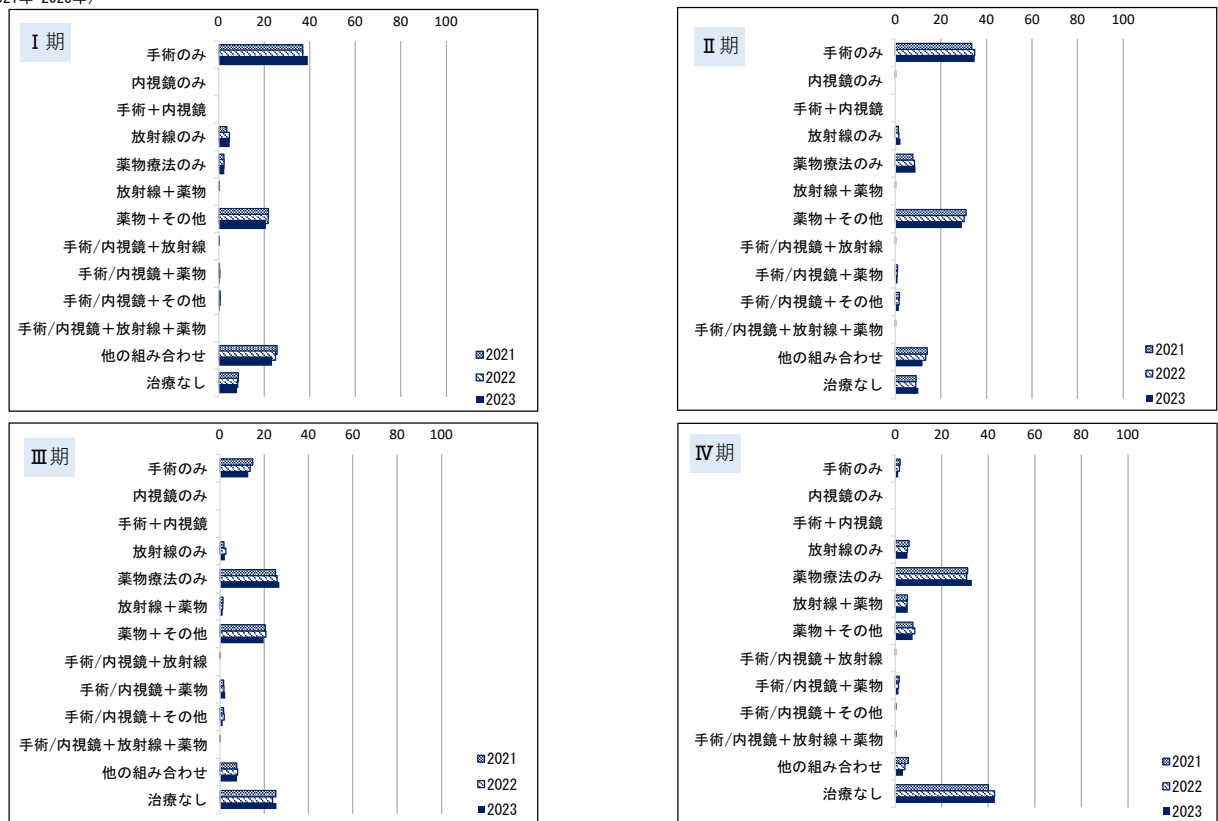


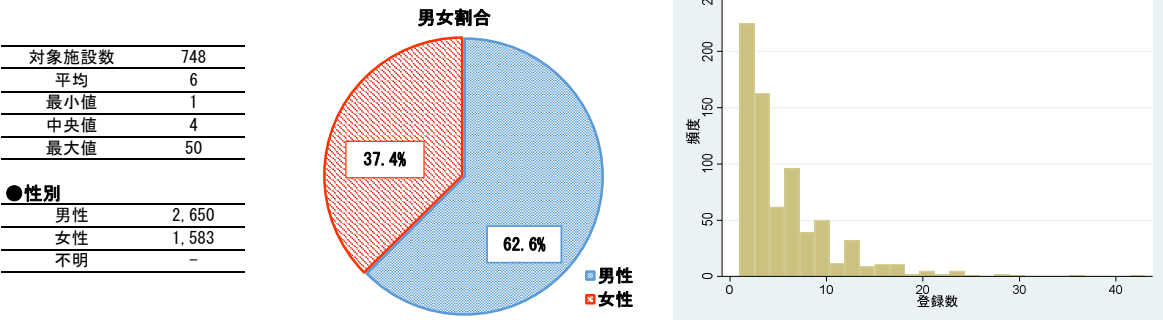
図4-3①-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



肝内胆管がん（肝内胆管癌）

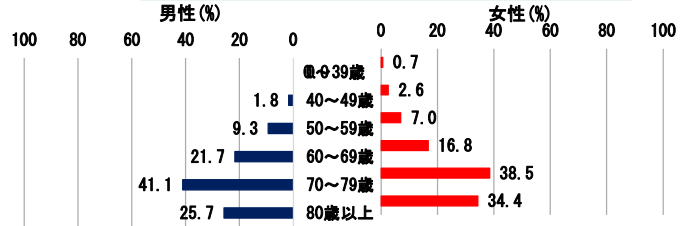
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は4例で、最小登録数が1例、最大登録数が50例で2022年診断例より微増であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	73.7	10.6	74.8
拠点	72.9	10.5	74.3
拠点外	76.3	10.4	77.0



●UICC TNM病期分布

表4-3②-4より男女別にみると、男性はI期17.4%、IV期36.9%、女性はI期14.7%、IV期38.6%であり、女性の方が進行した状態で登録が若干多い傾向にあるが、女性の方がより高齢での登録が多いことを留意すべきである。

表4-3②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	不明	該当無	合計
2021	0.5	20.1	15.6	4.1	17.7	17.2	1.6	15.6	36.0	8.2	0.4	4,119
2022	0.4	21.3	16.6	4.6	16.0	18.0	2.3	15.7	35.2	8.8	-	4,128
2023	0.3	20.3	15.4	4.7	16.6	16.8	1.8	15.0	36.6	9.1	0.3	4,233

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-2 取扱い規約分類ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2021	0.4	5.9	17.9	14.5	47.6	14.2	32.4	9.7	4.0	4,119
2022	0.3	5.2	18.9	14.9	45.9	14.8	29.8	10.5	4.2	4,128
2023	-	5.9	17.8	14.7	45.4	14.1	30.1	11.0	5.0	4,233

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-3 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	2.4	29.7	24.8	4.4	40.4	17.0	2.9	14.1	4.4	5.0	0.5	0.7	1,466
2022	2.3	33.3	28.4	4.7	36.6	17.5	4.8	12.7	3.7	6.0	-	-	1,414
2023	3.0	31.4	24.7	6.3	40.7	15.3	3.9	11.4	4.3	4.7	-	-	1,387

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-4 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	不明	該当無	合計
2021	1.0	16.0	12.6	3.0	22.7	19.4	1.9	17.5	36.9	3.6	0.4	4,119
2022	0.8	17.5	13.6	3.7	21.1	20.3	2.6	17.7	36.0	4.2	-	4,128
2023	1.0	16.3	12.4	3.8	22.6	18.5	2.2	16.3	37.5	3.8	0.3	4,233
男性	0.8	17.4	13.3	3.9	23.5	17.8	2.2	15.6	36.9	3.4	-	2,650
女性	1.3	14.7	10.9	3.7	21.2	19.6	2.2	17.4	38.6	4.3	-	1,583

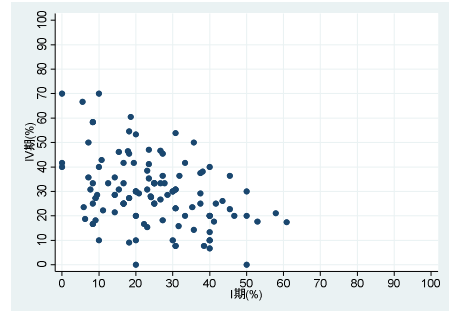
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-5 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
I期	21.8	0.0	13.3	17.5	30.8	72.7
II期	18.2	0.0	9.1	15.9	25.0	47.1
III期	15.4	0.0	8.3	13.9	22.2	42.3
IV期	33.3	0.0	23.1	22.4	45.5	73.3

(対象例10例以上の110施設)

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



肝内胆管がん（肝内胆管癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-3②-6(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	不明
全体	692 100.0	524 100.0	161 100.0	958 100.0	781 100.0	92 100.0	689 100.0	1,589 100.0	159 100.0
手術のみ	47.4	51.1	35.4	34.8	14.2	38.0	11.0	1.5	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	6.4	7.4	—	2.5	1.8	—	1.7	3.8	—
薬物療法のみ	10.0	6.9	19.3	20.5	41.7	19.6	44.7	52.9	18.9
放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	—	4.4	0.0
薬物＋その他	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	14.6	13.5	18.0	24.9	14.1	19.6	13.4	2.2	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0
他の組み合わせ	3.9	5.2	0.0	1.4	—	—	—	—	—
治療なし	15.5	14.1	19.9	14.3	25.4	16.3	26.6	34.4	73.0
（内訳）外科的治療	31.6	—	—	36.1	24.7	—	—	2.8	—
鏡視下治療	31.8	—	—	24.4	4.4	—	—	1.0	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-6(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	不明
全体	692 100.0	524 100.0	161 100.0	958 100.0	781 100.0	92 100.0	689 100.0	1,589 100.0	159 100.0
手術のみ	47.0	50.8	34.8	33.4	14.2	38.0	11.0	1.5	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	6.4	7.4	—	2.6	1.8	—	1.7	3.7	—
薬物療法のみ	10.0	7.1	18.6	19.4	41.0	19.6	43.8	52.3	17.0
放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	—	4.7	0.0
薬物＋その他	—	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	15.8	14.7	19.3	27.5	14.9	19.6	14.2	2.5	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0
他の組み合わせ	3.9	5.2	0.0	1.3	—	—	—	—	—
治療なし	14.7	13.2	19.9	13.9	25.2	16.3	26.4	34.4	73.0
（内訳）外科的治療	31.8	—	—	37.3	25.4	—	—	3.0	—
鏡視下治療	32.4	—	—	24.4	4.5	—	—	1.1	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-6(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	不明
全体	692 100.0	524 100.0	161 100.0	958 100.0	781 100.0	92 100.0	689 100.0	1,589 100.0	159 100.0
手術のみ	46.2	50.2	33.5	32.6	13.6	37.0	10.4	1.3	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	6.4	7.4	—	2.6	1.8	—	1.7	3.7	—
薬物療法のみ	10.0	7.1	18.6	19.0	40.5	19.6	43.3	52.0	17.0
放射線＋薬物	—	—	—	—	1.5	0.0	1.7	5.0	0.0
薬物＋その他	—	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	16.3	15.1	20.5	28.4	15.5	20.7	14.8	2.7	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
他の組み合わせ	3.9	5.2	0.0	1.4	—	0.0	—	—	—
治療なし	14.7	13.2	19.9	13.9	25.2	16.3	26.4	34.3	73.0
（内訳）外科的治療	31.8	—	—	37.5	25.4	—	—	3.0	—
鏡視下治療	32.4	—	—	24.4	4.5	—	—	1.1	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-3②-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

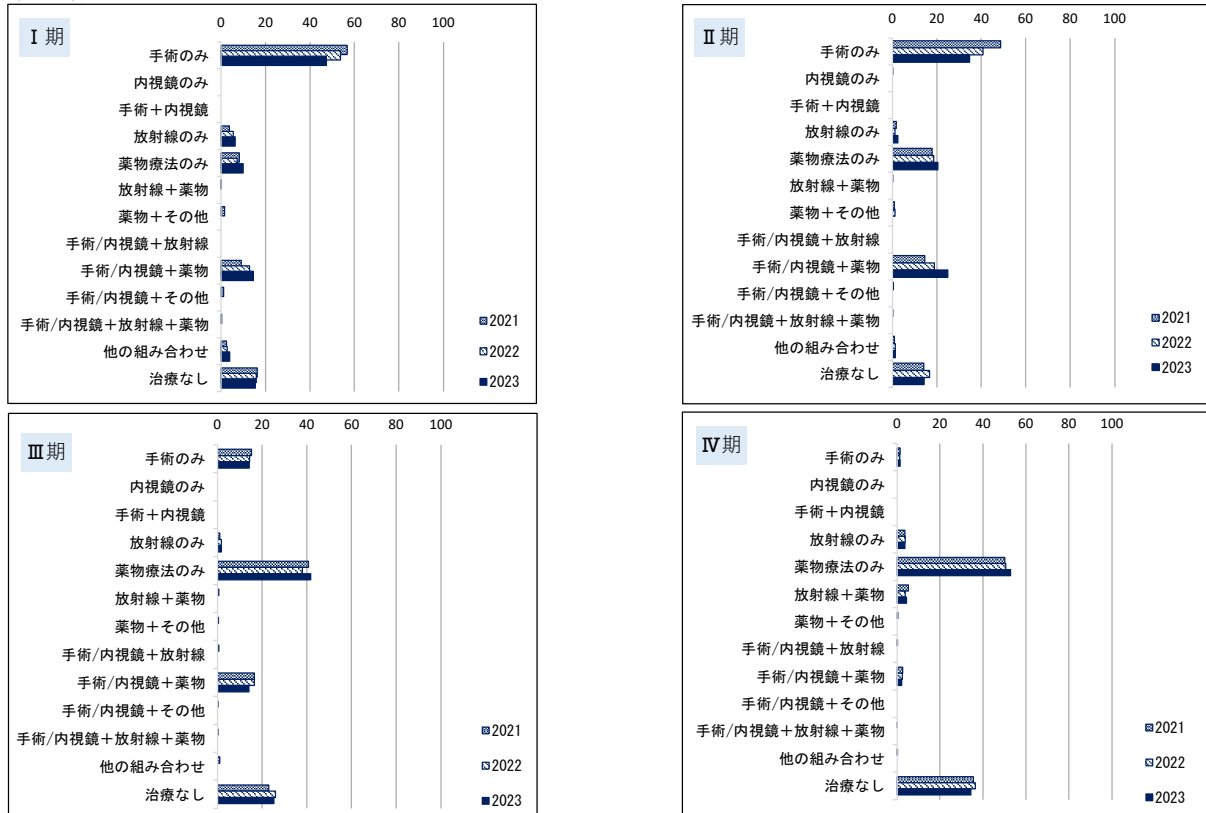
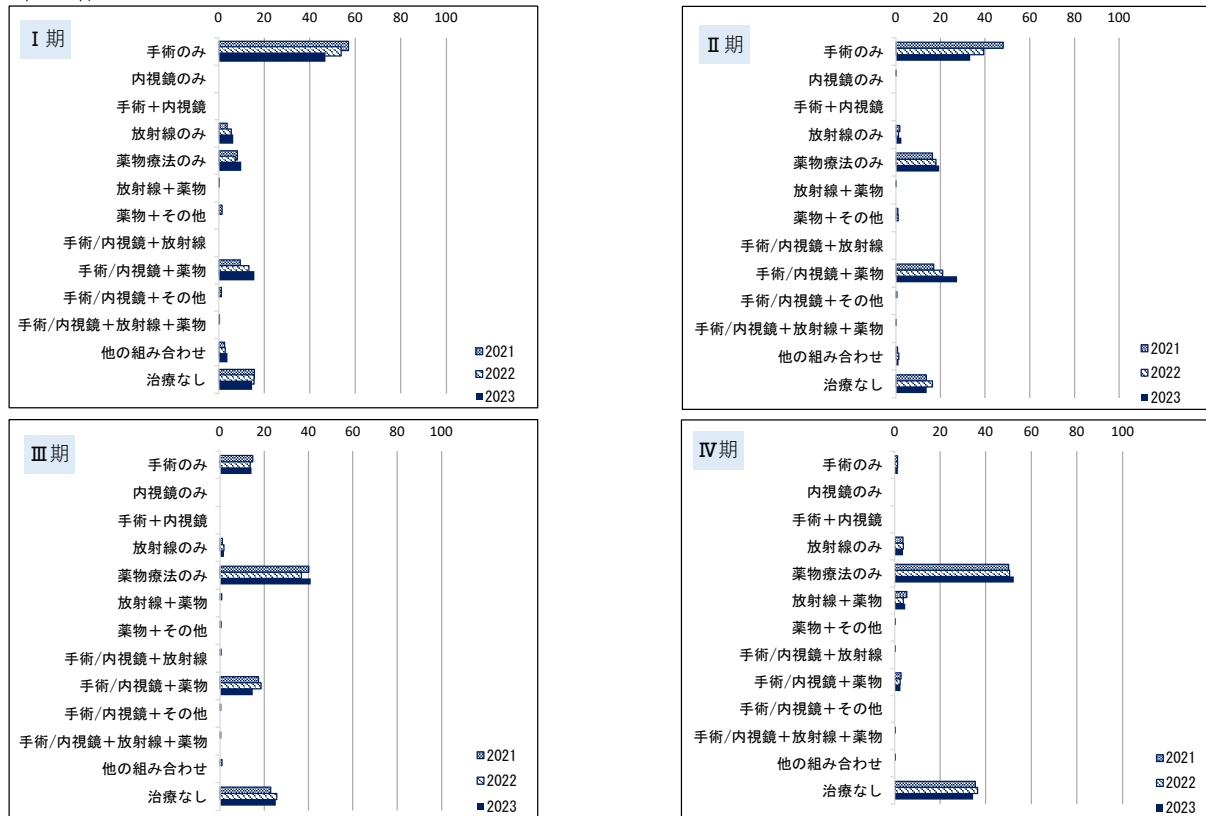


図4-3②-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



4. 小細胞肺がん（小細胞肺癌）・非小細胞肺がん（非小細胞肺癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始 例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	125,336	862	122,422	99,345	小細胞癌	8,255	8.3	728	1.0	400
					非小細胞癌	89,932	90.5	854	44.0	664
2022	123,886	845	121,098	98,491	小細胞癌	8,080	8.2	710	0.9	366
					非小細胞癌	89,383	90.8	837	44.2	653
2023	127,731	874	124,781	101,228	小細胞癌	8,315	8.2	733	0.9	391
					非小細胞癌	91,895	90.8	860	44.4	671

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

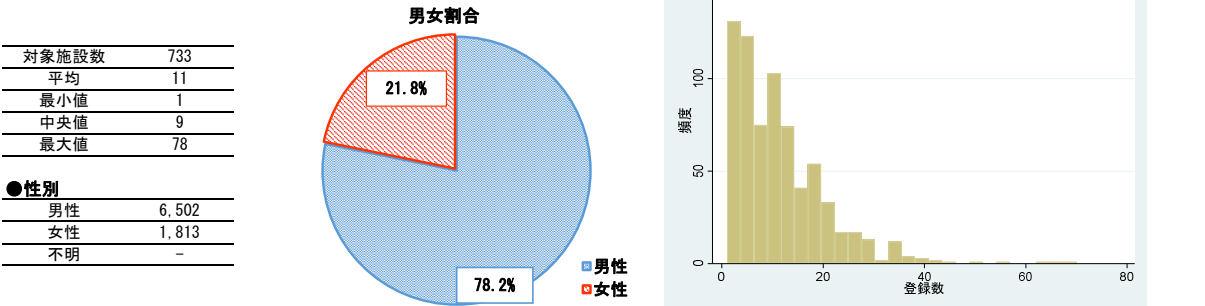
*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

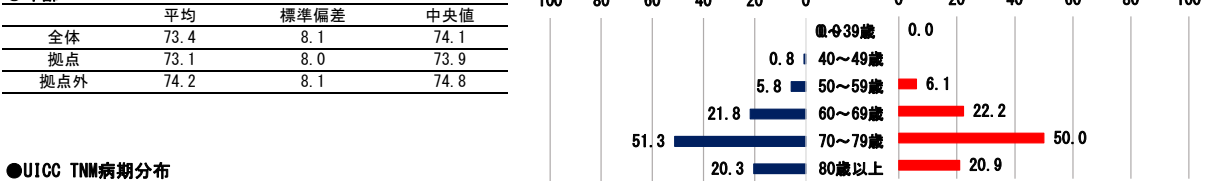
小細胞肺がん（小細胞肺癌）

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数を見ると、1施設当たりの登録数の中央値は9例で、最小登録数が1例、最大登録数が78例で2022年診断例より微増であった。



●年齢



●UICC TNM病期分布

術後病理学的ステージ別とその他の基準でのステージ別割合に大きく差があるが、術後病理学的は全体の1割程度しか集計対象としておらず、集計対象上の違いがあることに留意する必要がある。

表4-4①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	0.0	0.0	8.9	7.1	1.8	6.0	0.6	5.4	23.5	10.1	9.3	4.1	58.8	23.9	34.8	2.7	0.0	8,255
2022	-	0.0	8.8	7.1	1.7	6.1	0.5	5.5	23.1	9.8	8.8	4.5	59.4	22.7	36.6	2.6	0.0	8,080
2023	0.0	0.0	8.8	6.9	1.9	5.8	0.6	5.2	23.7	10.2	9.4	4.1	58.7	22.5	36.1	3.0	0.0	8,315

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	0.0	0.0	50.9	31.5	19.3	18.6	2.5	16.2	16.1	13.8	2.3	0.0	12.6	7.8	4.8	1.2	0.5	0.1	977
2022	-	0.0	51.8	31.6	20.1	22.1	2.6	19.5	12.2	10.4	1.8	0.0	10.5	6.2	4.3	1.8	1.5	0.0	885
2023	0.0	0.0	51.2	31.5	19.7	20.3	1.8	18.5	14.9	12.3	2.4	-	11.2	6.5	4.7	1.5	-	-	940

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	0.0	0.0	7.9	4.9	3.0	6.5	0.6	5.9	24.4	10.9	9.4	4.1	59.4	24.4	34.8	1.8	0.0	8,255
2022	-	0.0	7.5	4.7	2.8	6.9	0.5	6.3	23.8	10.4	8.9	4.5	59.9	23.1	36.7	1.9	0.0	8,080
2023	0.0	0.0	7.7	4.8	2.9	6.5	0.4	6.1	24.6	10.9	9.6	4.1	59.1	22.9	36.2	2.2	0.0	8,315
男性	0.0	0.0	7.7	4.9	2.8	6.5	-	6.1	24.0	10.9	9.1	3.9	59.8	22.8	36.9	2.1	0.0	6,502
女性	-	0.0	7.5	4.6	2.9	6.6	-	6.0	26.7	10.7	11.3	4.7	56.8	23.1	33.6	2.4	0.0	1,813

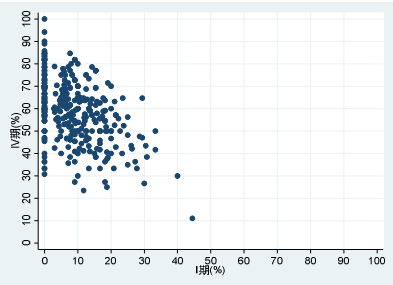
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

(対象例10例以上の359施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
I期	8.3	0.0	0.0	13.6	13.6	35.7
II期	5.6	0.0	0.0	9.5	9.5	29.2
III期	22.2	0.0	16.7	13.3	30.0	62.5
IV期	59.4	16.7	50.0	18.8	68.8	100.0

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



4. 小細胞肺癌（小細胞肺癌）・非小細胞肺癌（非小細胞肺癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-4①-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	637 100.0	399 100.0	238 100.0	540 100.0	36 100.0	504 100.0	2,042 100.0	905 100.0	798 100.0	339 100.0	4,915 100.0	1,900 100.0	3,006 100.0	181 100.0
手術のみ	37.7	37.6	37.8	13.9	—	13.5	2.3	4.4	—	—	0.6	1.1	0.4	0.0
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	6.0	7.0	4.2	2.0	0.0	2.2	2.3	2.7	2.1	—	3.9	2.3	5.0	—
薬物療法のみ	6.0	6.8	4.6	15.9	—	16.1	36.1	28.6	38.0	51.9	67.6	71.2	65.3	35.9
放射線＋薬物	8.0	7.5	8.8	41.3	33.3	41.9	47.9	50.1	48.5	40.7	13.1	8.4	16.1	30.4
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	36.7	35.3	39.1	20.2	27.8	19.6	3.9	7.0	2.0	0.0	1.0	1.6	0.6	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	0.0	—	0.9	1.9	—	0.0	0.3	—	—	0.0
他の組み合わせ	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0
治療なし	4.6	4.5	4.6	4.6	—	4.6	6.4	5.1	8.4	5.3	12.7	14.3	11.7	27.6
（内訳）外科的治療	5.8	—	—	6.5	—	—	1.4	—	—	—	1.5	—	—	0.0
鏡視下治療	69.5	—	—	29.6	—	—	5.7	—	—	—	0.7	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	637 100.0	399 100.0	238 100.0	540 100.0	36 100.0	504 100.0	2,042 100.0	905 100.0	798 100.0	339 100.0	4,915 100.0	1,900 100.0	3,006 100.0	181 100.0
手術のみ	37.2	37.3	37.0	13.5	—	13.1	2.2	4.2	—	—	0.7	1.1	0.4	0.0
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	6.0	7.0	4.2	2.0	0.0	2.2	2.2	2.5	2.1	—	3.9	2.4	5.0	—
薬物療法のみ	5.8	6.5	4.6	15.2	—	15.3	35.4	27.6	37.5	51.0	66.6	70.4	64.2	35.9
放射線＋薬物	8.3	8.0	8.8	41.9	30.6	42.7	48.8	51.2	49.1	41.9	14.2	9.4	17.3	30.4
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	37.5	36.3	39.5	20.2	—	19.8	3.9	7.1	1.9	0.0	1.0	1.6	0.6	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	2.4	—	2.2	1.0	2.0	—	0.0	0.4	—	—	0.0
他の組み合わせ	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0
治療なし	3.8	3.3	4.6	4.4	—	4.4	6.3	5.1	8.1	5.0	12.5	13.9	11.6	27.6
（内訳）外科的治療	6.0	—	—	6.5	—	—	1.4	—	—	—	1.5	—	—	0.0
鏡視下治療	70.0	—	—	30.0	—	—	5.7	—	—	—	0.8	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	637 100.0	399 100.0	238 100.0	540 100.0	36 100.0	504 100.0	2,042 100.0	905 100.0	798 100.0	339 100.0	4,915 100.0	1,900 100.0	3,006 100.0	181 100.0
手術のみ	36.7	37.1	36.1	13.1	—	12.9	2.1	3.9	—	—	0.6	1.1	—	0.0
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	6.0	7.0	4.2	1.9	0.0	2.0	2.1	2.4	2.0	—	3.8	2.2	4.8	—
薬物療法のみ	5.8	6.5	4.6	14.8	—	14.9	35.0	27.2	37.1	50.7	65.8	69.9	63.2	35.9
放射線＋薬物	8.3	8.0	8.8	42.2	30.6	43.1	49.3	51.6	49.6	42.5	15.2	10.1	18.4	30.9
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	37.7	36.1	40.3	20.7	27.8	20.2	4.0	7.4	1.9	0.0	1.0	1.6	0.6	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	2.4	—	2.2	1.0	2.0	—	0.0	0.4	—	0.4	0.0
他の組み合わせ	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.2	—	—	0.0
治療なし	3.8	3.3	4.6	4.4	—	4.4	6.3	5.1	8.1	5.0	12.5	13.8	11.6	27.6
（内訳）外科的治療	6.0	—	—	6.5	—	—	1.4	—	—	—	1.5	—	—	0.0
鏡視下治療	70.0	—	—	30.0	—	—	5.7	—	—	—	0.8	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjo.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-4①-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
（2021年～2023年）

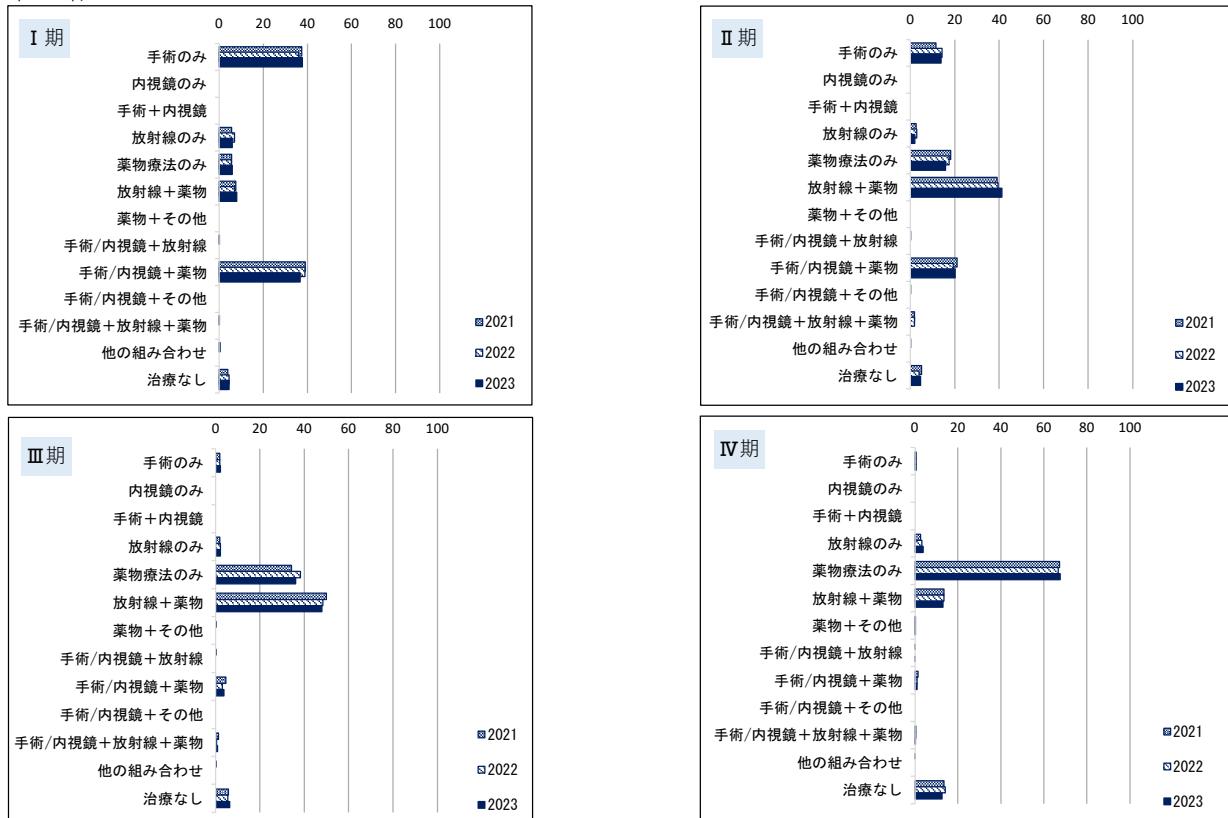
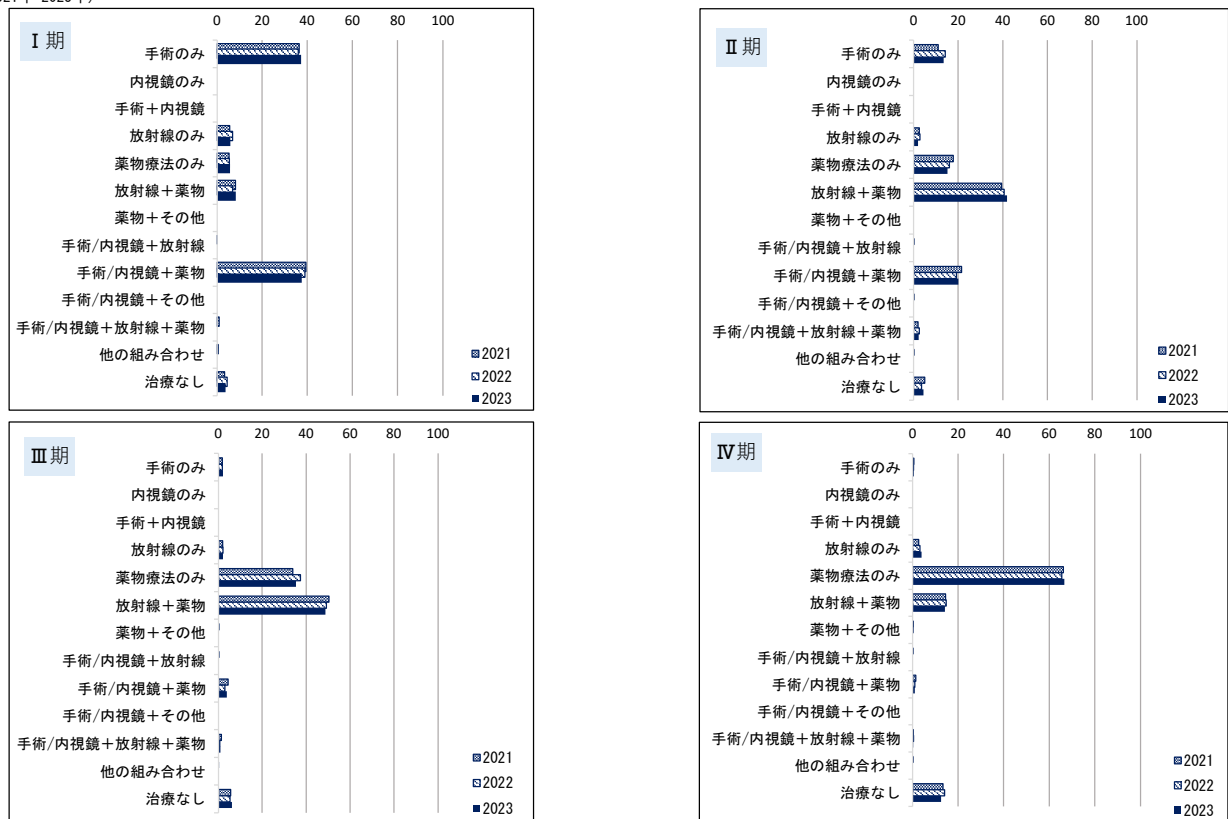


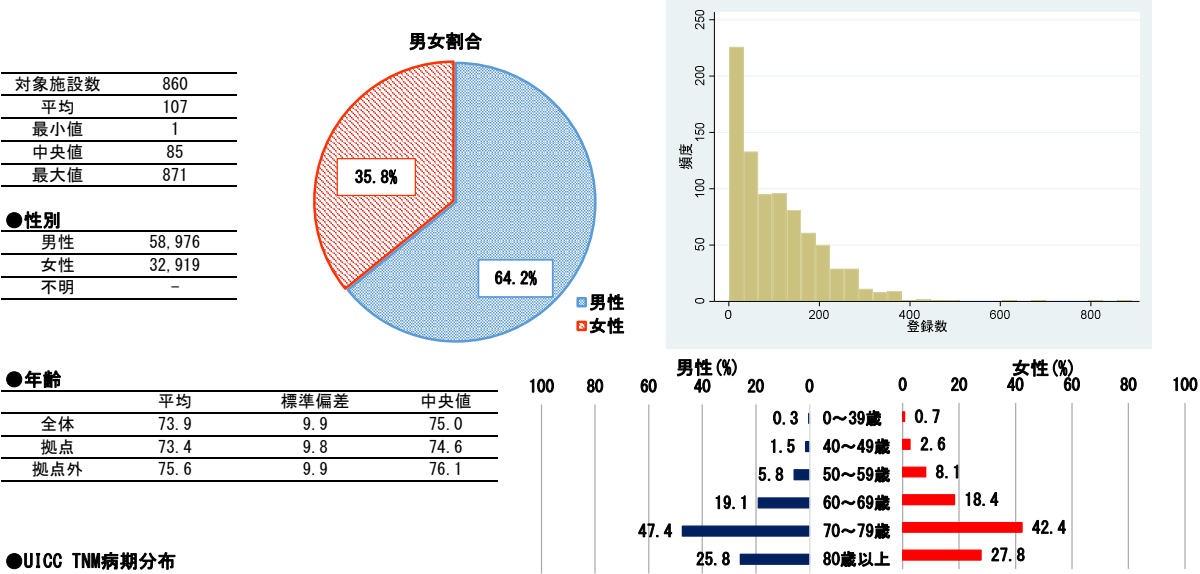
図4-4①-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
（2021年～2023年）



非小細胞肺がん（非小細胞肺癌）

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数を見ると、1施設当たりの登録数の中央値が85例で、最小登録数が1例、最大登録数が871例であった。



●UICC TNM病期分布

表4-4②-3より男女別にみると、男性は0/I期40.5%、IV期30.9%、女性は0/I期53.9%、IV期27.4%であり、男性の方が進行した状態での登録が多い傾向にある。

表4-4②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	0.1	2.2	42.7	35.9	6.8	7.5	2.0	5.5	13.4	6.9	4.8	1.7	29.4	14.9	14.4	4.7	0.1	89,932
2022	0.1	2.3	43.1	36.5	6.6	7.6	2.1	5.6	13.3	6.9	4.7	1.7	28.9	14.2	14.6	4.7	0.0	89,383
2023	0.1	2.2	43.1	36.7	6.4	7.5	2.0	5.4	13.1	6.7	4.7	1.7	29.0	14.2	14.7	5.0	-	91,895

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	0.0	7.7	67.5	53.8	13.7	11.3	2.6	8.7	8.7	7.1	1.5	0.0	3.1	2.3	0.9	1.4	0.2	0.0	43,739
2022	-	7.5	68.2	54.5	13.7	11.2	2.6	8.5	8.8	7.2	1.5	-	3.0	2.1	0.8	1.1	0.2	0.0	43,560
2023	-	7.2	68.5	55.0	13.6	11.0	2.6	8.5	8.2	6.9	1.3	-	3.1	2.2	0.9	1.6	0.2	-	44,933

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	-	3.7	41.3	33.1	8.2	8.0	1.8	6.1	15.0	8.2	5.1	1.7	29.3	14.6	14.6	2.0	0.0	89,932
2022	0.0	3.7	41.6	33.3	8.3	8.0	1.8	6.2	15.1	8.3	5.1	1.7	29.5	14.7	14.7	2.0	0.0	89,383
2023	-	3.6	41.7	33.6	8.2	8.0	1.8	6.1	14.9	8.1	5.1	1.7	29.7	14.8	14.8	2.2	-	91,895
男性	0.0	2.2	38.3	29.6	8.7	9.0	2.0	7.0	17.1	9.2	5.9	2.0	30.9	15.6	15.2	2.4	-	58,976
女性	-	6.0	47.9	40.7	7.2	6.2	1.5	4.7	10.8	6.2	3.5	1.0	27.4	13.3	14.0	1.7	0.0	32,919

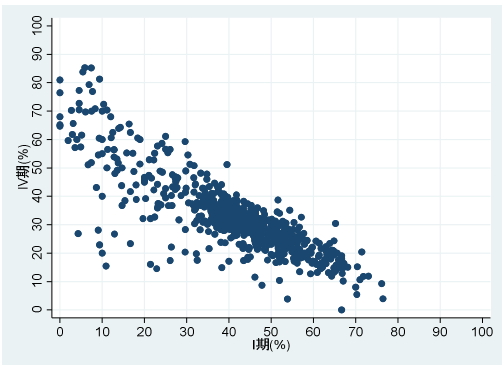
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

(対象例20例以上の698施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	1.0	0.0	0.0	2.9	2.9	30.4
I期	41.9	0.0	30.4	18.8	49.2	80.0
II期	7.3	0.0	5.2	4.1	9.3	20.0
III期	13.0	0.0	10.3	5.8	16.1	40.9
IV期	29.8	0.0	24.0	13.8	37.8	88.5

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



非小細胞肺癌（非小細胞肺癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-4②-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	3,301 100.0	38,361 100.0	30,865 100.0	7,496 100.0	7,322 100.0	1,682 100.0	5,640 100.0	13,648 100.0	7,451 100.0	4,665 100.0	1,532 100.0	27,262 100.0	13,599 100.0	13,570 100.0	1,983 100.0
手術のみ	95.4	70.1	73.0	58.2	40.2	46.6	38.3	12.8	19.8	5.6	—	1.6	2.4	0.7	1.1
内視鏡のみ	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.8	11.3	11.7	9.5	9.6	11.3	9.1	6.6	6.7	6.8	5.7	9.5	5.3	13.7	10.3
薬物療法のみ	—	0.6	0.6	0.9	4.1	3.5	4.3	19.0	11.6	24.1	39.7	44.5	48.9	40.2	9.4
放射線＋薬物	0.0	0.2	0.1	0.5	4.8	1.7	5.7	28.6	21.6	37.5	35.4	12.3	5.4	19.1	5.6
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.1	0.1	0.1	—
手術／内視鏡＋放射線	0.0	0.1	0.1	0.3	0.8	—	0.9	0.3	0.5	0.2	0.0	0.4	0.4	0.4	—
手術／内視鏡＋薬物	0.7	9.1	5.8	22.4	27.4	22.8	28.7	15.3	23.2	7.8	—	2.6	4.1	1.1	—
手術／内視鏡＋その他	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	—	—	1.3	—	1.6	1.7	2.4	1.0	—	0.7	0.4	1.0	—
他の組み合わせ	—	0.1	0.2	—	—	—	—	0.3	0.2	0.5	—	0.2	0.2	0.2	—
治療なし	2.5	8.4	8.4	8.0	11.7	13.5	11.1	15.3	14.1	16.5	18.0	28.1	32.6	23.4	72.4
（内訳）外科的治療	2.9	4.4	—	—	12.9	—	—	8.0	—	—	—	2.3	—	—	—
鏡視下治療	93.3	74.9	—	—	56.8	—	—	22.2	—	—	—	3.1	—	—	1.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	3,301 100.0	38,361 100.0	30,865 100.0	7,496 100.0	7,322 100.0	1,682 100.0	5,640 100.0	13,648 100.0	7,451 100.0	4,665 100.0	1,532 100.0	27,262 100.0	13,599 100.0	13,570 100.0	1,983 100.0
手術のみ	97.1	70.7	73.9	57.8	39.4	46.3	37.4	12.2	19.1	5.3	—	1.5	2.3	0.7	1.1
内視鏡のみ	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.8	11.6	12.1	9.7	9.7	11.4	9.2	6.6	6.6	6.8	5.7	9.5	5.3	13.7	10.7
薬物療法のみ	—	0.7	0.6	1.0	4.0	3.2	4.3	18.7	11.4	23.8	39.4	44.3	48.8	39.9	9.4
放射線＋薬物	0.0	0.2	0.1	0.5	4.8	1.7	5.7	28.8	21.7	37.7	35.8	12.5	5.6	19.5	5.7
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.1	0.1	0.1	—
手術／内視鏡＋放射線	—	0.1	0.1	0.3	0.8	—	0.9	0.3	0.5	0.2	0.0	0.4	0.4	0.4	—
手術／内視鏡＋薬物	0.7	9.5	6.1	23.4	28.6	23.5	30.1	16.1	24.2	8.4	—	2.8	4.4	1.1	—
手術／内視鏡＋その他	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	—	—	1.5	—	1.8	1.9	2.6	1.2	—	0.8	0.5	1.1	—
他の組み合わせ	—	0.1	0.2	—	—	—	—	0.3	0.2	0.5	—	0.2	0.2	0.2	—
治療なし	0.8	7.0	6.9	7.2	11.1	13.1	10.5	15.0	13.7	16.2	17.9	27.9	32.4	23.2	72.0
（内訳）外科的治療	2.9	4.5	—	—	13.0	—	—	8.1	—	—	—	2.3	—	—	—
鏡視下治療	95.0	75.9	—	—	57.3	—	—	22.4	—	—	—	3.1	—	—	1.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	3,301 100.0	38,361 100.0	30,865 100.0	7,496 100.0	7,322 100.0	1,682 100.0	5,640 100.0	13,648 100.0	7,451 100.0	4,665 100.0	1,532 100.0	27,262 100.0	13,599 100.0	13,570 100.0	1,983 100.0
手術のみ	97.0	70.5	73.7	57.3	39.0	46.3	36.8	11.9	18.5	5.1	—	1.4	2.1	0.6	1.2
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.8	11.7	12.1	9.7	9.7	11.4	9.1	6.5	6.6	6.6	5.4	9.5	5.3	13.6	10.8
薬物療法のみ	—	0.6	0.6	1.0	4.0	3.2	4.2	18.5	11.2	23.4	39.2	43.8	48.6	39.2	9.4
放射線＋薬物	0.0	0.2	0.1	0.5	4.8	1.7	5.8	29.1	21.9	38.2	36.4	13.1	5.9	20.4	5.8
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.1	0.1	0.1	—
手術／内視鏡＋放射線	—	0.2	0.1	0.3	0.8	—	0.9	0.3	0.5	0.2	0.0	0.5	0.4	0.5	—
手術／内視鏡＋薬物	0.7	9.6	6.2	23.8	29.0	23.6	30.7	16.4	24.7	8.5	—	2.6	4.4	0.9	—
手術／内視鏡＋その他	—	0.1	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	—	—	1.5	—	1.8	1.9	2.7	1.2	—	1.0	0.6	1.3	—
他の組み合わせ	—	0.2	0.2	—	0.1	—	—	0.3	0.2	0.5	—	0.2	0.2	0.3	0.5
治療なし	0.8	6.9	6.8	7.2	11.1	13.0	10.5	14.9	13.6	16.1	17.8	27.7	32.3	23.0	71.7
（内訳）外科的治療	2.9	4.5	—	—	13.0	—	—	8.2	—	—	—	2.3	—	—	—
鏡視下治療	95.0	75.9	—	—	57.3	—	—	22.5	—	—	—	3.1	—	—	1.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcrcs.ganjo.jp/hbcrtables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-4②-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

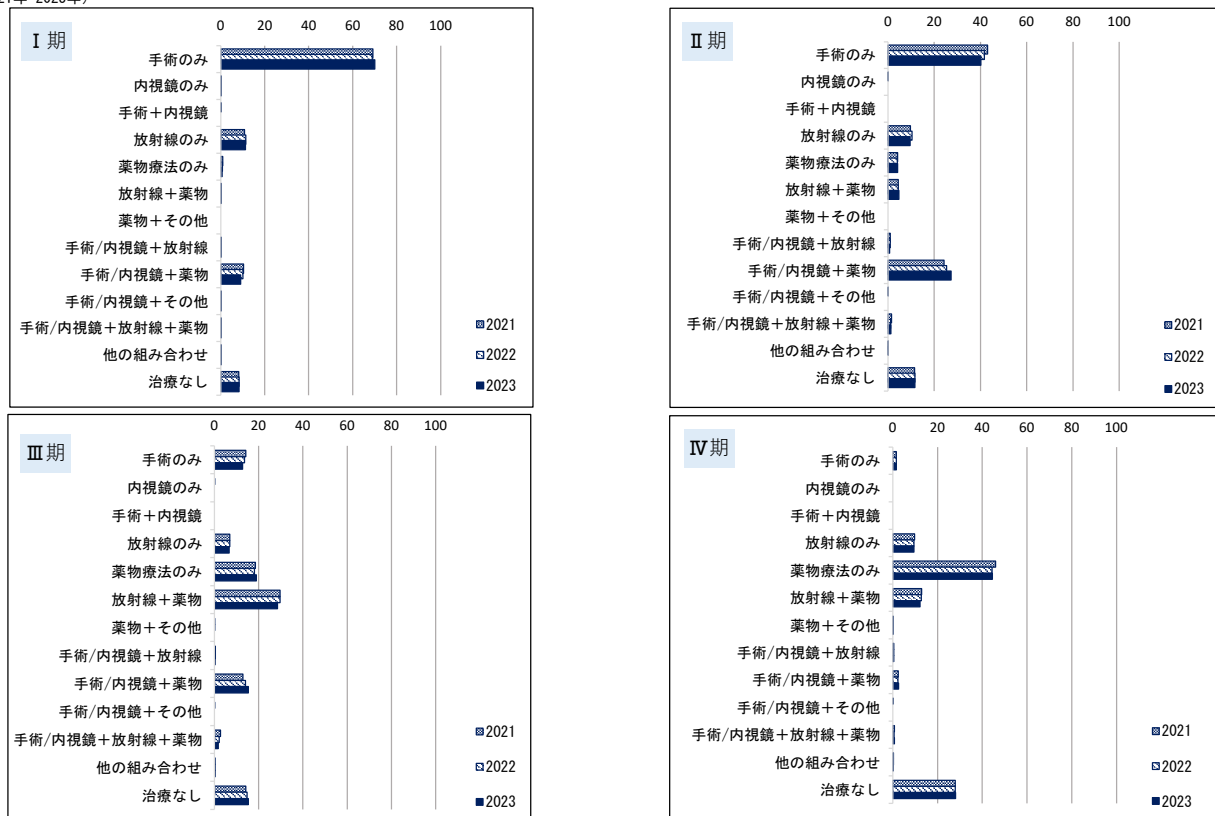
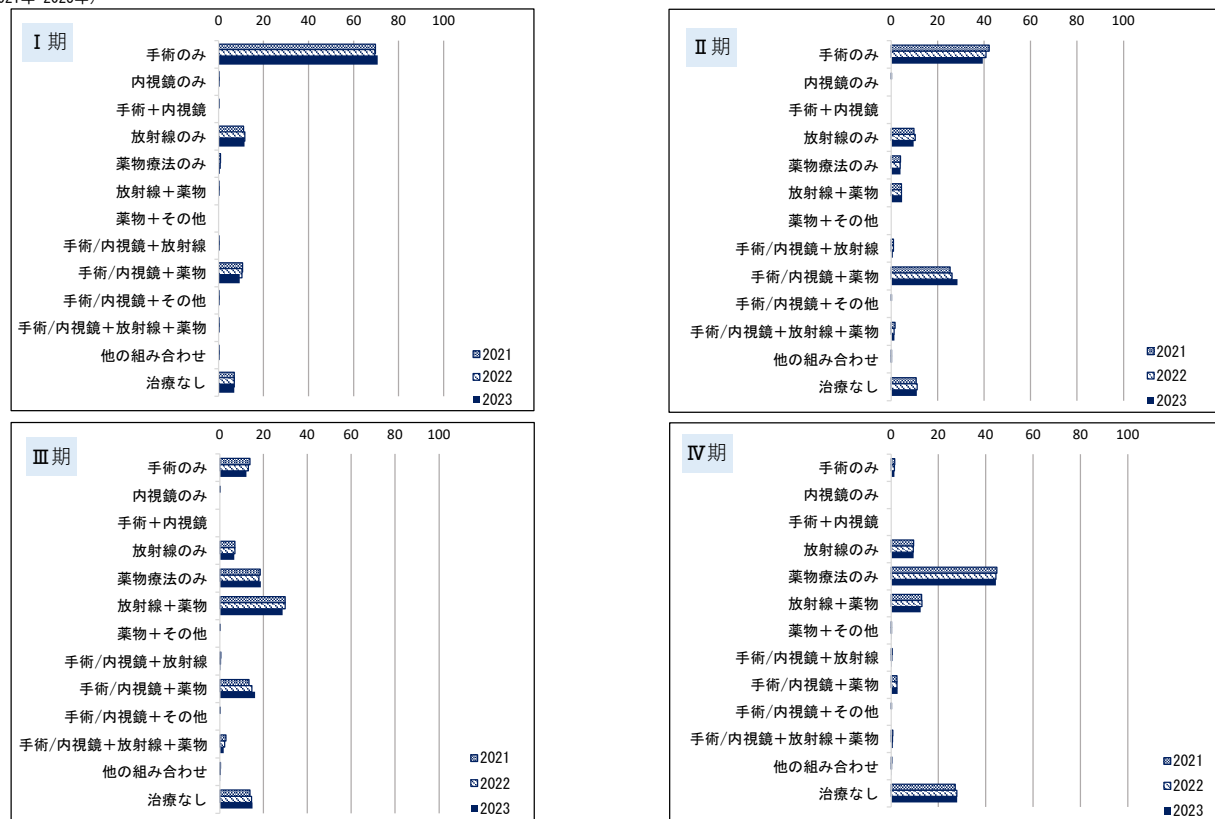


図4-4②-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



5. 乳がん（乳癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	115,884	860	113,829	86,827	86,626	99.8	830	75,562	87.0	795
2022	119,088	841	116,857	88,225	87,989	99.7	812	76,328	86.5	773
2023	125,456	876	122,895	93,663	93,484	99.8	832	80,735	86.2	788

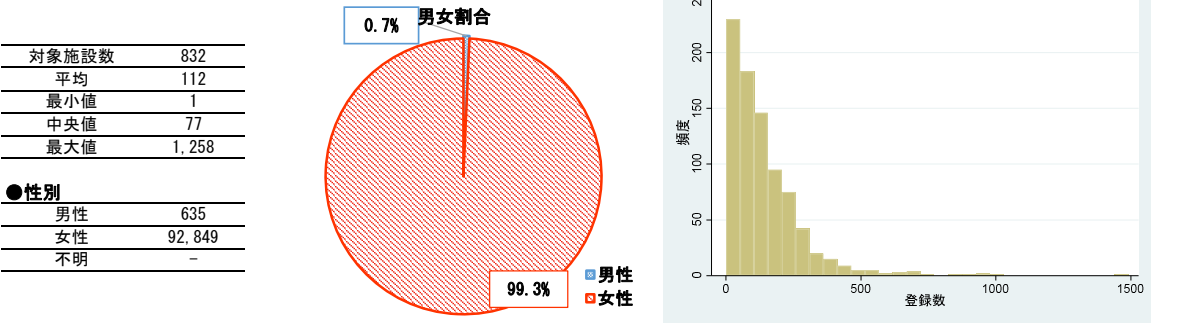
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

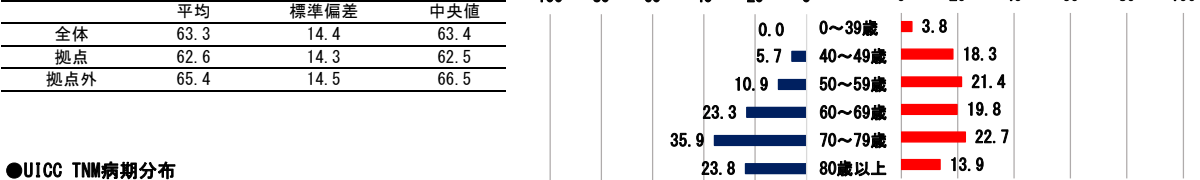
2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は77例で、最小登録数が1例、最大登録数が1,258例であった。



●年齢



●UICC TNM病期分布

表4-5-3より0/I期の割合が最も多く約54%を占め、次いでII期が約31%であった。登録割合の傾向について2018年以降の変化は少ない。

表4-5-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	不明	該当無	合計
2021	15.4	39.7	39.7	0.0	30.4	22.7	7.6	7.2	1.8	3.6	1.8	86,626
2022	15.6	39.6	39.6	0.0	30.4	22.9	7.5	7.0	1.8	3.3	1.9	87,989
2023	15.6	39.1	39.1	0.0	30.5	22.8	7.6	7.2	1.8	3.3	2.0	93,484

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	14.2	40.8	39.4	1.4	22.9	16.4	6.5	5.4	2.8	1.2	1.4	0.3	75,562
2022	14.4	40.2	38.8	1.3	22.4	16.2	6.2	5.2	2.8	1.1	1.3	0.3	76,328
2023	14.4	40.3	39.0	1.3	22.3	16.1	6.2	4.8	2.6	1.1	1.1	0.2	80,735

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

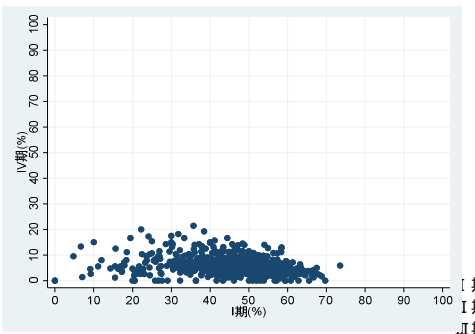
	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	不明	該当無	合計
2021	13.5	40.5	39.2	1.2	30.2	20.5	9.7	9.9	3.7	3.3	2.8	86,626
2022	13.5	40.3	39.2	1.2	30.3	20.8	9.5	9.7	3.8	3.1	2.8	87,989
2023	13.4	40.1	39.0	1.1	30.6	21.0	9.7	9.6	3.6	3.1	2.8	93,484
男性	8.3	35.0	32.9	2.0	32.4	23.3	9.1	15.4	3.8	9.3	2.4	635
女性	13.5	40.2	39.1	1.1	30.6	21.0	9.7	9.5	3.6	3.1	2.8	92,849

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の689施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	13.6	0.0	9.2	8.2	17.4	34.6
I期	39.3	13.5	34.6	9.0	43.6	69.9
II期	30.6	9.4	26.6	8.4	35.0	58.3
III期	7.1	0.0	5.1	4.5	9.6	24.1
IV期	5.7	0.0	3.9	4.3	8.2	40.0

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



5. 乳がん（乳癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-5-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IIIC	IV期	不明
全体	12,561 100.0	37,503 100.0	36,477 100.0	1,026 100.0	28,642 100.0	19,616 100.0	9,026 100.0	8,954 100.0	3,412 100.0	2,905 100.0	2,637 100.0	5,352 100.0	471 100.0
手術のみ	58.6	16.3	16.4	12.7	11.3	12.2	9.3	7.7	9.6	7.4	5.5	0.9	6.6
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	—	0.2	—	0.4	—	2.5	—
薬物療法のみ	2.9	7.0	7.2	0.0	29.0	25.1	37.3	48.0	33.4	56.2	57.7	73.0	50.3
放射線＋薬物	—	—	—	0.0	0.0	—	—	0.3	0.0	0.7	—	10.6	—
薬物＋その他	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	18.8	5.4	5.5	4.1	2.3	2.4	2.0	2.0	2.4	1.4	2.2	—	—
手術/内視鏡＋薬物	10.6	47.2	46.8	63.0	46.4	48.0	42.9	35.0	47.3	26.0	28.9	3.2	8.9
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	5.5	22.4	22.5	19.9	9.6	10.6	7.5	4.9	6.5	4.2	3.6	0.7	2.1
他の組み合わせ	0.2	0.2	0.2	—	0.1	0.1	—	—	0.0	—	—	0.0	—
治療なし	3.1	1.3	1.3	—	1.2	1.4	0.8	1.8	0.6	3.5	1.6	8.9	29.7
(内訳) 外科的治療	93.0	90.9	—	—	69.5	—	—	49.5	—	—	—	4.7	18.3
鏡視下治療	0.5	0.5	—	—	0.2	—	—	—	—	—	—	0.2	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IIIC	IV期	不明
全体	12,561 100.0	37,503 100.0	36,477 100.0	1,026 100.0	28,642 100.0	19,616 100.0	9,026 100.0	8,954 100.0	3,412 100.0	2,905 100.0	2,637 100.0	5,352 100.0	471 100.0
手術のみ	56.8	13.6	13.7	8.0	8.8	9.6	7.0	5.7	6.5	6.2	4.1	0.9	6.6
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	—	0.2	—	0.4	—	2.5	—
薬物療法のみ	2.1	3.6	3.7	0.0	9.9	9.4	11.0	19.5	8.9	30.2	21.5	69.8	44.2
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	—	0.8	0.6	10.8	—
薬物＋その他	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	20.2	4.2	4.3	1.8	1.4	1.5	1.1	1.4	1.6	1.1	1.5	—	—
手術/内視鏡＋薬物	11.4	48.2	47.8	61.0	56.9	57.8	55.1	40.5	46.0	38.1	36.2	5.2	14.4
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	7.0	29.2	29.2	29.1	21.7	20.3	24.7	30.4	36.2	19.9	34.4	1.9	3.4
他の組み合わせ	0.2	0.2	0.2	—	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—
治療なし	2.1	0.9	0.9	0.0	1.0	1.1	0.7	1.6	0.4	3.2	1.4	8.7	29.5
(内訳) 外科的治療	95.0	94.8	—	—	88.6	—	—	78.0	—	—	—	7.8	24.8
鏡視下治療	0.5	0.5	—	—	0.3	—	—	—	—	—	—	0.2	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IIIC	IV期	不明
全体	12,561 100.0	37,503 100.0	36,477 100.0	1,026 100.0	28,642 100.0	19,616 100.0	9,026 100.0	8,954 100.0	3,412 100.0	2,905 100.0	2,637 100.0	5,352 100.0	471 100.0
手術のみ	53.4	11.8	12.0	6.8	7.8	8.6	6.2	5.0	5.5	5.7	3.4	0.8	6.4
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	—	—	0.2	—	0.4	—	2.3	—
薬物療法のみ	2.0	3.5	3.6	0.0	9.7	9.3	10.7	19.3	8.8	29.9	21.3	69.2	44.2
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	—	0.7	0.5	11.5	—
薬物＋その他	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	22.5	3.9	3.9	1.7	1.3	1.4	1.1	1.5	1.5	1.2	1.7	—	—
手術/内視鏡＋薬物	10.8	45.2	44.9	57.8	55.2	56.1	53.3	37.5	42.1	36.5	32.7	5.1	14.2
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	8.7	34.3	34.3	33.6	24.7	23.3	27.7	34.4	41.4	22.3	38.6	2.1	4.0
他の組み合わせ	0.2	0.2	0.2	—	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—
治療なし	2.1	0.9	0.9	0.0	1.0	1.1	0.6	1.6	0.4	3.1	1.4	8.7	29.3
(内訳) 外科的治療	95.0	94.9	—	—	88.9	—	—	78.3	—	—	—	7.8	25.1
鏡視下治療	0.5	0.5	—	—	0.3	—	—	—	—	—	—	0.2	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-5-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
（2021年-2023年）

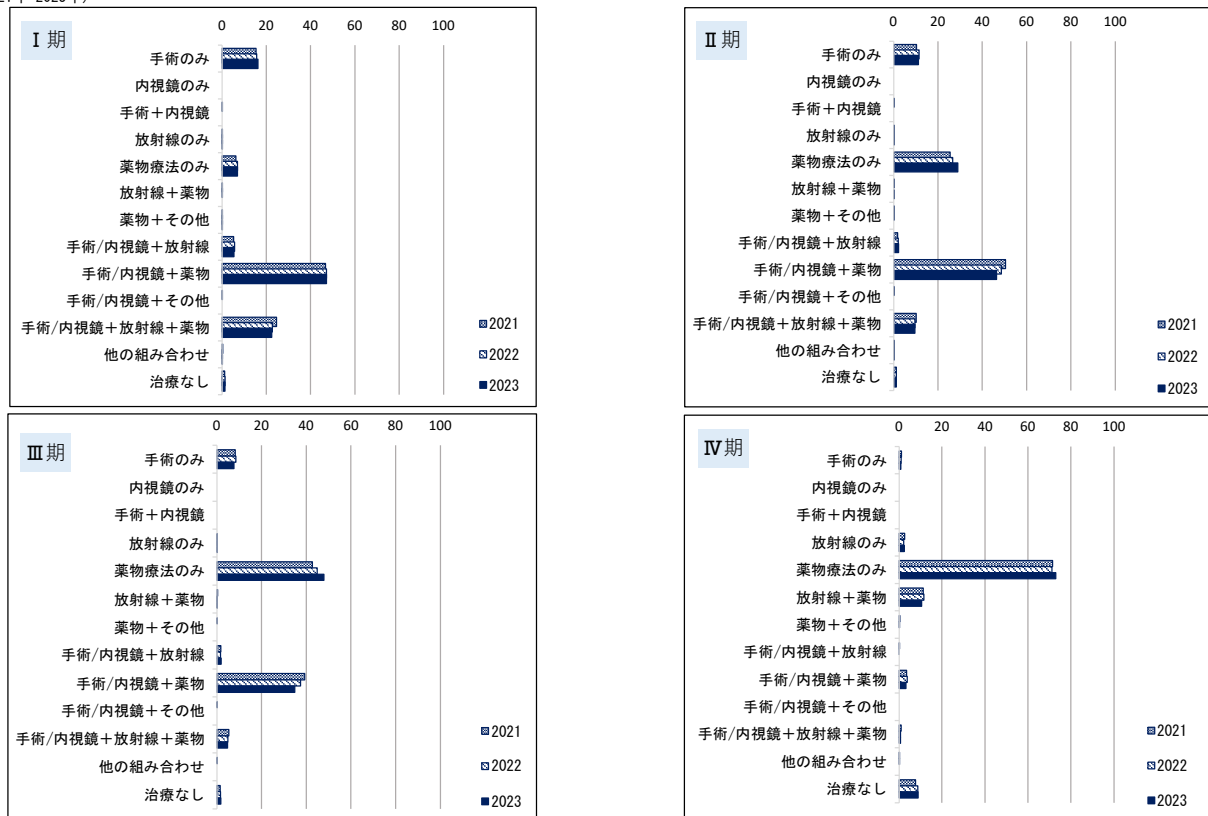
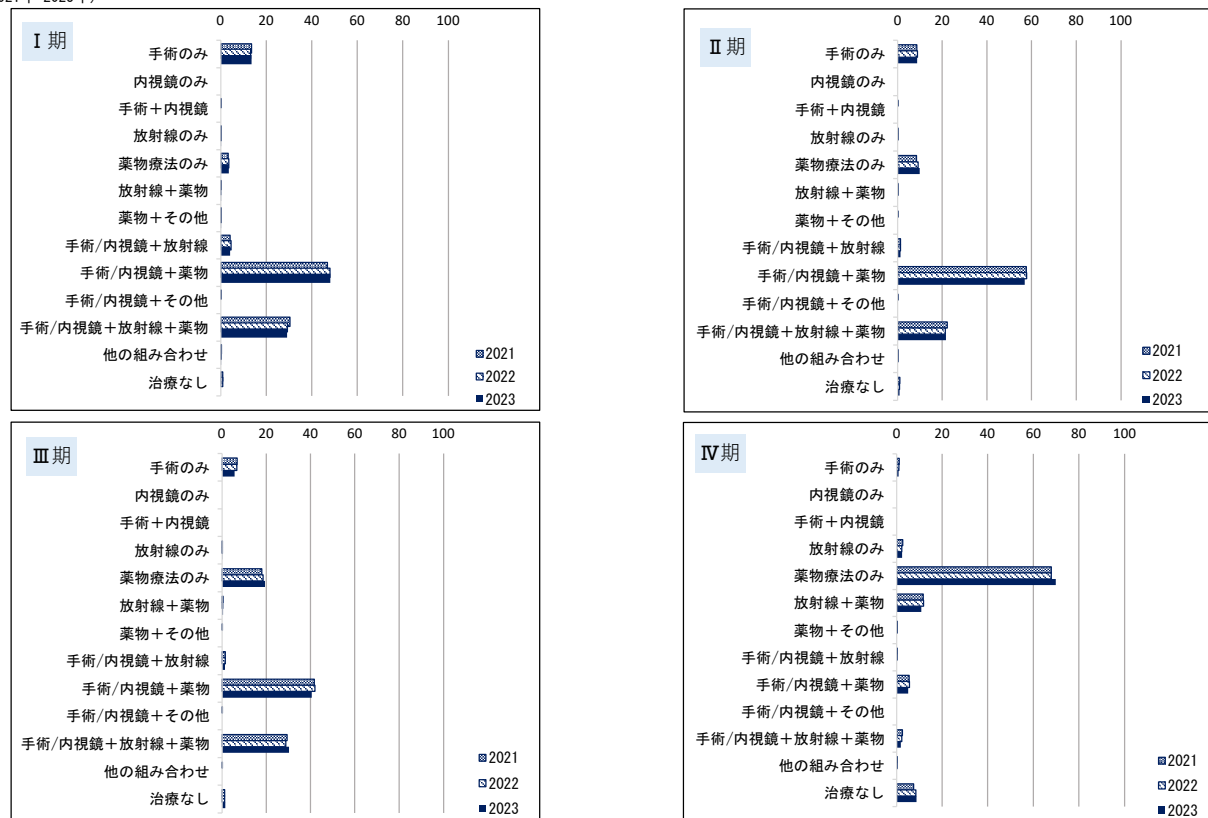


図4-5-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
（2021年-2023年）



6. 食道がん（食道癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	32,538	856	31,051	25,370	25,142	99.1	810	15,140	59.7	713
2022	32,171	838	30,702	25,326	25,126	99.2	790	15,082	59.6	680
2023	33,028	866	31,486	25,881	25,658	99.1	820	15,634	60.4	713

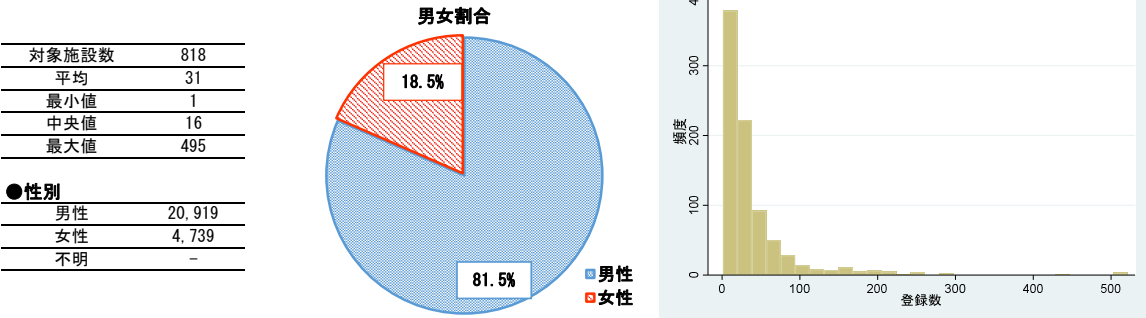
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は16例で、最小登録数が1例、最大登録数が495例で2022年診断例と比較すると最大値で増加を認めた。



●性別

対象施設数	818
平均	31
最小値	1
中央値	16
最大値	495

●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	71.9	9.8	73.1
拠点	71.5	9.8	72.7
拠点外	73.8	9.9	74.7

●UICC TNM病期分布

表4-6-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA期	IIB期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2021	14.5	36.0	0.0	0.0	9.9	0.1	0.5	13.5	0.0	0.0	0.0	20.6	7.8	25,142
2022	14.0	36.4	0.0	0.0	9.8	0.1	0.4	13.2	0.0	0.0	0.0	21.0	7.6	25,126
2023	14.7	36.2	0.0	0.0	9.8	0.1	0.5	13.4	0.0	0.0	0.0	20.2	6.4	25,658

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-1a UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合 <扁平上皮癌>

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	不明	その他	合計
2021	15.8	36.7	10.3	13.3	20.7	8.0	12.7	3.2	0.0	22,796
2022	15.1	37.2	10.2	12.9	21.0	7.6	13.4	3.6	0.0	22,825
2023	16.0	36.9	10.1	13.2	20.0	6.3	13.7	3.8	-	23,213

表4-6-1b UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合 (腺癌)

	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC期	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2021	2.5	38.4	8.5	1.2	7.3	20.0	26.5	8.4	18.1	4.1	0.0	1,783
2022	3.4	37.0	7.1	1.0	6.1	20.5	26.8	9.6	17.3	5.1	0.0	1,796
2023	2.5	37.5	8.2	1.5	6.7	19.1	27.8	8.9	18.9	4.9	0.0	1,938

表4-6-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	16.7	52.6	43.3	9.3	3.3	0.6	2.8	2.8	0.7	2.1	1.6	1.0	0.6	15,140
2022	15.4	53.8	45.1	8.7	3.2	0.7	2.5	2.5	0.7	1.8	1.4	0.8	0.5	15,082
2023	16.5	53.6	44.8	8.8	3.0	0.6	2.4	2.2	0.6	1.6	1.2	0.7	0.5	15,634

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-2a UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合 <扁平上皮癌>

	0期	I期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	18.2	52.4	43.8	8.6	3.0	0.4	2.5	2.3	0.6	1.7	1.1	0.7	0.5	13,846
2022	16.7	54.0	45.9	8.1	2.9	0.5	2.4	1.9	0.6	1.3	0.9	0.5	0.4	13,785
2023	18.0	53.6	45.7	7.9	2.6	0.4	2.2	1.7	0.5	1.2	0.9	0.5	0.4	14,228

表4-6-2b UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合 <腺癌>

	0期	I期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	1.2	56.9	38.8	18.1	7.9	2.3	5.6	9.0	2.0	7.0	6.8	4.8	1.9	1,241
2022	1.8	53.8	38.0	15.8	6.4	2.1	4.3	9.5	2.4	7.1	6.2	4.4	1.7	1,259
2023	1.8	56.1	37.4	18.7	7.3	1.9	5.4	7.6	1.7	5.9	4.9	3.5	1.4	1,348

表4-6-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	11.8	39.6	26.1	5.6	10.1	0.4	1.8	13.7	0.4	1.3	21.1	8.2	13.0	1.5	2.2	25,142
2022	11.0	40.5	27.1	5.2	10.1	0.4	1.7	13.4	0.4	1.1	21.4	7.9	13.5	1.6	2.0	25,126
2023	11.7	40.7	27.3	5.4	10.0	0.4	1.7	13.4	0.4	1.0	20.6	6.6	14.0	1.6	2.0	25,658
男性	11.0	41.7	27.9	5.4	9.5	0.4	1.6	13.3	0.4	0.9	20.9	6.6	14.3	1.6	1.9	20,919
女性	14.5	36.1	24.6	5.2	12.1	0.4	1.9	14.0	0.2	1.2	19.3	6.9	12.4	1.6	2.5	4,739

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-3a UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合 <扁平上皮癌>

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	12.9	40.3	26.6	5.2	10.5	0.3	1.5	13.7	0.4	1.0	21.1	8.3	12.8	1.5	0.0	22,796
2022	12.0	41.4	27.7	4.9	10.6	0.3	1.4	13.2	0.3	0.8	21.2	7.8	13.5	1.5	0.0	22,825
2023	12.8	41.5	28.0	4.8	10.4	0.3	1.3	13.4	0.3	0.8	20.3	6.5	13.8	1.6	-	23,213

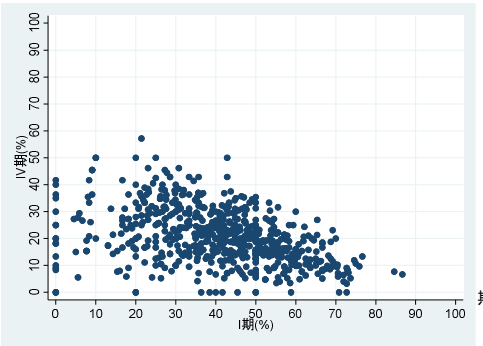
表4-6-3b UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合 <腺癌>

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	0.8	42.0	27.0	12.6	8.1	2.0	6.2	18.2	1.4	4.9	28.8	9.9	18.8	2.1	0.0	1,783
2022	1.6	40.8	26.6	11.1	6.8	1.6	5.2	19.0	1.7	5.0	29.2	11.3	17.9	2.6	0.0	1,796
2023	1.3	41.5	26.0	13.0	8.2	2.0	6.1	17.0	1.2	4.1	29.6	10.2	19.4	2.4	0.0	1,938

表4-6-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の523施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	11.7	0.0	5.8	14.0	19.8	84.6
I期	35.2	0.0	26.1	18.1	44.2	90.0
II期	9.1	0.0	5.3	9.0	14.3	40.0
III期	11.8	0.0	6.7	10.9	17.6	50.0
IV期	20.0	0.0	13.6	13.7	27.3	71.4

(参考) 施設毎の0/ I期とIV期の割合の分布図



6. 食道癌

<食道癌全集計>

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-6-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,993 100.0	10,440 100.0	7,007 100.0	1,374 100.0	2,568 100.0	101 100.0	428 100.0	3,451 100.0	93 100.0	254 100.0	5,290 100.0	1,704 100.0	3,586 100.0	407 100.0
手術のみ	1.3	8.9	5.6	39.0	12.1	71.3	55.6	6.4	54.8	66.5	2.1	3.9	1.3	—
内視鏡のみ	83.2	64.8	89.6	33.8	0.5	—	2.3	—	0.0	—	—	0.0	—	2.5
手術＋内視鏡	—	1.9	0.7	10.9	1.0	—	5.1	—	—	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	2.8	0.0	0.0	9.9	—	—	5.7	0.0	0.0	8.5	10.0	7.9	11.1
薬物療法のみ	0.4	1.2	0.0	0.0	9.4	—	—	13.2	0.0	0.0	32.5	20.3	38.2	8.1
放射線＋薬物	0.8	6.6	0.0	0.0	17.0	0.0	—	19.5	0.0	0.0	28.2	33.0	25.9	7.1
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.5	0.2	2.3	—	0.0	—	—	0.0	—	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	2.6	0.2	2.0	37.0	16.8	27.3	46.9	43.0	29.1	11.6	16.1	9.5	2.9
手術/内視鏡＋その他	—	0.2	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	2.3	1.1	11.1	1.1	—	—	2.3	—	—	1.8	2.9	1.3	—
他の組み合わせ	1.6	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.2	—	—	—
治療なし	11.7	7.6	2.4	0.8	11.8	—	3.7	5.6	0.0	0.0	14.6	13.0	15.3	67.1
（内訳）外科的治療	0.5	1.9	—	—	8.2	—	—	8.4	—	—	3.3	—	—	—
鏡視下治療	0.9	11.3	—	—	42.8	—	—	47.4	—	—	12.6	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,993 100.0	10,440 100.0	7,007 100.0	1,374 100.0	2,568 100.0	101 100.0	428 100.0	3,451 100.0	93 100.0	254 100.0	5,290 100.0	1,704 100.0	3,586 100.0	407 100.0
手術のみ	1.3	9.0	5.7	39.2	12.0	72.3	54.7	6.2	53.8	63.8	2.1	3.9	1.2	—
内視鏡のみ	85.1	65.6	91.6	30.3	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	2.5
手術＋内視鏡	—	2.2	0.9	12.0	0.8	—	4.2	—	—	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	2.9	0.0	0.0	9.9	—	—	5.7	0.0	0.0	8.5	9.9	7.9	10.8
薬物療法のみ	0.4	0.9	0.0	0.0	7.7	—	—	11.5	0.0	0.0	30.8	18.6	36.6	7.6
放射線＋薬物	0.8	6.8	0.0	0.0	17.4	0.0	—	19.4	0.0	0.0	28.7	33.7	26.4	7.4
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.6	0.2	2.8	—	0.0	—	—	0.0	—	0.2	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	—	2.8	0.2	2.1	39.1	17.8	30.8	48.1	44.1	31.5	12.3	16.7	10.2	3.7
手術/内視鏡＋その他	—	0.2	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	2.7	1.2	13.5	1.3	—	—	3.2	—	—	2.4	3.6	1.8	—
他の組み合わせ	1.6	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.2	—	—	—
治療なし	9.7	5.5	0.0	0.0	11.3	—	3.0	5.5	0.0	0.0	14.5	13.0	15.3	66.6
（内訳）外科的治療	0.5	2.0	—	—	8.6	—	—	8.9	—	—	3.5	—	—	—
鏡視下治療	0.9	11.8	—	—	44.5	—	—	48.7	—	—	13.4	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,993 100.0	10,440 100.0	7,007 100.0	1,374 100.0	2,568 100.0	101 100.0	428 100.0	3,451 100.0	93 100.0	254 100.0	5,290 100.0	1,704 100.0	3,586 100.0	407 100.0
手術のみ	1.3	9.0	5.7	39.1	11.9	72.3	54.2	6.1	53.8	63.0	2.0	3.9	1.2	—
内視鏡のみ	85.0	65.3	91.3	29.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	2.5
手術＋内視鏡	—	2.3	1.0	12.4	0.8	—	4.2	—	—	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	2.8	0.0	0.0	9.9	—	—	5.5	0.0	0.0	8.1	9.4	7.6	10.8
薬物療法のみ	0.4	0.8	0.0	0.0	7.0	—	—	10.8	0.0	0.0	30.4	18.1	36.2	7.4
放射線＋薬物	0.8	6.9	0.0	0.0	17.5	0.0	—	19.8	0.0	0.0	29.4	34.6	27.0	7.6
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.6	0.2	3.1	—	0.0	—	—	0.0	—	0.2	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	—	2.9	0.2	2.1	39.6	17.8	31.3	48.4	44.1	32.7	12.4	16.7	10.3	3.7
手術/内視鏡＋その他	—	0.2	0.3	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	2.9	1.3	14.3	1.4	—	—	3.4	—	—	2.5	3.8	1.9	—
他の組み合わせ	1.6	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.2	—	—	—
治療なし	9.7	5.5	0.0	0.0	11.1	—	3.0	5.5	0.0	0.0	14.4	12.9	15.2	66.6
（内訳）外科的治療	0.5	2.0	—	—	8.6	—	—	9.1	—	—	3.6	—	—	—
鏡視下治療	0.9	11.9	—	—	45.0	—	—	49.1	—	—	13.5	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-6-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

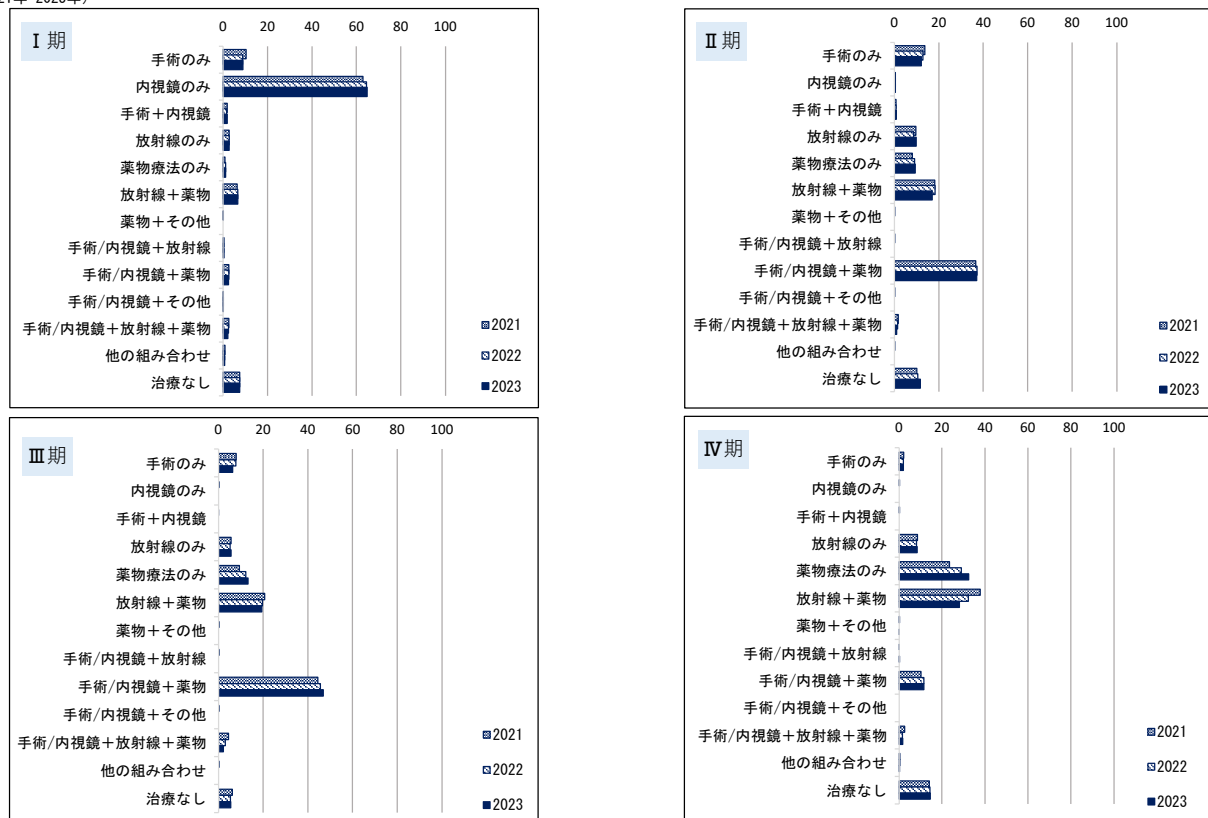
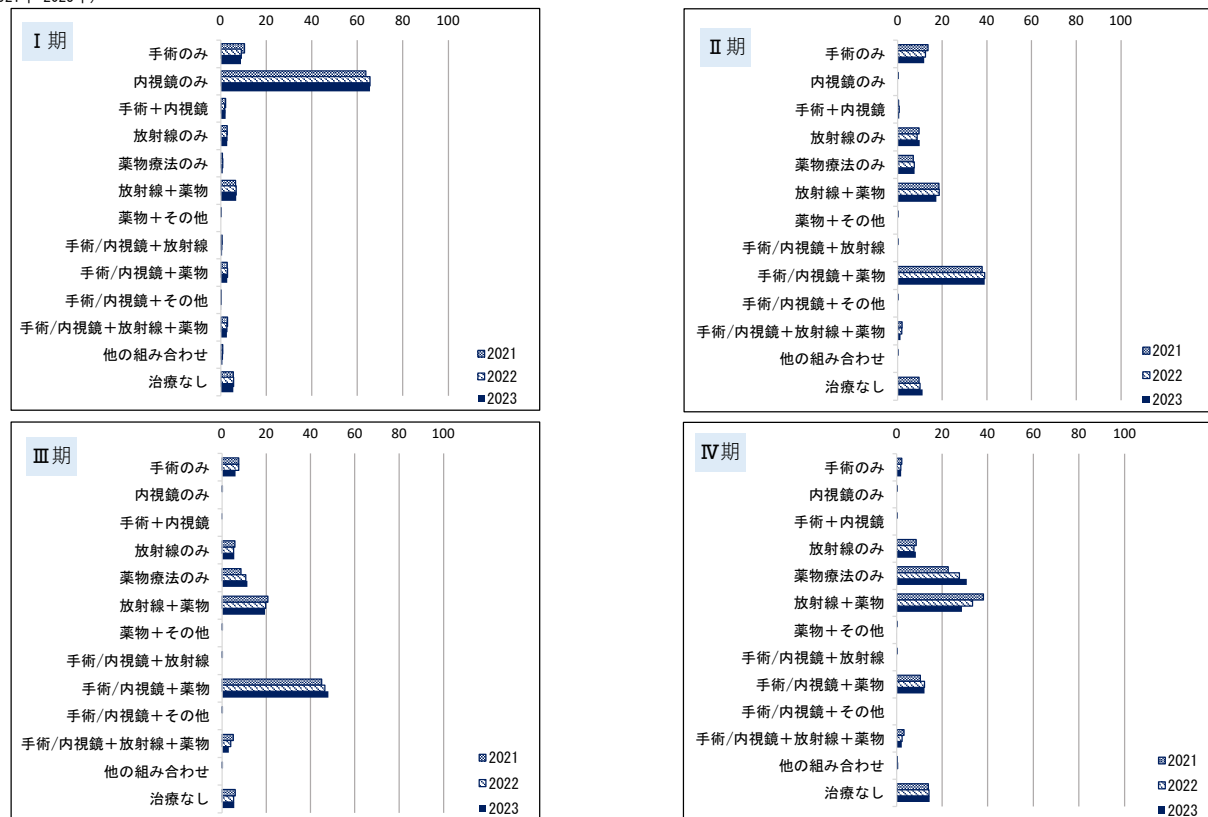


図4-6-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



<扁平上皮癌>

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合 <扁平上皮癌>

表4-6-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	I期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IIII期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,967 100.0	9,635 100.0	6,503 100.0	1,122 100.0	2,410 100.0	62 100.0	309 100.0	3,122 100.0	70 100.0	175 100.0	4,717 100.0	1,507 100.0	3,210 100.0	360 100.0
手術のみ	1.2	7.9	5.1	38.1	10.0	82.3	61.2	5.4	61.4	72.0	1.6	2.8	1.0	—
内視鏡のみ	83.2	64.9	90.1	33.8	0.5	—	3.2	—	0.0	—	—	0.0	—	—
手術+内視鏡	—	1.4	0.6	8.7	0.6	—	4.5	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	2.9	0.0	0.0	10.2	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0	9.1	11.1	8.1	12.2
薬物療法のみ	0.4	1.2	0.0	0.0	9.8	0.0	0.0	13.2	0.0	0.0	31.2	20.4	36.3	8.1
放射線+薬物	0.8	7.2	0.0	0.0	17.8	0.0	0.0	21.3	0.0	0.0	30.4	36.4	27.6	8.1
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡+放射線	—	0.5	0.2	2.8	—	0.0	—	—	0.0	—	0.3	—	—	0.0
手術/内視鏡+薬物	—	2.7	0.2	2.2	37.6	—	27.8	45.8	38.6	22.9	10.3	11.1	9.9	3.3
手術/内視鏡+その他	—	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	2.4	1.2	13.4	1.1	—	—	2.4	0.0	—	2.0	3.3	1.4	0.0
他の組み合わせ	1.7	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.2	—	—	—
治療なし	11.7	7.8	2.5	1.0	12.0	—	—	5.4	0.0	0.0	14.6	14.0	14.9	65.3
(内訳) 外科的治療	0.5	1.7	—	—	7.7	—	—	7.9	—	—	2.8	—	—	—
鏡視下治療	0.9	10.1	—	—	41.5	—	—	45.9	—	—	11.4	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	I期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IIII期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,967 100.0	9,635 100.0	6,503 100.0	1,122 100.0	2,410 100.0	62 100.0	309 100.0	3,122 100.0	70 100.0	175 100.0	4,717 100.0	1,507 100.0	3,210 100.0	360 100.0
手術のみ	1.2	8.0	5.2	38.3	9.9	85.5	60.2	5.2	60.0	69.1	1.5	2.7	1.0	—
内視鏡のみ	85.0	65.9	92.2	29.8	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—
手術+内視鏡	—	1.6	0.7	9.7	0.5	—	3.6	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	3.1	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0	9.1	10.9	8.2	11.9
薬物療法のみ	0.4	0.9	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	11.6	0.0	0.0	29.5	18.6	34.6	7.8
放射線+薬物	0.8	7.4	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	21.2	0.0	0.0	31.0	37.2	28.1	8.3
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡+放射線	—	0.6	0.2	3.5	—	0.0	—	—	0.0	—	0.3	—	—	—
手術/内視鏡+薬物	—	3.0	0.2	2.3	39.7	—	31.7	46.8	40.0	25.1	11.0	11.7	10.6	3.9
手術/内視鏡+その他	—	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	2.9	1.3	16.4	1.3	—	—	3.3	0.0	—	2.6	4.0	1.9	0.0
他の組み合わせ	1.6	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.2	—	—	—
治療なし	9.8	5.7	0.0	0.0	11.4	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	14.5	13.9	14.8	64.7
(内訳) 外科的治療	0.5	1.8	—	—	8.1	—	—	8.4	—	—	3.0	—	—	—
鏡視下治療	0.9	10.6	—	—	43.2	—	—	47.1	—	—	12.3	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	0期	I期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IIII期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,967 100.0	9,635 100.0	6,503 100.0	1,122 100.0	2,410 100.0	62 100.0	309 100.0	3,122 100.0	70 100.0	175 100.0	4,717 100.0	1,507 100.0	3,210 100.0	360 100.0
手術のみ	1.2	8.0	5.2	38.2	9.9	85.5	59.9	5.2	60.0	68.6	1.5	2.7	1.0	—
内視鏡のみ	84.9	65.5	91.9	28.3	—	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
手術+内視鏡	—	1.7	0.8	10.2	0.5	—	3.6	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	3.0	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	8.6	10.4	7.8	11.9
薬物療法のみ	0.4	0.9	0.0	0.0	7.3	0.0	0.0	10.9	0.0	0.0	29.1	18.0	34.3	7.5
放射線+薬物	0.8	7.5	0.0	0.0	18.3	0.0	0.0	21.6	0.0	0.0	31.7	38.2	28.7	8.6
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡+放射線	—	0.7	0.2	3.7	—	0.0	—	—	0.0	—	0.3	—	—	—
手術/内視鏡+薬物	—	3.0	0.2	2.3	40.2	—	32.0	47.2	40.0	25.7	11.0	11.7	10.7	3.9
手術/内視鏡+その他	—	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	3.2	1.4	17.3	1.4	—	—	3.6	0.0	—	2.8	4.3	2.0	0.0
他の組み合わせ	1.6	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.3	—	—	—
治療なし	9.8	5.7	0.0	0.0	11.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	14.5	13.8	14.8	64.7
(内訳) 外科的治療	0.5	1.8	—	—	8.1	—	—	8.6	—	—	3.1	—	—	—
鏡視下治療	0.9	10.7	—	—	43.8	—	—	47.4	—	—	12.4	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-6-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

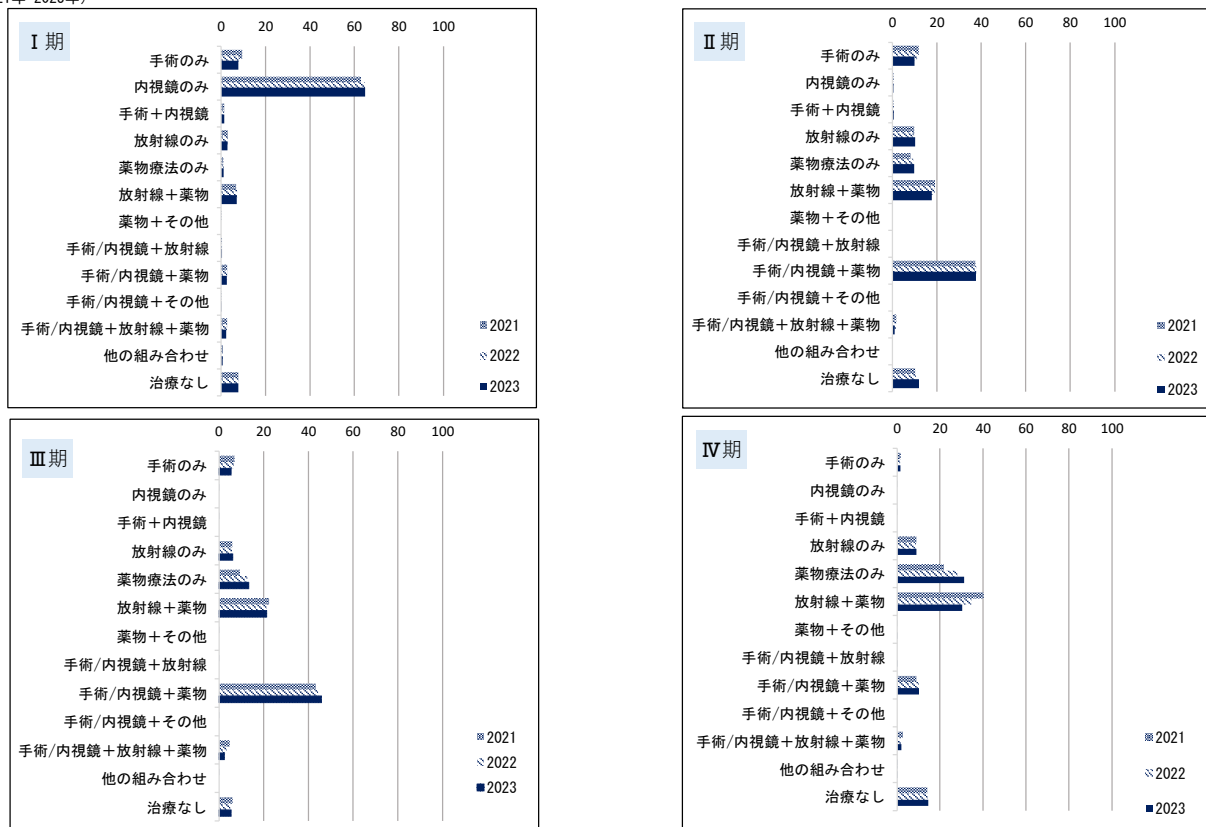
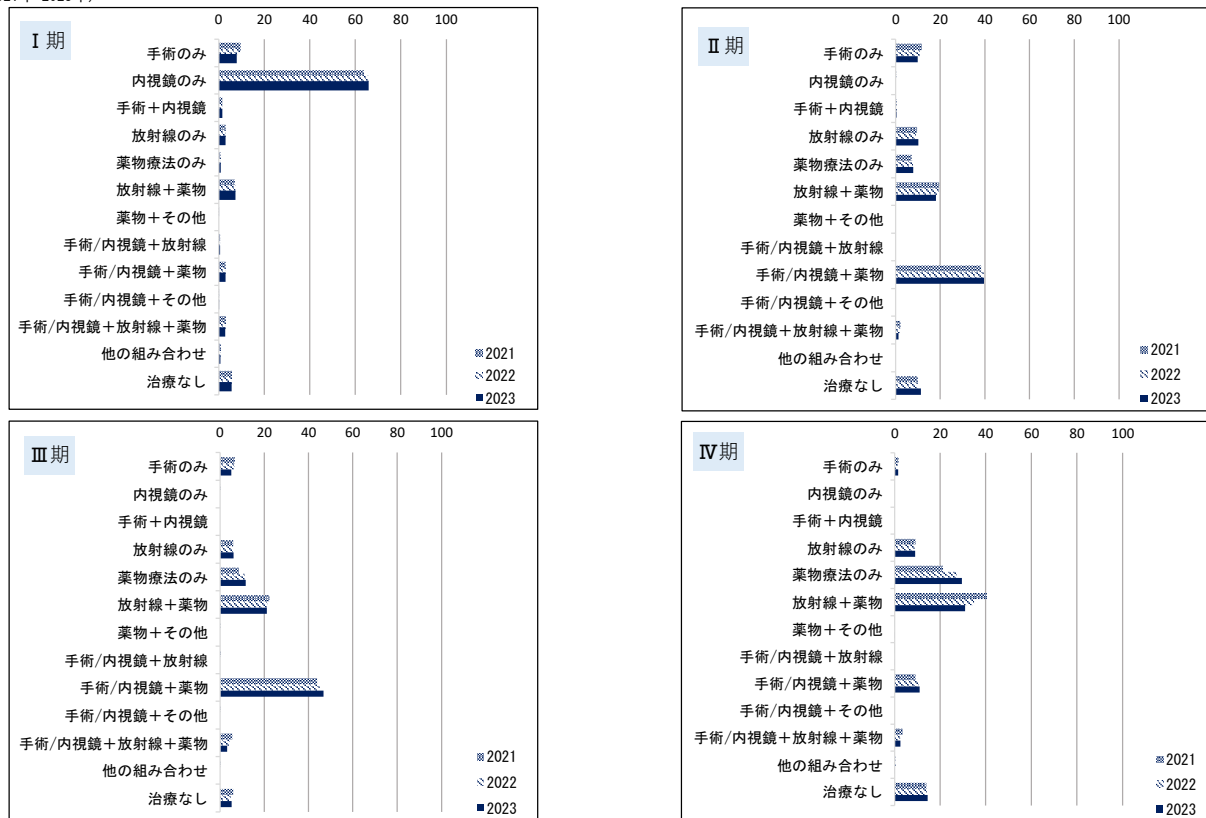


図4-6-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



<膵癌>

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合 <膵癌>

表4-6-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	26 100.0	805 100.0	504 100.0	252 100.0	158 100.0	39 100.0	119 100.0	329 100.0	23 100.0	79 100.0	573 100.0	197 100.0	376 100.0	47 100.0
手術のみ	—	21.1	12.3	42.9	44.3	53.8	41.2	15.8	—	54.4	6.5	12.7	3.2	0.0
内視鏡のみ	84.6	63.2	83.5	34.1	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.0	7.8	2.2	20.6	6.3	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0	4.2	—	5.6	—
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	13.4	0.0	0.0	42.6	19.8	54.5	—
放射線＋薬物	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	9.8	6.6	11.4	0.0
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.0	—	—	—	27.2	30.8	26.1	57.1	56.5	43.0	22.2	53.8	5.6	0.0
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—
他の組み合わせ	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
治療なし	—	4.1	—	0.0	8.9	—	10.9	7.6	0.0	0.0	14.3	5.6	18.9	80.9
（内訳）外科的治療	0.0	4.3	—	—	15.8	—	—	13.1	—	—	7.0	—	—	0.0
鏡視下治療	—	25.5	—	—	62.7	—	—	62.3	—	—	22.0	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	26 100.0	805 100.0	504 100.0	252 100.0	158 100.0	39 100.0	119 100.0	329 100.0	23 100.0	79 100.0	573 100.0	197 100.0	376 100.0	47 100.0
手術のみ	—	21.1	12.3	42.9	43.0	51.3	40.3	15.2	—	51.9	6.3	12.7	2.9	0.0
内視鏡のみ	88.5	63.1	84.1	32.5	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.0	8.7	2.8	22.2	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0	4.2	—	5.6	—
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	10.0	0.0	0.0	41.7	18.8	53.7	—
放射線＋薬物	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	9.9	7.1	11.4	0.0
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.0	1.2	—	—	29.7	33.3	28.6	60.2	56.5	45.6	23.0	54.3	6.6	—
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—
他の組み合わせ	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
治療なし	—	3.2	0.0	0.0	8.9	—	10.9	7.6	0.0	0.0	14.3	5.6	18.9	80.9
（内訳）外科的治療	—	4.5	—	—	15.8	—	—	14.0	—	—	7.2	—	—	0.0
鏡視下治療	—	26.3	—	—	63.3	—	—	64.4	—	—	22.5	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	26 100.0	805 100.0	504 100.0	252 100.0	158 100.0	39 100.0	119 100.0	329 100.0	23 100.0	79 100.0	573 100.0	197 100.0	376 100.0	47 100.0
手術のみ	—	21.1	12.3	42.9	42.4	51.3	39.5	14.9	—	50.6	6.3	12.7	2.9	0.0
内視鏡のみ	88.5	63.0	83.9	32.5	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.0	8.8	3.0	22.2	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0	4.0	—	5.3	—
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	9.4	0.0	0.0	41.0	18.8	52.7	—
放射線＋薬物	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	10.5	7.1	12.2	0.0
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.0	1.2	—	—	30.4	33.3	29.4	60.5	56.5	48.1	23.4	54.3	7.2	—
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—
他の組み合わせ	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
治療なし	—	3.2	0.0	0.0	8.9	—	10.9	7.3	0.0	0.0	14.3	5.6	18.9	80.9
（内訳）外科的治療	—	4.5	—	—	15.8	—	—	14.0	—	—	7.3	—	—	0.0
鏡視下治療	—	26.5	—	—	63.3	—	—	64.4	—	—	22.7	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-6-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

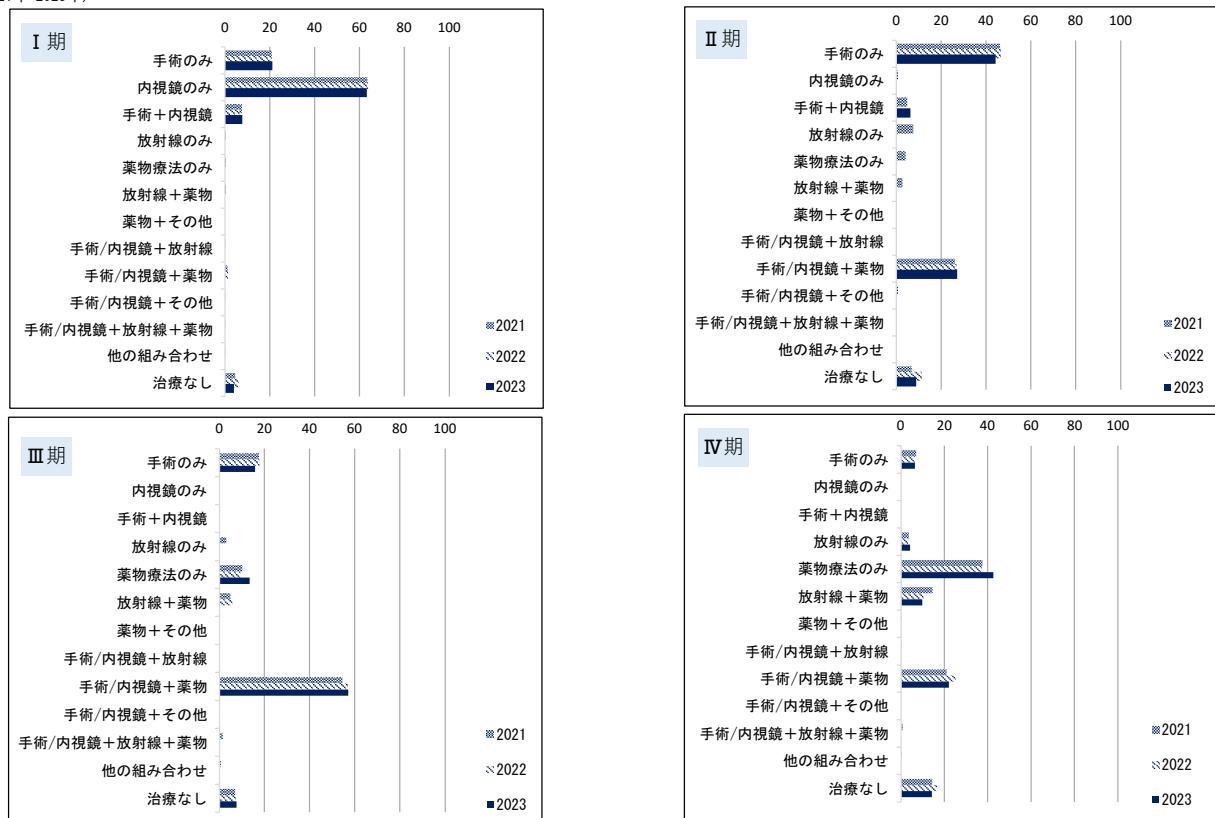
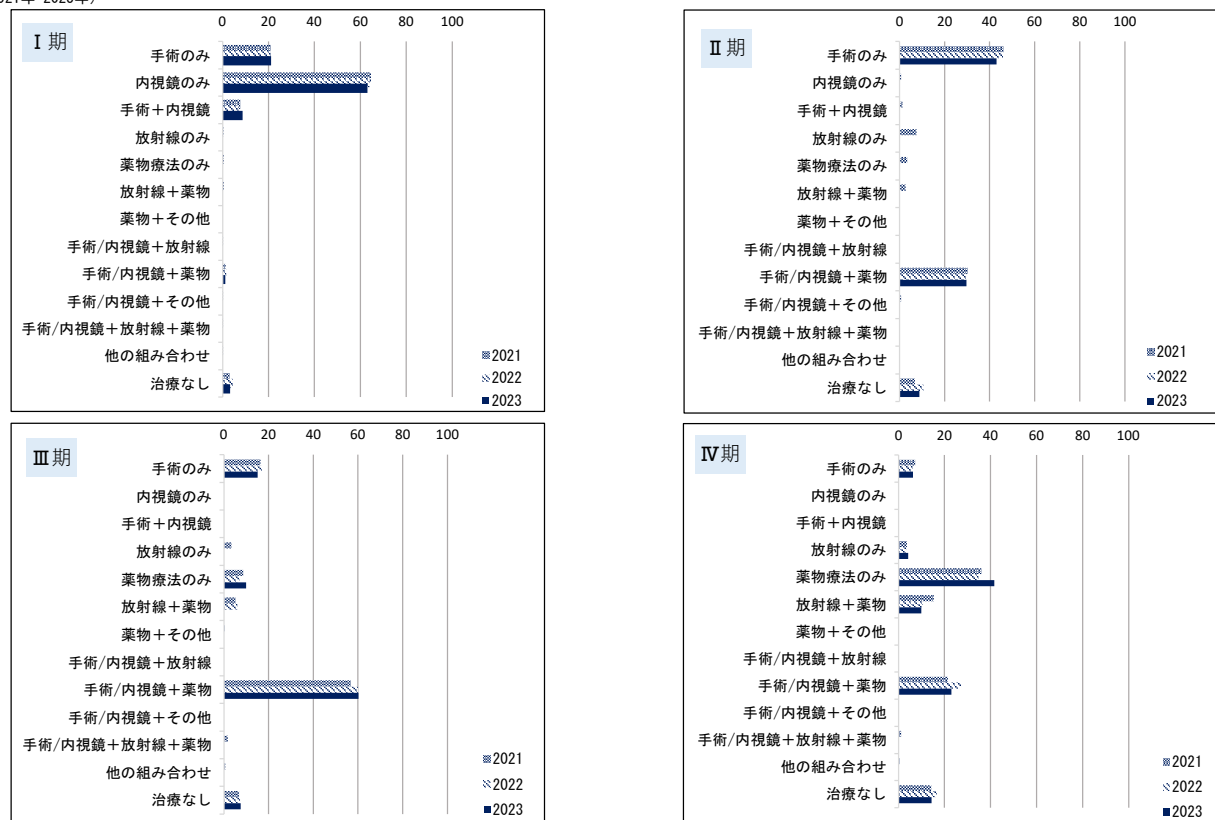


図4-6-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



7. 膵臓がん（膵臓癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	43,584	862	41,960	32,457	膵臓癌	31,011	95.5	857	8,869	27.3
					高分化型神経内分泌腫瘍	1,436	4.4	438	956	2.9
2022	44,723	838	42,706	32,911	膵臓癌	31,406	95.4	828	8,993	27.3
					高分化型神経内分泌腫瘍	1,488	4.5	423	1,013	3.1
2023	47,687	872	45,495	34,484	膵臓癌	32,905	95.4	862	9,309	27.0
					高分化型神経内分泌腫瘍	1,564	4.5	432	1,064	3.1

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

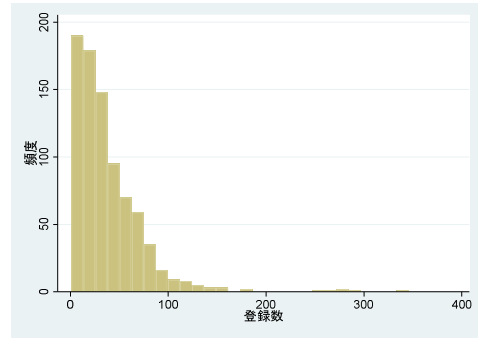
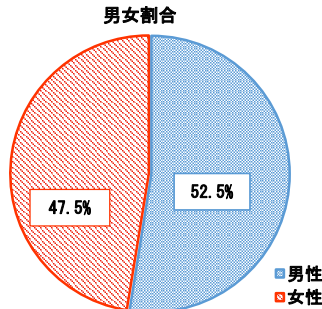
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は28例で、最小登録数が1例、最大登録数が379例で2022年診断例と比較して最大値で増加を認めた。

対象施設数	862
平均	38
最小値	1
中央値	28
最大値	379

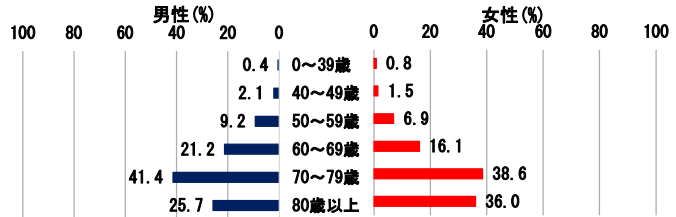
●性別

男性	17,286
女性	15,619
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	74.1	10.8	75.2
拠点	73.4	10.7	74.7
拠点外	76.4	10.5	77.3



●UICC TNM病期分布

表4-7-3よりIV期の割合が最も多く約44%を占め、次いでI期が約25%であった。登録割合の傾向について、2018年以降はI期での登録が増加し、IV期での登録が若干減少している。

表4-7-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIII期	IV期	不明	該当無	合計
2021	1.2	27.1	10.5	16.5	11.0	5.3	5.6	12.5	43.2	5.1	0.0	31,011
2022	1.4	27.4	11.3	16.1	10.5	5.4	5.1	12.2	43.2	5.3	0.0	31,406
2023	1.6	28.1	11.3	16.8	10.1	5.4	4.6	11.8	43.0	5.4	-	32,905

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIII期	IV期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	8.4	17.9	9.7	8.3	19.8	4.8	15.0	6.2	3.5	43.9	0.3	0.1	8,869
2022	10.0	16.2	9.1	7.1	16.6	4.6	11.9	5.2	3.3	48.6	0.2	-	8,993
2023	10.3	15.8	8.9	6.9	15.8	4.1	11.7	4.3	2.9	50.6	0.3	-	9,309

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIII期	IV期	不明	該当無	合計
2021	2.5	23.1	8.9	14.2	13.7	5.1	8.6	14.1	43.9	2.8	0.0	31,011
2022	2.9	23.9	9.7	14.1	12.9	5.3	7.6	13.6	43.9	2.9	0.0	31,406
2023	3.0	25.1	9.9	15.2	12.4	5.3	7.2	12.9	43.6	3.0	-	32,905
男性	3.2	25.1	9.9	15.2	12.7	5.3	7.5	12.5	43.9	2.6	0.0	17,286
女性	2.7	25.1	9.9	15.2	12.1	5.2	6.9	13.4	43.4	3.4	-	15,619

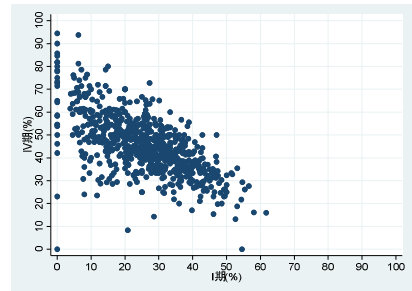
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

(対象例10例以上の732施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	18.0
I期	25.0	0.0	16.2	17.8	34.0	72.7
II期	9.6	0.0	5.5	9.3	14.8	45.5
III期	11.1	0.0	6.8	8.6	15.4	50.0
IV期	45.3	0.0	36.8	16.2	53.0	90.9

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



7. 膵臓がん（膵臓癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-7-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IV期	不明
全体	981 100.0	8,245 100.0	3,257 100.0	4,988 100.0	4,095 100.0	1,728 100.0	2,367 100.0	4,249 100.0	14,356 100.0	978 100.0
手術のみ	94.7	10.2	14.8	7.2	15.9	12.2	18.5	3.6	0.7	—
内視鏡のみ	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	—	1.2	1.1	1.2	0.7	0.8	0.5	1.3	1.0	—
薬物療法のみ	—	22.3	14.7	27.3	27.0	31.9	23.5	60.4	56.2	18.5
放射線＋薬物	0.0	2.3	1.9	2.6	1.4	1.9	1.0	5.9	1.2	1.0
薬物＋その他	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.3	0.4	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	3.4	44.2	50.5	40.0	37.8	29.9	43.6	8.5	1.3	4.8
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	1.8	1.7	1.9	0.8	0.9	0.8	0.4	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.3	0.3	0.3	—	—	—	0.4	0.3	—
治療なし	1.6	17.5	14.9	19.2	15.8	22.0	11.3	19.2	38.8	73.7
（内訳）外科的治療	60.7	42.1	—	—	44.6	—	—	11.2	1.6	4.5
鏡視下治療	37.4	14.3	—	—	10.2	—	—	1.4	0.5	1.1

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IV期	不明
全体	981 100.0	8,245 100.0	3,257 100.0	4,988 100.0	4,095 100.0	1,728 100.0	2,367 100.0	4,249 100.0	14,356 100.0	978 100.0
手術のみ	95.0	10.0	14.5	7.1	14.9	12.0	17.1	3.4	0.7	—
内視鏡のみ	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	—	1.2	1.2	1.2	0.7	0.8	0.5	1.3	1.1	—
薬物療法のみ	—	19.3	13.0	23.4	24.5	29.4	21.0	57.9	55.8	17.9
放射線＋薬物	0.0	2.1	1.6	2.5	1.3	2.0	0.9	6.0	1.3	—
薬物＋その他	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.3	0.4	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	3.7	47.3	52.5	43.8	41.3	32.8	47.5	10.6	1.6	5.1
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	2.4	2.2	2.5	1.1	1.0	1.1	0.9	—	—
他の組み合わせ	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	—	—	0.5	0.3	—
治療なし	—	17.3	14.6	19.0	15.6	21.8	11.0	19.0	38.8	73.7
（内訳）外科的治療	61.0	45.2	—	—	47.2	—	—	13.6	1.8	5.2
鏡視下治療	37.8	14.7	—	—	10.4	—	—	1.5	0.5	1.1

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IV期	不明
全体	981 100.0	8,245 100.0	3,257 100.0	4,988 100.0	4,095 100.0	1,728 100.0	2,367 100.0	4,249 100.0	14,356 100.0	978 100.0
手術のみ	94.8	9.7	14.0	6.9	14.5	11.8	16.4	3.3	0.6	—
内視鏡のみ	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	1.2	1.2	1.2	0.6	0.8	0.5	1.3	1.1	—
薬物療法のみ	—	18.1	11.4	22.4	23.8	28.6	20.4	56.3	55.7	17.9
放射線＋薬物	0.0	2.4	2.0	2.7	1.8	2.3	1.4	7.4	1.4	1.0
薬物＋その他	0.0	0.1	—	—	—	—	—	0.4	0.5	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	3.9	48.4	54.2	44.6	42.1	33.4	48.5	10.9	1.7	5.3
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	2.4	2.2	2.5	1.1	1.0	1.1	1.0	—	—
他の組み合わせ	0.0	0.3	0.3	0.4	0.3	—	—	0.5	0.3	—
治療なし	—	17.3	14.6	19.0	15.5	21.6	11.0	18.9	38.7	73.3
（内訳）外科的治療	61.0	45.9	—	—	47.5	—	—	13.8	1.9	5.5
鏡視下治療	37.8	14.9	—	—	10.4	—	—	1.5	0.5	1.1

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-7-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

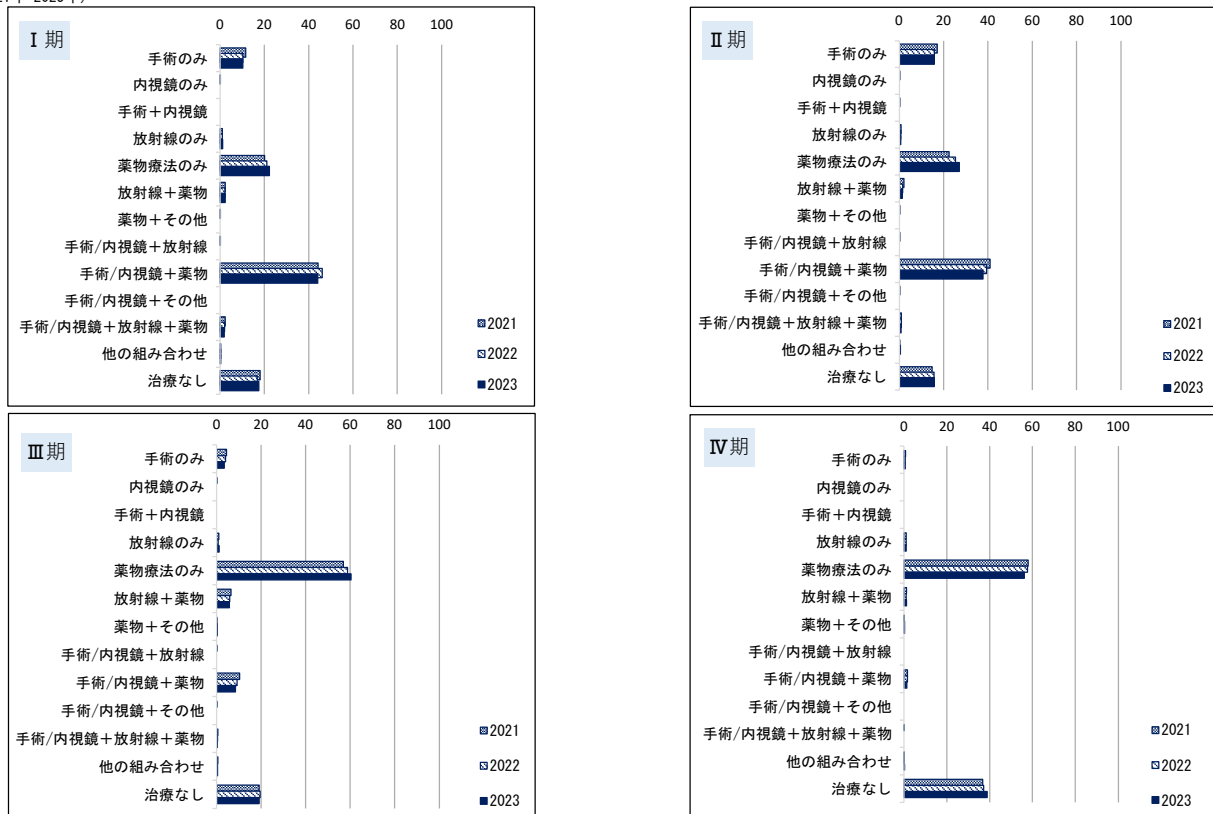
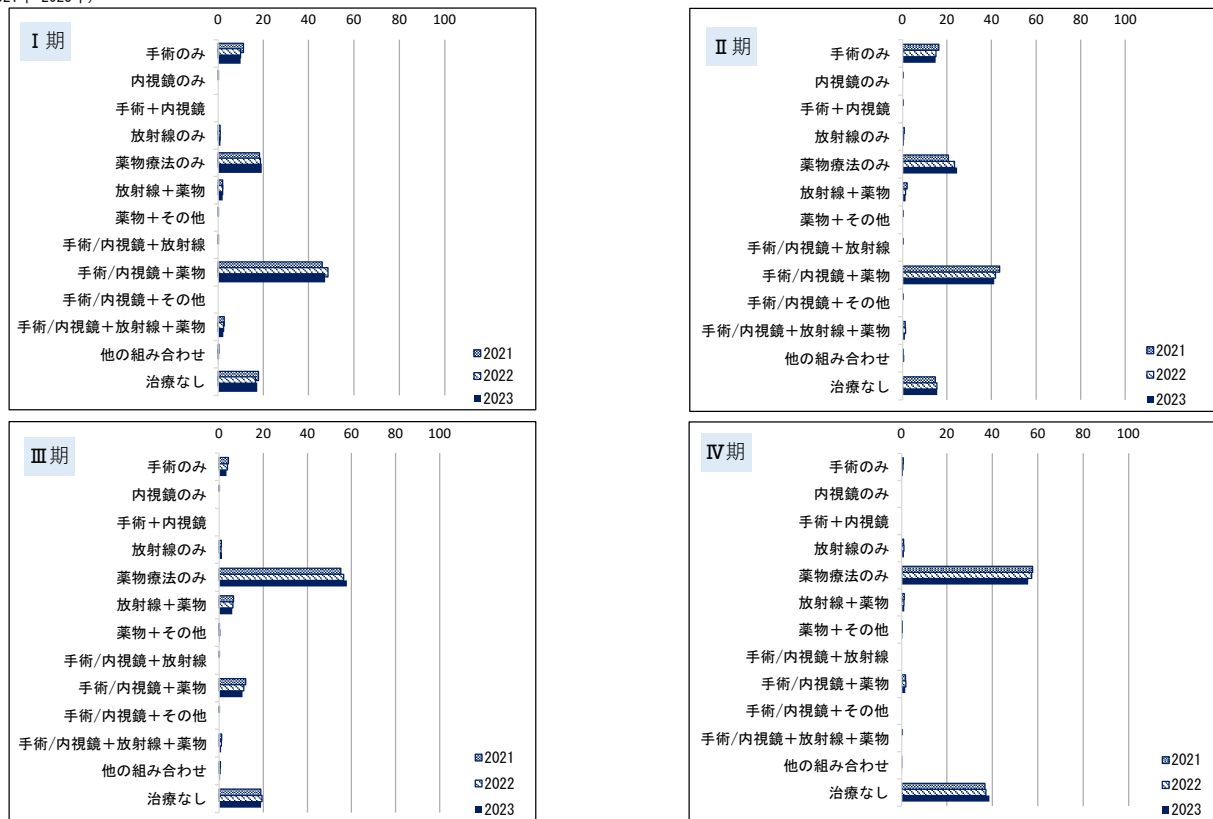


図4-7-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



膵高分化型神経内分泌腫瘍

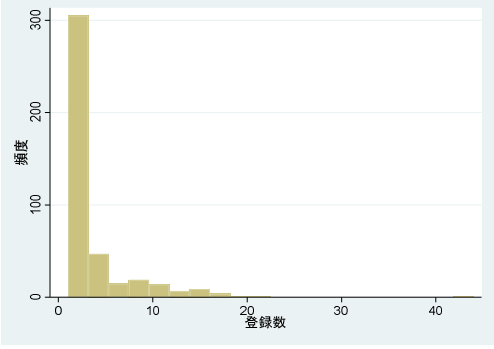
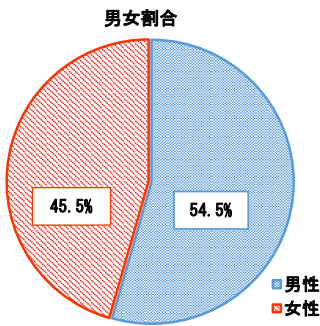
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は2例で、最小登録数が1例、最大登録数が44例であった。

対象施設数	432
平均	4
最小値	1
中央値	2
最大値	44

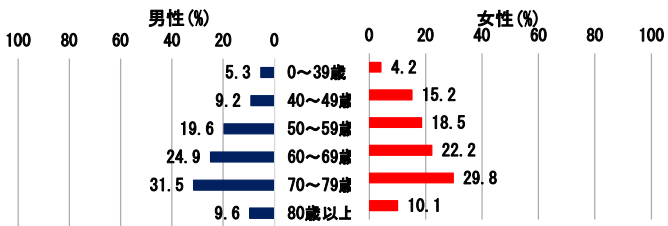
●性別

男性	852
女性	712
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	64.1	13.5	66.1
拠点	63.8	13.7	65.9
拠点外	65.9	12.6	69.0



●UICC TNM病期分布

表4-7②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	0.0	52.0	18.9	2.4	14.8	11.8	0.0	1,436
2021	-	52.6	19.8	2.5	13.8	11.2	0.0	1,488
2022	0.0	51.6	17.6	2.7	14.2	13.8	0.0	1,564

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	該当無	合計
2021	0.0	63.8	20.1	11.5	3.1	1.3	0.2	0.0	956
2022	-	63.2	23.3	9.8	2.4	1.0	-	-	1,013
2023	-	64.4	21.0	9.8	3.5	1.2	-	0.0	1,064

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2021	0.0	59.3	16.1	8.5	14.9	1.2	0.0	1,436
2022	-	59.3	18.3	7.2	14.3	0.7	0.0	1,488
2023	-	61.2	16.3	7.1	14.7	-	0.0	1,564
男性	-	61.3	15.8	7.4	14.4	-	0.0	852
女性	0.0	61.1	16.9	6.7	15.0	-	0.0	712

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

膵高分化型神経内分泌腫瘍

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-7②-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	957 100.0	255 100.0	111 100.0	230 100.0	10 100.0
手術のみ	68.3	83.1	83.8	11.3	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	—	0.0
薬物療法のみ	—	—	—	70.9	—
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	1.1	—	—	—	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—
他の組み合わせ	2.2	0.0	—	—	0.0
治療なし	27.8	12.5	—	9.1	—
（内訳）外科的治療	25.4	42.0	56.8	10.4	—
鏡視下治療	44.1	42.4	30.6	5.2	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7②-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	957 100.0	255 100.0	111 100.0	230 100.0	10 100.0
手術のみ	71.0	86.7	90.1	11.7	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	—	0.0
薬物療法のみ	—	—	—	70.0	—
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	1.3	—	—	4.8	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—
他の組み合わせ	2.2	0.0	—	—	0.0
治療なし	25.1	8.6	—	7.8	—
（内訳）外科的治療	26.0	43.9	60.4	12.2	—
鏡視下治療	46.2	44.3	33.3	5.2	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7②-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に他施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	957 100.0	255 100.0	111 100.0	230 100.0	10 100.0
手術のみ	70.6	86.7	90.1	11.7	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	—	0.0
薬物療法のみ	—	—	—	68.3	—
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	1.4	—	—	4.3	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	2.2	0.0	—	—	0.0
治療なし	25.0	8.6	—	7.8	—
（内訳）外科的治療	26.0	43.9	60.4	12.2	—
鏡視下治療	46.3	44.3	33.3	5.2	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-7②-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

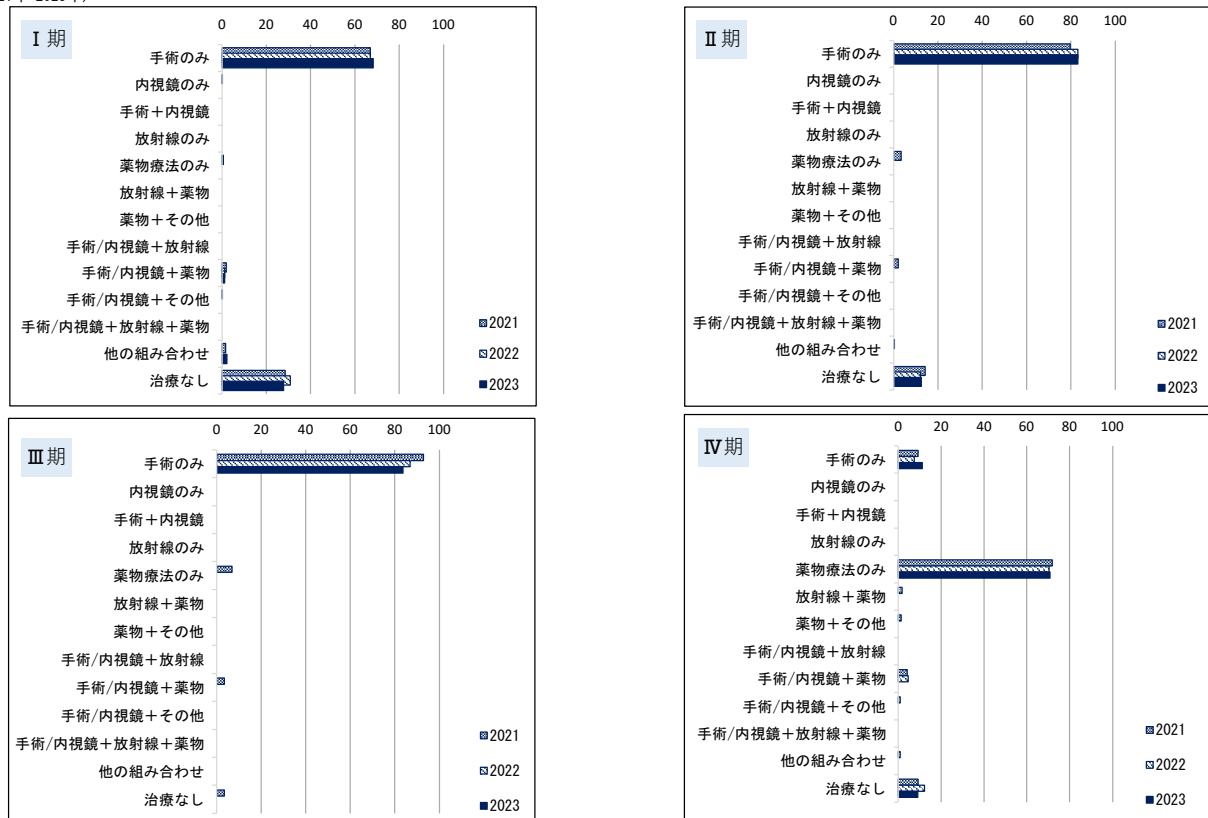
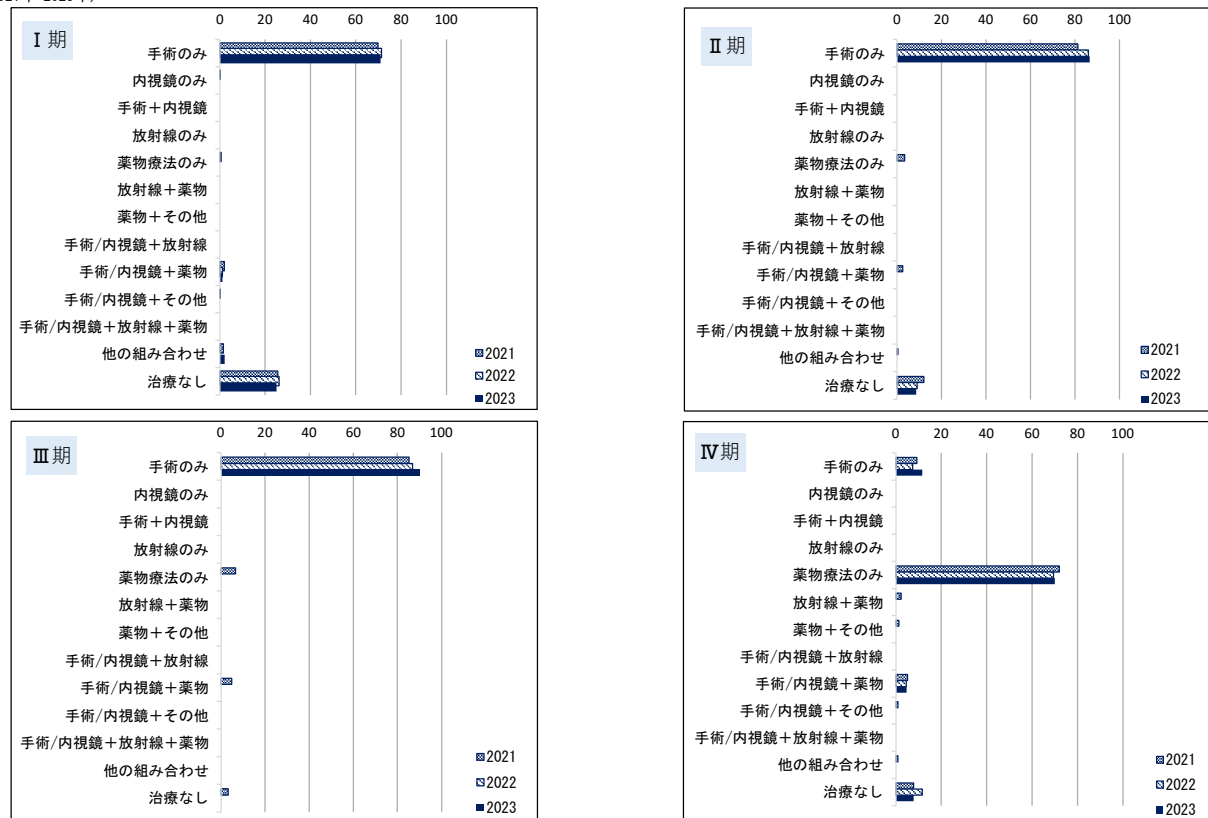


図4-7②-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



8. 前立腺がん（前立腺癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	91,706	854	88,123	66,340	66,306	99.9	823	21,629	32.6	597
2022	98,787	834	95,106	71,259	71,200	99.9	799	23,759	33.3	594
2023	101,141	866	97,248	73,062	73,005	99.9	837	24,232	33.2	631

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

(注)2022年症例はpT2aNOm0を術後病期Ⅱとし、「a,b,c」の亜分類も許容しておりpT2aNOm0は術後病期Ⅰとなっていた。

2023年症例よりpT2では「a,b,c」をつけないこととなるため、2022年症例からはpT2aNOm0の登録であっても術後病期Ⅱと変換して集計している。

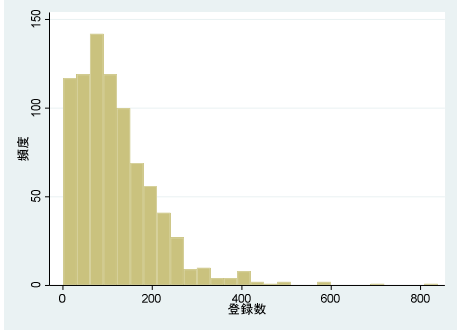
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は75例で、最小登録数が1例、最大登録数が381例であった。

対象施設数	837
平均	87
最小値	1
中央値	75
最大値	381

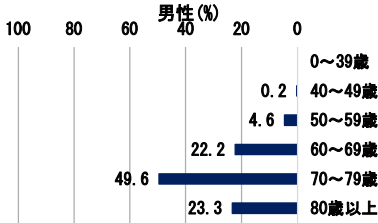
●性別

男性	73,005
女性	0
不明	—



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	74.2	8.0	74.6
拠点	73.7	7.9	74.2
拠点外	75.5	8.1	75.7



●UICC TNM病期分布

表4-8-3よりⅡ期の割合が最も多く約35%を占め、次いでⅠ期が約29%であった。

表4-8-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2021	45.7	22.2	12.0	17.4	2.8	0.0	66,306
2022	46.4	22.3	11.9	16.9	2.5	—	71,200
2023	46.1	22.2	12.1	17.0	2.5	—	73,005

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	該当無	合計
2021	17.7	46.1	20.2	3.3	10.8	1.9	0.0	21,629
2022	0.8	62.1	19.5	3.0	12.7	1.8	—	23,759
2023	0.7	61.5	20.0	3.0	12.9	2.0	—	24,232

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

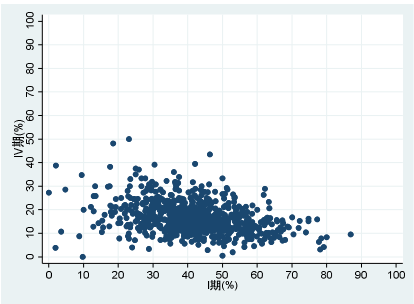
	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2021	34.4	29.4	16.6	18.2	1.4	0.0	66,306
2022	29.3	35.2	16.5	17.7	1.3	—	71,200
2023	28.9	35.2	16.7	17.8	1.4	—	73,005

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の717施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I期	44.0	7.7	34.8	17.9	52.7	83.3
II期	21.6	0.0	14.3	14.9	29.2	67.2
III期	11.0	0.0	7.1	8.3	15.4	41.0
IV期	17.6	0.0	13.8	8.9	22.7	50.0

(参考) 施設毎の0/I期とⅣ期の割合の分布図



8. 前立腺がん（前立腺癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-8-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設**で実施した治療）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	21,119 100.0	25,685 100.0	12,186 100.0	12,995 100.0	1,020 100.0
手術のみ	0.7	52.9	35.5	3.4	1.6
内視鏡のみ	1.3	0.2	—	—	11.3
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	8.3	2.0	0.4	0.3	1.0
薬物療法のみ	57.5	31.7	52.3	84.6	65.1
放射線＋薬物	3.8	2.0	2.7	5.8	—
薬物＋その他	0.1	0.1	0.1	0.3	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.3	0.1	0.0
手術/内視鏡＋薬物	3.9	2.7	4.1	2.2	2.1
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	0.1	0.3	0.0
他の組み合わせ	0.9	0.1	—	0.1	—
治療なし	23.6	8.1	4.3	2.9	17.7
（内訳）外科的治療	0.2	2.2	1.1	0.7	—
鏡視下治療	4.3	53.4	38.7	4.9	2.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設**で実施した治療を含む）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	21,119 100.0	25,685 100.0	12,186 100.0	12,995 100.0	1,020 100.0
手術のみ	0.7	57.5	36.8	3.1	1.6
内視鏡のみ	1.3	0.2	—	—	11.3
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	9.4	2.3	0.6	0.3	1.2
薬物療法のみ	41.3	22.8	37.4	80.7	64.5
放射線＋薬物	18.6	9.9	15.1	9.5	1.6
薬物＋その他	—	—	—	0.3	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.1	0.8	0.1	0.0
手術/内視鏡＋薬物	6.1	4.2	7.0	3.0	2.5
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.1	0.6	0.5	—
他の組み合わせ	1.0	0.2	0.1	0.1	—
治療なし	21.5	2.8	1.4	2.4	16.5
（内訳）外科的治療	0.3	2.4	1.2	0.8	—
鏡視下治療	6.4	59.4	43.8	5.6	2.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	21,119 100.0	25,685 100.0	12,186 100.0	12,995 100.0	1,020 100.0
手術のみ	0.7	57.5	36.8	3.0	1.6
内視鏡のみ	1.3	0.2	—	—	11.3
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	9.5	2.3	0.5	0.3	1.2
薬物療法のみ	36.9	20.4	34.6	79.8	63.7
放射線＋薬物	22.9	12.2	17.8	10.2	2.4
薬物＋その他	0.0	—	—	0.3	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.1	0.8	0.1	0.0
手術/内視鏡＋薬物	6.2	4.3	7.0	3.1	2.4
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.1	0.7	0.6	—
他の組み合わせ	1.0	0.2	0.1	0.1	—
治療なし	21.4	2.8	1.4	2.4	16.4
（内訳）外科的治療	0.3	2.4	1.2	0.8	—
鏡視下治療	6.5	59.5	43.9	5.6	2.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-8-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
（2021年-2023年）

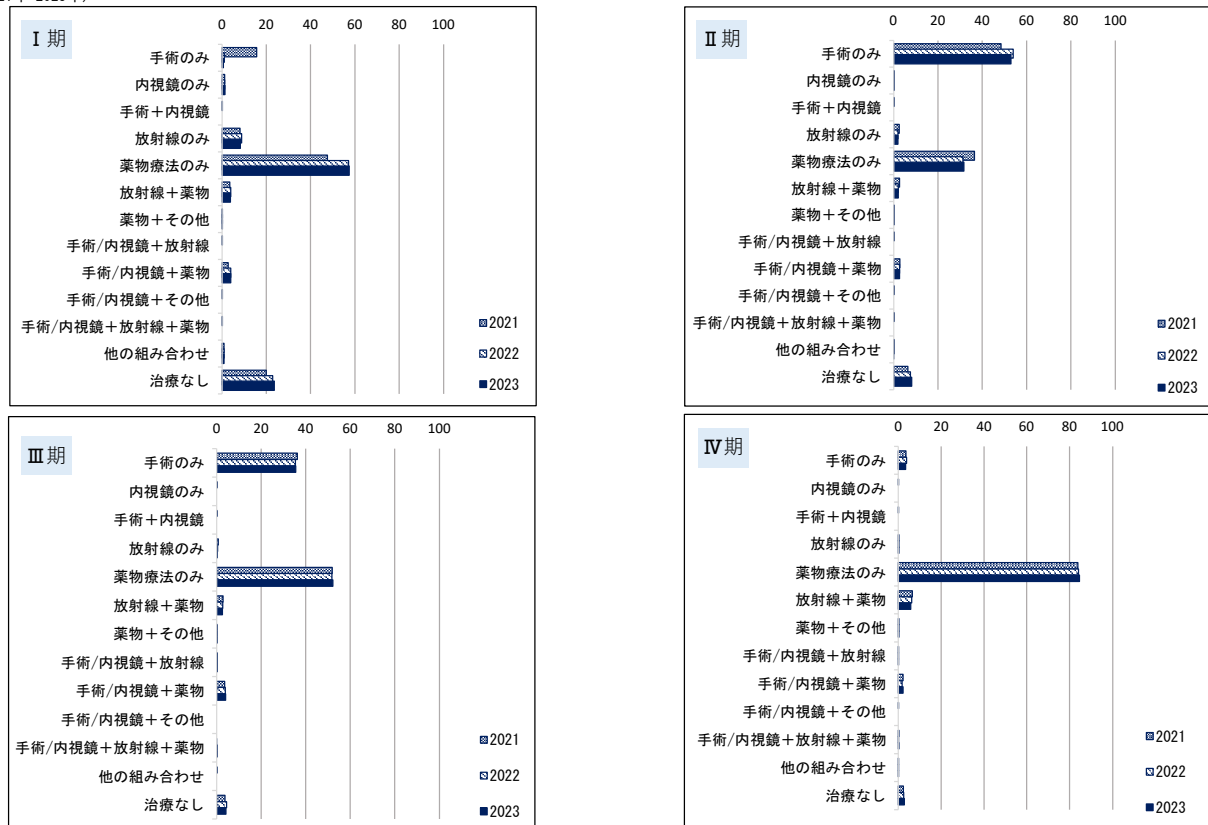
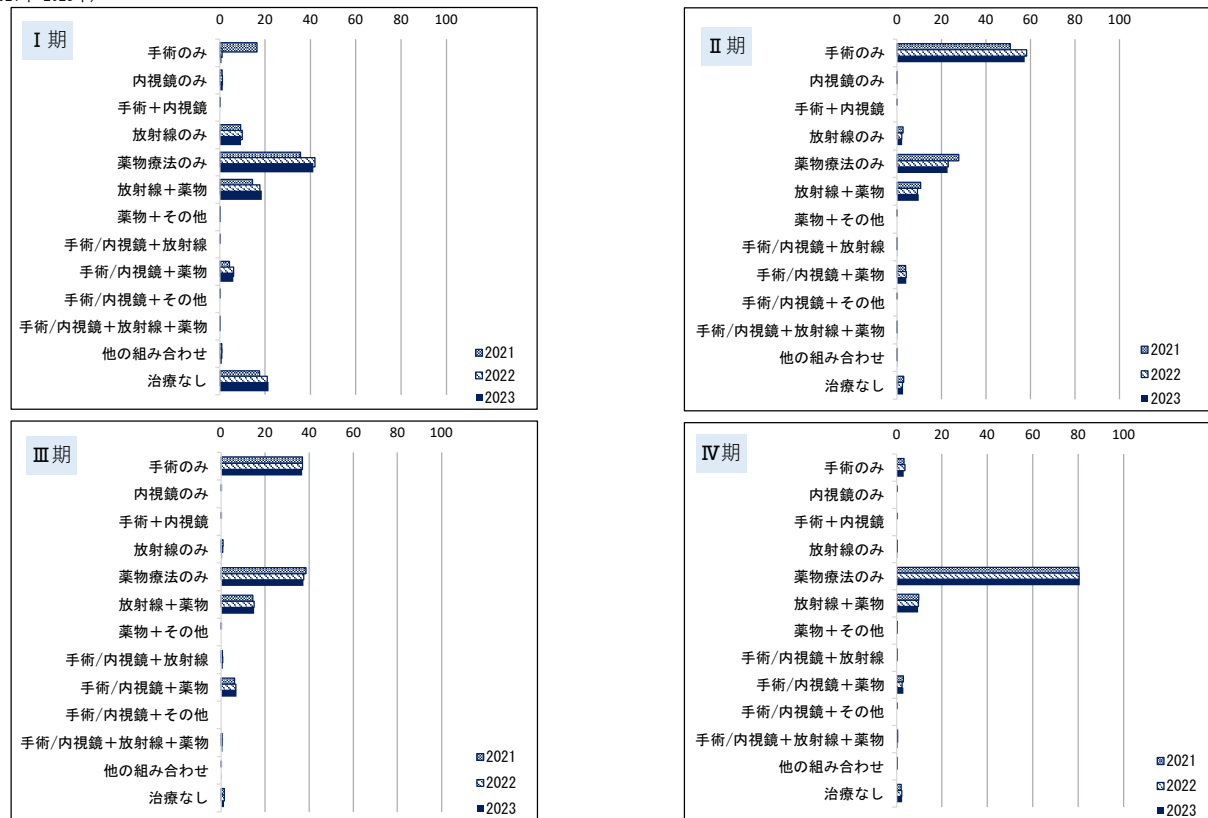


図4-8-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
（2021年-2023年）



9. 子宮頸がん（子宮頸癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	36,898	796	36,124	30,523	30,497	99.9	702	23,188	76.0	675
2022	34,865	762	34,123	28,618	28,586	99.9	671	21,523	75.2	650
2023	35,795	804	35,016	29,590	29,558	99.9	697	22,415	75.8	671

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

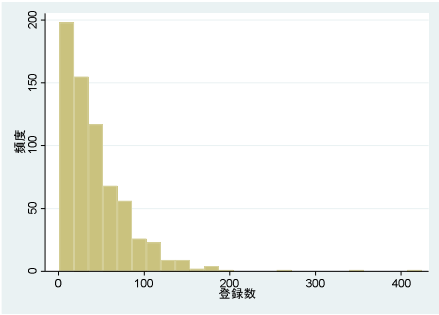
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は32例で、最小登録数が1例、最大登録数が413例であった。男性の登録があったが少数例のため男女別の分析はなしとする。

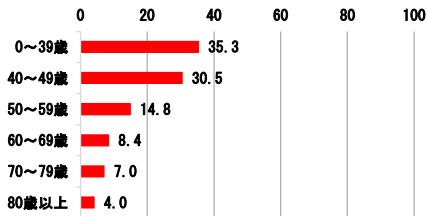
対象施設数	697
平均	42
最小値	1
中央値	32
最大値	413

●性別

男性	(1-3)
女性	29,557
不明	-



女性(%)



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	47.7	14.9	44.5
拠点	48.4	15.0	45.2
拠点外	45.3	14.0	42.3

●UICC TNM病期分布

表4-9-3より0期の割合が最も多く約69%を占め、次いで1期が約12%であった。登録割合の変動について、2021年以降大きな変化は見られない。

表4-9-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	66.7	12.0	3.4	8.6	4.7	1.6	3.1	7.6	0.3	7.2	4.3	1.3	3.1	4.8	0.0	30,497
2022	65.7	12.0	3.4	8.6	5.0	1.6	3.4	7.9	0.4	7.6	4.6	1.2	3.3	4.7	-	28,586
2023	66.4	11.3	3.7	7.6	5.1	1.5	3.5	7.8	0.4	7.3	4.5	1.3	3.1	5.0	-	29,558

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2021	78.7	14.1	6.0	8.1	2.0	1.0	1.0	3.2	0.0	3.1	0.2	0.0	0.2	1.4	0.4	0.0	23,188
2022	78.7	14.2	6.2	8.0	2.0	1.0	1.0	3.0	-	2.9	0.3	-	0.3	1.3	0.4	0.1	21,523
2023	80.0	14.0	7.0	6.9	1.9	1.0	0.9	2.7	-	2.7	0.2	-	0.2	0.9	0.3	-	22,415

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	69.0	12.5	4.8	7.7	4.7	1.6	3.2	9.0	0.4	8.7	4.4	1.3	3.1	0.4	0.0	30,497
2022	67.9	12.5	5.0	7.5	5.1	1.7	3.5	9.4	0.4	9.1	4.7	1.3	3.5	0.3	0.0	28,586
2023	68.7	12.2	5.6	6.6	5.1	1.5	3.6	9.0	0.4	8.6	4.6	1.4	3.2	0.4	0.0	29,558

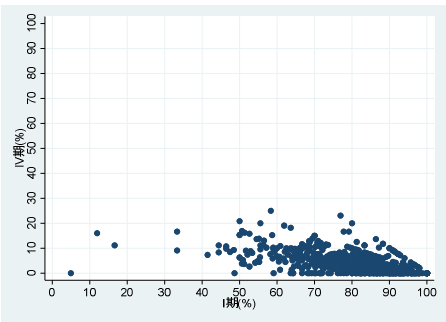
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

(対象例10例以上の579施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	73.3	0.0	58.6	27.6	86.2	100.0
I期	7.9	0.0	2.4	11.1	13.5	58.5
II期	2.8	0.0	0.0	6.3	6.3	29.2
III期	4.2	0.0	0.0	9.3	9.3	50.0
IV期	3.2	0.0	0.0	6.3	6.3	26.7

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



9. 子宮頸がん（子宮頸癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-9-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	20,296 100.0	3,615 100.0	1,660 100.0	1,951 100.0	1,515 100.0	449 100.0	1,058 100.0	2,665 100.0	128 100.0	2,535 100.0	1,352 100.0	404 100.0	948 100.0	115 100.0
手術のみ	83.6	66.3	88.1	47.6	7.0	15.4	3.3	2.6	—	2.6	—	—	—	20.0
内視鏡のみ	0.6	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	4.7	—	8.3	18.3	18.5	18.2	14.1	35.2	13.0	20.8	35.9	14.3	—
薬物療法のみ	—	—	—	—	0.9	—	1.1	2.1	—	2.1	31.4	6.9	41.8	—
放射線＋薬物	—	4.3	—	7.8	45.9	29.0	53.2	55.4	48.4	55.8	26.4	38.1	21.4	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0
手術／内視鏡＋放射線	—	6.2	0.7	10.9	4.2	11.8	—	0.8	—	0.7	—	—	—	—
手術／内視鏡＋薬物	—	6.6	1.0	11.3	7.5	9.6	6.6	6.6	—	6.8	2.5	—	3.4	—
手術／内視鏡＋その他	0.8	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	—	6.1	—	11.0	12.9	13.1	12.9	14.9	—	15.6	1.0	—	1.2	—
他の組み合わせ	4.3	—	—	—	0.7	0.0	0.9	0.7	—	0.6	—	—	—	0.0
治療なし	10.6	5.1	8.1	2.5	2.7	2.4	2.8	2.9	—	2.7	16.3	16.3	16.2	48.7
（内訳）外科的治療	71.8	64.5			30.0			23.8			3.8			23.5
鏡視下治療	12.7	21.0	-	-	1.6	-	-	1.1	-	-	—	-	-	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	20,296 100.0	3,615 100.0	1,660 100.0	1,951 100.0	1,515 100.0	449 100.0	1,058 100.0	2,665 100.0	128 100.0	2,535 100.0	1,352 100.0	404 100.0	948 100.0	115 100.0
手術のみ	86.9	67.8	92.2	47.0	6.7	15.1	2.9	2.4	—	2.4	—	0.0	—	20.9
内視鏡のみ	0.6	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術＋内視鏡	0.1	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	4.7	—	8.2	18.7	18.7	18.6	14.1	35.2	13.0	20.7	35.9	14.2	—
薬物療法のみ	—	—	—	—	0.7	—	0.9	1.8	—	1.8	29.7	6.4	39.7	—
放射線＋薬物	—	4.4	—	7.9	45.9	29.0	53.3	55.4	48.4	55.8	27.4	38.6	22.7	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術／内視鏡＋放射線	—	6.7	0.9	11.7	4.2	11.8	0.9	0.8	—	0.8	—	—	—	—
手術／内視鏡＋薬物	—	6.7	1.1	11.4	7.4	9.6	6.5	6.6	—	6.9	3.2	—	4.4	—
手術／内視鏡＋その他	0.9	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	—	6.4	—	11.5	13.4	13.6	13.3	15.3	—	16.1	1.1	—	1.3	—
他の組み合わせ	4.2	—	—	—	0.7	0.0	0.9	0.7	—	0.6	—	—	—	0.0
治療なし	7.3	2.6	3.7	1.6	2.3	—	2.5	2.8	—	2.6	16.1	16.3	16.0	47.8
（内訳）外科的治療	74.0	66.1			30.2			24.1			4.7			24.3
鏡視下治療	13.8	22.0	-	-	1.6	-	-	1.2	-	-	—	-	-	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	20,296 100.0	3,615 100.0	1,660 100.0	1,951 100.0	1,515 100.0	449 100.0	1,058 100.0	2,665 100.0	128 100.0	2,535 100.0	1,352 100.0	404 100.0	948 100.0	115 100.0
手術のみ	86.8	67.2	92.0	46.1	6.0	14.0	2.5	2.1	—	2.1	—	0.0	—	20.0
内視鏡のみ	0.6	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術＋内視鏡	0.1	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	4.7	—	8.2	18.8	18.9	18.7	14.1	35.2	13.1	20.6	35.9	14.1	—
薬物療法のみ	—	—	—	—	—	—	—	1.7	—	1.6	29.5	6.2	39.5	—
放射線＋薬物	—	4.4	—	7.9	45.9	29.0	53.3	55.5	48.4	55.9	27.8	39.1	23.0	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術／内視鏡＋放射線	—	7.0	1.0	12.1	4.5	12.0	1.2	0.9	—	0.9	—	—	—	—
手術／内視鏡＋薬物	—	6.7	1.3	11.4	7.5	9.6	6.6	6.6	—	6.9	3.3	—	4.6	—
手術／内視鏡＋その他	1.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	—	6.6	—	11.8	13.9	14.5	13.6	15.5	—	16.3	1.1	—	1.3	—
他の組み合わせ	4.2	0.3	—	—	0.7	0.0	1.0	0.7	—	0.6	—	—	—	0.0
治療なし	7.3	2.6	3.7	1.6	2.2	—	2.4	2.7	—	2.6	16.1	16.1	16.0	47.8
（内訳）外科的治療	74.1	66.1			30.4			24.1			4.7			24.3
鏡視下治療	13.8	22.0	-	-	1.6	-	-	1.2	-	-	—	-	-	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-9-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

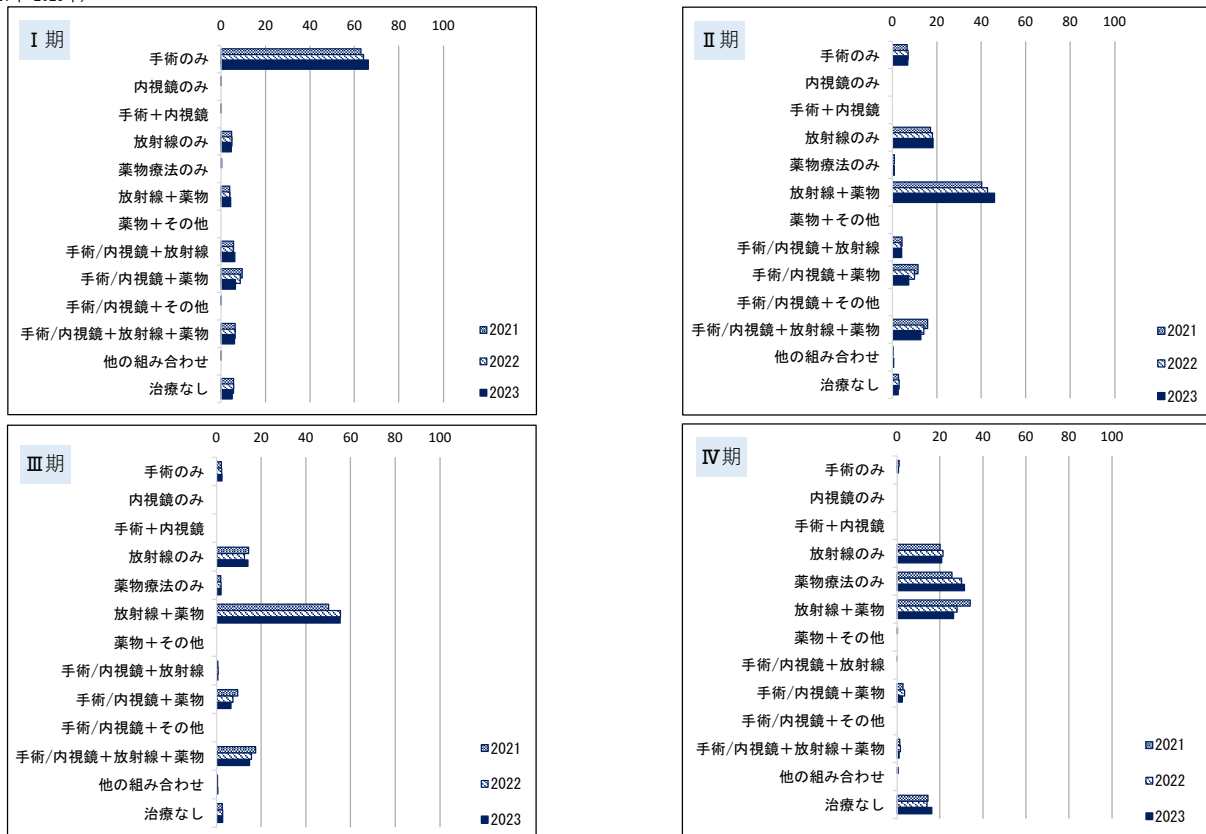
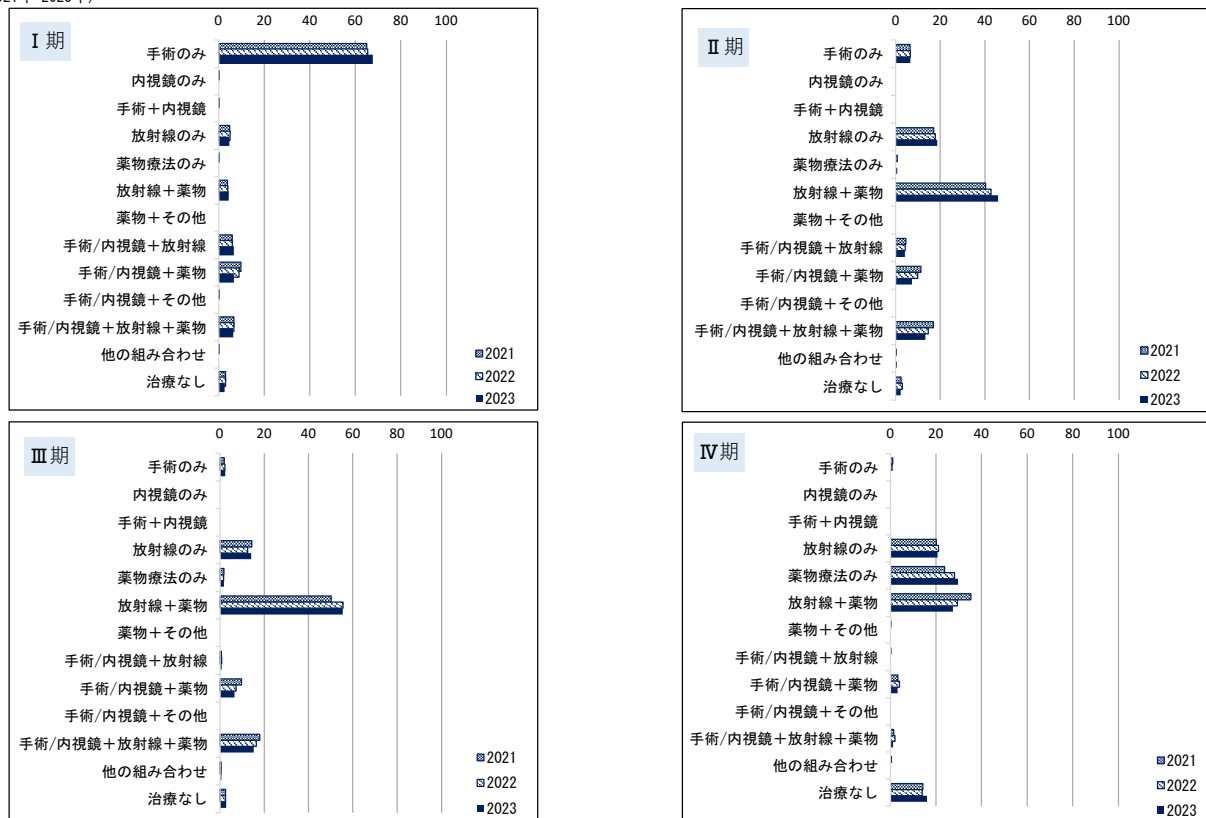


図4-9-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



10. 子宮体がん（子宮体癌）・子宮肉腫

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	21,189	791	20,677	16,914	子宮内膜癌	16,160	95.5	646	14,829	87.7
					子宮肉腫	625	3.7	316	570	3.4
2022	20,944	776	20,496	16,989	子宮内膜癌	16,230	95.5	631	14,886	87.6
					子宮肉腫	637	3.7	323	592	3.5
2023	22,460	811	21,962	18,039	子宮内膜癌	17,230	95.5	649	15,746	87.3
					子宮肉腫	663	3.7	334	606	3.4

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

子宮体がん（子宮体癌）

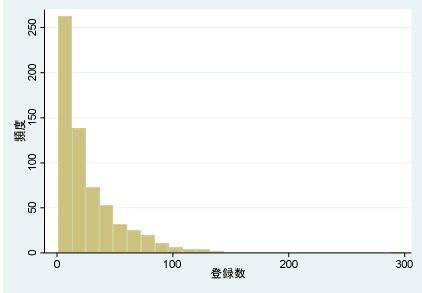
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は17例で、最小登録数が1例、最大登録数が280例であった。

対象施設数	649
平均	27
最小値	1
中央値	17
最大値	280

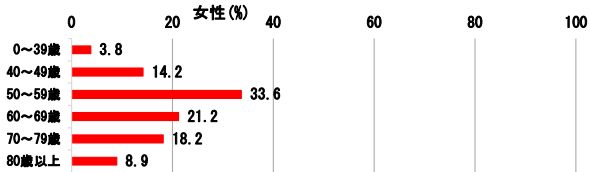
●性別

男性	0
女性	17,230
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	61.3	12.8	59.5
拠点	61.2	12.8	59.5
拠点外	61.8	13.2	59.4



●UICC TNM病期分布

表4-10①-3よりI期の割合が最も多く約72%を占め、次いでIII期が約12%であった。登録割合の変動について、2020年以降大きな変化は見られない。

表4-10①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2021	71.6	54.7	16.8	3.9	8.9	2.3	0.6	6.0	7.7	0.5	7.2	7.9	0.1	16,160
2022	71.4	55.0	16.5	3.6	8.6	1.8	0.7	6.0	7.9	0.4	7.6	8.4	-	16,230
2023	71.7	55.6	16.0	3.7	8.5	2.0	0.7	5.8	8.0	0.3	7.7	8.0	-	17,230

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	適用外等	不明	その他	該当なし	合計
2021	73.9	57.7	16.2	6.3	12.5	3.6	0.9	8.1	4.6	0.3	4.3	2.2	0.4	0.1	0.0	14,829
2022	74.2	58.2	16.0	6.1	12.7	3.5	1.1	8.1	4.6	0.2	4.5	2.0	0.5	-	0.0	14,886
2023	75.2	58.9	16.2	6.0	11.9	3.6	0.9	7.4	4.5	0.1	4.3	2.0	0.4	-	-	15,744

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

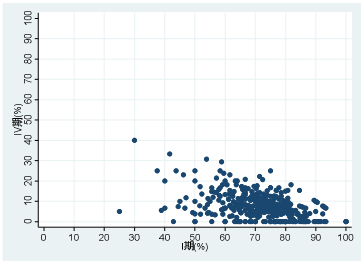
	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	その他	該当なし	合計
2021	70.8	55.2	15.6	6.1	13.0	3.5	1.0	8.4	9.2	0.6	8.7	0.8	0.1	0.0	16,160
2022	70.8	55.5	15.3	5.8	13.2	3.5	1.3	8.5	9.2	0.4	8.9	0.9	-	0.0	16,230
2023	71.5	55.9	15.6	5.8	12.4	3.4	1.1	7.9	9.5	0.4	9.1	0.8	-	-	17,230

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の422施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I期	71.7	25.0	65.0	13.4	78.4	94.1
II期	2.8	0.0	0.0	5.7	5.7	30.0
III期	8.3	0.0	4.8	7.0	11.8	40.0
IV期	7.3	0.0	4.2	6.9	11.1	41.7

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



10. 子宮体がん（子宮体癌）・子宮肉腫

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-10①-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	IA期	IB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	
全体	12,312 100.0	9,629 100.0	2,683 100.0	994 100.0	2,144 100.0	592 100.0	195 100.0	1,357 100.0	1,633 100.0	67 100.0	1,566 100.0	138 100.0
手術のみ	72.2	81.8	37.9	28.5	13.7	19.1	13.3	11.4	7.0	—	7.2	13.0
内視鏡のみ	0.1	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.9	0.6	2.0	1.6	2.0	—	5.1	1.9	4.7	—	4.7	7.2
薬物療法のみ	1.3	1.5	0.4	—	4.1	—	7.2	5.2	26.2	16.4	26.6	8.7
放射線＋薬物	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	3.0	—	3.1	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.3	—	0.9	1.1	0.9	—	—	0.7	0.7	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	23.5	14.3	56.4	66.6	75.3	75.8	64.6	76.6	40.5	28.4	41.1	10.9
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.0	0.9	0.0
他の組み合わせ	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
治療なし	1.4	1.2	2.1	1.2	3.5	1.7	7.7	3.6	16.6	40.3	15.6	53.6
（内訳）外科的治療	49.0	-	-	76.0	78.6	-	-	-	47.0	-	-	100.0
鏡視下治療	47.1	-	-	20.5	11.6	-	-	-	2.3	-	-	19.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	IA期	IB期	II期	IIA期	IIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	
全体	12,312 100.0	9,629 100.0	2,683 100.0	994 100.0	2,144 100.0	592 100.0	195 100.0	1,357 100.0	1,633 100.0	67 100.0	1,566 100.0	138 100.0
手術のみ	72.1	81.8	37.2	27.3	12.6	17.7	11.8	10.5	7.0	—	7.2	13.0
内視鏡のみ	0.1	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.9	0.6	2.1	1.6	2.0	—	5.1	1.9	4.7	—	4.6	8.0
薬物療法のみ	1.1	1.3	—	—	3.3	—	6.2	4.1	22.5	16.4	22.8	8.0
放射線＋薬物	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	3.1	—	3.1	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.3	0.1	0.9	1.1	0.9	—	—	0.7	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	24.0	14.6	57.4	67.9	76.5	76.7	66.7	77.9	43.6	28.4	44.3	11.6
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.1	—	—	—	1.2	—	—	1.3	1.7	0.0	1.7	0.0
他の組み合わせ	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
治療なし	1.1	0.9	1.8	1.1	3.4	1.7	7.7	3.5	16.5	40.3	15.5	52.9
(内訳) 外科的治療	49.2	-	-	76.0	79.6	-	-	-	50.5	-	-	100.0
鏡視下治療	47.3	-	-	20.6	11.5	-	-	-	2.4	-	-	20.3

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	IA期	IB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	
全体	12,312 100.0	9,629 100.0	2,683 100.0	994 100.0	2,144 100.0	592 100.0	195 100.0	1,357 100.0	1,633 100.0	67 100.0	1,566 100.0	138 100.0
手術のみ	71.9	81.7	36.6	26.7	11.9	16.7	11.3	9.9	7.0	—	7.1	13.0
内視鏡のみ	0.1	0.1	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.2	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
放射線のみ	0.9	0.6	2.1	1.6	2.0	—	5.1	1.9	4.7	—	4.6	8.0
薬物療法のみ	1.1	1.3	—	—	3.1	—	6.2	3.8	22.5	16.4	22.7	8.0
放射線＋薬物	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	3.1	—	3.2	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.3	0.1	1.0	1.2	1.0	—	—	0.7	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	24.1	14.7	57.9	68.4	77.3	77.5	66.7	78.7	43.7	28.4	44.4	11.6
手術/内視鏡＋その他	0.1	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.1	—	—	—	1.2	—	—	1.3	1.7	0.0	1.7	0.0
他の組み合わせ	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
治療なし	1.1	0.9	1.8	1.1	3.4	1.7	7.7	3.5	16.5	40.3	15.5	52.9
（内訳）外科的治療	49.2	-	-	76.0	79.8	-	-	-	50.6	-	-	100.0
鏡視下治療	47.3	-	-	20.6	11.5	-	-	-	2.4	-	-	21.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.gan.joho.jp/hbcrtables/>）

図4-10①-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2021年-2023年)

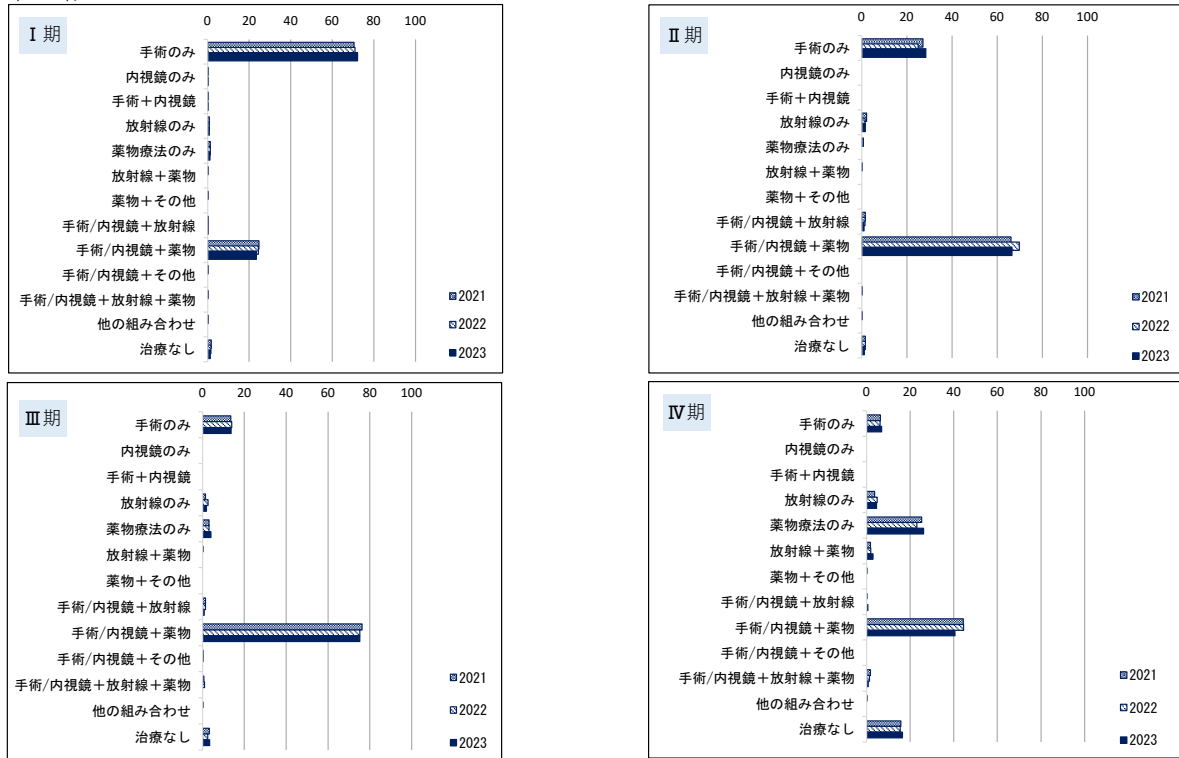
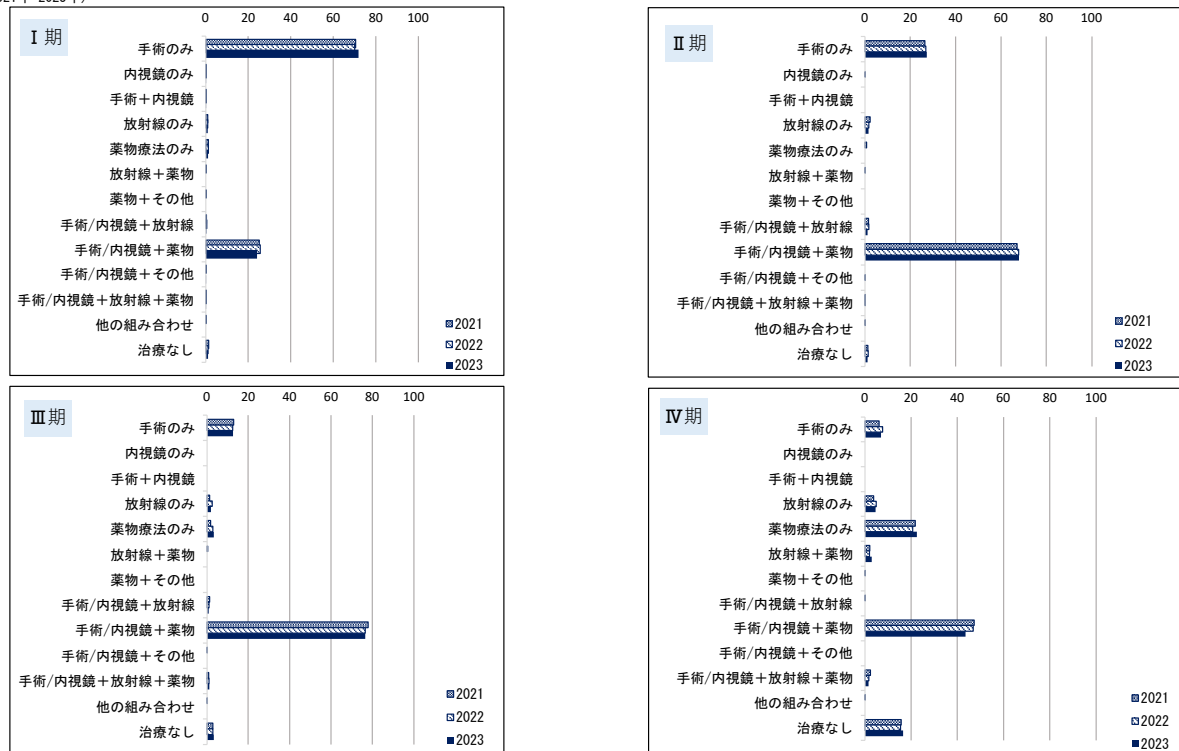


図4-10①-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2021年-2023年)



10. 子宮体がん（子宮体癌）・子宮肉腫

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	21,189	791	20,677	16,914	子宮内膜癌	16,160	95.5	646	14,829	87.7
					子宮肉腫	625	3.7	316	570	3.4
2022	20,944	776	20,496	16,989	子宮内膜癌	16,230	95.5	631	14,886	87.6
					子宮肉腫	637	3.7	323	592	3.5
2023	22,460	811	21,962	18,039	子宮内膜癌	17,230	95.5	649	15,746	87.3
					子宮肉腫	663	3.7	334	606	3.4

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

子宮体がん（子宮体癌）

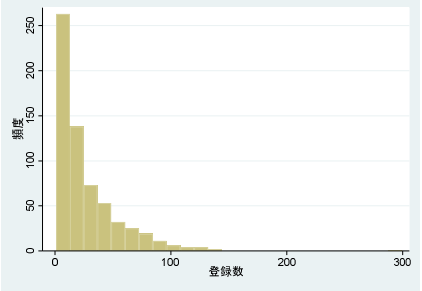
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は17例で、最小登録数が1例、最大登録数が280例であった。

対象施設数	649
平均	27
最小値	1
中央値	17
最大値	280

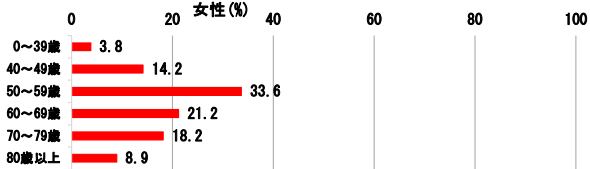
●性別

男性	0
女性	17,230
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	61.3	12.8	59.5
拠点	61.2	12.8	59.5
拠点外	61.8	13.2	59.4



●UICC TNM病期分布

表4-10①-3よりI期の割合が最も多く約72%を占め、次いでIII期が約12%であった。登録割合の変動について、2020年以降大きな変化は見られない。

表4-10①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2021	71.6	54.7	16.8	3.9	8.9	2.3	0.6	6.0	7.7	0.5	7.2	7.9	0.1	16,160
2022	71.4	55.0	16.5	3.6	8.6	1.8	0.7	6.0	7.9	0.4	7.6	8.4	-	16,230
2023	71.7	55.6	16.0	3.7	8.5	2.0	0.7	5.8	8.0	0.3	7.7	8.0	-	17,230

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	適用外等	不明	その他	該当なし	合計
2021	73.9	57.7	16.2	6.3	12.5	3.6	0.9	8.1	4.6	0.3	4.3	2.2	0.4	0.1	0.0	14,829
2022	74.2	58.2	16.0	6.1	12.7	3.5	1.1	8.1	4.6	0.2	4.5	2.0	0.5	-	0.0	14,886
2023	75.2	58.9	16.2	6.0	11.9	3.6	0.9	7.4	4.5	0.1	4.3	2.0	0.4	-	-	15,744

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

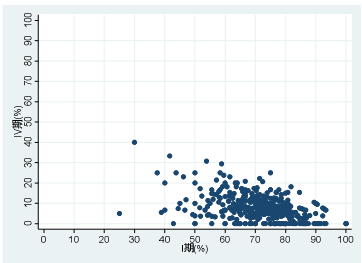
	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	その他	該当なし	合計
2021	70.8	55.2	15.6	6.1	13.0	3.5	1.0	8.4	9.2	0.6	8.7	0.8	0.1	0.0	16,160
2022	70.8	55.5	15.3	5.8	13.2	3.5	1.3	8.5	9.2	0.4	8.9	0.9	-	0.0	16,230
2023	71.5	55.9	15.6	5.8	12.4	3.4	1.1	7.9	9.5	0.4	9.1	0.8	-	-	17,230

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の422施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I期	71.7	25.0	65.0	13.4	78.4	94.1
II期	2.8	0.0	0.0	5.7	5.7	30.0
III期	8.3	0.0	4.8	7.0	11.8	40.0
IV期	7.3	0.0	4.2	6.9	11.1	41.7

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



子宮肉腫

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-10②-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	397 100.0	93 100.0	295 100.0	(7-9) 100.0	45 100.0	15 100.0	30 100.0	36 100.0	11 100.0	13 100.0	12 100.0	175 100.0	13 100.0	162 100.0	10 100.0
手術のみ	84.6	88.2	83.7	—	31.1	—	36.7	30.6	—	—	—	16.6	—	14.2	—
内視鏡のみ	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	11.1	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	14.1	—	15.9	—	64.4	80.0	56.7	69.4	—	76.9	—	47.4	—	47.5	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
治療なし	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	13.7	0.0	14.8	—
（内訳）外科的治療	86.9	—	—	—	88.9	—	—	100.0	—	—	—	69.1	—	—	—
鏡視下治療	12.3	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10②-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	397 100.0	93 100.0	295 100.0	(7-9) 101.0	45 100.0	15 100.0	30 100.0	36 100.0	11 100.0	13 100.0	12 100.0	175 100.0	13 100.0	162 100.0	10 100.0
手術のみ	84.6	88.2	83.7	—	31.1	—	36.7	30.6	—	—	—	16.0	—	13.6	—
内視鏡のみ	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	11.1	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	14.1	—	15.9	—	64.4	80.0	56.7	66.7	—	76.9	—	48.6	—	48.8	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
治療なし	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1	0.0	14.2	—
（内訳）外科的治療	86.9	—	—	—	88.9	—	—	100.0	—	—	—	69.7	—	—	—
鏡視下治療	12.3	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10②-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	397 100.0	93 100.0	295 100.0	(7-9) 101.0	45 100.0	15 100.0	30 100.0	36 100.0	11 100.0	13 100.0	12 100.0	175 100.0	13 100.0	162 100.0	10 100.0
手術のみ	84.1	88.2	83.1	—	31.1	—	36.7	30.6	—	—	—	14.9	—	12.3	—
内視鏡のみ	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	0.0	10.5	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	14.4	—	16.3	—	64.4	80.0	56.7	66.7	—	76.9	—	49.7	—	50.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
治療なし	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1	0.0	14.2	—
（内訳）外科的治療	86.9	—	—	—	88.9	—	—	100.0	—	—	—	70.3	—	—	—
鏡視下治療	12.3	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.gan.joho.jp/hbortables/>）

図4-10②-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2021年-2023年)

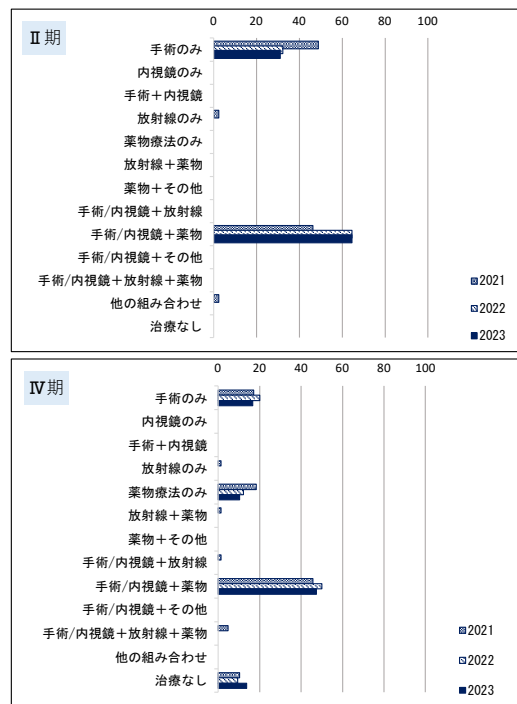
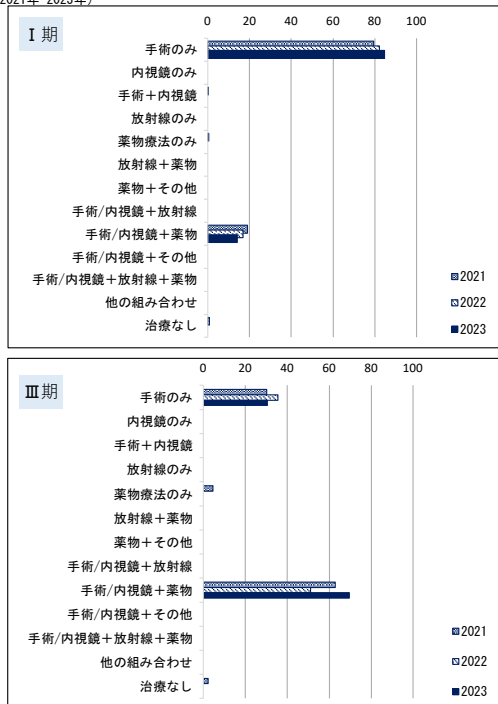
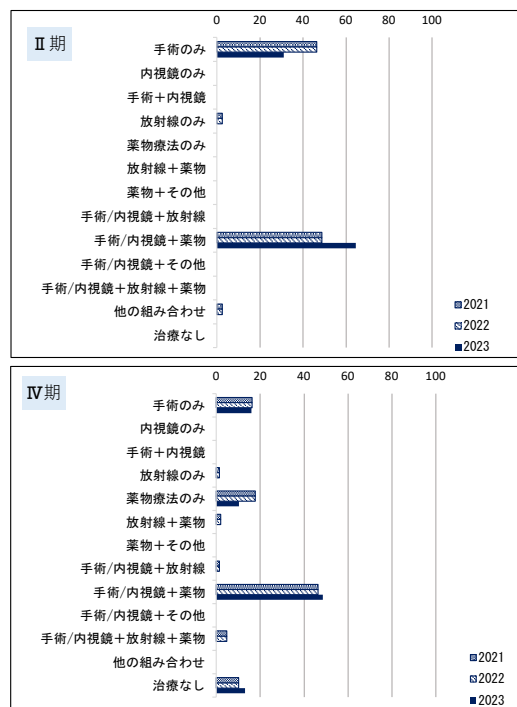
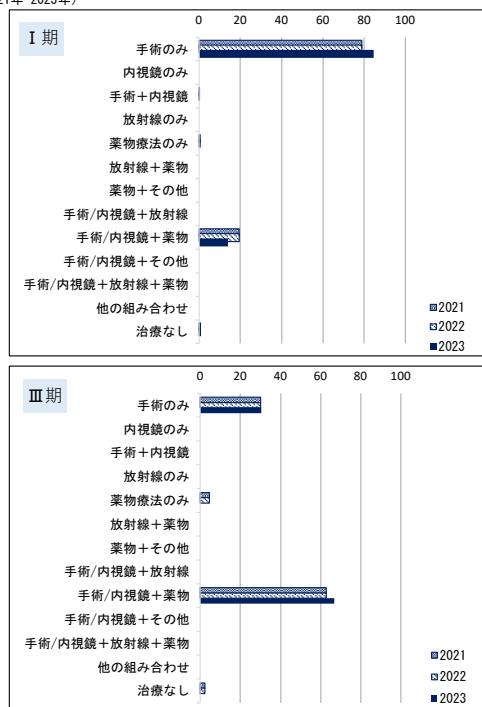


図4-10②-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2021年-2023年)



11. 膀胱がん（膀胱癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	40,883	844	40,280	34,245	34,191	99.9	785	31,661	92.5	765
2022	40,593	823	39,993	33,710	33,646	99.8	770	31,222	92.6	746
2023	41,995	860	41,267	34,862	34,798	99.8	798	32,362	92.8	773

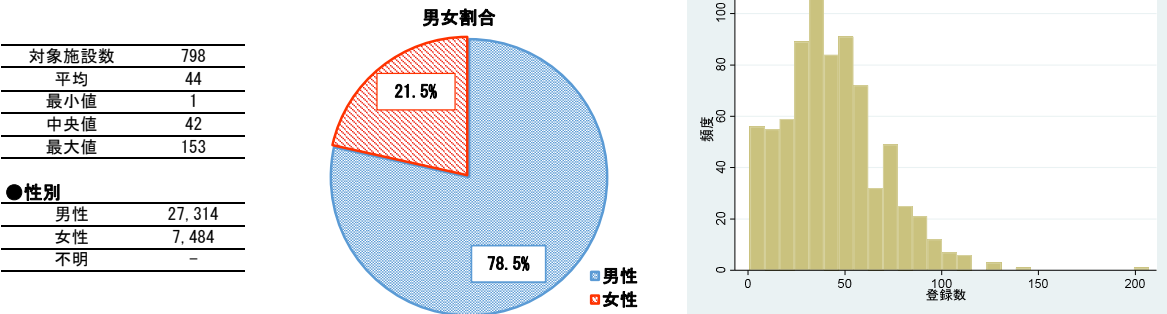
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

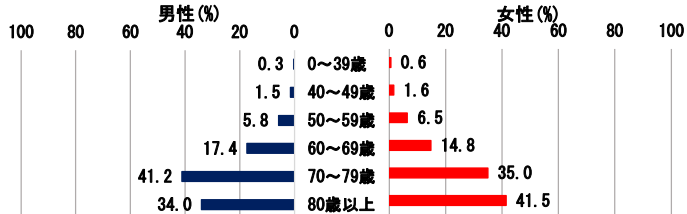
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は42例で、最小登録数が1例、最大登録数が153例であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	75.6	10.3	76.2
拠点	75.5	10.2	76.0
拠点外	76.0	10.5	76.6



●UICC TNM病期分布

表4-11-3より男女別にみると、男性は0/I期77.5%、IV期2.9%、女性は0/I期68.4%、IV期4.6%であり、女性の方がやや進行した状態での登録が多い傾向にある。

表4-11-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	39.5	33.2	6.3	29.8	12.0	6.9	5.9	1.0	3.3	1.1	2.2	8.5	0.0	34,191
2022	40.1	34.2	6.0	29.5	12.0	7.1	6.2	0.9	3.2	1.1	2.2	8.0	0.0	33,646
2023	41.0	34.7	6.2	28.9	11.6	7.1	6.1	0.9	3.1	1.1	2.0	8.3	0.0	34,798

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等	不明	その他	合計
2021	44.9	43.8	1.2	3.4	1.9	1.6	1.3	0.3	1.4	0.4	1.0	2.9	43.8	0.1	31,661
2022	44.6	43.5	1.0	3.3	1.8	1.5	1.2	0.2	1.5	0.4	1.0	3.1	44.2	0.1	31,222
2023	45.2	44.2	1.0	3.0	1.6	1.4	1.2	0.3	1.4	0.4	1.0	2.9	44.2	0.1	32,362

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2021	49.6	43.4	6.3	25.7	11.2	7.2	6.1	1.1	3.4	1.1	2.3	2.9	0.0	34,191
2022	49.5	43.6	5.9	25.7	11.4	7.3	6.3	1.0	3.4	1.1	2.3	2.6	0.0	33,646
2023	50.4	44.1	6.3	25.1	11.0	7.3	6.2	1.1	3.3	1.1	2.1	2.8	0.0	34,798
男性	51.8	45.1	6.7	25.7	10.4	6.6	5.6	1.0	2.9	0.9	2.0	2.6	0.0	27,314
女性	45.4	40.8	4.6	23.0	13.3	9.9	8.3	1.6	4.6	1.8	2.8	3.7	0.0	7,484

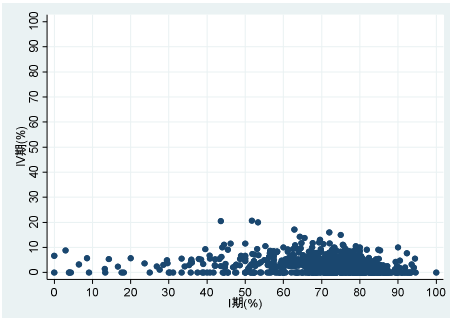
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	43.8	0.0	28.9	24.2	53.1	95.0
I期	26.8	0.0	19.4	16.3	35.7	76.9
II期	10.9	0.0	7.0	8.2	15.2	41.2
III期	6.0	0.0	3.1	6.7	9.8	34.2
IV期	2.6	0.0	0.0	4.8	4.8	20.0

(対象例10例以上の734施設)

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



11. 膀胱がん（膀胱癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-11-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IIB期	不明
全体	17,546 100.0	15,363 100.0	2,183 100.0	8,747 100.0	3,842 100.0	2,537 100.0	2,155 100.0	382 100.0	1,137 100.0	393 100.0	744 100.0	989 100.0
手術のみ	0.7	0.6	1.1	0.9	1.8	4.9	5.0	4.2	2.1	—	2.2	1.7
内視鏡のみ	39.2	42.4	16.6	30.3	29.2	17.0	17.3	15.4	13.8	17.0	12.1	20.4
手術＋内視鏡	0.2	0.2	0.5	1.1	2.8	5.5	5.6	5.2	1.0	—	—	—
放射線のみ	—	—	—	0.2	1.0	2.8	3.0	—	4.0	3.1	4.6	2.2
薬物療法のみ	0.3	0.2	1.6	0.4	2.3	6.9	6.1	11.5	15.3	14.8	15.6	1.8
放射線＋薬物	—	—	0.0	—	—	1.3	1.3	—	2.7	—	3.2	—
薬物＋その他	0.1	—	0.8	—	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	0.3	3.7	3.5	3.8	—	4.0	3.1	4.4	—
手術/内視鏡＋薬物	37.5	40.6	15.2	27.7	44.7	42.7	42.0	46.9	28.0	32.6	25.5	18.8
手術/内視鏡＋その他	11.4	8.4	32.2	20.2	3.6	1.5	1.8	—	—	—	—	6.1
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	0.1	4.3	3.2	3.4	—	3.0	—	3.6	—
他の組み合わせ	9.5	6.6	29.9	16.5	2.7	1.1	1.3	—	—	—	—	6.3
治療なし	1.1	0.9	2.0	2.2	3.5	9.5	9.5	9.4	25.1	21.1	27.2	40.4
（内訳）外科的治療	0.5	—	—	1.2	5.4	10.4	—	—	3.5	—	—	2.1
鏡視下治療	1.0	—	—	2.8	15.0	23.1	—	—	3.6	—	—	3.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IIB期	不明
全体	17,546 100.0	15,363 100.0	2,183 100.0	8,747 100.0	3,842 100.0	2,537 100.0	2,155 100.0	382 100.0	1,137 100.0	393 100.0	744 100.0	989 100.0
手術のみ	0.7	0.6	1.1	0.9	1.8	4.7	4.9	3.4	1.9	—	2.2	1.6
内視鏡のみ	39.2	42.4	16.5	30.2	28.5	16.3	16.5	15.2	13.8	17.0	12.1	20.2
手術＋内視鏡	0.3	0.2	0.6	1.1	3.0	5.2	5.4	3.9	1.0	—	—	—
放射線のみ	—	—	—	0.2	1.0	2.8	3.0	—	4.0	3.1	4.6	2.2
薬物療法のみ	0.3	0.1	1.5	0.3	1.5	5.3	4.5	9.9	14.9	14.2	15.2	1.6
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.3	1.5	1.4	—	3.0	—	3.6	—
薬物＋その他	0.1	—	0.8	—	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	0.3	3.9	3.7	3.9	—	4.0	3.1	4.4	—
手術/内視鏡＋薬物	37.8	40.9	15.7	28.0	45.1	44.4	43.6	49.0	28.3	33.6	25.5	19.2
手術/内視鏡＋その他	11.4	8.4	32.6	20.2	3.7	1.5	1.8	—	—	—	—	6.1
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	0.2	5.2	4.0	4.2	3.1	3.3	—	3.8	1.0
他の組み合わせ	9.4	6.6	29.6	16.5	2.7	1.1	1.3	—	—	—	—	6.4
治療なし	0.7	0.6	1.6	2.0	3.3	9.5	9.5	9.4	24.8	20.6	27.0	40.4
（内訳）外科的治療	0.6	—	—	1.3	6.6	12.3	—	—	3.5	—	—	2.7
鏡視下治療	1.1	—	—	3.2	20.2	27.6	—	—	4.0	—	—	3.7

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IIB期	不明
全体	17,546 100.0	15,363 100.0	2,183 100.0	8,747 100.0	3,842 100.0	2,537 100.0	2,155 100.0	382 100.0	1,137 100.0	393 100.0	744 100.0	989 100.0
手術のみ	0.7	0.6	1.1	0.9	1.8	4.6	4.8	3.4	1.9	—	2.2	1.6
内視鏡のみ	38.8	42.1	15.3	29.5	26.8	15.3	15.5	13.9	13.5	16.8	11.8	19.5
手術＋内視鏡	0.3	0.2	0.6	1.2	3.3	5.2	5.4	4.2	1.0	—	—	—
放射線のみ	—	—	—	0.2	1.0	2.8	3.0	—	4.0	3.1	4.6	2.2
薬物療法のみ	0.3	0.1	1.5	0.3	1.4	5.0	4.2	9.7	14.8	14.0	15.2	1.7
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.3	1.6	1.5	—	3.1	—	3.6	—
薬物＋その他	0.1	—	0.8	—	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	0.3	4.2	3.9	4.2	2.6	4.0	3.1	4.6	1.0
手術/内視鏡＋薬物	37.6	40.8	14.8	27.6	45.9	45.2	44.3	50.0	28.3	33.8	25.4	19.5
手術/内視鏡＋その他	11.7	8.6	33.7	20.7	3.7	1.5	1.8	—	—	—	—	6.1
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	0.2	5.4	4.3	4.5	3.1	3.4	—	4.0	1.0
他の組み合わせ	9.7	6.7	30.6	17.0	2.8	1.1	1.3	—	—	—	—	6.5
治療なし	0.7	0.6	1.6	2.0	3.3	9.5	9.5	9.4	24.8	20.6	27.0	40.2
（内訳）外科的治療	0.6	—	—	1.4	7.1	12.6	—	—	3.5	—	—	2.9
鏡視下治療	1.1	—	—	3.2	21.1	28.3	—	—	4.0	—	—	3.9

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.gan.joho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計

IV. 腫瘍結果詳細

図4-11-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

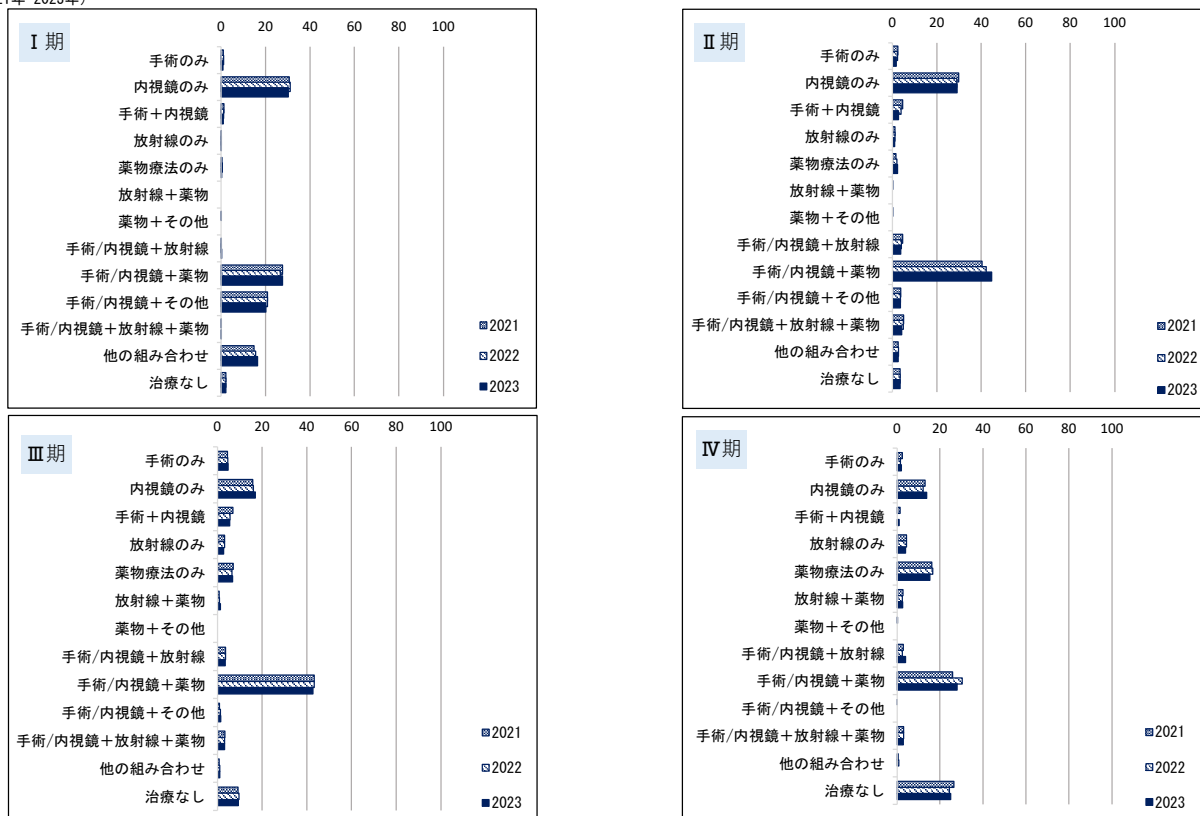
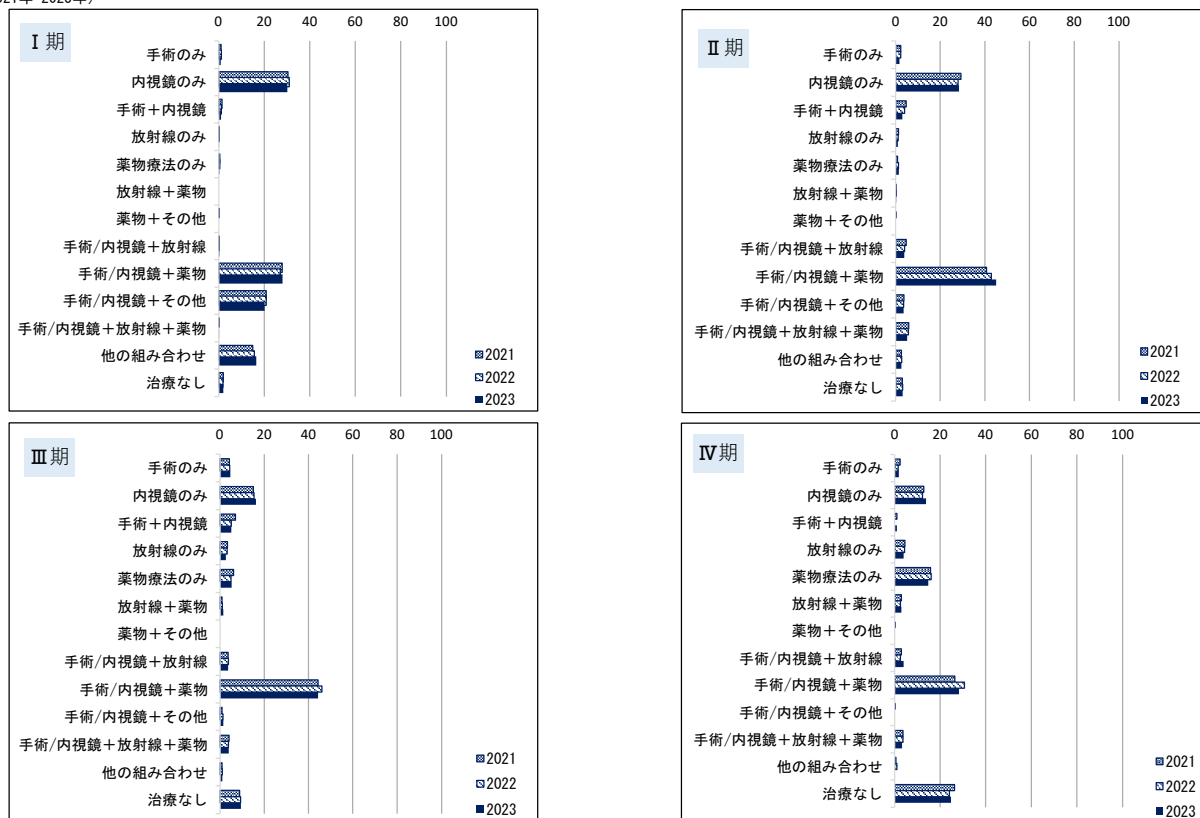


図4-11-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



12. 甲状腺がん（乳頭・濾胞がん、未分化がん、髄様がん）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開 始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計			
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数	
2021	15,689	792	15,212	10,964	乳頭・濾胞癌	10,297	93.9	656	9,195	83.9	623
					未分化癌	271	2.5	175	93	0.8	68
					髄様癌	132	1.2	102	122	1.1	95
2022	15,121	773	14,637	10,451	乳頭・濾胞癌	9,778	93.6	618	8,682	83.1	585
					未分化癌	281	2.7	186	88	0.8	67
					髄様癌	135	1.3	101	126	1.2	96
2023	15,667	794	15,087	10,887	乳頭・濾胞癌	10,228	93.9	627	9,097	83.6	595
					未分化癌	259	2.4	185	111	1.0	86
					髄様癌	128	1.2	100	119	1.1	95

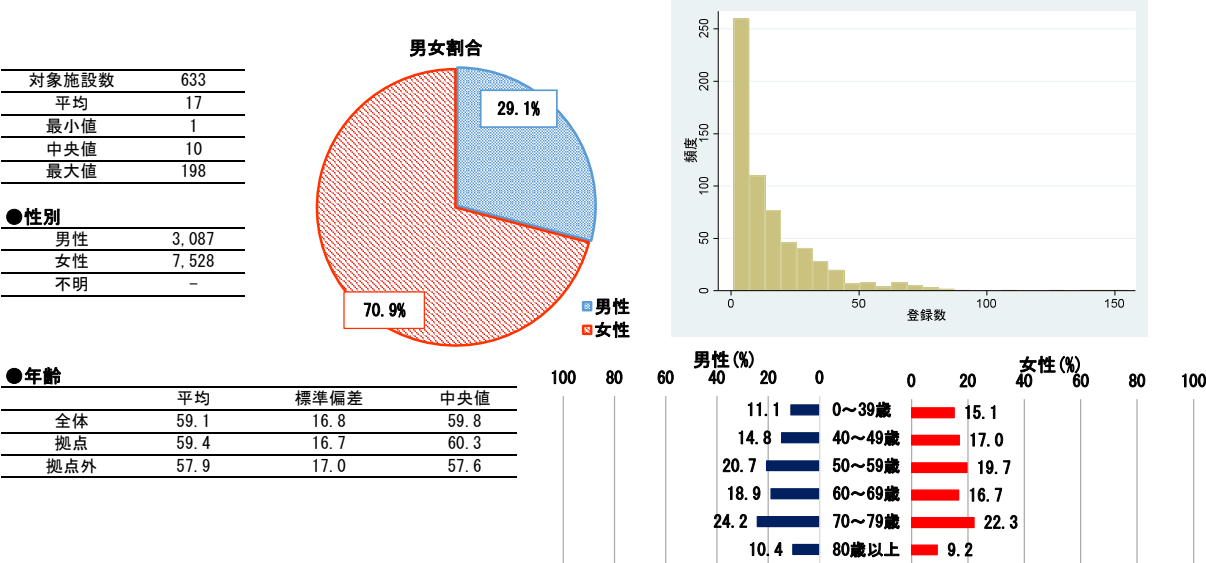
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設登録数

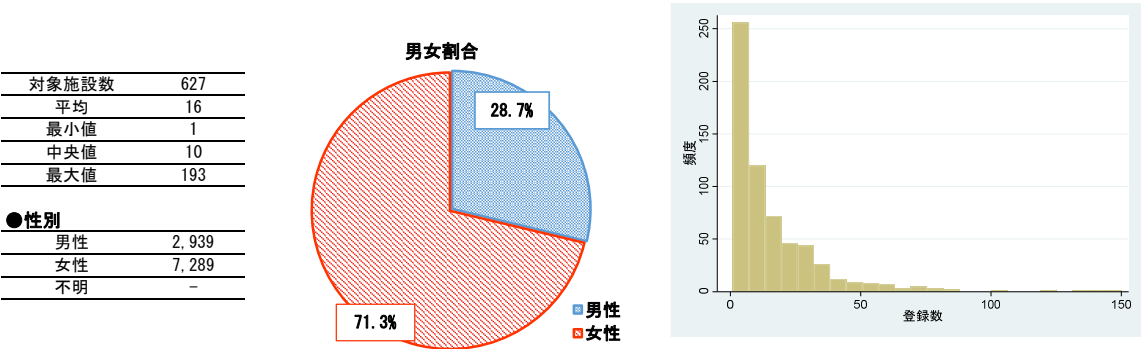
施設登録数と分布を以下に示す。施設登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は10例で、最小登録数が1例、最大登録数が198例であった。



甲状腺乳頭・濾胞がん（甲状腺乳頭・濾胞癌）

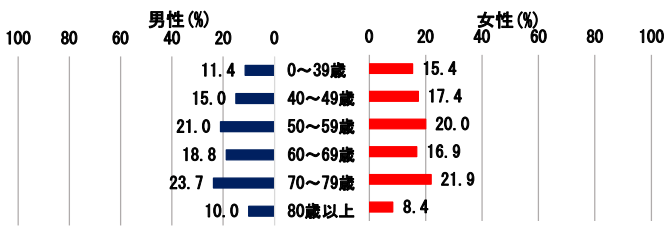
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数を見ると、1施設当たりの登録数の中央値は10例で、最小登録数が1例、最大登録数が193例であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	58.8	16.7	59.3
拠点	59.0	16.6	59.7
拠点外	57.5	16.8	57.2



●UICC TNM病期分布

表4-12①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2021	0.0	64.6	15.6	3.5	4.2	0.3	3.8	12.1	-	10,297
2022	0.0	64.8	15.3	3.2	4.4	0.3	4.1	12.3	-	9,778
2023	0.0	63.4	15.1	3.4	4.2	0.3	3.9	13.9	-	10,228

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	適用外等	不明	該当無	合計
2021	65.6	26.4	3.8	3.0	0.1	2.9	0.4	0.8	0.0	9,195
2022	66.3	25.8	3.5	3.2	-	3.2	0.4	0.8	0.0	8,682
2023	64.7	27.9	3.2	3.0	-	2.9	0.2	1.0	0.0	9,097

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

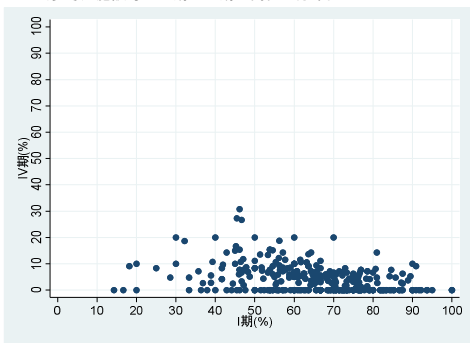
	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2021	65.5	25.3	3.9	4.3	0.3	4.1	1.0	0.0	10,297
2022	66.2	24.6	3.7	4.6	0.3	4.3	1.0	0.0	9,778
2023	64.9	26.1	3.5	4.4	-	4.1	1.2	0.0	10,228
男性	57.5	31.4	3.9	5.4	-	5.1	1.8	0.0	2,939
女性	67.8	24.0	3.3	3.9	0.2	3.7	0.9	0.0	7,289

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の316施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I期	62.5	18.2	55.3	17.7	73.0	100.0
II期	15.0	0.0	8.9	11.1	20.0	60.0
III期	1.5	0.0	0.0	5.9	5.9	28.6
IV期	3.3	0.0	0.0	7.1	7.1	25.0

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

表4-12①-1（参考） UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

55歳未満									
	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	87.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.9	0.0	4,295
2022	88.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	0.0	4,089
2023	86.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9	－	4,252
55歳以上									
	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	48.2	25.1	6.0	7.2	0.6	6.6	13.6	0.0	6,002
2022	48.0	25.1	5.4	7.5	0.5	7.0	13.9	－	5,689
2023	47.4	24.3	5.8	7.2	0.5	6.7	15.3	－	5,976

表4-12①-2（参考） UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

55歳未満										
	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	適用外等	不明	該当無	合計
2021	97.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	4,062
2022	97.6	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－	3,856
2023	97.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－	3,999
55歳以上										
	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	適用外等	不明	該当無	合計
2021	40.6	45.5	6.8	5.4	0.2	5.2	0.5	1.3	0.5	5,133
2022	41.3	44.6	6.3	5.8	－	5.7	0.6	1.3	0.0	4,826
2023	39.2	47.9	5.6	5.4	－	5.2	0.3	1.6	0.0	5,098

表4-12①-3（参考） UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

55歳未満									
	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	97.2	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	4,295
2022	97.7	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,089
2023	97.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	4,252
55歳以上									
	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	42.8	41.5	6.7	7.4	0.5	6.9	1.6	0.0	6,002
2022	43.6	40.8	6.3	7.9	0.5	7.4	0.0	0.0	5,689
2023	41.7	43.0	5.9	7.5	0.4	7.0	1.9	0.0	5,976

甲状腺乳頭・濾胞がん（甲状腺乳頭・濾胞癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-12①-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,635 100.0	2,673 100.0	353 100.0	446 100.0	25 100.0	421 100.0	121 100.0
手術のみ	73.4	74.2	61.2	39.2	—	40.1	44.6
内視鏡のみ	0.7	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	—	7.4	—	6.7	—
薬物療法のみ	—	0.4	4.2	8.7	—	8.3	—
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	1.3	2.6	5.1	6.3	0.0	6.7	—
手術/内視鏡＋薬物	9.2	12.4	11.6	13.2	—	13.8	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.4	1.5	—	2.9	0.0	3.1	0.0
他の組み合わせ	—	—	—	—	0.0	—	0.0
治療なし	14.8	8.3	13.6	19.7	—	18.8	47.1
（内訳）外科的治療	81.1	89.8	79.3	59.4	—	—	43.8
鏡視下治療	3.2	1.0	—	2.5	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,635 100.0	2,673 100.0	353 100.0	446 100.0	25 100.0	421 100.0	121 100.0
手術のみ	74.9	73.6	56.4	34.8	—	35.4	45.5
内視鏡のみ	0.7	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	—	7.4	—	6.7	—
薬物療法のみ	—	0.4	4.0	8.7	—	8.3	—
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	2.9	6.4	11.6	10.1	0.0	10.7	—
手術/内視鏡＋薬物	9.3	12.4	11.3	12.8	—	13.3	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	1.2	2.6	3.4	5.6	0.0	5.9	—
他の組み合わせ	—	—	—	—	0.0	—	0.0
治療なし	10.8	4.0	10.8	17.9	—	16.9	46.3
（内訳）外科的治療	84.9	94.1	82.4	61.9	—	—	44.6
鏡視下治療	3.3	1.0	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,635 100.0	2,673 100.0	353 100.0	446 100.0	25 100.0	421 100.0	121 100.0
手術のみ	73.7	71.1	51.0	28.7	—	29.2	43.8
内視鏡のみ	0.7	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	—	—	7.4	—	6.7	—
薬物療法のみ	—	0.4	4.0	8.7	—	8.3	—
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	4.1	8.8	16.7	15.9	—	16.6	—
手術/内視鏡＋薬物	9.1	11.8	10.2	11.0	—	11.4	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	1.4	3.3	4.5	7.6	0.0	8.1	—
他の組み合わせ	—	—	—	—	0.0	—	0.0
治療なし	10.7	4.0	10.8	17.9	—	16.9	46.3
（内訳）外科的治療	84.9	94.1	82.4	61.9	—	—	44.6
鏡視下治療	3.3	1.0	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-12①-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

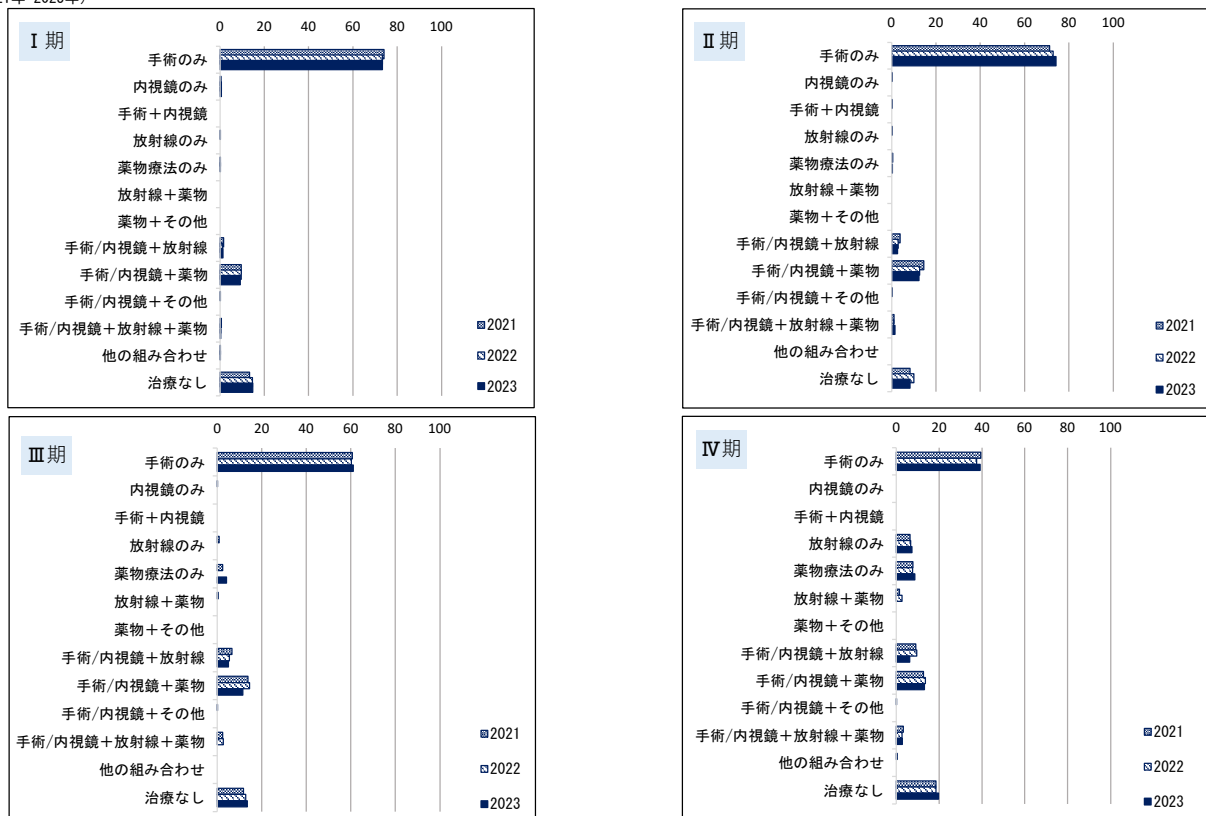
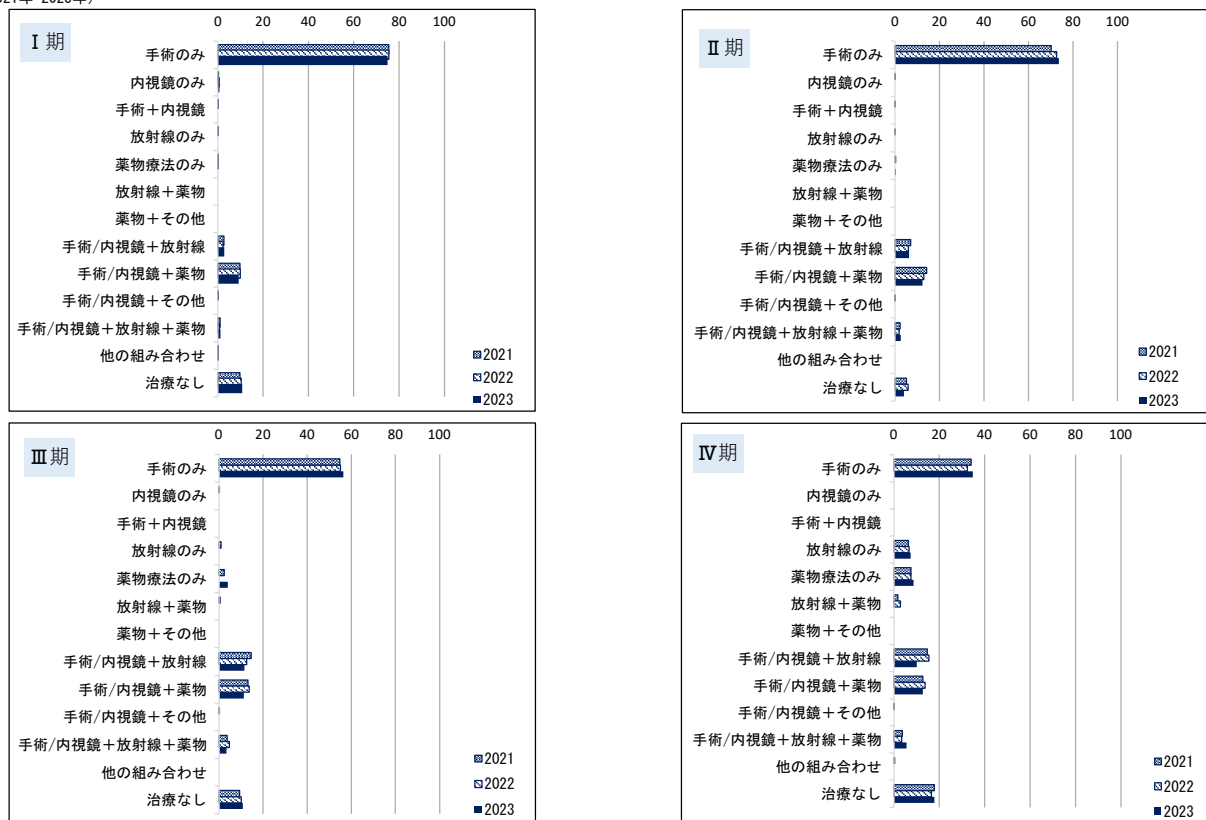


図4-12①-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



甲状腺未分化がん（甲状腺未分化癌）

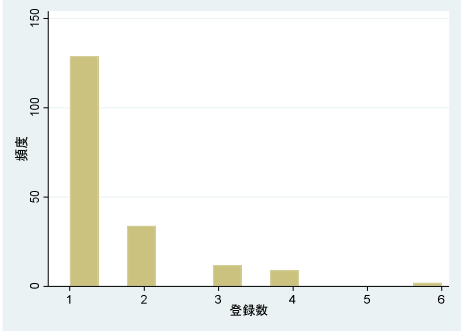
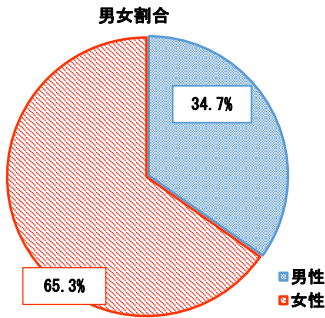
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は1例で、最小登録数が1例、最大登録数が6例であった。

対象施設数	185
平均	1
最小値	1
中央値	1
最大値	6

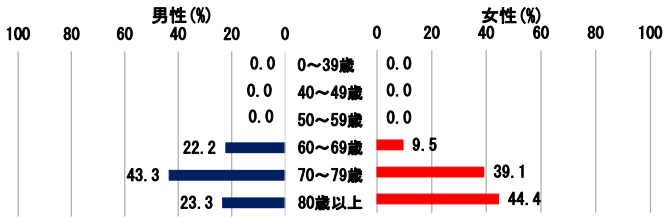
●性別

男性	90
女性	169
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	76.1	10.1	76.9
拠点	75.7	10.0	76.8
拠点外	78.2	10.5	79.2



●UICC TNM病期分布

表4-12②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2021	0.0	0.0	0.0	90.4	7.4	33.9	0.0	9.6	0.0	271
2022	0.0	0.0	0.0	94.0	-	39.1	0.0	6.0	0.0	281
2023	0.0	0.0	0.0	93.1	-	44.0	0.0	6.9	0.0	259

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	適用外等	不明	該当無	合計
2021	0.0	0.0	0.0	94.6	7.5	57.0	0.0	2.2	3.2	2.2	93
2022	0.0	0.0	0.0	0.0	-	55.7	0.0	-	-	0.0	88
2023	0.0	0.0	0.0	92.8	-	57.7	0.0	-	-	0.0	111

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2021	0.0	0.0	96.3	5.5	39.5	0.0	3.7	0.0	0.0	271
2022	0.0	0.0	96.8	-	40.2	0.0	-	0.0	0.0	281
2023	0.0	0.0	97.3	-	47.9	0.0	-	0.0	0.0	259
男性	0.0	0.0	97.8	-	37.8	0.0	-	0.0	0.0	90
女性	0.0	0.0	97.0	-	53.3	0.0	-	0.0	0.0	169

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

甲状腺未分化がん（甲状腺未分化癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-12②-4(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	252 100.0	13 100.0	124 100.0	0 100.0	(7-9) 100
手術のみ	16.7	—	21.8	0.0	—
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	—
放射線のみ	7.5	—	—	0.0	—
薬物療法のみ	23.0	0.0	18.5	0.0	—
放射線＋薬物	4.4	0.0	—	0.0	—
薬物＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	8.7	—	13.7	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	12.7	—	12.1	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	4.8	0.0	8.1	0.0	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—
治療なし	22.2	—	16.1	0.0	—
（内訳）外科的治療	42.9	—	—	—	—
鏡視下治療	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-4(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	252 100.0	13 100.0	124 100.0	0 100.0	(7-9) 100
手術のみ	16.3	—	21.8	0.0	—
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	—
放射線のみ	7.5	—	—	0.0	—
薬物療法のみ	23.0	0.0	18.5	0.0	—
放射線＋薬物	4.0	0.0	—	0.0	—
薬物＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	9.1	—	13.7	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	13.1	—	12.1	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	5.2	0.0	8.1	0.0	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—
治療なし	21.8	—	16.1	0.0	—
（内訳）外科的治療	43.7	—	—	—	—
鏡視下治療	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12②-4(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	252 100.0	13 100.0	124 100.0	0 100.0	(7-9) 100
手術のみ	15.1	—	21.0	0.0	—
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	—
放射線のみ	7.5	—	—	0.0	—
薬物療法のみ	22.6	0.0	18.5	0.0	—
放射線＋薬物	4.4	0.0	—	0.0	—
薬物＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	10.3	—	14.5	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	13.1	—	12.1	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	5.2	0.0	8.1	0.0	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—
治療なし	21.8	—	16.1	0.0	—
（内訳）外科的治療	43.7	—	—	—	—
鏡視下治療	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-12②-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2021年-2023年)

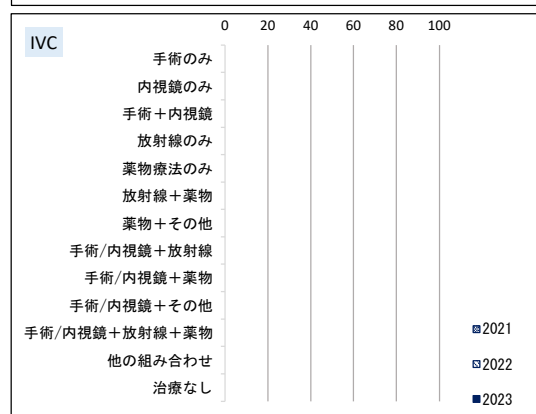
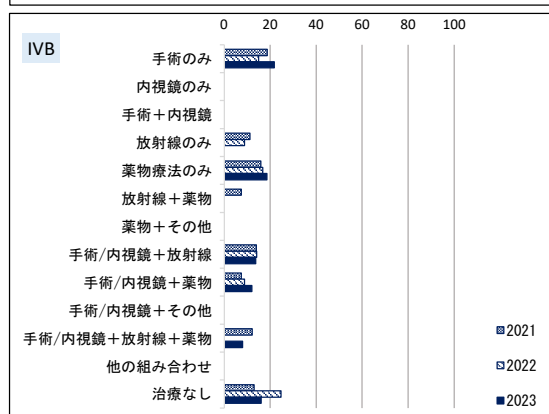
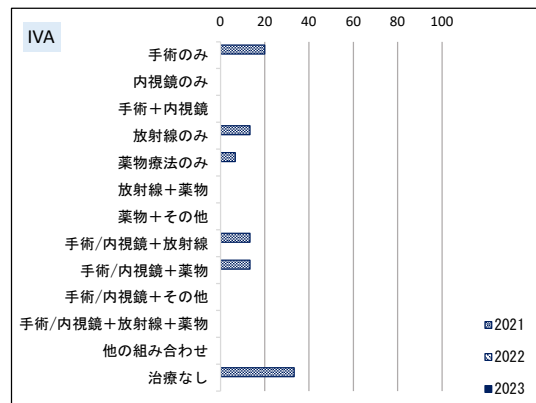
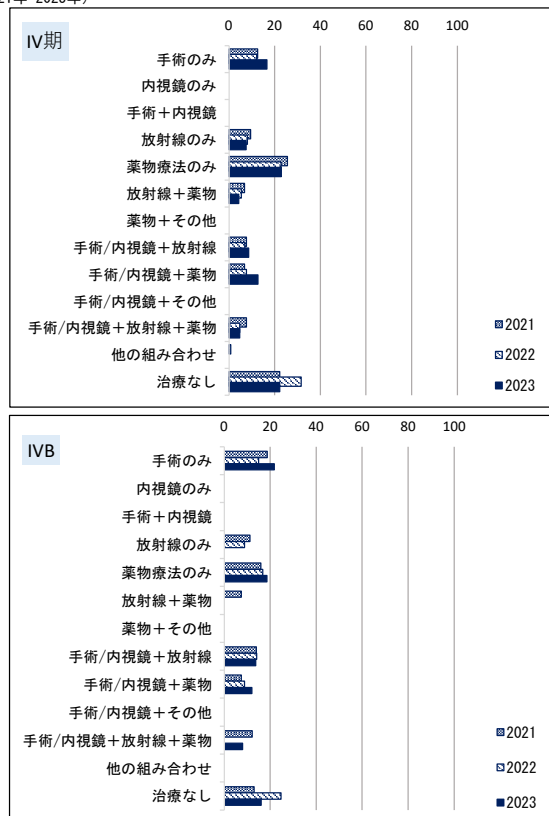
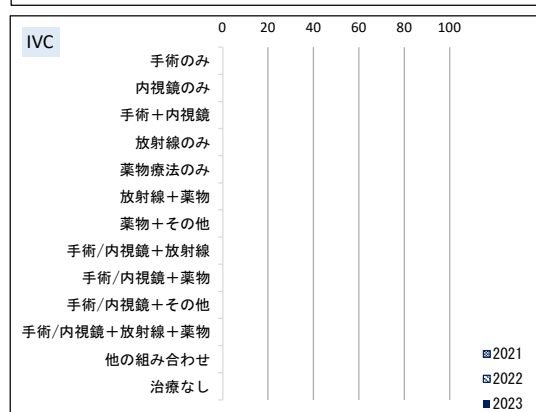
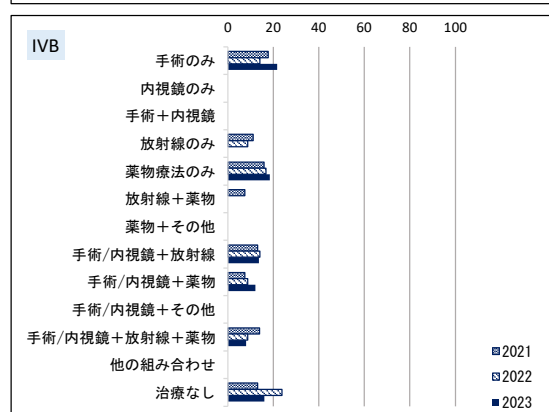
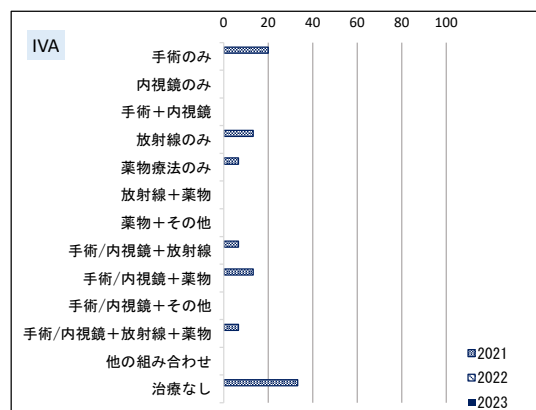
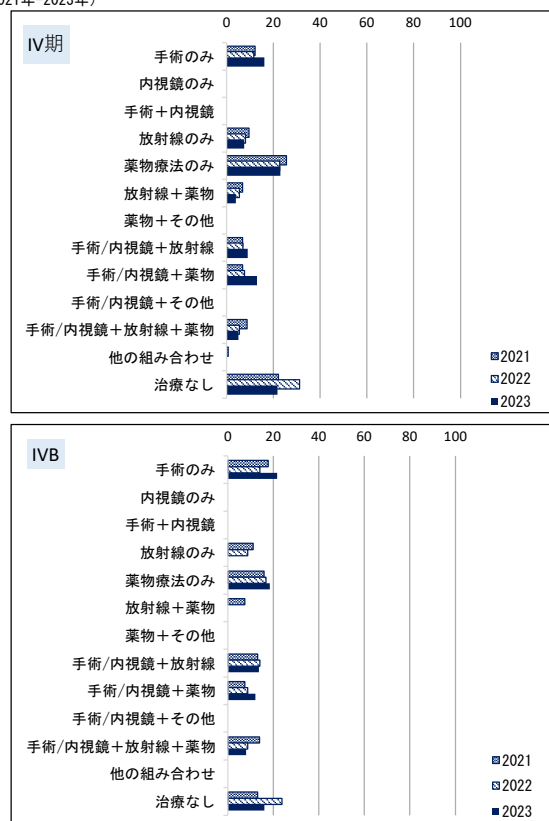


図4-12②-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2021年-2023年)



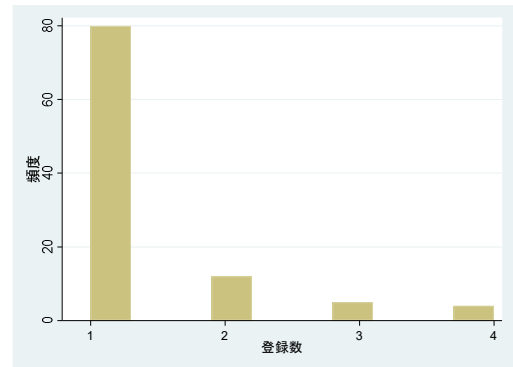
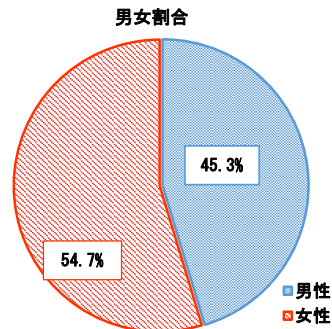
甲状腺髄様がん（甲状腺髄様癌）

●施設別登録数

対象施設数	100
平均	1
最小値	1
中央値	1
最大値	5

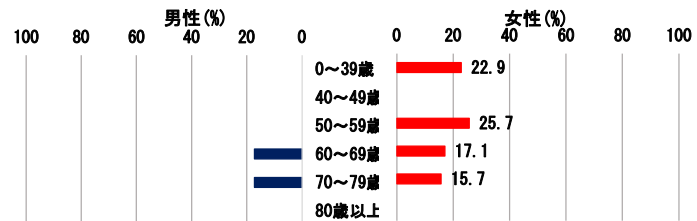
●性別

男性	58
女性	70
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	54.9	17.6	55.2
拠点	55.0	17.9	56.0
拠点外	54.2	16.7	53.8



●UICC TNM病期分布

表4-12③-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2021	28.8	28.8	6.8	26.5	17.4	0.0	0.0	9.1	0.0	132
2122	36.3	20.0	8.1	20.7	12.6	-	0.0	14.8	0.0	135
2023	29.7	26.6	-	25.8	16.4	-	0.0	12.5	0.0	128

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12③-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	適用外等	不明	該当無	合計
2021	35.2	16.4	18.9	27.9	23.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	122
2122	34.9	19.0	14.3	31.7	26.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	126
2023	37.8	18.5	19.3	23.5	18.5	0.0	0.0	0.0	-	0.0	119

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12③-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2021	34.8	15.9	17.4	31.8	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0	132
2122	33.3	19.3	13.3	34.1	25.2	-	0.0	0.0	0.0	135
2023	35.9	-	-	26.6	17.2	-	0.0	0.0	0.0	128
男性	29.3	-	-	31.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58
女性	41.4	22.9	-	22.9	15.7	-	0.0	0.0	0.0	70

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

甲状腺髄様がん（甲状腺髄様癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-12③-4(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	IVC
全体	46 100.0	25 100.0	23 100.0	34 100.0	22 (1-3) 100.0	0 100.0	0 100.0
手術のみ	87.0	80.0	87.0	50.0	63.6	0.0	0.0
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
薬物療法のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
治療なし	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0
（内訳）外科的治療	93.5	88.0	95.7	76.5	—	0.0	0.0
鏡視下治療	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12③-4(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	IVC
全体	46 100.0	25 100.0	23 100.0	34 100.0	22 (1-3) 100.0	0 100.0	0 100.0
手術のみ	91.3	84.0	87.0	55.9	72.7	0.0	0.0
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
薬物療法のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
治療なし	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
（内訳）外科的治療	97.8	92.0	95.7	82.4	—	0.0	0.0
鏡視下治療	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12③-4(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に他施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	IVC
全体	46 100.0	25 100.0	23 100.0	34 100.0	22 (1-3) 100.0	0 100.0	0 100.0
手術のみ	89.1	80.0	87.0	55.9	72.7	0.0	0.0
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
薬物療法のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	0.0
他の組み合わせ	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
治療なし	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
（内訳）外科的治療	97.8	92.0	95.7	100.0	—	0.0	0.0
鏡視下治療	0.0	0.0	—	82.4	—	0.0	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-12③-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2021年-2023年)

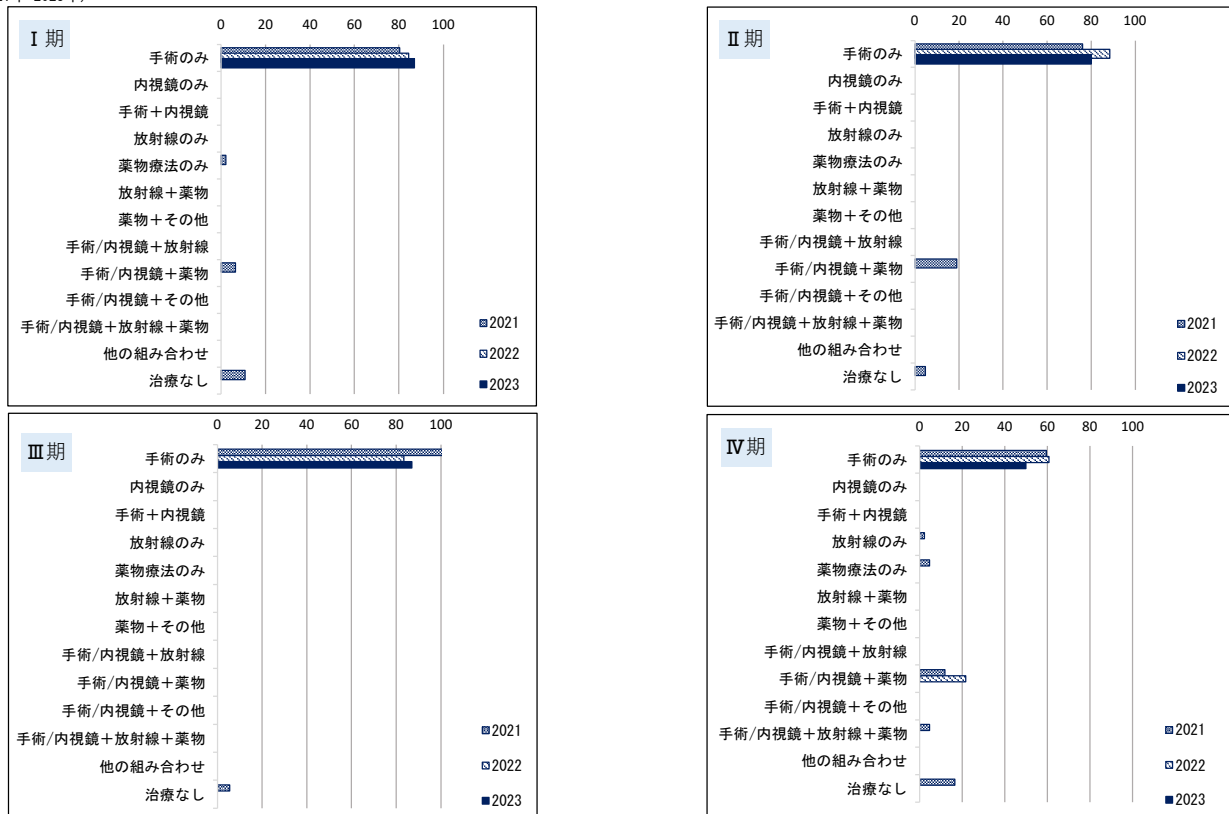
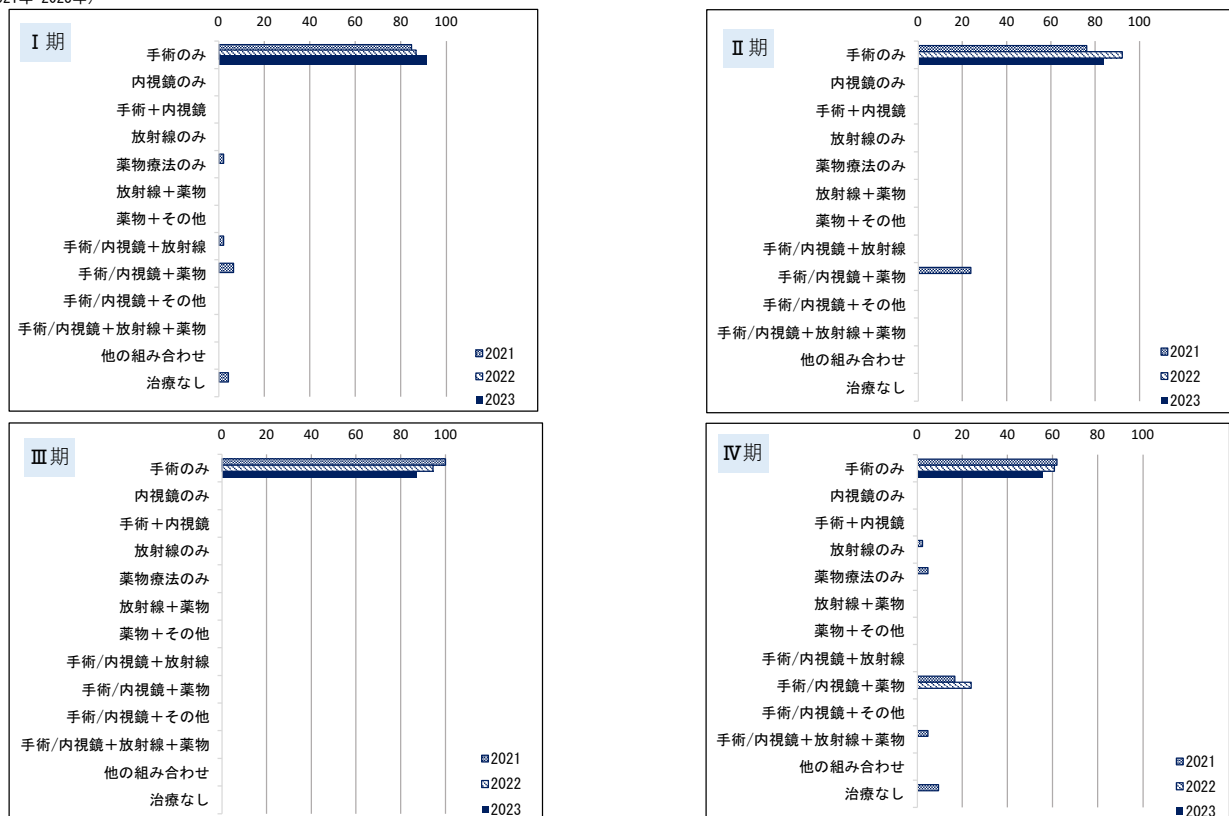


図4-12③-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2021年-2023年)



13. 胆嚢がん（胆嚢癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	17,364	854	16,771	13,351	5,275	39.5	803	2,450	18.4	692
2022	16,982	831	16,329	12,999	5,148	39.6	787	2,461	18.9	677
2023	17,474	860	16,800	13,319	5,238	39.3	806	2,465	18.5	696

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は6例で、最小登録数が1例、最大登録数41例であった。

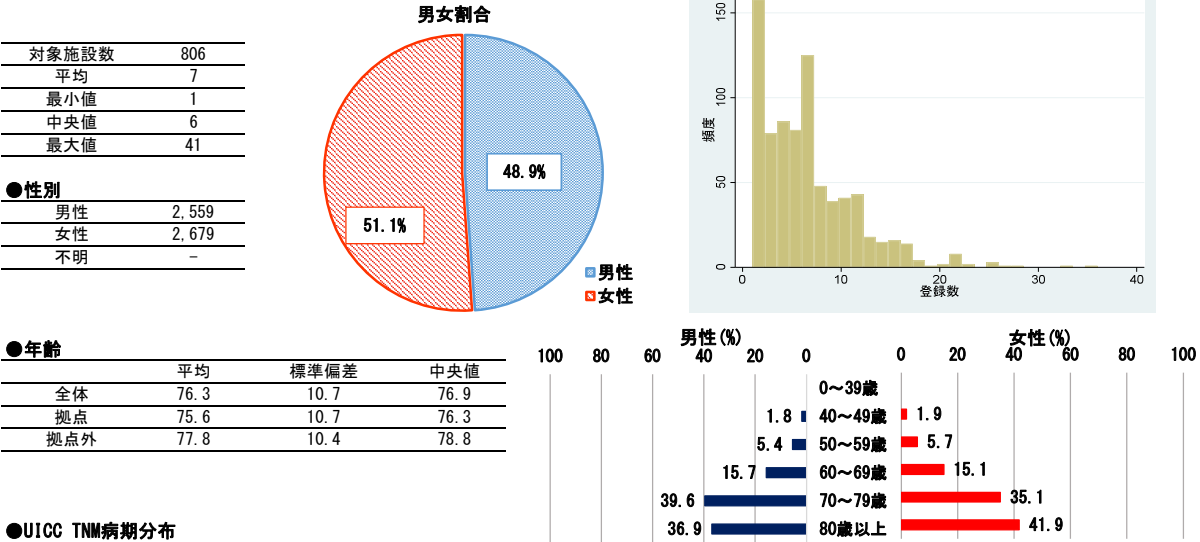


表4-13-3よりIV期の割合が最も多く約43%を占め、次いでIII期が約21%であった。登録割合の変動について、2020年以降大きな変化は見られない。

表4-13-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	1期	IIA期	IIB期	III期	IIIA期	IIIB期	IIII期	IIIIA期	IIIIIB期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2021	0.7	7.0	3.6	3.4	9.9	7.0	2.9	19.1	9.8	9.3	41.4	4.6	36.8	21.9	0.0	5,275
2022	0.8	7.2	3.2	4.0	10.0	6.3	3.7	18.4	10.0	8.4	40.2	5.1	35.1	23.4	0.0	5,148
2023	1.0	6.8	3.4	3.5	10.3	6.2	4.0	18.2	9.4	8.8	40.0	4.6	35.4	23.7	-	5,238

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	1期	1A期	1B期	11期	11A期	11B期	111期	111A期	111B期	1V期	1VA期	1VB期	適用外 等/	不明	該当無	合計
2021	13.0	19.0	10.6	8.4	31.4	19.3	12.1	20.9	7.0	13.9	12.2	1.4	10.8	2.0	1.5	0.0	2,450
2022	13.4	18.0	9.9	8.0	33.9	19.0	14.9	20.8	7.8	13.0	10.9	1.4	9.5	1.4	1.7	0.0	2,461
2023	14.9	17.8	9.4	8.4	31.0	17.8	13.2	22.2	8.3	13.9	9.7	1.5	8.2	2.2	2.1	-	2,465

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

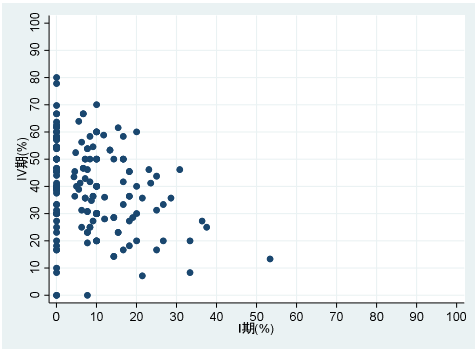
	0期	Ⅰ期	ⅠA期	ⅠB期	ⅠⅠ期	ⅠⅠA期	ⅠⅠB期	ⅠⅠⅠ期	ⅠⅠⅠA期	ⅠⅠⅠB期	ⅠⅣ期	ⅠⅣA期	ⅠⅣB期	不明	該当無	合計
2021	6.0	9.3	5.2	4.2	15.3	9.5	5.8	19.7	8.2	11.5	45.4	4.7	40.7	4.2	0.0	5,275
2022	6.4	9.2	5.0	4.2	16.9	9.5	7.4	20.0	8.9	11.0	43.6	5.0	38.6	3.9	0.0	5,148
2023	7.0	9.2	4.9	4.3	15.6	8.8	6.7	20.9	9.1	11.8	43.3	4.8	38.5	4.0	－	5,238
男性	7.7	9.5	5.2	4.3	15.4	8.8	6.6	22.0	10.6	11.3	41.3	5.4	36.0	4.1	0.0	2,559
女性	6.5	8.9	4.6	4.3	15.8	8.8	6.9	19.9	7.7	12.2	45.1	4.2	40.9	3.8	－	2,679

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の181施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
I期	5.9	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0
II期	9.1	0.0	0.0	17.6	17.6	50.0
III期	16.7	0.0	9.1	15.9	25.0	61.5
IV期	40.0	5.9	29.4	24.4	53.8	90.3

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



13. 胆嚢がん（胆嚢癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-13-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	369 100.0	482 100.0	258 100.0	224 100.0	815 100.0	462 100.0	353 100.0	1,095 100.0	479 100.0	616 100.0	2,267 100.0	251 100.0	2,016 100.0	209 100.0
手術のみ	97.0	86.7	86.4	87.1	65.5	70.6	58.9	23.9	21.7	25.6	4.5	7.6	4.1	15.3
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	1.2	0.0	1.3	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	19.4	19.0	19.6	45.0	49.4	44.5	18.2
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.9	—	0.9	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	4.4	—	5.8	28.3	24.9	32.9	28.0	21.3	33.3	6.2	7.2	6.1	5.3
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0
治療なし	—	8.5	10.1	6.7	4.9	3.5	6.8	27.9	37.6	20.5	41.6	32.7	42.7	60.8
（内訳）外科的治療	26.3	35.7	—		51.2	—		38.0	—		8.3	—		6.2
鏡視下治療	73.2	55.8	—		43.1	—		14.1	—		2.5	—		14.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	369 100.0	482 100.0	258 100.0	224 100.0	815 100.0	462 100.0	353 100.0	1,095 100.0	479 100.0	616 100.0	2,267 100.0	251 100.0	2,016 100.0	209 100.0
手術のみ	96.7	86.7	86.4	87.1	65.2	69.7	59.2	23.4	20.9	25.3	4.2	6.4	3.9	15.3
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	1.2	0.0	1.3	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	18.5	18.6	18.5	44.7	48.2	44.3	17.7
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.9	—	1.0	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	2.7	4.6	—	5.8	29.2	26.0	33.4	29.6	22.5	35.1	6.9	9.6	6.5	5.7
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0
治療なし	—	8.3	9.7	6.7	4.5	3.2	6.2	27.6	37.4	20.0	41.4	32.7	42.5	60.8
（内訳）外科的治療	26.3	35.9	—		51.5	—		38.9	—		8.8	—		6.7
鏡視下治療	73.2	55.8	—		43.2	—		14.2	—		2.5	—		14.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に他施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	369 100.0	482 100.0	258 100.0	224 100.0	815 100.0	462 100.0	353 100.0	1,095 100.0	479 100.0	616 100.0	2,267 100.0	251 100.0	2,016 100.0	209 100.0
手術のみ	96.7	86.9	86.4	87.5	64.8	69.0	59.2	22.8	20.7	24.5	4.1	6.4	3.8	14.8
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	1.3	0.0	1.4	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	18.4	18.4	18.3	44.7	48.2	44.2	17.7
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	1.0	—	1.0	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	2.7	4.6	—	5.8	29.6	26.6	33.4	30.2	23.0	35.9	7.0	9.6	6.6	6.2
手術/内視鏡＋その他	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0
治療なし	—	8.1	9.7	6.3	4.5	3.2	6.2	27.4	37.2	19.8	41.3	32.7	42.4	60.8
（内訳）外科的治療	26.3	36.1	—		51.9	—		39.2	—		8.9	—		7.7
鏡視下治療	73.2	55.8	—		42.8	—		14.1	—		2.5	—		14.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjo.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-13-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2021年-2023年)

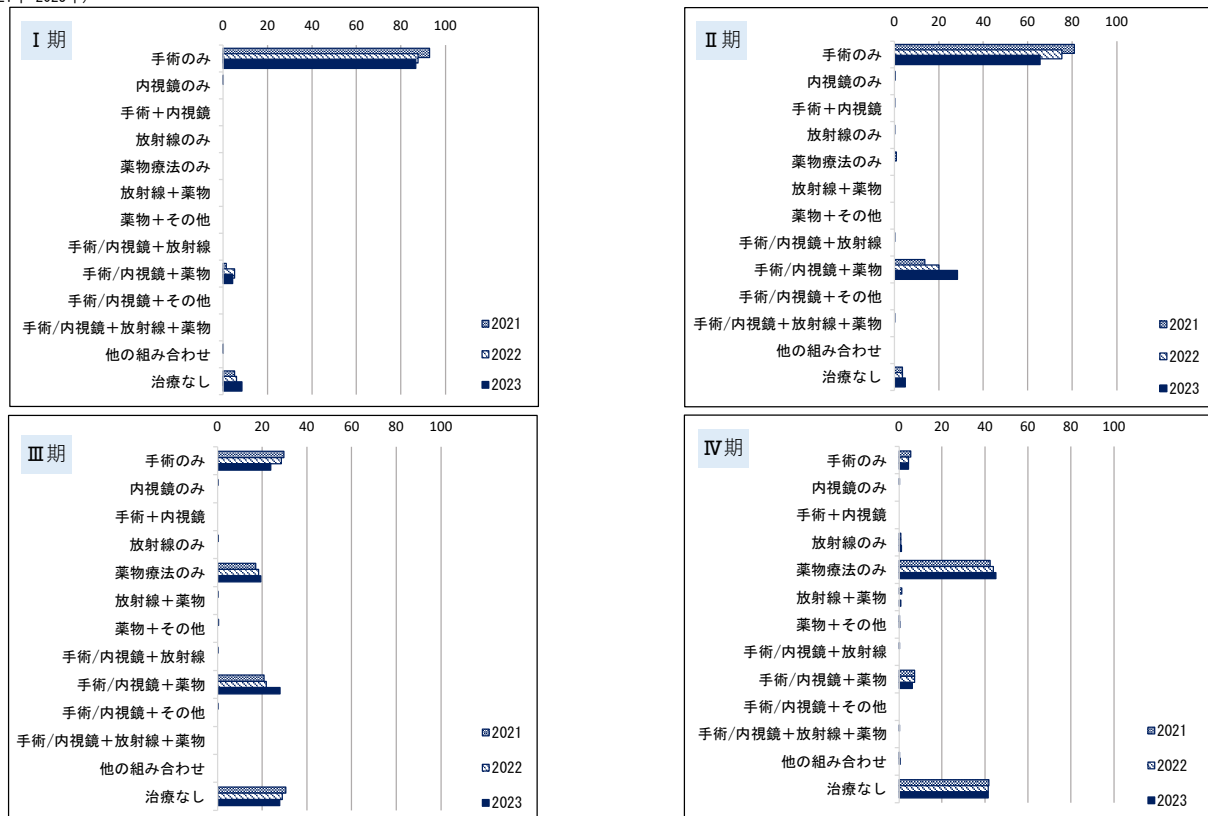
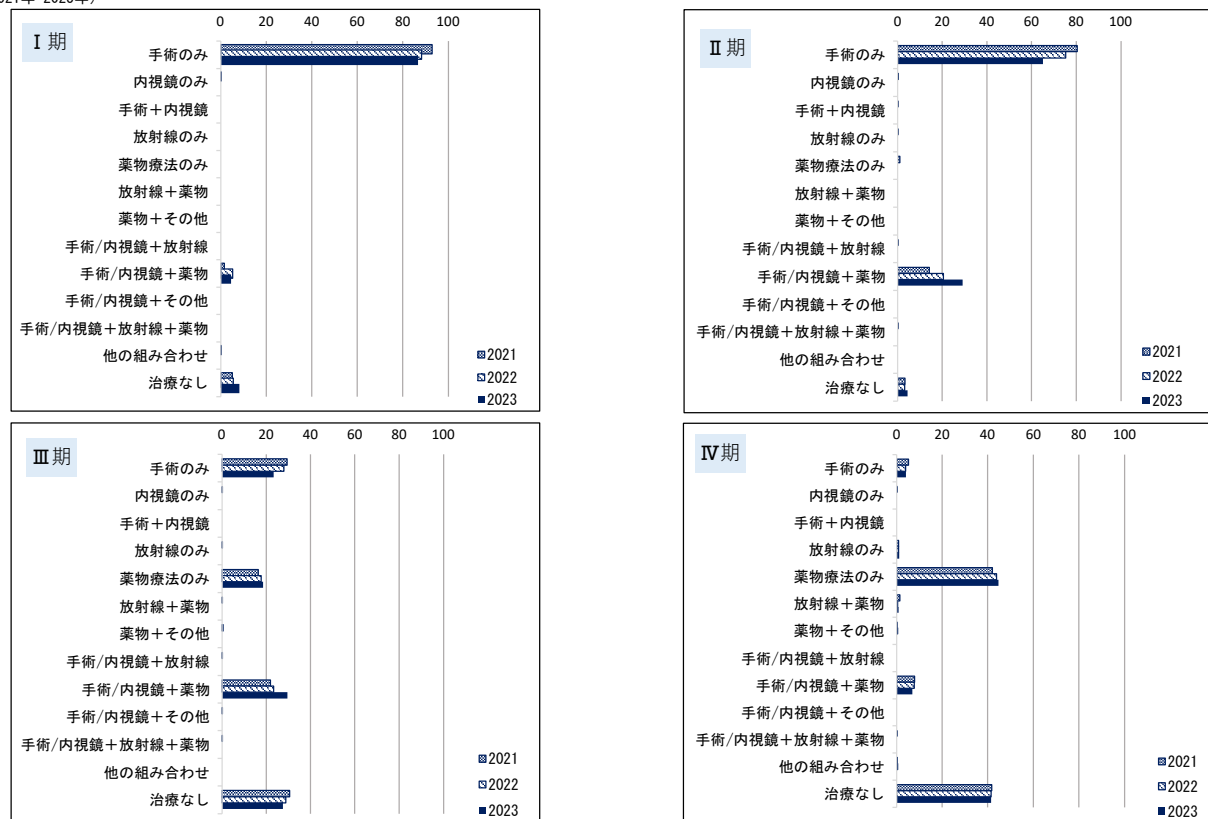


図4-13-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2021年-2023年)



14. 喉頭がん（喉頭癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	5,914	660	5,781	4,606	4,592	99.7	501	1,618	35.1	348
2022	5,729	644	5,593	4,446	4,435	99.8	505	1,434	32.3	355
2023	5,898	658	5,751	4,548	4,535	99.7	512	1,521	33.4	352

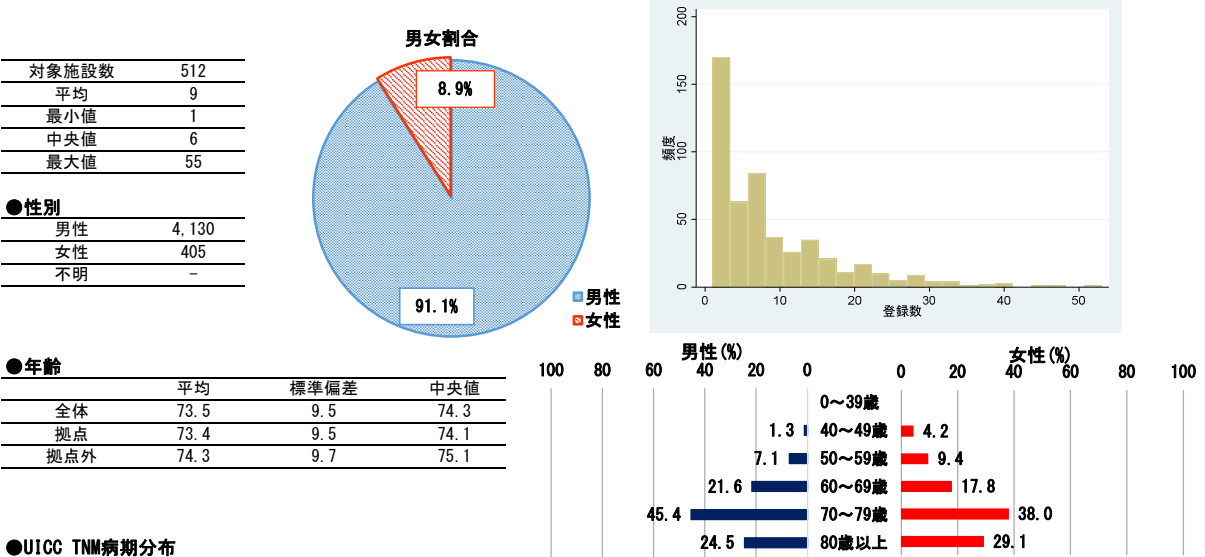
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は6例で、最小登録数が1例、最大登録数が55例であった。



●UICC TNM病期分布

表4-14-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2021	5.0	37.1	18.9	16.4	18.0	14.8	1.6	0.0	4.6	0.0	4,592
2022	5.0	39.7	19.2	15.0	16.6	13.3	1.6	0.0	4.5	0.0	4,435
2023	5.4	38.1	19.8	15.6	16.3	13.4	1.7	0.0	4.9	-	4,535

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	適用外等	不明	該当無	合計
2021	12.4	31.4	8.4	13.0	28.0	21.0	6.2	0.0	5.2	1.5	0.1	1,618
2022	13.6	34.4	7.9	12.7	24.6	17.8	6.6	0.0	5.0	1.7	0.0	1,434
2023	14.1	35.4	8.5	11.6	23.5	17.4	5.8	0.0	5.3	1.5	0.0	1,521

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2021	6.5	39.1	19.4	14.8	19.3	14.4	3.3	0.0	1.0	0.0	4,592
2022	6.9	41.3	19.8	13.7	17.5	12.6	3.3	0.0	0.7	0.0	4,435
2023	7.3	40.2	20.1	14.0	17.7	13.3	3.2	0.0	0.7	0.0	4,535
男性	7.4	40.1	20.3	13.8	17.7	13.3	3.3	0.0	0.7	0.0	4,130
女性	7.2	40.7	18.0	15.6	16.8	13.1	2.5	0.0	-	0.0	405

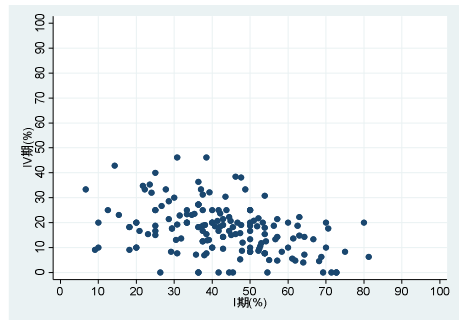
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

（対象例10例以上の179施設）

	中央値	最小値	25%値	（四分位範囲）	75%値	最大値
0期	3.6	0.0	0.0	8.0	8.0	25.0
I期	37.5	0.0	25.0	20.0	45.0	80.0
II期	20.0	0.0	13.0	14.3	27.3	50.0
III期	17.0	0.0	9.1	15.9	25.0	54.5
IV期	16.7	0.0	9.1	14.4	23.5	43.8

（参考）施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



14. 喉頭がん（喉頭癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-14-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	333 100.0	1,822 100.0	910 100.0	635 100.0	801 100.0	602 100.0	146 100.0	0 100.0	34 100.0
手術のみ	10.8	6.5	5.8	26.1	29.5	34.1	20.5	0.0	—
内視鏡のみ	46.2	15.8	2.6	—	—	—	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	19.8	60.4	42.5	15.7	8.0	6.8	7.5	0.0	—
薬物療法のみ	—	1.0	—	—	5.0	3.2	—	0.0	0.0
放射線＋薬物	—	3.3	36.8	43.5	24.2	26.7	17.8	0.0	—
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	3.6	6.2	3.6	—	8.0	6.1	17.1	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	0.0	—	—	—	4.5	5.3	—	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.8	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	2.2	—	7.6	4.3	24.0	0.0	0.0
他の組み合わせ	3.3	1.5	1.5	—	—	—	—	0.0	0.0
治療なし	12.6	4.1	3.8	8.5	11.5	11.6	—	0.0	67.6
（内訳）外科的治療	8.4	7.1	7.7	28.5	100.0	—	—	0.0	—
鏡視下治療	4.2	1.9	—	—	50.1	—	—	0.0	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	333 100.0	1,822 100.0	910 100.0	635 100.0	801 100.0	602 100.0	146 100.0	0 100.0	34 100.0
手術のみ	11.4	6.5	5.8	25.8	29.2	33.9	19.9	0.0	—
内視鏡のみ	46.5	15.9	2.6	—	—	—	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	19.8	60.5	42.5	15.7	8.0	6.8	7.5	0.0	—
薬物療法のみ	—	1.0	—	—	4.9	3.0	—	0.0	0.0
放射線＋薬物	—	3.3	37.1	43.5	24.0	26.2	18.5	0.0	—
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	3.9	6.5	4.0	—	7.9	6.1	17.1	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	0.0	0.0	—	1.7	4.4	5.1	—	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.8	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	2.2	—	8.7	5.5	24.0	0.0	0.0
他の組み合わせ	3.0	1.5	1.5	—	—	—	—	0.0	0.0
治療なし	11.4	3.6	3.2	8.2	11.2	11.5	—	0.0	67.6
（内訳）外科的治療	9.0	7.2	7.8	28.7	50.8	—	—	0.0	—
鏡視下治療	4.2	1.9	—	—	0.0	—	—	0.0	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	333 100.0	1,822 100.0	910 100.0	635 100.0	801 100.0	602 100.0	146 100.0	0 100.0	34 100.0
手術のみ	11.1	6.4	5.7	25.7	29.2	33.9	19.9	0.0	—
内視鏡のみ	46.5	15.6	2.5	—	—	—	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	19.8	60.5	42.5	15.7	8.0	6.8	7.5	0.0	—
薬物療法のみ	—	1.0	—	—	4.6	2.8	—	0.0	0.0
放射線＋薬物	—	3.3	37.0	43.5	24.1	26.2	19.2	0.0	—
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	3.9	6.9	4.1	—	8.0	6.3	17.1	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	—	0.0	—	1.7	4.4	5.1	—	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.8	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	2.4	—	8.9	5.6	24.0	0.0	0.0
他の組み合わせ	3.0	1.5	1.5	—	—	—	—	0.0	0.0
治療なし	11.4	3.4	3.2	8.2	11.1	11.3	—	0.0	67.6
（内訳）外科的治療	9.0	7.4	7.8	28.7	100.0	—	—	0.0	—
鏡視下治療	4.2	1.9	—	—	51.1	—	—	0.0	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.gan.joho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-14-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2021年-2023年)

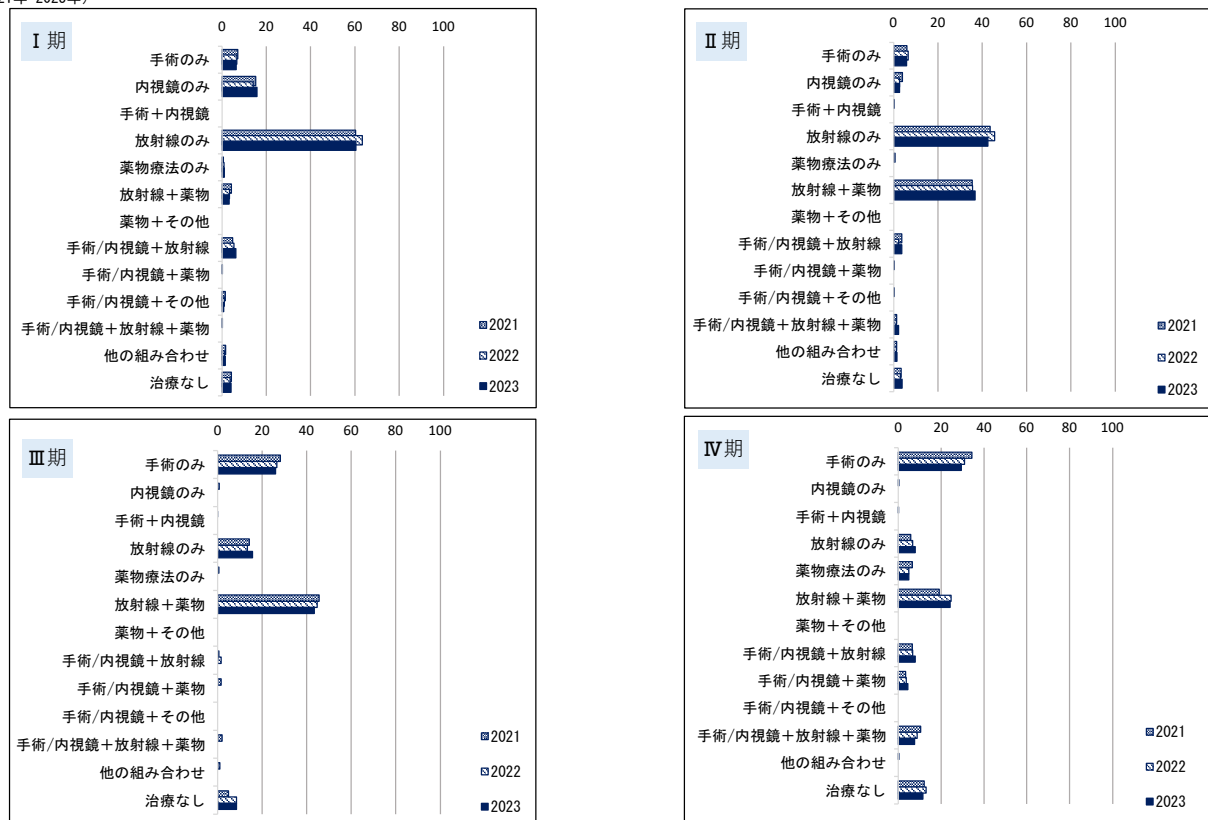
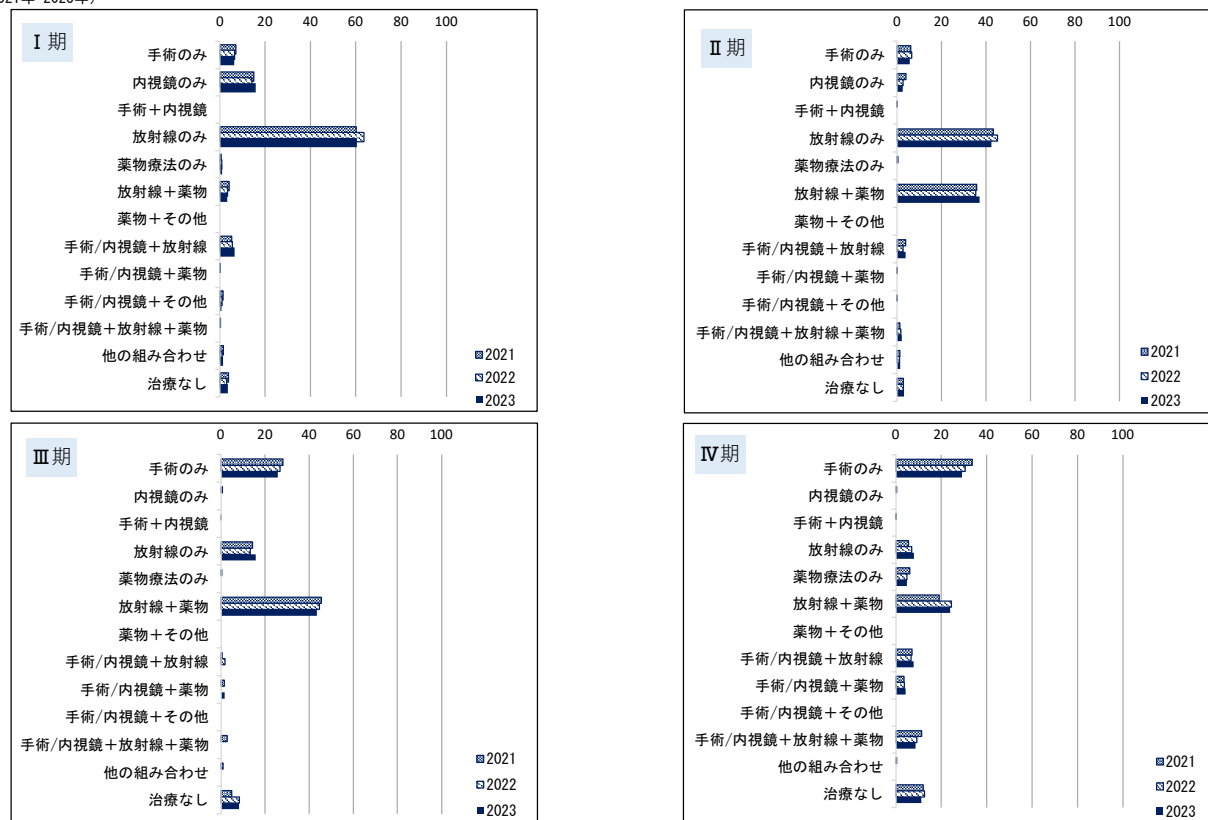


図4-14-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2021年-2023年)



15. 腎がん（腎癌）

c	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	21,201	833	20,614	17,072	16,982	99.5	760	13,506	79.1	679
2022	21,542	822	20,922	17,015	16,922	99.5	750	13,323	78.3	672
2023	22,172	852	21,546	17,757	17,648	99.4	765	13,727	77.3	690

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は15例で、最小登録数が1例、最大登録数が286例であった。

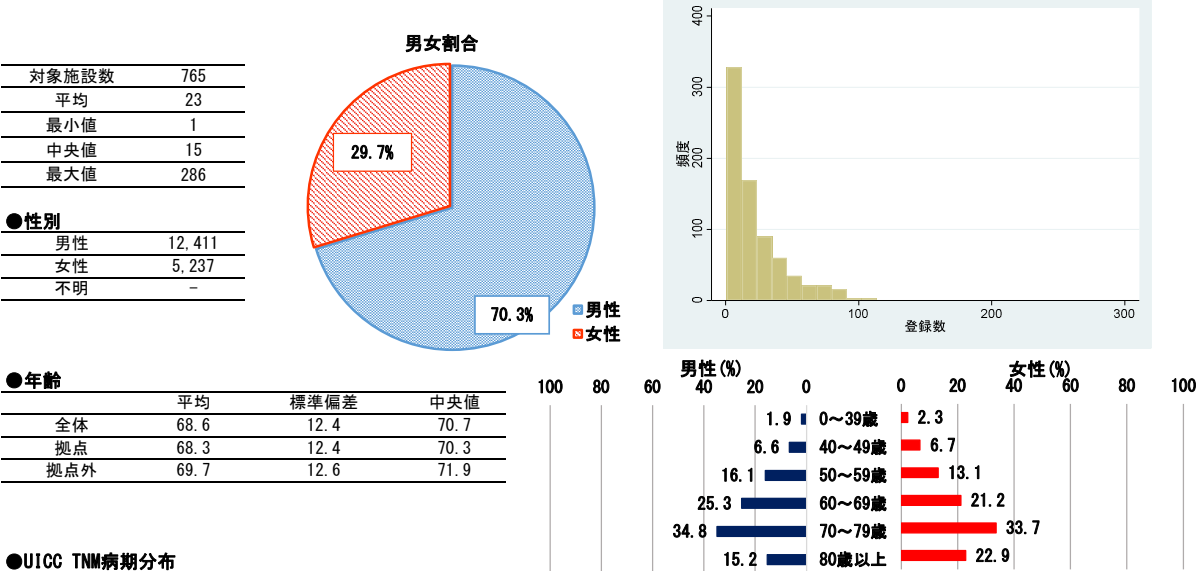


表4-15-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2021	70.3	5.2	8.6	11.7	3.6	0.5	16,982
2022	70.0	4.6	9.9	11.7	3.2	0.6	16,922
2023	69.5	4.4	10.6	11.6	3.4	0.5	17,648

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-15-1a 腎細胞癌に限定したUICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2021	73.0	5.6	8.8	9.0	3.5	0.0	14,608
2022	72.4	4.9	10.2	9.2	3.3	-	14,595
2023	71.6	4.6	11.2	9.3	3.4	-	15,147

表4-15-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	該当無	合計
2021	76.7	4.4	13.9	3.4	1.2	0.4	0.1	13,506
2022	76.6	3.8	14.8	2.9	1.4	0.3	0.2	13,323
2023	76.0	3.4	16.2	2.3	1.6	0.3	0.2	13,727

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-15-2a 腎細胞癌に限定したUICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	該当無	合計
2021	77.0	4.4	13.9	3.3	1.0	0.4	0.0	13,408
2022	77.1	3.8	14.9	2.9	1.1	0.3	0.0	13,215
2023	76.4	3.4	16.3	2.3	1.3	0.3	-	13,621

表4-15-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2021	70.2	4.0	12.9	11.7	0.7	0.5	16,982
2022	69.9	3.4	13.8	11.7	0.5	0.6	16,922
2023	69.3	3.2	14.8	11.6	0.7	0.5	17,648
男性	69.6	2.8	14.8	11.8	0.7	0.4	12,411
女性	68.6	4.1	14.7	11.1	0.8	0.6	5,237

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

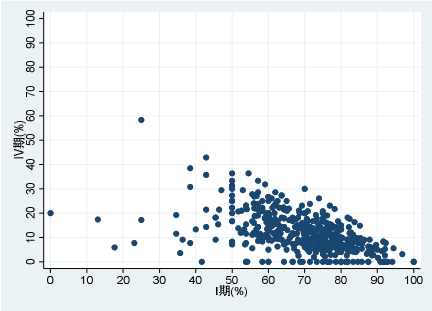
表4-15-3a 腎細胞癌に限定したUICC TNM分類 総合ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2021	72.9	4.2	13.7	8.9	0.2	0.0	14,608
2022	72.4	3.6	14.7	9.2	0.2	0.0	14,595
2023	71.3	3.3	15.9	9.2	0.3	0.0	15,147

表4-15-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の498施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I 期	70.0	5.3	61.5	15.9	77.4	100.0
II 期	3.6	0.0	0.0	6.7	6.7	40.0
III 期	9.1	0.0	4.8	9.5	14.3	45.5
IV 期	10.8	0.0	6.7	10.0	16.7	66.7

(参考) 施設毎の I 期と IV 期の割合の分布図



15. 腎がん（腎癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-15-5 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	12,228 100.0	559 100.0	2,606 100.0	2,045 100.0	128 100.0
手術のみ	80.9	79.4	61.2	6.4	11.7
内視鏡のみ	—	0.0	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.5	0.0	—	4.9	—
薬物療法のみ	0.3	4.5	7.4	49.5	7.8
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	8.9	0.0
薬物＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.2	5.0	24.1	9.4	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	—	1.5	0.0
他の組み合わせ	3.2	—	—	—	—
治療なし	14.6	10.4	6.6	18.2	68.0
（内訳）外科的治療	4.6	20.2	12.2	7.0	—
鏡視下治療	76.6	64.2	73.4	11.3	12.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-15-5 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	12,228 100.0	559 100.0	2,606 100.0	2,045 100.0	128 100.0
手術のみ	85.1	80.0	60.0	6.0	11.7
内視鏡のみ	0.1	0.0	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.6	0.0	—	5.0	—
薬物療法のみ	0.3	3.6	6.2	47.1	—
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	8.9	0.0
薬物＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	—	0.7	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.3	6.3	28.5	12.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	—	1.7	0.0
他の組み合わせ	3.2	—	—	—	—
治療なし	10.3	9.5	4.6	18.1	67.2
（内訳）外科的治療	4.7	20.8	12.9	8.0	—
鏡視下治療	80.7	65.5	76.0	12.6	12.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-15-5 (3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	12,228 100.0	559 100.0	2,606 100.0	2,045 100.0	128 100.0
手術のみ	85.1	79.6	59.8	5.8	11.7
内視鏡のみ	0.1	0.0	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	—	0.0	0.0
放射線のみ	0.6	0.0	—	5.0	—
薬物療法のみ	0.3	3.6	6.1	46.7	—
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	9.3	0.0
薬物＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.0	—	0.8	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.3	6.4	28.8	12.1	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	—	1.8	0.0
他の組み合わせ	3.2	—	—	—	—
治療なし	10.3	9.5	4.6	18.0	67.2
（内訳）外科的治療	4.8	20.8	13.0	8.1	—
鏡視下治療	80.7	65.5	76.0	12.6	12.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-15-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2021年-2023年)

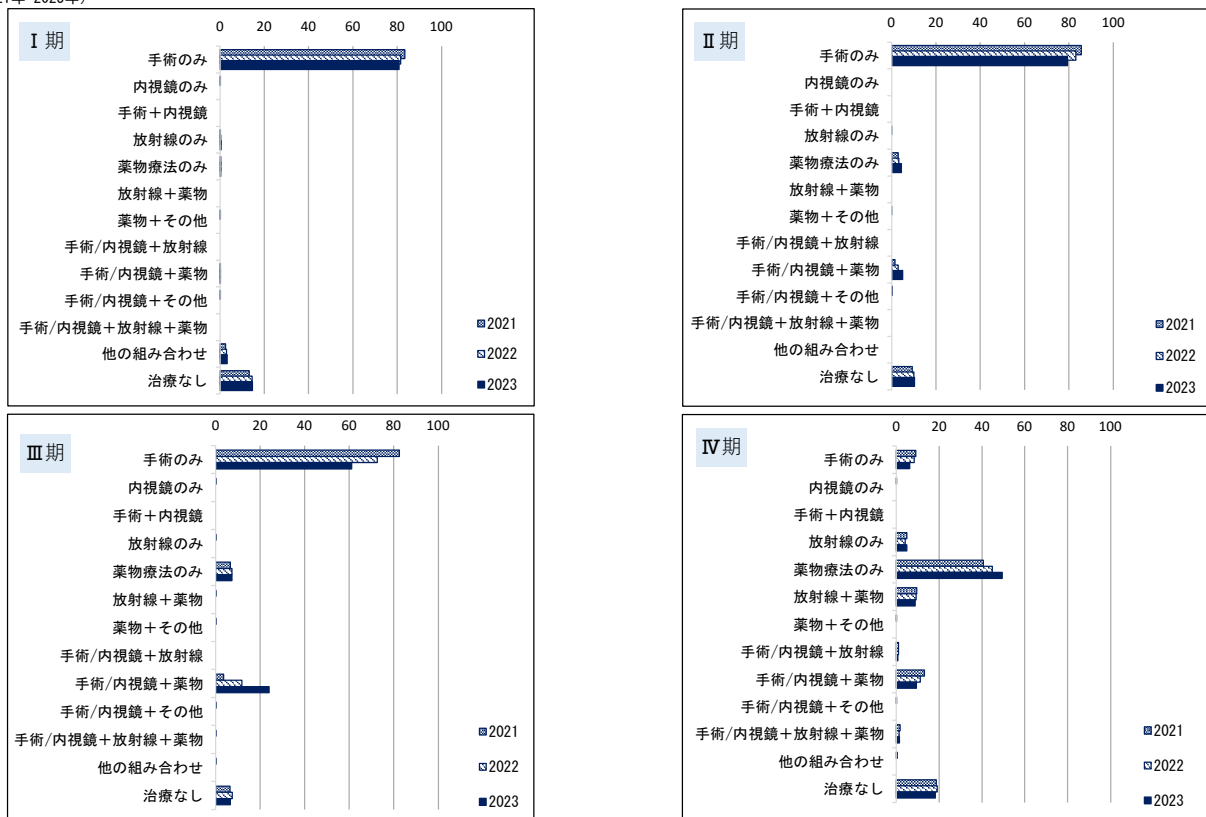
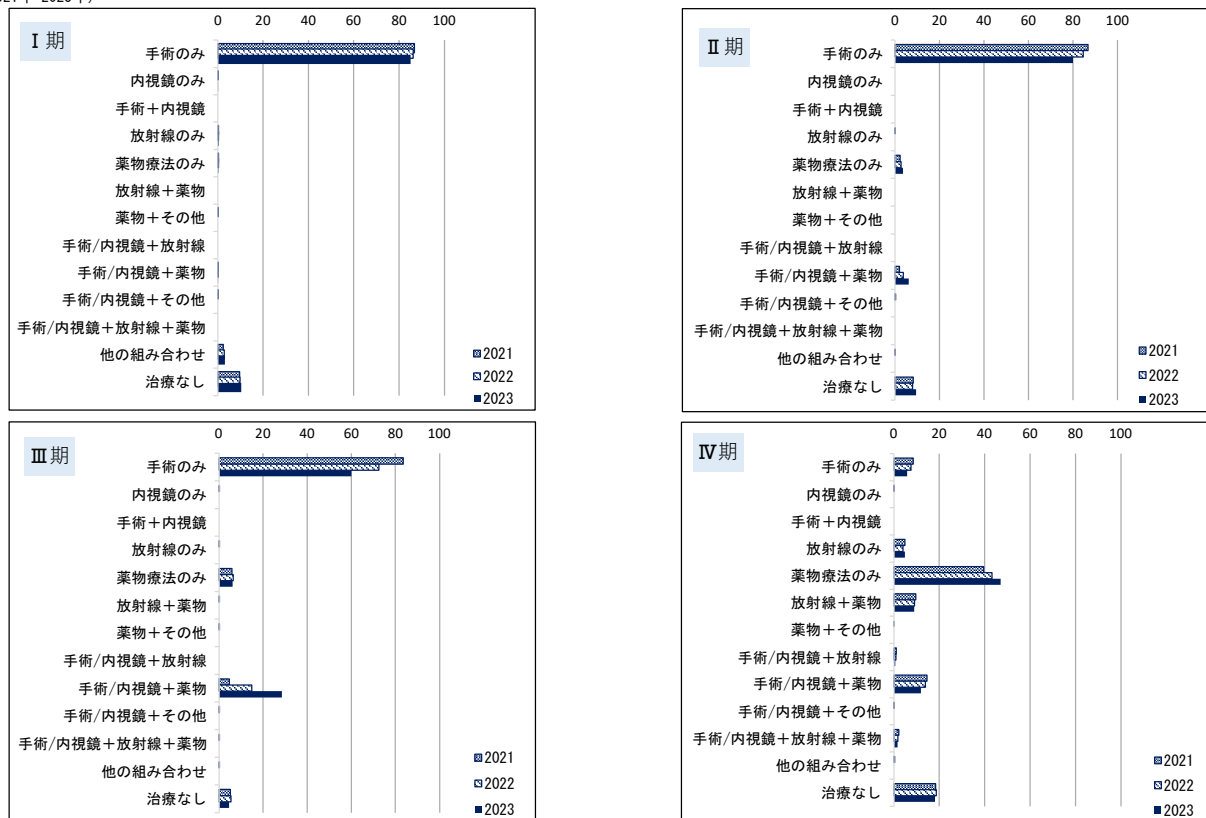


図4-15-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2021年-2023年)



16. 腎盂・尿管がん（腎盂・尿管癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	10,714	810	10,471	8,688	8,684	99.9	745	5,968	68.7	675
2022	10,719	800	10,470	8,650	8,646	100.0	735	5,832	67.4	664
2023	11,315	834	11,012	9,080	9,078	100.0	756	6,056	66.7	695

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は10例で、最小登録数が1例、最大登録数が52例であった。

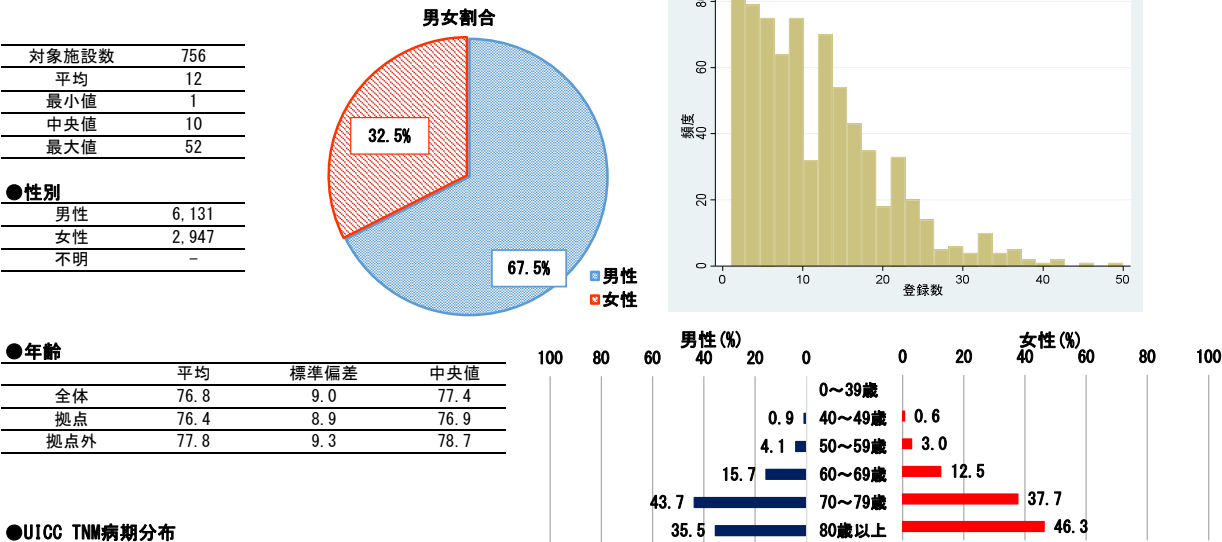


表4-16-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2021	13.9	11.1	2.8	17.7	15.5	12.6	24.7	15.6	0.0	8,684
2022	13.5	10.8	2.7	17.2	15.8	12.9	25.7	14.8	0.0	8,646
2023	14.0	11.4	2.6	17.1	15.8	12.8	25.0	15.4	0.0	9,078

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	その他	合計
2021	25.5	20.7	4.7	16.0	13.3	26.9	8.2	9.2	0.9	0.0	5,968
2022	24.1	19.6	4.5	15.8	12.5	26.8	7.9	11.9	1.0	-	5,832
2023	24.8	19.9	4.9	15.0	12.1	25.3	7.1	14.4	1.3	-	6,056

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

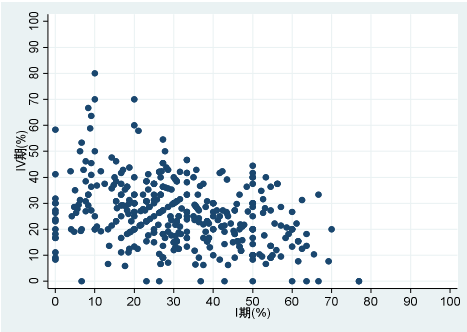
	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IV期	不明	その他	合計
2021	19.6	15.5	4.1	14.0	12.3	22.0	26.8	5.3	0.0	8,684
2022	18.6	14.7	4.0	14.2	12.0	22.1	28.0	5.0	0.0	8,646
2023	19.4	15.3	4.1	13.9	12.4	21.6	27.0	5.7	0.0	9,078
男性	20.9	16.9	4.0	14.7	12.5	20.6	25.7	5.7	0.0	6,131
女性	16.5	12.1	4.4	12.0	12.4	23.7	29.8	5.7	0.0	2,947

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布（対象例10例以上の411施設）

	中央値	最小値	25%値	（四分位範囲）	75%値	最大値
0期	11.1	0.0	3.6	16.4	20.0	53.8
I期	15.8	0.0	7.7	19.6	27.3	70.0
II期	14.3	0.0	7.1	16.0	23.1	59.4
III期	10.5	0.0	5.9	13.5	19.4	53.8
IV期	23.8	0.0	15.4	15.9	31.3	75.0

（参考）施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



16. 腎盂・尿管がん（腎盂・尿管癌）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-16-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）

総合ステージ	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	1,765 100.0	1,392 100.0	373 100.0	1,258 100.0	1,128 100.0	1,957 100.0	2,453 100.0	517 100.0
手術のみ	76.6	77.5	73.2	66.5	54.2	45.9	7.7	2.5
内視鏡のみ	2.8	3.2	—	2.0	—	—	—	—
手術＋内視鏡	2.0	2.4	—	1.0	—	1.0	—	0.0
放射線のみ	—	—	—	2.1	2.5	1.0	3.6	4.3
薬物療法のみ	1.7	1.7	—	3.6	5.0	5.0	42.8	9.3
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	4.0	—
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	5.6	6.3	2.9	8.7	22.2	39.9	16.0	11.2
手術/内視鏡＋その他	1.4	0.9	3.5	1.0	—	0.5	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.7	—
他の組み合わせ	4.1	2.7	9.4	1.2	—	—	—	4.3
治療なし	5.2	4.8	6.4	13.4	12.2	5.2	24.5	66.7
（内訳）外科的治療	7.6	—	—	8.3	7.7	8.9	4.9	2.7
鏡視下治療	77.0	—	—	68.6	70.6	78.9	18.8	10.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）

総合ステージ	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	1,765 100.0	1,392 100.0	373 100.0	1,258 100.0	1,128 100.0	1,957 100.0	2,453 100.0	517 100.0
手術のみ	77.3	78.2	74.3	67.3	54.8	43.9	7.1	2.5
内視鏡のみ	2.7	3.1	—	1.7	—	—	—	—
手術＋内視鏡	2.2	2.5	—	1.2	—	1.0	—	0.0
放射線のみ	—	—	—	2.2	2.5	1.0	3.6	4.8
薬物療法のみ	1.5	1.5	—	2.7	3.2	3.4	41.3	8.5
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	4.5	—
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	5.9	6.6	3.2	9.8	24.4	44.0	17.7	12.2
手術/内視鏡＋その他	1.6	1.1	3.5	1.1	—	0.6	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.9	—
他の組み合わせ	3.9	2.4	9.4	1.1	0.9	—	—	4.1
治療なし	4.2	4.0	5.1	12.5	11.2	4.6	24.1	65.8
（内訳）外科的治療	7.7	—	—	8.3	8.0	9.1	5.2	3.3
鏡視下治療	78.5	—	—	70.6	73.2	81.1	20.1	11.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む）

総合ステージ	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	1,765 100.0	1,392 100.0	373 100.0	1,258 100.0	1,128 100.0	1,957 100.0	2,453 100.0	517 100.0
手術のみ	77.3	78.2	74.3	67.3	54.8	43.8	7.0	2.5
内視鏡のみ	2.7	3.1	—	1.7	—	—	—	—
手術＋内視鏡	2.2	2.5	—	1.2	—	1.0	—	0.0
放射線のみ	—	—	—	2.2	2.5	1.0	3.6	4.8
薬物療法のみ	1.5	1.4	—	2.7	3.1	3.3	41.1	8.5
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	4.7	—
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	5.9	6.7	3.2	9.8	24.5	44.1	17.8	12.2
手術/内視鏡＋その他	1.6	1.1	3.5	1.1	—	0.7	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.9	—
他の組み合わせ	4.0	2.5	9.4	1.1	1.0	—	—	4.1
治療なし	4.2	4.0	5.1	12.5	11.1	4.6	24.1	65.8
（内訳）外科的治療	7.8	—	—	8.4	8.0	9.2	5.2	3.3
鏡視下治療	78.5	—	—	70.5	73.3	81.1	20.1	11.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-16-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
（2021年-2023年）

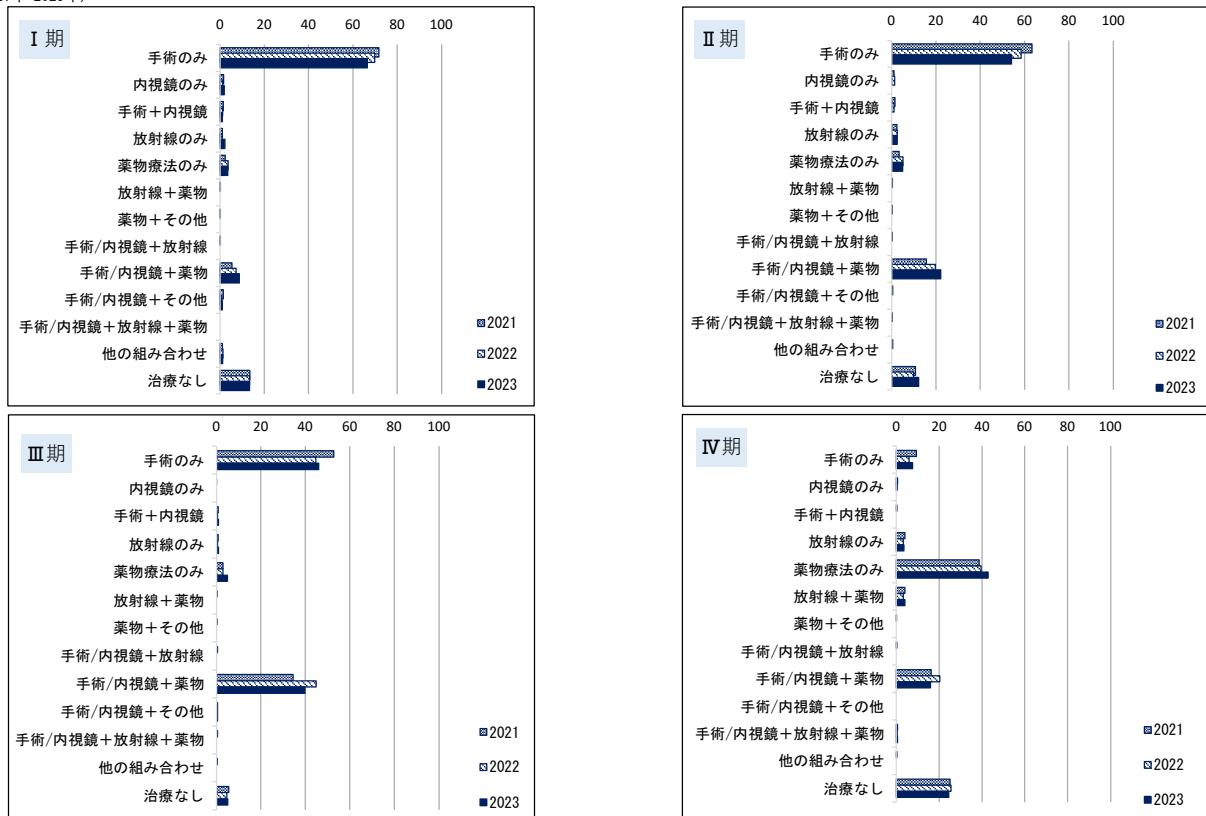
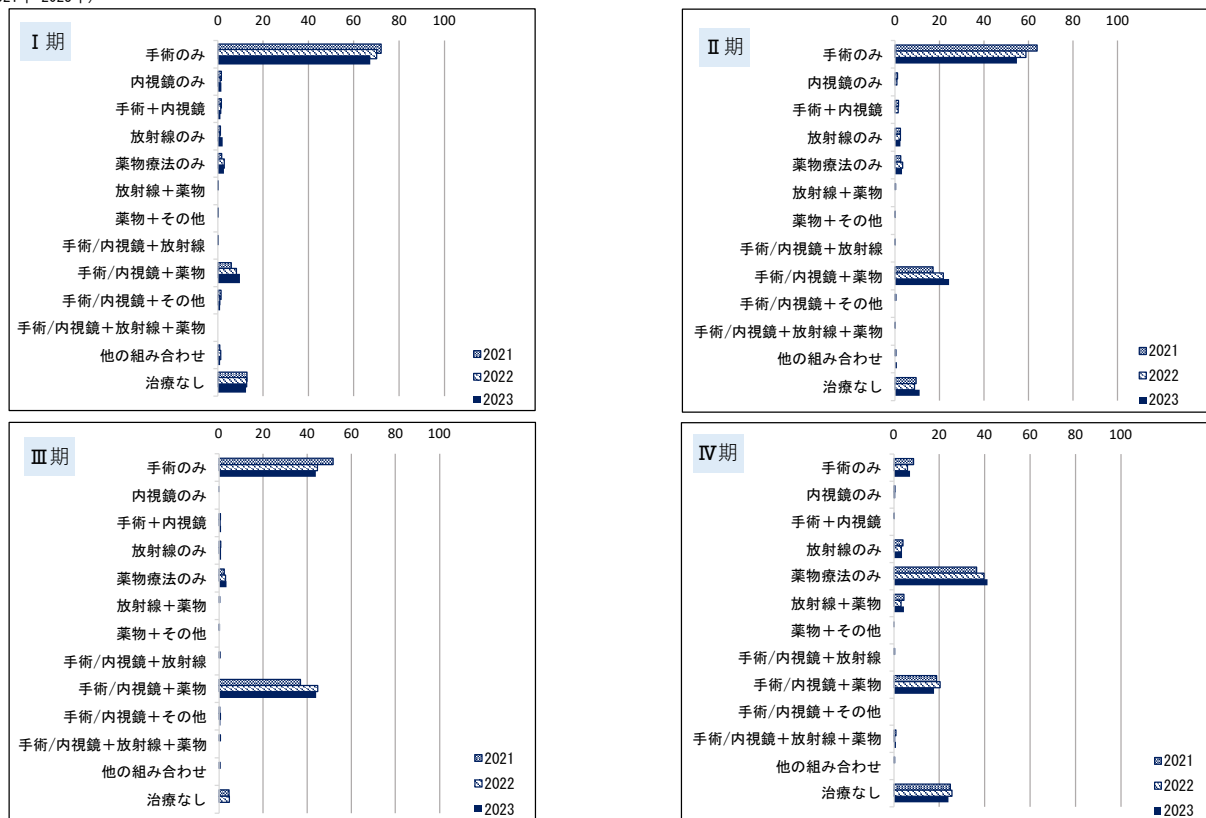


図4-16-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
（2021年-2023年）



17. 卵巣がん（卵巣癌）（女）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2021	16,633	809	16,241	13,096	12,798	97.7	681	11,068	84.5	630
2022	16,208	790	15,788	12,791	12,502	97.7	670	10,632	83.1	601
2023	17,014	824	16,590	13,365	13,063	97.7	700	11,111	83.1	615

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

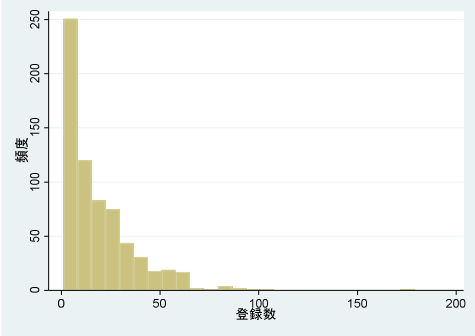
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は13例で、最小登録数が1例、最大登録数が159例であった。

対象施設数	700
平均	19
最小値	1
中央値	13
最大値	159

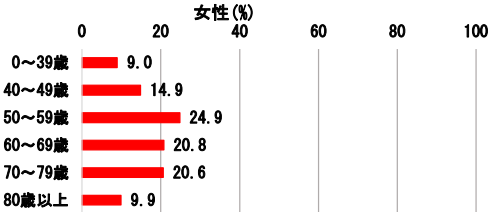
●性別

男性	0
女性	13,063
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	60.4	15.5	60.5
拠点	60.2	15.2	60.4
拠点外	61.6	16.3	61.6



●UICC TNM病期分布

表4-17-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA1	IIIA2	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	その他	該当無	合計
2021	35.5	28.2	1.8	4.8	4.7	2.2	2.4	21.4	2.1	1.0	5.1	13.1	14.5	3.4	10.8	24.0	0.0	0.0	12,798
2022	33.7	27.3	1.4	4.6	4.6	1.8	2.6	22.1	2.2	1.1	5.5	13.3	16.0	3.4	12.2	23.6	-	0.0	12,502
2023	35.0	27.9	1.6	4.6	4.5	1.8	2.6	20.9	2.1	1.0	5.1	12.8	15.8	3.5	11.9	23.8	-	-	13,063

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA1	IIIA2	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	適用外等	不明	該当無	合計
2021	56.2	29.9	1.3	24.9	6.9	2.7	4.2	16.2	3.0	1.6	4.0	7.6	6.3	1.3	4.9	11.7	2.3	0.3	11,068
2022	55.6	29.1	1.3	25.1	6.8	2.6	4.1	16.4	2.4	1.7	4.2	8.1	6.9	1.6	5.2	12.5	1.6	0.2	10,632
2023	56.3	29.7	1.1	25.3	7.2	2.8	4.3	15.9	2.9	1.4	3.9	7.7	6.2	1.4	4.7	12.1	2.0	0.3	11,111

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

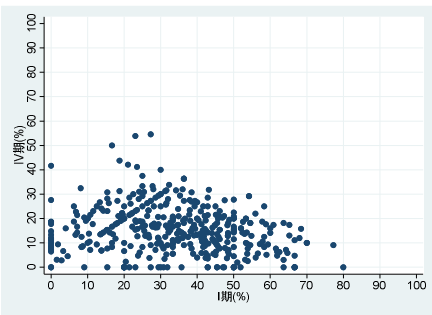
	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA1	IIIA2	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2021	49.4	26.4	1.2	21.7	6.8	2.6	4.1	25.2	4.8	0.0	5.4	15.1	15.5	3.5	11.6	3.1	0.0	12,798
2022	48.0	25.3	1.1	21.5	6.5	2.5	3.9	25.7	2.5	1.9	5.9	15.3	17.2	3.7	13.1	2.6	-	12,502
2023	48.8	25.9	1.0	21.7	6.9	2.7	4.1	24.5	2.8	1.6	5.5	14.6	16.9	3.7	12.8	2.8	-	13,063

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I 期	37.1	0.0	21.4	25.5	46.9	90.0
II 期	4.2	0.0	0.0	7.7	7.7	36.4
III 期	20.4	0.0	13.8	13.8	27.6	50.0
IV 期	13.7	0.0	8.8	11.2	20.0	46.2

(参考) 施設毎の I 期と IV 期の割合の分布図



17. 卵巣がん（卵巣癌）（女）

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-17-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,378 100.0	3,382 100.0	128 100.0	2,839 100.0	904 100.0	357 100.0	534 100.0	3,205 100.0	579 100.0	723 100.0	1,903 100.0	2,204 100.0	479 100.0	1,666 100.0	371 100.0
手術のみ	62.4	80.2	73.4	40.6	18.1	18.5	18.2	6.4	12.1	6.8	4.5	3.3	2.1	3.7	31.5
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—
薬物療法のみ	0.2	—	0.0	—	5.5	5.0	5.1	20.8	7.1	16.2	26.7	34.2	36.1	33.9	12.9
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	36.5	18.5	26.6	58.6	73.0	73.1	73.8	66.1	76.3	66.4	62.9	46.6	47.8	46.9	20.5
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	—
治療なし	0.7	0.9	0.0	0.4	3.1	3.4	2.6	6.3	4.1	10.0	5.6	14.2	13.4	13.7	33.7
（内訳）外科的治療	89.6	—	—	—	87.5	—	—	67.9	—	—	—	45.8	—	—	41.0
鏡視下治療	9.5	—	—	—	3.8	—	—	4.7	—	—	—	4.7	—	—	11.3

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,378 100.0	3,382 100.0	128 100.0	2,839 100.0	904 100.0	357 100.0	534 100.0	3,205 100.0	579 100.0	723 100.0	1,903 100.0	2,204 100.0	479 100.0	1,666 100.0	371 100.0
手術のみ	62.2	80.3	72.7	40.1	17.5	17.6	17.6	6.0	12.1	6.4	4.4	3.2	2.3	3.5	31.8
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—
薬物療法のみ	0.2	—	0.0	—	4.9	4.5	4.3	16.0	7.1	13.1	20.4	27.7	30.3	27.2	10.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.0	0.5	0.0	0.6	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	36.9	18.7	27.3	59.2	74.4	74.8	75.1	71.4	76.3	69.8	69.6	53.0	53.7	53.4	23.5
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.6	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	—
治療なし	0.6	0.8	0.0	—	2.9	3.1	2.4	6.2	4.1	10.0	5.5	14.2	13.2	13.7	33.4
（内訳）外科的治療	89.8	—	—	—	88.4	—	—	73.1	—	—	—	52.4	—	—	44.5
鏡視下治療	9.4	—	—	—	3.7	—	—	4.4	—	—	—	4.5	—	—	11.1

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,378 100.0	3,382 100.0	128 100.0	2,839 100.0	904 100.0	357 100.0	534 100.0	3,205 100.0	579 100.0	723 100.0	1,903 100.0	2,204 100.0	479 100.0	1,666 100.0	371 100.0
手術のみ	61.7	80.0	72.7	39.5	16.6	16.5	16.9	5.6	10.0	5.8	4.1	3.1	2.3	3.4	30.7
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—
薬物療法のみ	0.2	—	0.0	—	4.6	4.2	4.1	15.6	5.2	12.6	19.9	27.4	29.6	26.9	9.7
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.0	0.5	0.0	0.7	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	37.3	19.0	27.3	59.8	75.3	75.9	75.8	72.2	80.1	71.0	70.3	53.4	54.1	53.7	24.8
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.5	0.0	0.6	0.0
他の組み合わせ	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—
治療なし	0.6	0.8	0.0	—	2.9	3.1	2.4	6.2	4.0	10.0	5.5	14.2	13.2	13.7	33.4
（内訳）外科的治療	89.9	—	—	—	88.6	—	—	73.6	—	—	—	52.7	—	—	45.3
鏡視下治療	9.3	—	—	—	3.7	—	—	4.3	—	—	—	4.5	—	—	10.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.gan.joho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-17-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2021年-2023年)

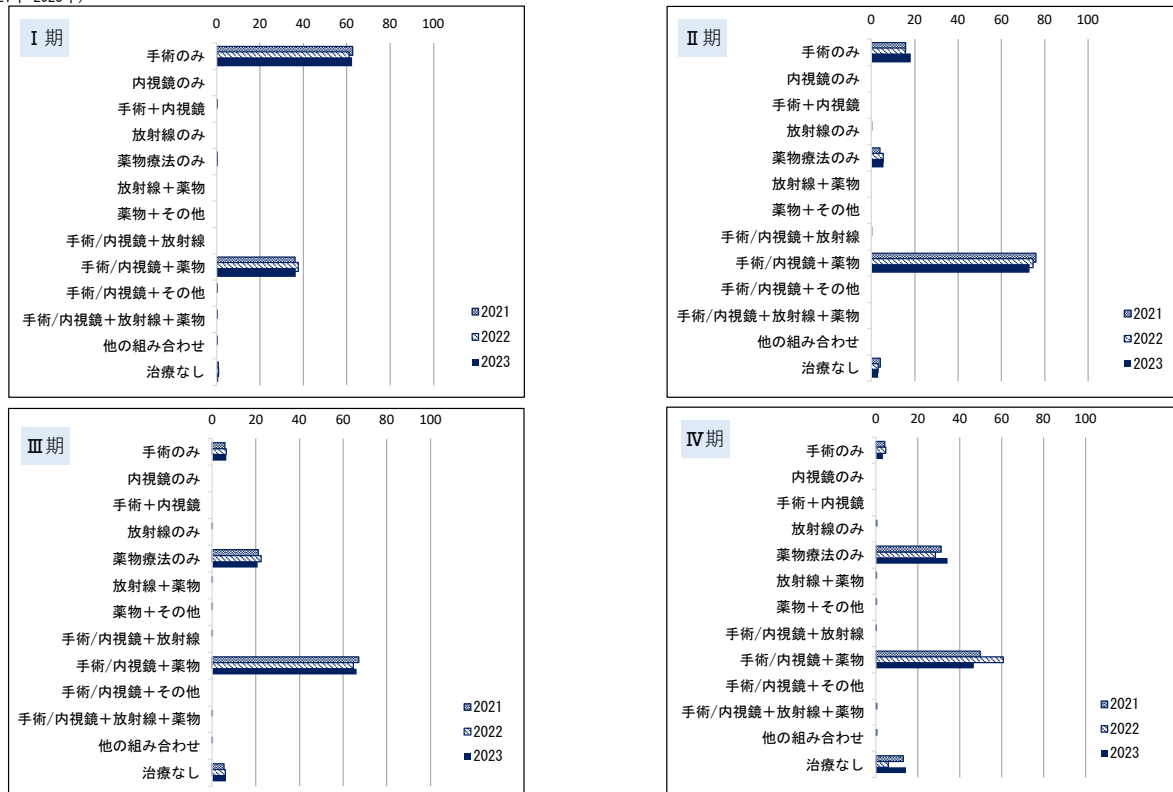
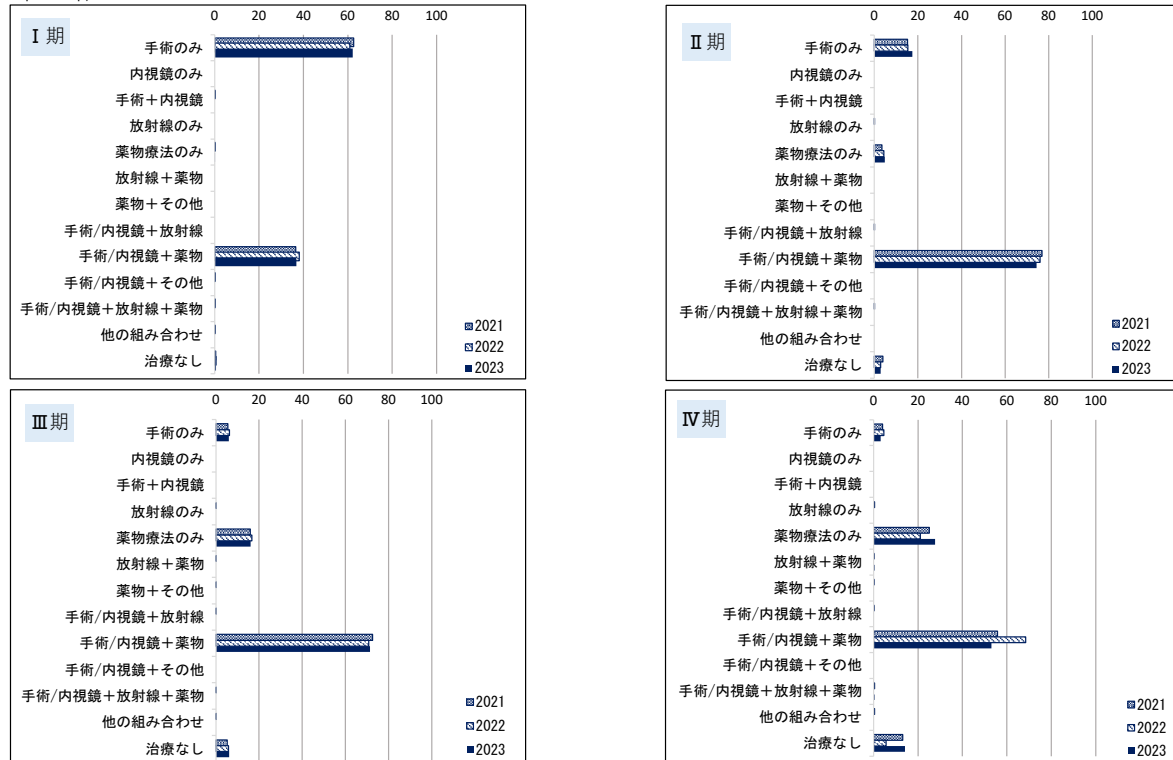


図4-17-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2021年-2023年)



18. 病名の告知

がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版より、新たに追加された項目の一つ。これは、初回治療方針が決定された際に、病名の告知が行なわれていたかを判断するための項目であり、当該腫瘍病名（いわゆる悪性腫瘍「がん」であること）が、患者本人に初回治療開始前に告知されたか否かで判断される。よって、ここでは自施設において初回治療が開始された例（症例区分 20: 自施設診断・自施設初回治療開始例、30: 他施設診断・自施設初回治療開始例）を集計対象とした。

表 4-18-1 初回治療開始時に病名告知有の登録数の割合の分布：施設、都道府県別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2021(全体)	94.2	9.0	96.8	13.5	93.4	98.5	100.0
成人拠点	96.4	4.0	97.6	66.4	95.5	98.8	100.0
県推薦	93.1	8.4	95.5	14.3	91.1	97.9	100.0
任意	91.1	7.9	93.3	69.1	87.9	96.8	99.9
2022(全体)	94.5	9.3	97.1	6.9	94.1	98.6	100.0
成人拠点	96.8	3.7	97.9	69.2	95.9	99.1	100.0
小児拠点	25.5	19.6	21.1	6.9	11.4	31.3	61.1
拠点外	92.9	9.2	95.8	29.0	91.9	97.9	100.0
2023(全体)	94.5	9.0	97.1	13.2	93.7	98.7	100.0
成人拠点	96.7	3.7	97.9	66.2	95.8	99.0	100.0
小児拠点	24.3	14.2	19.5	13.2	14.7	28.3	50.7
拠点外	93.1	8.6	95.7	18.8	91.2	98.1	100.0
都道府県別							
2019	95.7	1.5	96.1	90.6	94.9	96.9	97.9
2020	95.9	1.5	96.2	90.8	95.1	97.2	97.9
2021	96.4	1.3	96.7	92.0	95.7	97.4	98.6
2022	96.7	1.3	97.1	93.2	95.9	97.6	98.9
2023	96.7	1.2	96.9	93.3	96.3	97.7	99.0

表 4-18-2 初回治療開始時に病名有の登録数の割合の分布（20 歳以上）：施設、都道府県別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2021(全体)	94.6	7.5	96.9	0.0	93.6	98.5	100.0
成人拠点	96.5	4.1	97.8	66.4	95.6	98.9	100.0
県推薦	93.2	8.5	95.7	0.0	91.1	97.9	100.0
任意	91.1	7.9	93.3	69.1	87.9	96.8	99.9
2022(全体)	95.1	7.3	97.1	0.0	94.2	98.7	100.0
成人拠点	96.8	3.7	98.0	69.2	96.0	99.1	100.0
小児拠点	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
拠点外	93.0	9.6	95.8	0.0	92.0	98.0	100.0
2023(全体)	94.9	7.9	97.2	0.0	93.8	98.8	100.0
成人拠点	96.8	3.7	98.0	66.2	95.8	99.1	100.0
小児拠点	33.3	57.7	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
拠点外	93.3	8.2	95.7	16.7	91.5	98.1	100.0
都道府県別							
2019	95.8	1.5	96.2	90.8	95.0	97.1	98.1
2020	96.0	1.6	96.3	90.8	95.2	97.3	98.2
2021	96.5	1.3	96.7	92.2	95.7	97.5	98.7
2022	96.8	1.3	97.1	93.2	96.0	97.8	99.0
2023	96.8	1.2	97.0	93.4	96.3	97.8	99.1

19. 症状緩和的治療

2016 年診断例よりがん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版への登録様式が変更となり、新たに症状緩和的治療の有無(自施設)の項目が追加された。これは、当該腫瘍の初回治療のタイミングで、症状の緩和を目的とした治療の実施の有無について登録されるものであり、従来の「特異的」症状緩和治療の範囲に限定されるものではなく、診療行為として、緩和ケア加算が算定されている場合や投薬・処置の実施等の医療行為が対象であり、精神的サポート等の無形に近い症状緩和的なアプローチは含まないものと標準登録様式で定義されている。依然、院内がん登録実務担当者の間において、どのような治療を登録するか解釈にばらつきがある可能性がある。あくまでも、参考値としてご覧いただきたい。

ここでは自施設において初回治療を開始された例(症例区分 20: 自施設診断・自施設初回治療開始例、症例区分 30: 他施設診断・自施設初回治療開始例)を集計対象とした。

表 4-19-1 自施設初回治療開始例における症状緩和的治療有の登録数の割合の分布：施設、都道府県別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2021(全体)	10.7	8.2	9.1	0.0	5.5	13.8	67.3
成人拠点	9.8	6.7	8.5	0.0	5.1	12.4	53.8
県推薦	11.6	8.3	9.8	0.0	5.8	15.4	51.7
任意	12.2	12.1	8.2	0.0	4.6	15.6	64.4
2022(全体)	10.7	9.4	8.7	0.0	5.1	13.5	95.4
成人拠点	9.8	7.2	8.4	0.0	5.1	12.6	64.7
小児拠点	8.7	9.2	8.4	0.0	0.0	17.2	18.4
拠点外	11.8	11.4	9.1	0.0	5.1	15.2	95.4
2023(全体)	10.6	8.8	8.9	0.0	5.1	13.4	92.1
成人拠点	9.5	6.3	8.7	0.0	5.0	12.5	43.8
小児拠点	10.8	17.7	1.4	0.0	0.0	17.6	44.1
拠点外	11.7	10.7	9.5	0.0	5.3	14.8	92.1
都道府県別							
2019	9.5	3.4	8.9	4.8	7.6	10.3	23.0
2020	9.7	2.7	9.4	4.7	8.0	10.9	18.8
2021	9.5	2.5	9.2	4.4	8.1	10.8	17.0
2022	9.4	2.6	9.3	4.4	7.8	10.5	16.2
2023	9.2	2.5	9.3	4.1	7.7	10.4	18.5

院内がん登録全国集計

IV. 腫瘍結果詳細

表 4-19-2 自施設初回治療開始例における症状緩和的治療有の登録数の割合の分布（20 歳以上）：施設、都道府県別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2021(全体)	10.6	7.9	9.1	0.0	5.4	13.7	64.4
成人拠点	9.8	6.7	8.5	0.0	5.1	12.4	53.8
県推薦	11.4	8.2	9.8	0.0	5.6	15.2	51.7
任意	12.2	12.1	8.2	0.0	4.6	15.6	64.4
2022(全体)	10.6	9.3	8.7	0.0	5.0	13.4	95.4
成人拠点	9.8	7.2	8.4	0.0	5.1	12.5	64.7
小児拠点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
拠点外	11.5	11.1	8.9	0.0	5.0	14.9	95.4
2023(全体)	10.5	8.7	8.9	0.0	5.1	13.3	92.1
成人拠点	9.5	6.3	8.7	0.0	5.0	12.5	43.7
小児拠点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
拠点外	11.6	10.6	9.4	0.0	5.3	14.8	92.1
都道府県別							
2019	9.5	3.4	8.9	4.8	7.6	10.3	23.1
2020	9.7	2.7	9.4	4.7	8.0	10.9	18.8
2021	9.5	2.5	9.2	4.3	8.1	10.8	17.0
2022	9.4	2.6	9.4	4.4	7.7	10.4	16.2
2023	9.2	2.5	9.2	4.1	7.7	10.4	18.5

V. 2023 年全国集計：特別集計 2018～2023 年における診断月等要因別の登録数の比較

2020 年 1 月に世界保健機関が、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (Public Health Emergency of International Concern:PHEIC)」と宣言して以降、2022 年もオミクロン株のような感染力の強い変異株の登場などにより本邦における感染者数はこれまで以上に増加した。一方で、ウイルスの性質がわかったことで適切な感染対策がなされ、ワクチンや抗ウイルス薬などを含めた医療提供体制が整備され、社会活動の継続と感染対策との両立が模索された。全国がん登録の集計には時間を要するため、より早期に結果を算出できる院内がん登録データを用いて 2020 年～2022 年と新型コロナウイルス感染症流行下における本邦のがん患者の動向を確認する目的で分析を行ってきた。その中で、新規がん登録件数は 2020 年で減少したが 2021 年から 2022 年にかけては 2018-19 年平均登録数（以下、「2018-19 年平均」という）程度から増加傾向で推移した。しかし、2022 年診断例でも検診発見例は 2018-19 年平均まで回復していないこと、少なくとも 2020 年に診断されなかった分の患者数の増加がまだ確認できていないことが示唆された。そのため、継続的に新規がん登録数の推移を確認する必要があると考え、2023 年も同様の分析を行った。本集計では院内がん登録全国集計参加の全種別の病院（がん診療連携拠点病院等、小児がん拠点病院、拠点外病院）における全がんや各がん種の登録数、治療件数の推移などを報告する。

本集計では、2018 年診断例から 2023 年診断例において継続的に院内がん登録全国集計に参加した 738 施設（このうちがん診療連携拠点病院等は 455 施設）合計 6,151,877 例を対象に集計を行った。

1. 症例区分別登録数の推移

2018～2023 年診断例について、全がんでの症例区分別登録数の推移を図 5-1、2023 年診断例の症例区分別登録数と 2018-19 年平均との比較を表 5-1 に示した。全登録数でみると、2018-19 年平均と比較して 2020 年診断例は 96.0%と 40,464 件減少したが、2021 年診断例は 101.0%と 10,519 件増加、2022 年診断例は 102.4%と 23,999 件増加、2023 年診断例は 104.4%と 44, 591 件増加しており、登録数の増加傾向は 2023 年も継続した。

図 5-1 症例区分別登録数の診断年別推移

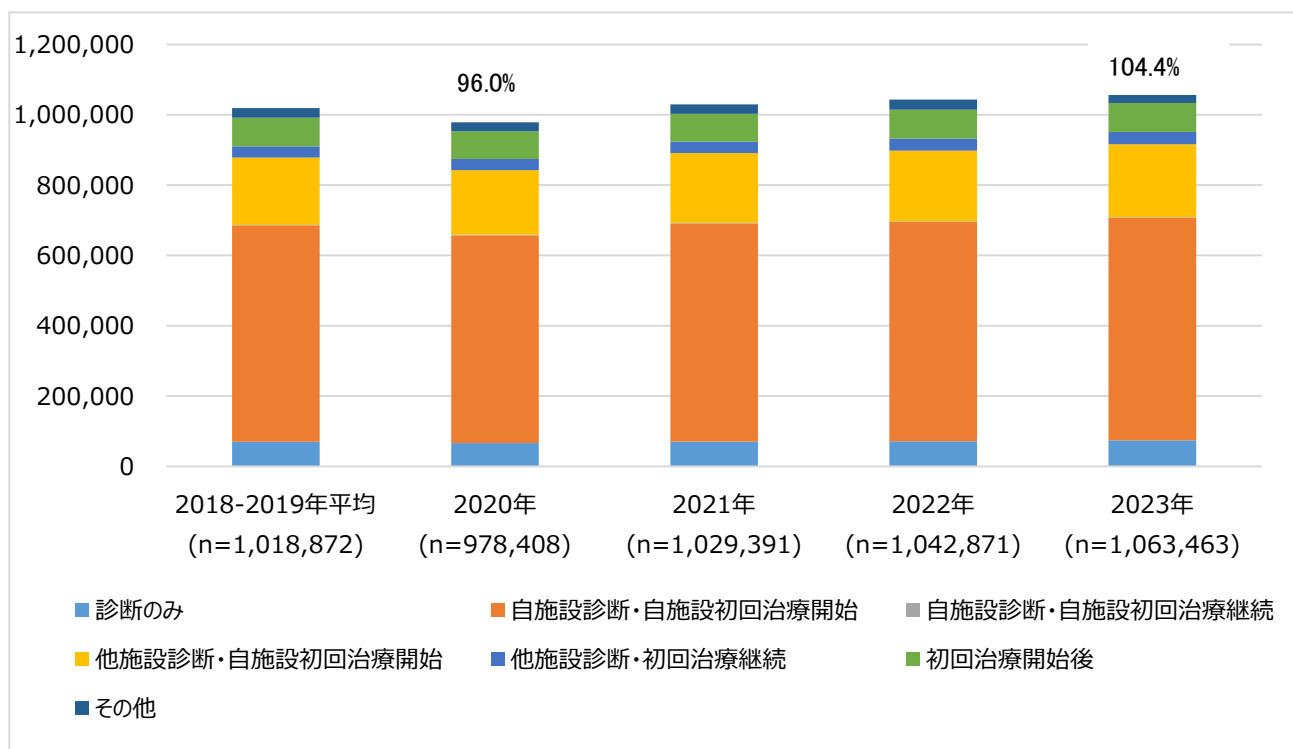


表 5-1 2018-2019 年平均と 2023 年との症例区分毎年間登録数の比較

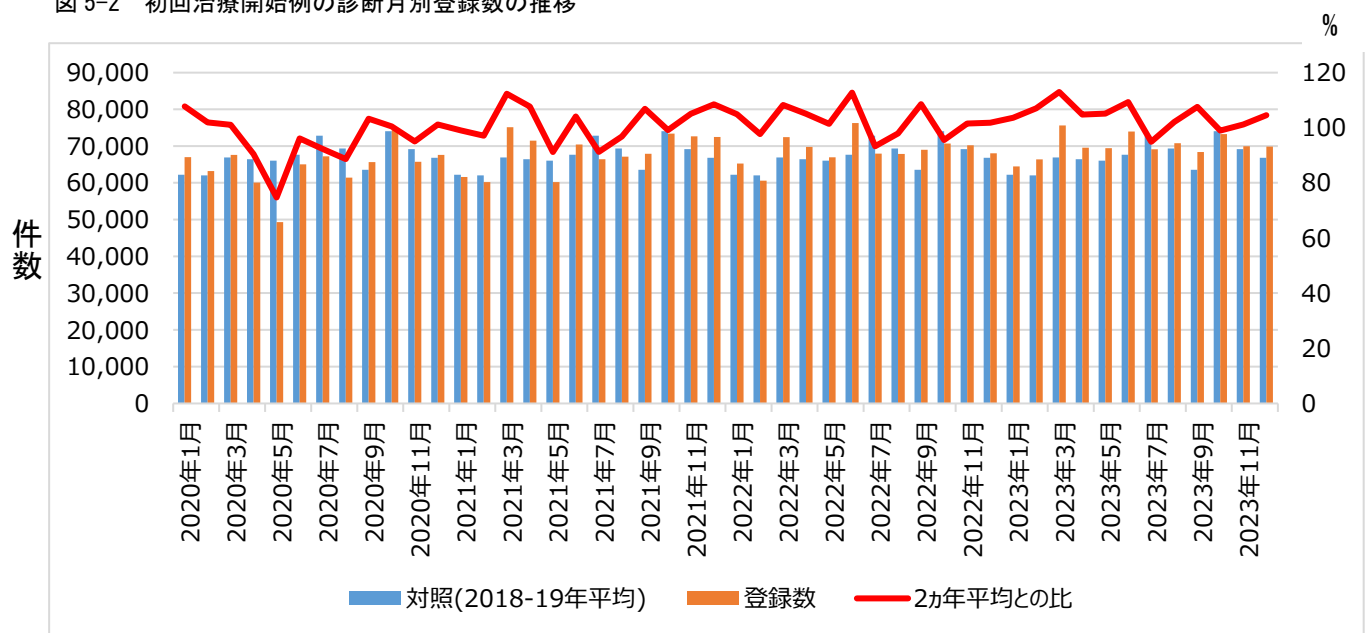
	診断のみ	自施設診断・ 自施設初回治療開始	自施設診断・ 自施設初回治療 継続	他施設診断・ 自施設初回治療開始	他施設診断・ 初回治療継続	初回治療開始 後
2018-19 年平均との 比較割合	105.9% (+4,126 件)	102.8% (+17,291 件)	100.4% (+7 件)	108.6% (+16,406 件)	109.8% (+3,104 件)	101.0% (+788 件)

2. 診断月別登録数の推移

2-1. 全がん

全がんの自施設初回治療開始例における診断月別登録数の推移を 2018-19 年平均と 2020 年 1 月～2023 年 12 月の診断月別登録数とを比較する形で図 5-2 に示した。2020 年全がんの自施設初回治療開始例の年間登録数は 774,069 件で 2018-19 年平均と比較して 95.9% (32,857 件減) であったのに対して、2021 年の年間登録数は 818,985 件で 2018-19 年平均と比較して 101.5% (12,059 件増)、2022 年の年間登録数は 824,834 件で 2018-19 年平均と比較して 102.2% (17,908 件増)、2023 年の年間登録数は 840,621 件で 2018-19 年平均と比較して 104.2% (33,695 件増) であった。2023 年はどの月も 2018-19 年平均と同程度～やや増加で推移している。

図 5-2 初回治療開始例の診断月別登録数の推移



2-2. 部位別

登録数の多い部位（胃、大腸、肺、乳房、膵臓）および、それ以外で対策型がん検診の推奨部位である子宮頸部における、自施設初回治療開始例の 2020 年以降の登録数の推移を 2018-19 年平均と各年の登録数とを比較する形で表 5-2 に示した。2020 年は膵臓以外の全ての部位で 2018-19 年平均よりも登録数が減少した。いずれの部位でも、2021 年の登録数は回復傾向であり、大腸・肺では 2018-19 年平均と同程度となり、2022 年の登録数はほぼ同程度で、2023 年は増加した。乳房は 2021 年以降継続的に 2018-19 年平均よりも登録数が増加している。また、膵臓では 2020 年も登録数は減らずに 2023 年まで継続的に増加している。一方、胃では 2022 年・2023 年と登録数は減少し、子宮頸部では 2022 年には 2021 年よりも登録数が減少したまま 2023 年もほぼ同程度推移した。

表 5-2 各部位における初回治療開始例の診断年別登録数の推移

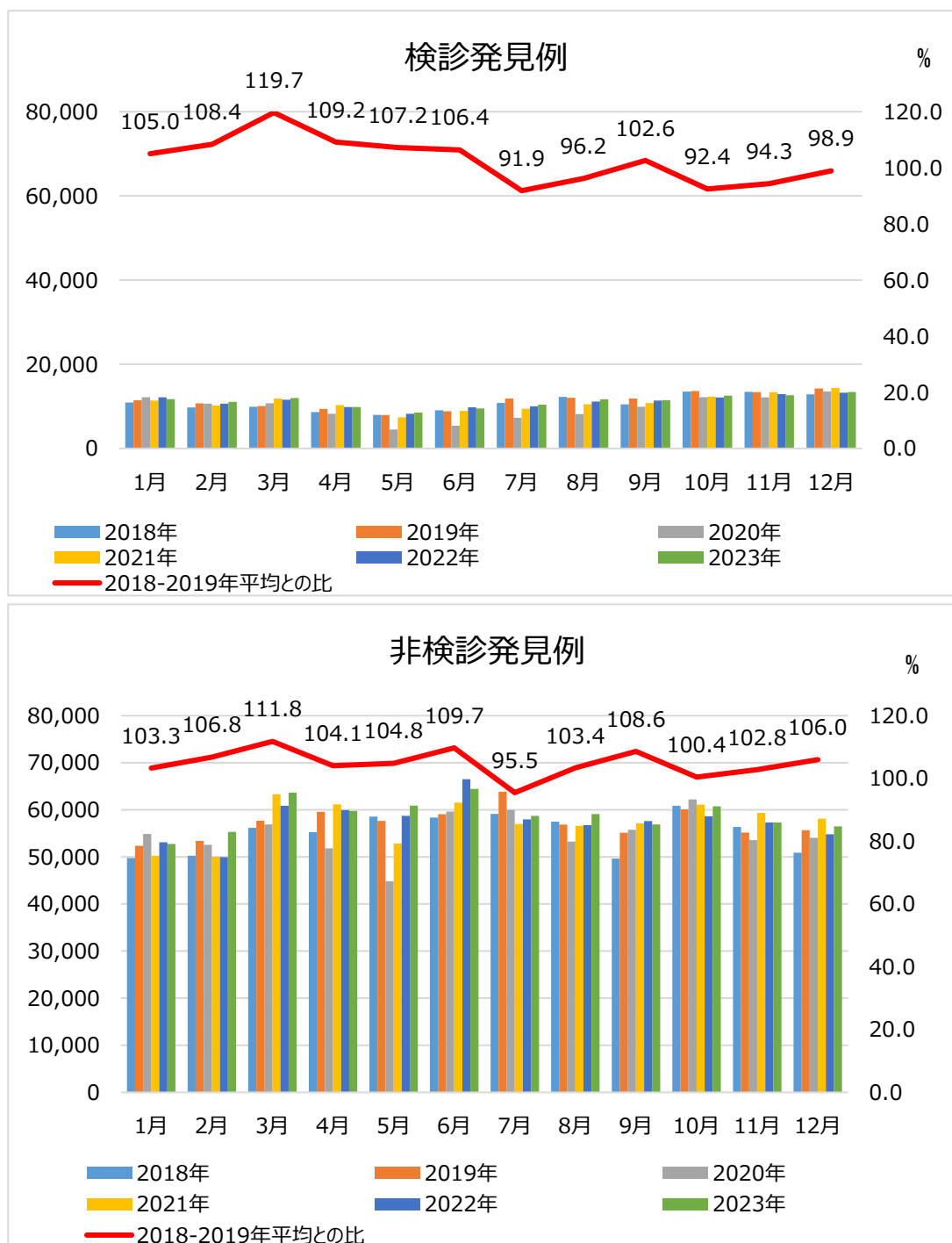
各部位の全 登録数の 2018-19 年平均との比	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
胃 (C16)	77,578(87.6%)	81,093(91.5%)	80,132(90.4%)	77,765(87.8%)
大腸 (C18-20)	121,493(94.8%)	128,938(100.5%)	129,414(101.0%)	132,924(103.7%)
肺 (C33,34)	91,580(97.9%)	95,153(101.7%)	94,531(101.1%)	96,172(102.9%)
乳房 (C50)	75,279(97.4%)	82,442(106.7%)	84,305(109.1%)	88,095(114.0%)
子宮頸部 (C53)	26,873(94.0%)	29,154(101.9%)	27,587(96.5%)	27,818(97.3%)
膵臓 (C25)	29,671(102.9%)	30,620(106.3%)	31,309(108.6%)	32,039(111.2%)

3. 発見経緯別登録数の推移

3-1. 全がん

全がんの自施設初回治療開始例を対象として、発見経緯別（がん検診・健康診断・人間ドックの検診発見例と自覚症状など非検診発見例）に月別登録数の推移を 2018 年～2023 年診断例について示した(図 5-3-1)。検診発見例について 2018-19 年平均と比較して、2020 年は 114,699 件で 86.7%、2021 年は 130,670 件で 98.7%、2022 年は 132,836 件で 100.4%、2023 年は 134,668 件で 101.7%であった。一方で非検診発見例は 2018-19 年平均と比較して、2020 年は 659,370 件で 97.8%、2021 年は 688,315 件で 102.0%、2022 年は 691,998 件で 102.6%、2023 年は 705,953 件で 104.7%であった。

図 5-3-1 全がんにおける発見経緯別の月別登録数の推移



3-2. 対策型がん検診推奨部位

対策型がん検診の推奨部位である、胃、大腸、肺、乳房、子宮頸部に限定した場合の発見経緯別登録数の月別推移を 2018-19 年平均と比較する形で 2020～2023 年診断の自施設初回治療開始例について示した（図 5-3-2）。市区町村におけるがん検診延期が求められた期間は 2020 年 4-5 月であったが、2020 年は 80,504 件で 85.9%、2021 年は 91,213 件で 97.4%、2022 年は 90,871 件で 97.0%、2023 年は 92,096 件で 98.3%と、2023 年時点でも検診発見例は 2018-19 年平均まで回復していない。検診受診率や精密検査受診率とあわせた評価が必要であるが、検診等の受診控え、受診しないことの習慣化や、新型コロナウイルス感染症の患者対応により健診センターの一時閉鎖や検査の人数制限等受け入れ側の体制変化が 2023 年も続いていた可能性が要因として考えられる。胃、大腸、肺では検診発見例の数は 2018-19 年平均よりも少なく、検診発見例が占める割合は 2018-19 年平均よりもやや減少したままであった。乳房では検診発見例の数およびその占める割合が 2018-19 年平均よりも 2021 年以降継続的に増加している。子宮頸部では検診発見例の数が 2020 年に 2018-19 年平均よりも約 12%減少し、2021 年には 2018-19 年平均に対して 98.3%と回復傾向であったものの、2022 年には 2018-19 年平均に対して 91.2%と再度減少し、2023 年は 91.6%とほぼ横ばいであった。また、表 5-3 に発見経緯別の年間登録数の経年推移を部位毎に示した。

図 5-3-2 対策型がん検診推奨部位全体における発見経緯別の月別登録数の推移

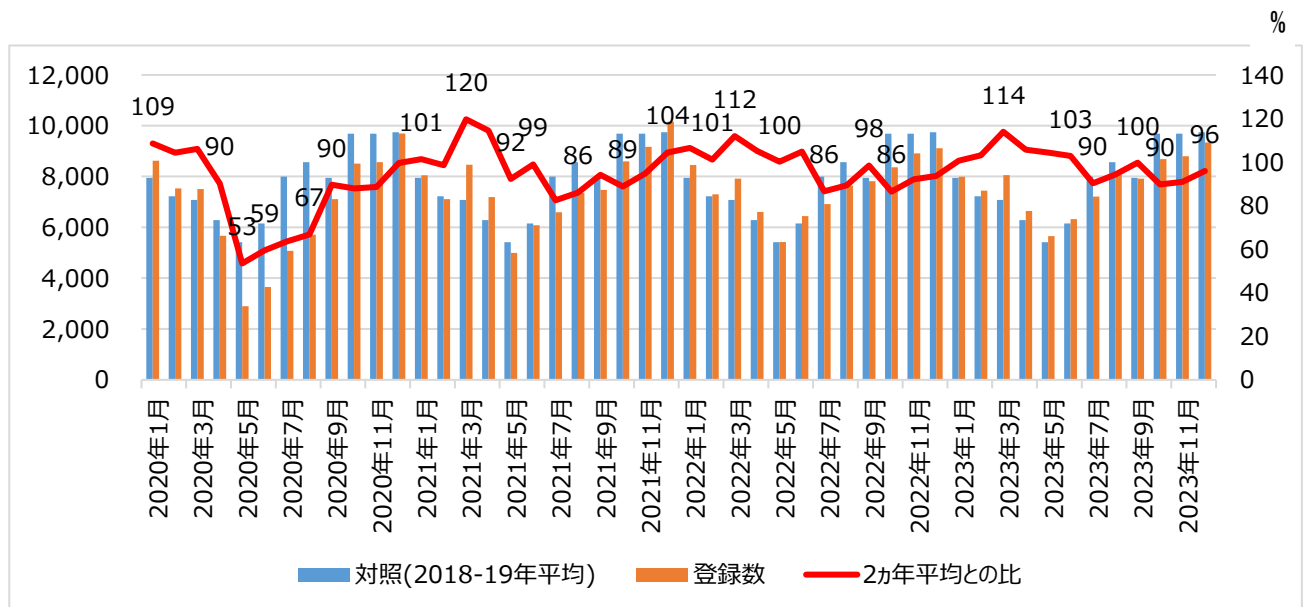


表 5-3 対策型がん検診推奨の各部位における発見経緯別の年間登録数の推移

胃 (C16)

	がん検診発見(2 カ年平均との比)	非がん検診発見(2 カ年平均との比)
2018-19 年平均	18,527	70,085
2020 年	14,318 (77.3%)	63,260 (90.3%)
2021 年	16,273 (87.8%)	64,820 (92.5%)
2022 年	16,012 (86.4%)	64,120 (91.5%)
2023 年	15,184 (82.0%)	62,581 (89.3%)

大腸 (C18-20)

	がん検診発見(2 カ年平均との比)	非がん検診発見(2 カ年平均との比)
2018-19 年平均	27,769	100,427
2020 年	24,064 (86.7%)	97,429 (97.0%)
2021 年	26,642 (95.9%)	102,296 (101.9%)
2022 年	26,594 (95.8%)	101,820 (101.4%)
2023 年	27,283 (98.3%)	104,641 (104.2%)

肺 (C33, 34)

	がん検診発見(2 カ年平均との比)	非がん検診発見(2 カ年平均との比)
2018-19 年平均	16,854	76,640
2020 年	14,911 (88.5%)	76,669 (100.4%)
2021 年	16,640 (98.7%)	78,513 (102.4%)
2022 年	16,349 (97.0%)	78,182 (102.0%)
2023 年	16,532 (98.1%)	79,640 (103.9%)

乳房 (C50)

	がん検診発見(2 カ年平均との比)	非がん検診発見(2 カ年平均との比)
2018-19 年平均	21,006	56,270
2020 年	18,863 (89.8%)	56,416 (100.3%)
2021 年	22,283 (106.1%)	60,159 (106.9%)
2022 年	23,223 (110.6%)	61,082 (108.6%)
2023 年	24,364 (116.0%)	63,731 (113.3%)

子宮頸部 (C53)

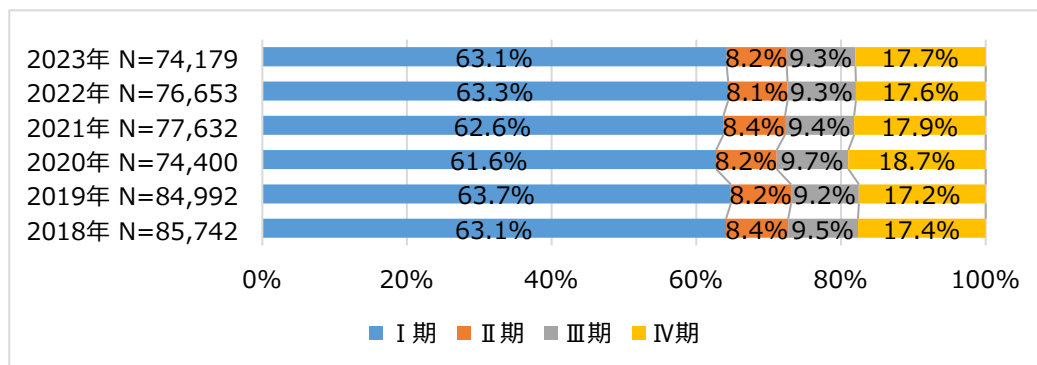
	がん検診発見(2 カ年平均との比)	非がん検診発見(2 カ年平均との比)
2018-19 年平均	9,535	19,064
2020 年	8,348 (87.6%)	18,525 (97.2%)
2021 年	9,375 (98.3%)	19,779 (103.8%)
2022 年	8,693 (91.2%)	18,894 (99.1%)
2023 年	8,733 (91.6%)	19,085 (100.1%)

4. UICC TNM 分類総合病期別登録数の推移

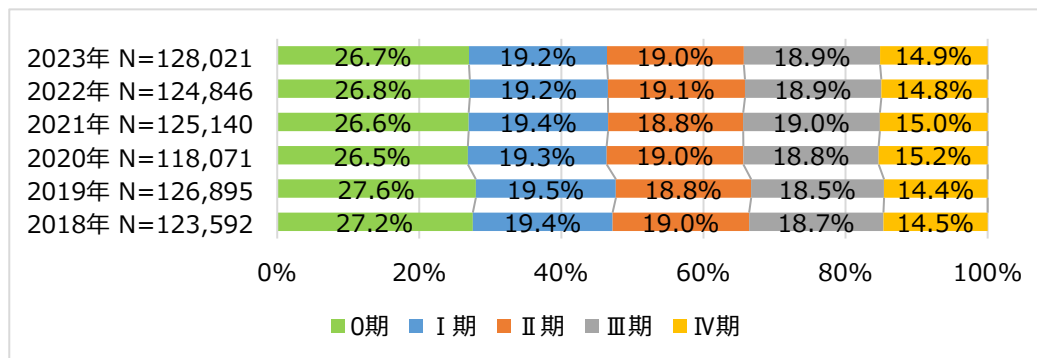
対策型がん検診推奨部位もしくは登録数の多いがんとして、胃がん、大腸がん、非小細胞肺がん、乳がん、子宮頸がん、膵がんにおける、総合病期別登録割合を 2018～2023 年診断の自施設初回治療開始例で比較した（図 5-4、表 5-4）。胃がん、大腸がん、乳がんでは 2018-19 年平均と 2020 年～2023 年で病期別割合にほぼ変化はなかった。2018-19 年平均と比較して、非小細胞肺がんと膵がんでは I 期の割合が増加、子宮頸がんでは 0 期・I 期の割合が減少した。膵がんは膵管内乳頭粘液性腫瘍（Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm: IPMN）フォローアップなどの検査が実施されるようになったことで早期に膵がんが診断されている可能性が考えられる。子宮頸がんの 0 期・I 期の中で主に減少しているのはがん検診発見例であり、3-2 で示した結果と合わせて、0 期・I 期の減少は検診発見例の減少が一因と考察される。（2018-19 年平均の 0 期・I 期のがん検診発見例 9,172 例、非がん検診発見例 14,146 例に対して、2023 年の 0 期・I 期のがん検診発見例 8,378 例、非がん検診発見例 13,943 例）

図 5-4 各がんにおける UICC TNM 病期別登録割合の推移

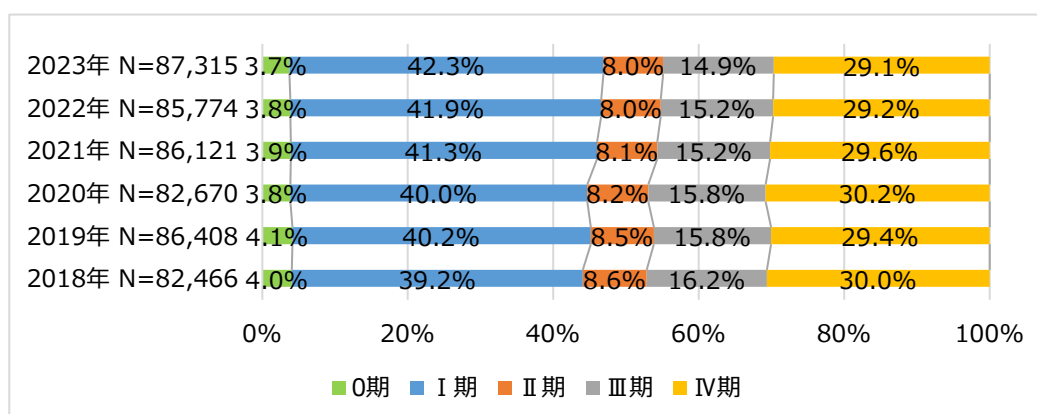
胃がん



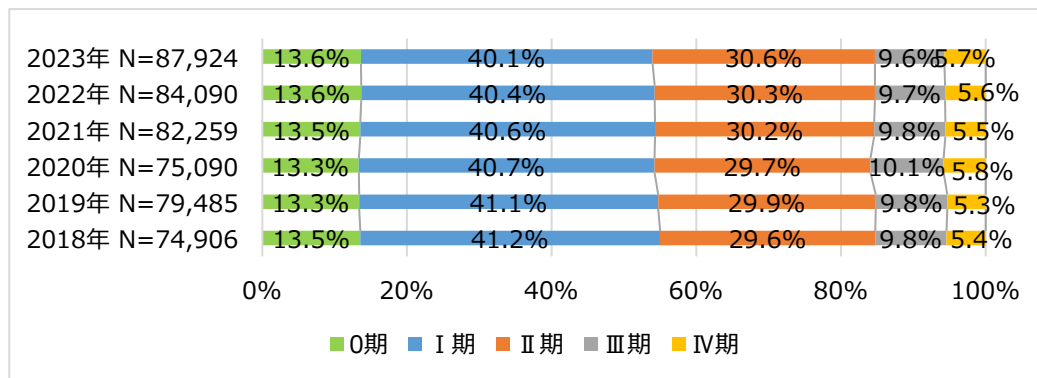
大腸がん



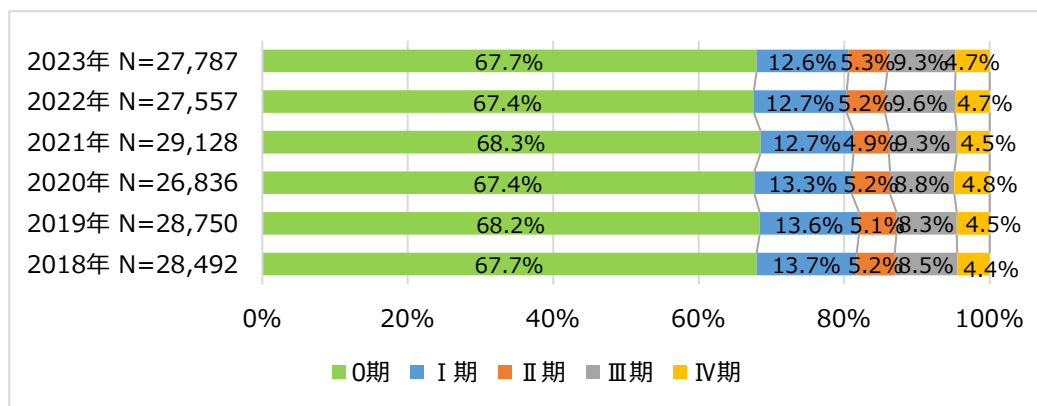
非小細胞肺がん



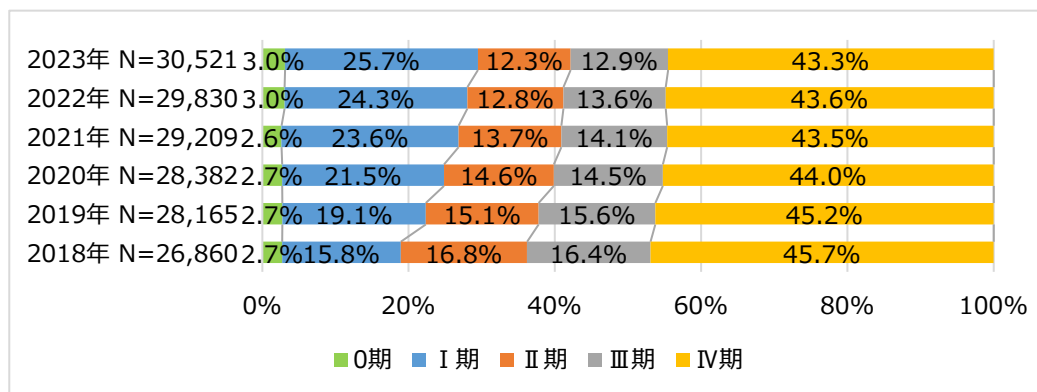
乳がん



子宮頸がん



膵がん



V. 特別集計

表 5-4 各がんにおける UICC TNM 病期別登録数

胃がん							大腸がん						
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
I 期	53,865	54,130	45,863	48,634	48,545	46,781	0期	33,358	35,061	31,325	33,338	33,446	34,151
II 期	7,207	6,960	6,109	6,509	6,198	6,054	I 期	23,816	24,704	22,792	24,244	23,950	24,542
III 期	8,096	7,831	7,245	7,302	7,120	6,909	II 期	23,270	23,864	22,471	23,478	23,798	24,369
IV 期	14,831	14,649	13,878	13,863	13,518	13,120	III 期	22,884	23,445	22,203	23,818	23,655	24,247
総数	85,373	84,992	74,400	77,632	76,653	74,179	IV 期	17,767	18,288	17,905	18,734	18,450	19,130
							総数	122,634	126,895	118,071	125,140	124,846	128,021
膵がん							非小細胞肺癌						
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
0期	711	757	753	749	891	922	0期	3,278	3,511	3,125	3,319	3,248	3,190
I 期	4,219	5,391	6,114	6,895	7,253	7,831	I 期	32,186	34,729	33,056	35,545	35,947	36,944
II 期	4,490	4,245	4,144	4,005	3,813	3,762	II 期	7,064	7,334	6,785	6,998	6,883	7,015
III 期	4,394	4,384	4,120	4,118	4,054	3,950	III 期	13,301	13,646	13,063	13,091	12,999	13,018
IV 期	12,207	12,719	12,492	12,708	13,015	13,214	IV 期	24,637	25,431	24,942	25,492	25,036	25,399
総数	26,725	28,165	28,382	29,209	29,830	30,521	総数	82,133	86,408	82,670	86,121	85,774	87,315
乳がん							子宮頸がん						
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
0期	10,084	10,606	9,971	11,113	11,462	11,939	0期	19,237	19,597	18,090	19,880	18,568	18,817
I 期	30,815	32,700	30,565	33,383	33,963	35,271	I 期	3,893	3,907	3,582	3,709	3,505	3,504
II 期	22,127	23,799	22,302	24,819	25,495	26,905	II 期	1,484	1,475	1,400	1,414	1,446	1,471
III 期	7,324	7,827	7,548	8,073	8,124	8,403	III 期	2,424	2,379	2,362	2,710	2,647	2,595
IV 期	4,022	4,193	4,357	4,555	4,697	4,991	IV 期	1,263	1,298	1,298	1,311	1,306	1,303
総数	74,706	79,485	75,090	82,259	84,090	87,924	総数	28,396	28,750	26,836	29,128	27,557	27,787

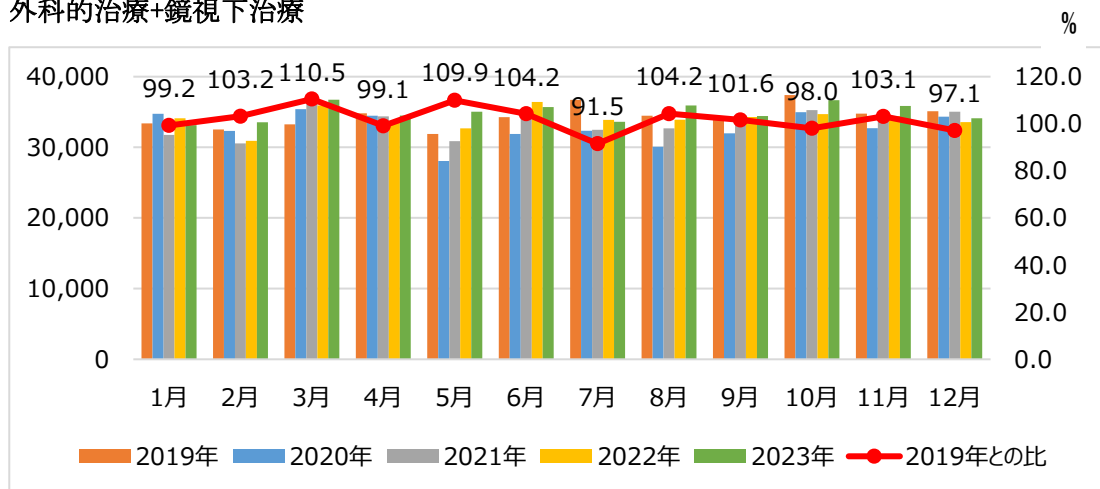
5. 治療月別登録数の推移

5-1. 全がん

2018 年から 2023 年の自施設初回治療開始例を対象に、2019 年 1 月から 2023 年 12 月に自施設で実施された治療月別の登録数の推移を算出した（図 5-5-1）。2019 年の年間登録数と比較すると 2023 年診断例通年では、外科的・鏡視下治療が 419,080 件で 101.6%（6,761 件増）、内視鏡的治療が 119,484 件で 97.8%（2,670 件減）、放射線治療が 99,325 件で 105.5%（5,169 件増）、化学療法が 260,006 件で 104.9%（12,168 件増）、内分泌療法が 91,929 件で 112.5%（10,212 件増）であった。院内がん登録では、全国集計へデータ提出するまでの期間中に初回治療として実施された治療のみが登録されるため、限界があることに留意する必要がある。

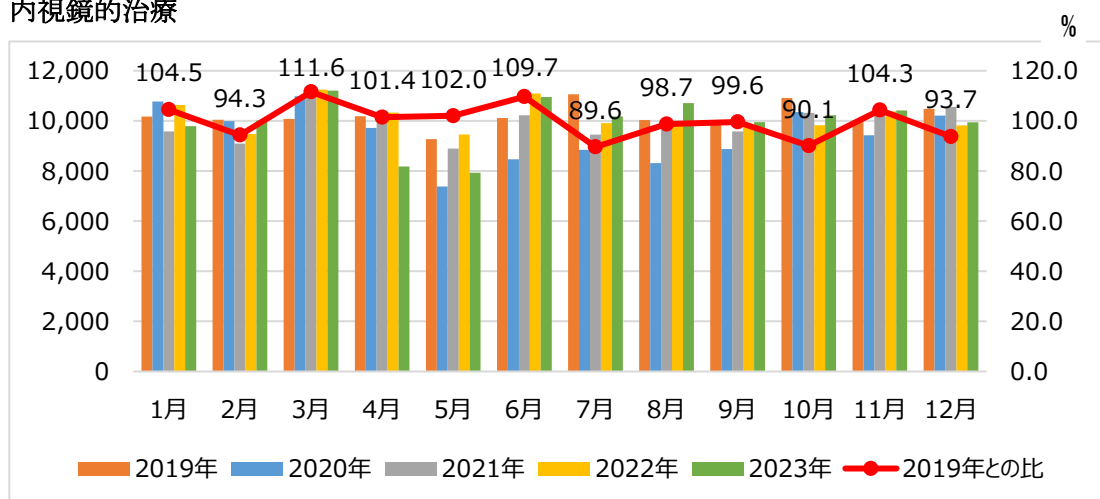
図 5-5-1 初回治療開始例の治療月別登録数の推移

外科的治療+鏡視下治療



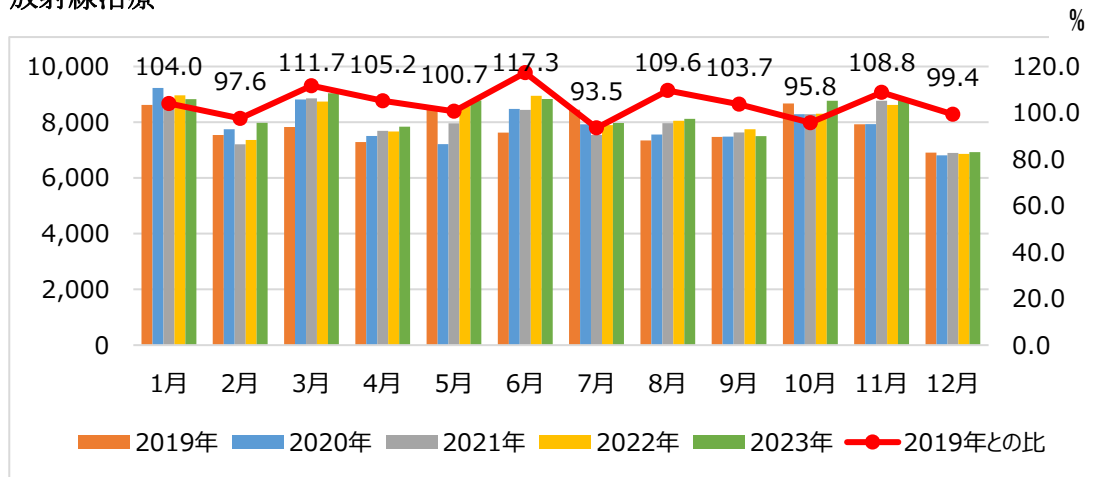
全登録数	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
2018-19 年平均との比	95.3%	97.9%	99.0%	101.6%

内視鏡的治療



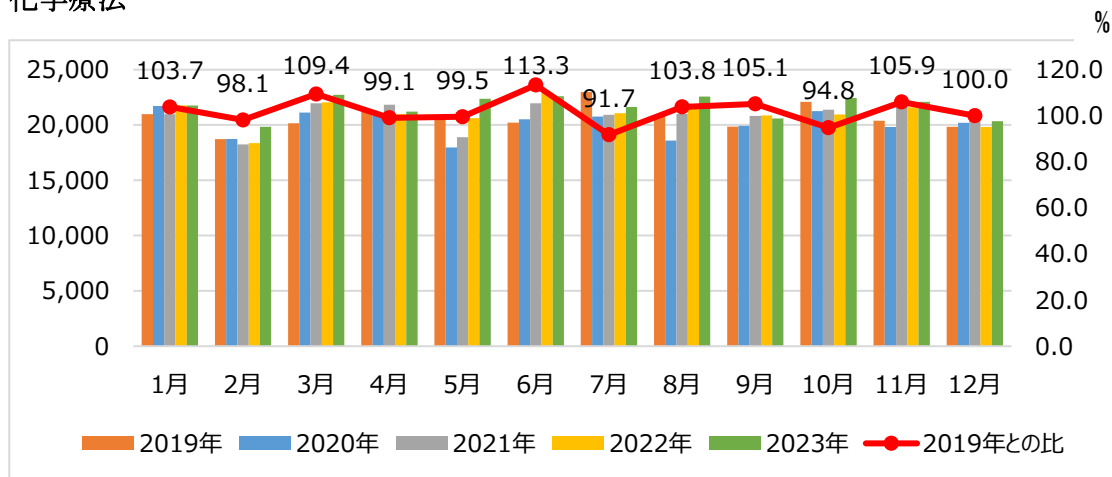
全登録数	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
2018-19 年平均との比	92.8%	97.4%	99.8%	97.8%

放射線治療



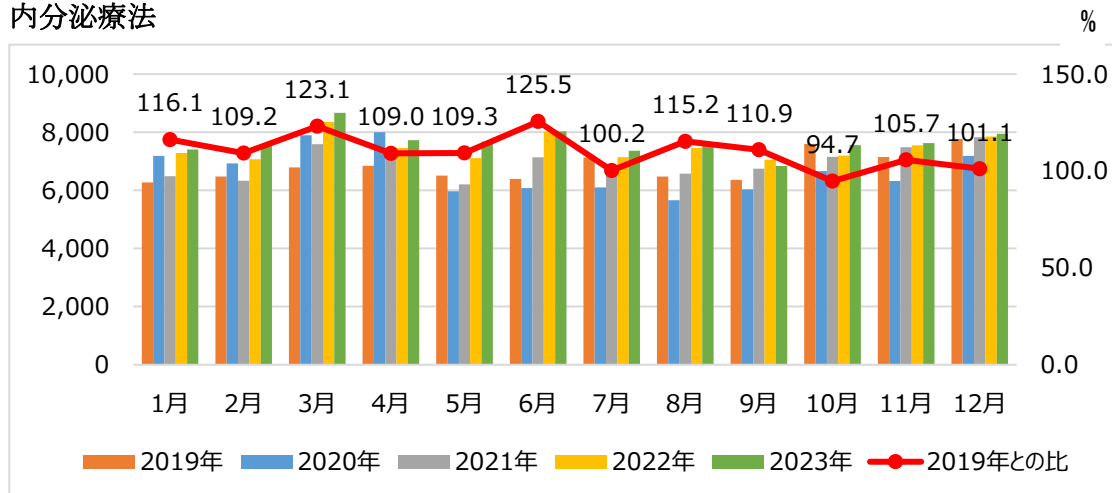
全登録数	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
2018-19 年平均との比	100.8%	101.6%	103.8%	105.5%

化学療法



全登録数	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
2018-19 年平均との比	97.4%	101.1%	101.9%	104.9%

内分泌療法



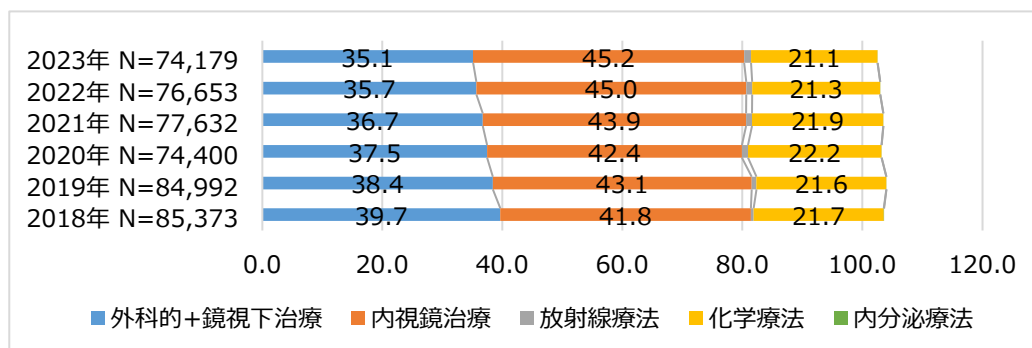
全登録数	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
2018-19 年平均との比	97.9%	102.0%	109.5%	112.5%

5-2. 各がん

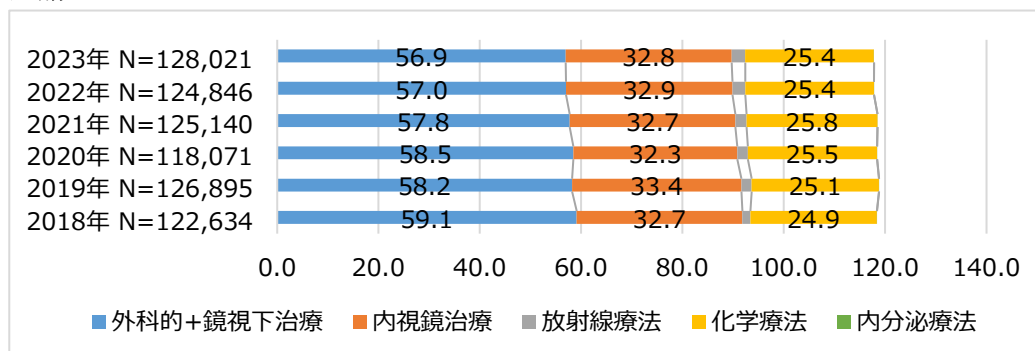
対策型がん検診推奨部位のがんもしくは登録数の多いがんとして、胃がん、大腸がん、非小細胞肺がん、乳がん、子宮頸がん、膵がんの自施設初回治療開始例を対象に、2018 年から 2023 年における各治療の登録割合の推移を図 5-5-2 に示した。胃がんでは外科的治療+鏡視下治療の登録数・割合が 2018-19 年平均と比較して 2021 年から 2023 年にかけて減少傾向であった。子宮頸がんでは外科的治療+鏡視下治療の登録数・割合が 2018-19 年平均と比較して 2021 年・2022 年にかけて減少し、2023 年はほぼ横ばいであった。膵がんでは化学療法が、2018-19 年平均と比較して 2021 年・2022 年と増加傾向で、2023 年はほぼ横ばいであった。各がんにおいて治療数・割合が減少している治療法として、子宮頸がんの外科的治療+鏡視下治療について、病期と治療内容との関係を確認した。子宮頸がんでは外科的治療+鏡視下治療ありの内で 0 期・I 期の占める割合は 2018-19 年平均で 93.2% (20,768 例)、2023 年症例で 94.2% (19,595 例)と変わりはなく、0 期・I 期に対して外科的治療+鏡視下治療が実施される割合は 2018-19 年平均で 89.1% (20,768 例)、2023 年症例で 87.8% (19,595 例)と実施率も変わりなかった。そのため、子宮頸がんにおける外科的治療+鏡視下治療の減少は、この治療を主に受ける病期である 0 期・I 期の減少が影響していると考えられた。

図 5-5-2 各がんの初回治療開始例における治療内容別登録割合の推移

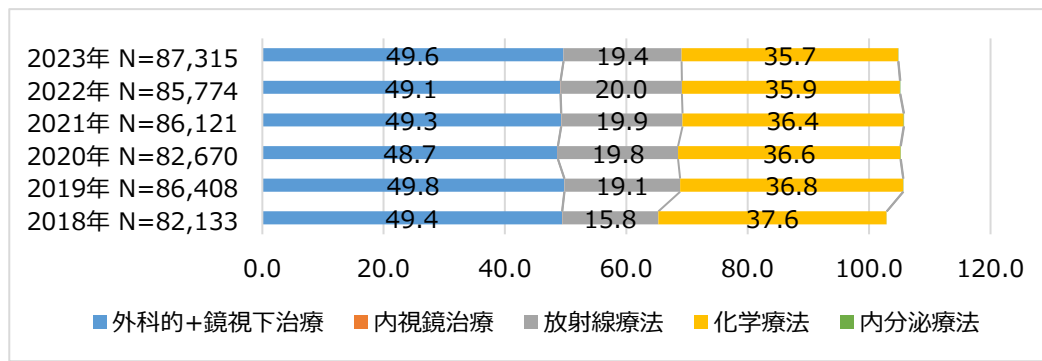
胃がん



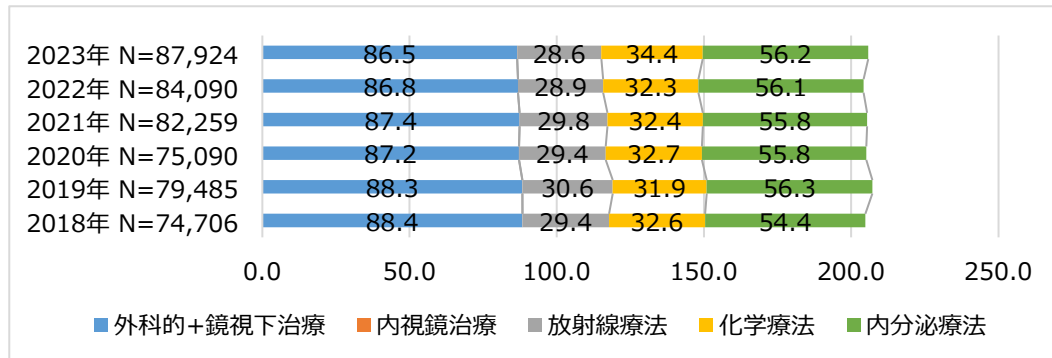
大腸がん



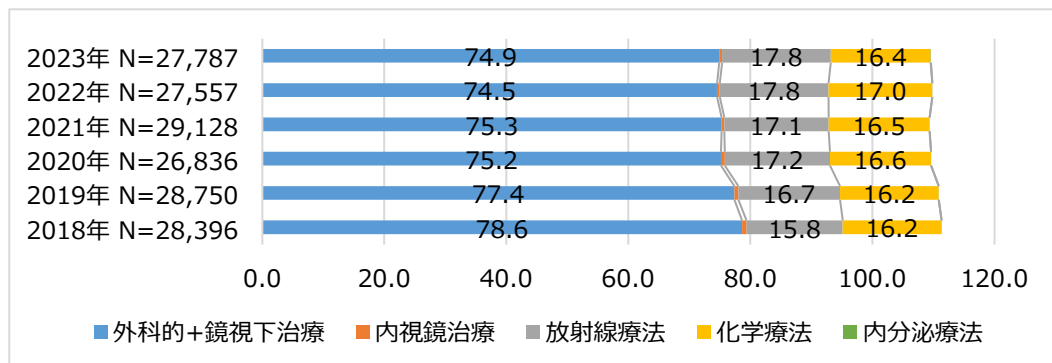
非小細胞肺がん



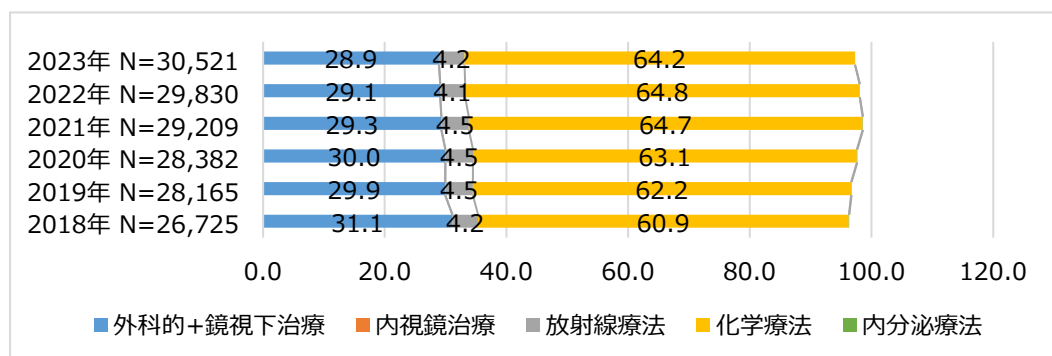
乳がん



子宮頸がん



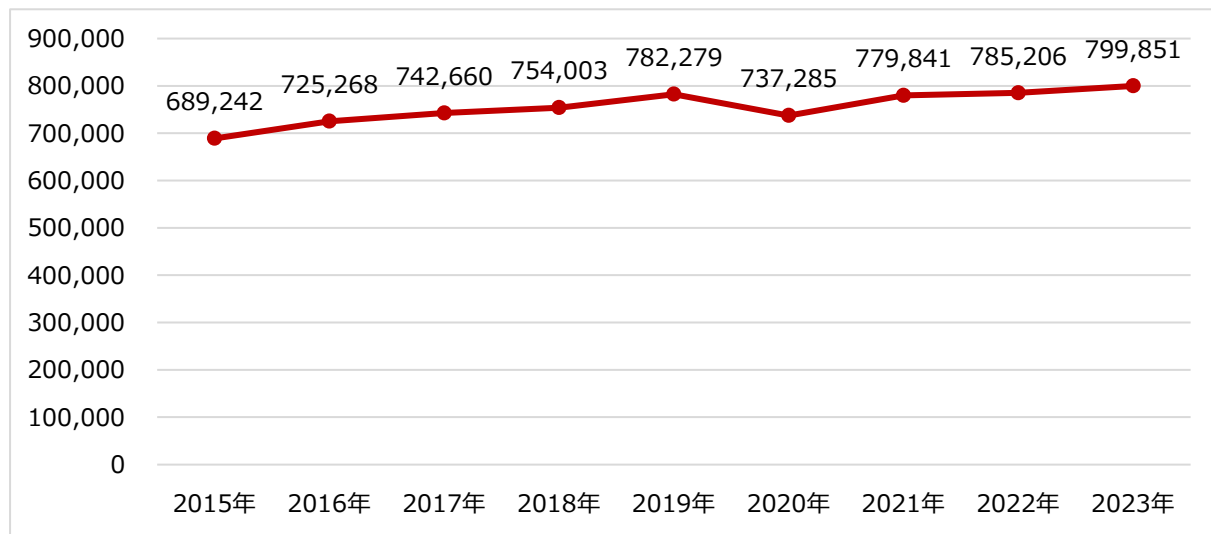
膵がん



参考

2015 年から 2023 年まで継続して院内がん登録全国集計にデータ提出を行った 671 施設（うち拠点病院は 441 施設）に限定して、全がんの自施設初回治療開始症例数の推移を確認した。2015～2019 年にかけて全がんの登録数は増加していたが、2020 年に減少した。その後、2021 年は 2019 年と同程度、2022 年と 2023 年はゆるやかに登録数が増加したものの、少なくとも 2020 年の減少分が上乗せされて増加している傾向は認められなかった。ただし、本報告で用いている院内がん登録は全てのがん患者数を把握しているものではなく、新型コロナウイルスが存在しなかった場合の登録数の推移を正確に予想することも困難であり比較検討の方法は確立していない。そのため、少なくとも全国がん登録等の他のデータによる確認は必要であり、院内がん登録でも今後の登録数の推移を引き続き確認する必要がある。

図 6 2015 年-2023 年における初回治療開始例の年間登録数の推移



2023年

全施設：都道府県別

付表1-1

症状緩和の治療登録数

付表1 登録数：都道府県、症状緩和的治療の有無別(不明は除く)

	総数	あり	なし
全体	900,871	82,180	818,487
北海道	40,804	5,615	35,184
青森	11,016	1,202	9,813
岩手	9,220	1,111	8,107
宮城	17,561	1,529	16,030
秋田	9,427	1,103	8,324
山形	8,841	818	8,020
福島	10,987	815	10,168
茨城	17,768	1,561	16,201
栃木	15,986	1,669	14,316
群馬	15,076	1,434	13,638
埼玉	36,884	2,937	33,936
千葉	44,506	3,881	40,619
東京	102,832	7,920	94,871
神奈川	54,701	4,178	50,512
新潟	17,352	1,425	15,923
富山	8,774	950	7,824
石川	9,715	480	9,232
福井	5,906	1,094	4,812
山梨	4,711	354	4,357
長野	14,759	1,379	13,368
岐阜	13,466	1,043	12,423
静岡	28,408	3,217	25,190
愛知	50,772	6,366	44,401
三重	12,287	1,132	11,150
滋賀	10,354	1,079	9,274
京都	20,139	1,896	18,238
大阪	73,462	5,889	67,562
兵庫	37,683	3,589	34,084
奈良	10,569	579	9,988
和歌山	8,261	839	7,422
鳥取	5,874	546	5,328
島根	5,628	601	5,022
岡山	15,024	616	14,404
広島	22,800	2,366	20,433
山口	8,465	724	7,740
徳島	5,814	355	5,457
香川	6,767	529	6,234
愛媛	11,158	1,000	10,156
高知	5,015	386	4,626
福岡	33,372	2,453	30,908
佐賀	4,931	492	4,437
長崎	9,339	556	8,780
熊本	13,856	1,336	12,520
大分	6,272	608	5,664
宮崎	4,065	228	3,836
鹿児島	10,917	1,114	9,798
沖縄	9,347	1,186	8,157

関係者一覧

【監修】

松田 智大 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター
石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【解析・執筆・編集】

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室
渡部 万里 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室
新藤 奈奈世 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室
水落 美香 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【データ収集】

近藤 誓哉 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室

院内がん登録全国集計事務局

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録分析室
担当： 石井、渡部、新藤

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話:03-3547-5201(内線 1600)

メールアドレス:hbcr_analysis@ml.res.ncc.go.jp

院内がん登録 2023 年全国集計 報告書

2025 年 2 月第 1 刷発行(非売品)

編 集 松田智大 石井太祐
発 行 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター
問い合わせ先： 院内がん登録分析室
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目 1 番 1 号
電話 03-3542-2511